

「東久留米市子ども・子育て支援ニーズ調査」

報 告 書

平成31年3月

東久留米市子ども家庭部

目 次

I. 調査の概要

1. 調査目的	3
2. 調査対象	3
3. 調査方法	3
4. 調査期間	3
5. 回収状況	3
6. 集計値や図表の表記について	4

II. 就学前児童調査の結果

1. お住まいの地域	7
2. お子さんご家族の状況について	9
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	12
4. 保護者の働き方について	16
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	23
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について	39
7. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について	45
8. お子さんの病気の際の対応について	50
9. 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用状況について	57
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	65
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	72
12. 子育て支援への満足度やご意見について	82

III. 就学児童（小学校2年生）調査の結果

1. お住まいの地域	93
2. お子さんご家族の状況について	94
3. 保護者の働き方について	96
4. お子さんの病気の際の対応について	102
5. 一時預かり等の利用状況について	107

6. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	112
7. 子育て支援への満足度やご意見について	119

IV. 資料（調査票）

1. 就学前児童調査	125
2. 就学児童（小学校2年生）調査	138

I . 調査の概要

1. 調査目的

平成27年度（2015年度）を始期とする子ども・子育て支援事業計画の計画期間の終期が平成31年度（2019年度）であることから、2020年度から5ヵ年を計画する期間とする第二期子ども・子育て支援事業計画を作成することとなりました。事業計画は、子どもの数、子どもの保護者の特定教育・保育施設等および地域子ども・子育て支援事業の利用に関する意向、子どもとその保護者が置かれている環境、その他の事情を正確に把握した上で、これらを勘案して作成するものです。

東久留米市では、適切な事業計画を作成する上で、地域の実情を把握する必要があることから、利用希望把握調査を実施しました。

2. 調査対象

① 就学前児童調査

市内に居住する0歳～就学前の子どもを持つ保護者 2,000人（抽出）

② 就学児童（小学2年生）調査

市内小学校2年生の子どもを持つ保護者 929人（悉皆）

3. 調査方法

① 就学前児童調査

郵送によるアンケート調査

② 就学児童（小学2年生）調査

学校配付・学校回収によるアンケート調査

4. 調査期間

① 就学前児童調査

平成30年10月19日から11月9日まで

② 就学児童（小学2年生）調査

平成30年10月19日から11月5日まで

5. 回収状況

	配付数	有効回収数	有効回収率
①就学前児童調査	2,000	1,074	53.7%
②就学児童（小学校2年生）調査	929	649	69.9%

6. 集計値や図表の表記について

- ・ 集計した数値（％）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）をすべて合計しても、四捨五入の関係で100％にならないことがあります。
- ・ 回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100％を超えます。
- ・ 回答者数が極端に少ないものについては、分析対象から外している場合があります。ただし、調査結果には参考値として記載しています。
- ・ 調査票の選択肢の文章が長い場合、要約して短く表現している場合があります。

Ⅱ．就学前児童調査の結果

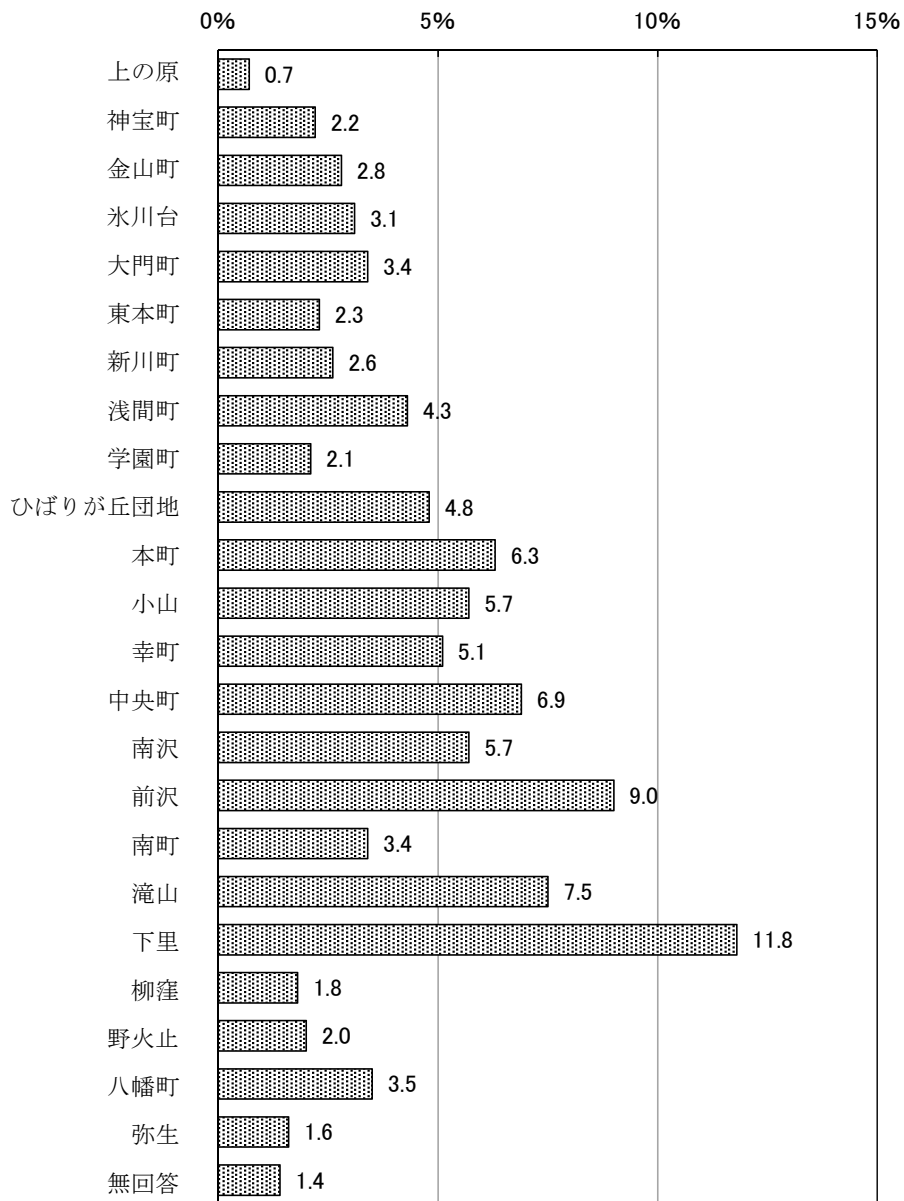
1. お住まいの地域

(1) お住まいの地域

問 1－1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

「下里」が最も多く、11.8%となっています。次いで「前沢」が9.0%、「滝山」が7.5%、「中央町」が6.9%、「本町」が6.3%と続いています。

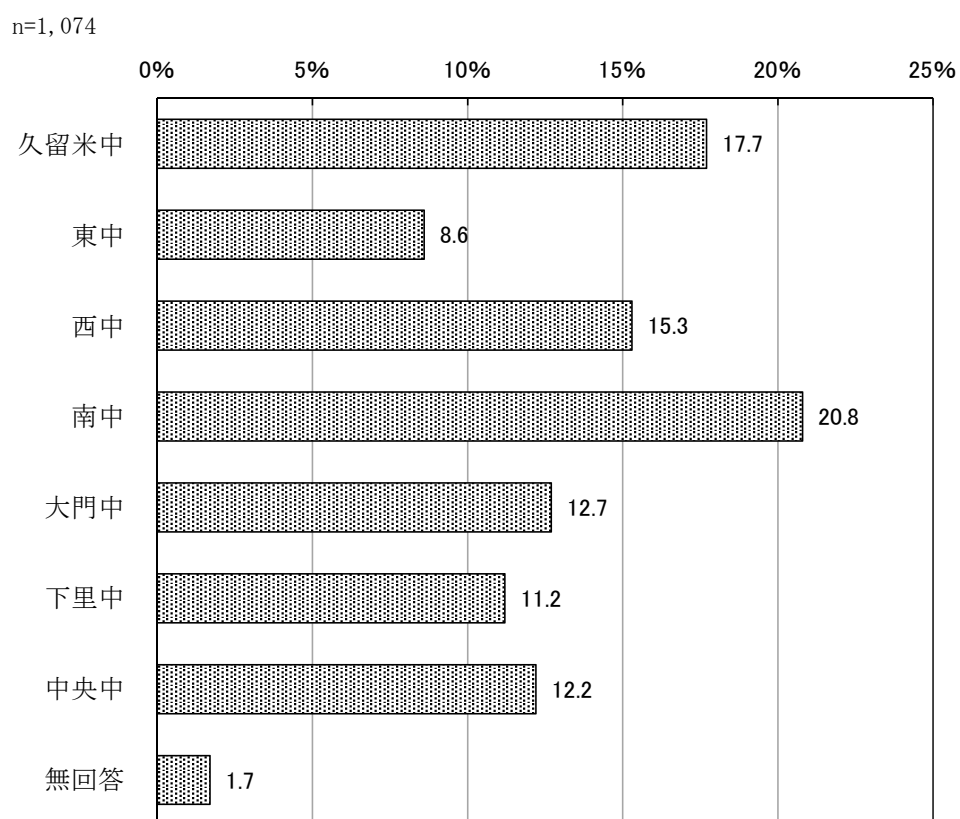
n=1,074



(2) 中学校区

問 1－3 封筒（宛名ラベルの右端）に記載のあるアルファベットをご記入ください。

「南中」が最も多く、20.8%となっています。次いで「久留米中」が17.7%、「西中」が15.3%、「大門中」が12.7%と続いています。



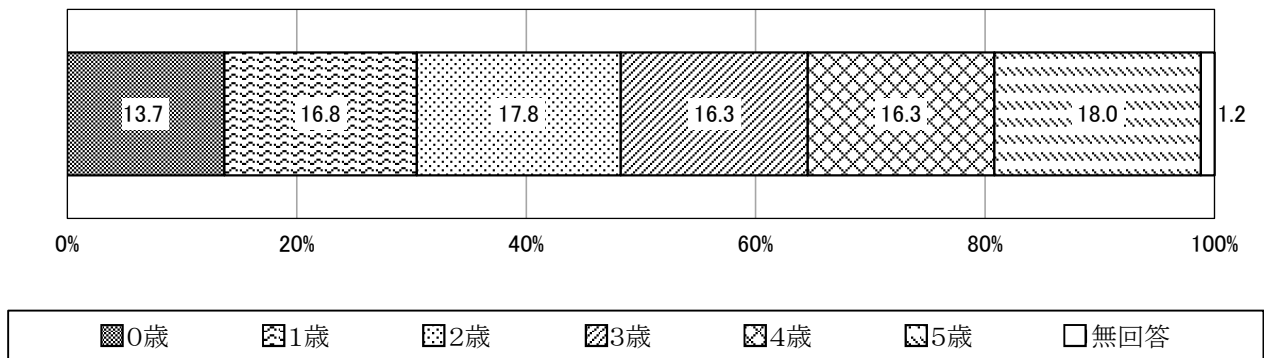
2. お子さんご家族の状況について

(1) 子どもの年齢（学年齢）

問2 宛名のお子さんの生年月、現在の年齢をご記入ください。

「5歳」が最も多く、18.0%となっています。次いで「2歳」が17.8%、「1歳」が16.8%、「3歳」と「4歳」が16.3%と続いています。

n=1,074



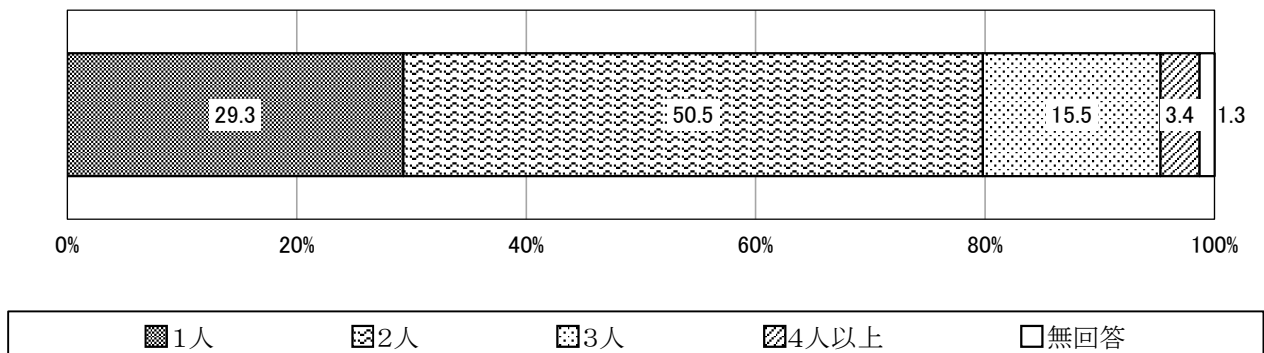
(2) きょうだいの数・末子の年齢

問3 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください（「ひとりっ子」は「1」）。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月をご記入ください。

①きょうだいの数

「2人」が最も多く、50.5%となっています。次いで「1人」が29.3%、「3人」が15.5%と続いています。

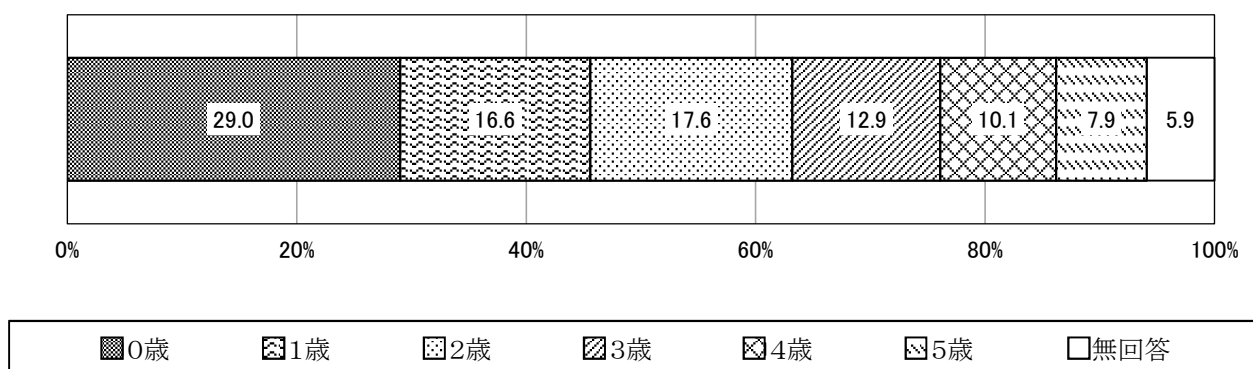
n=1,074



②末子の年齢（学年齢）

「0歳」が最も多く、29.0%となっています。次いで「2歳」が17.6%、「1歳」が16.6%、「3歳」が12.9%と続いています。

n=745

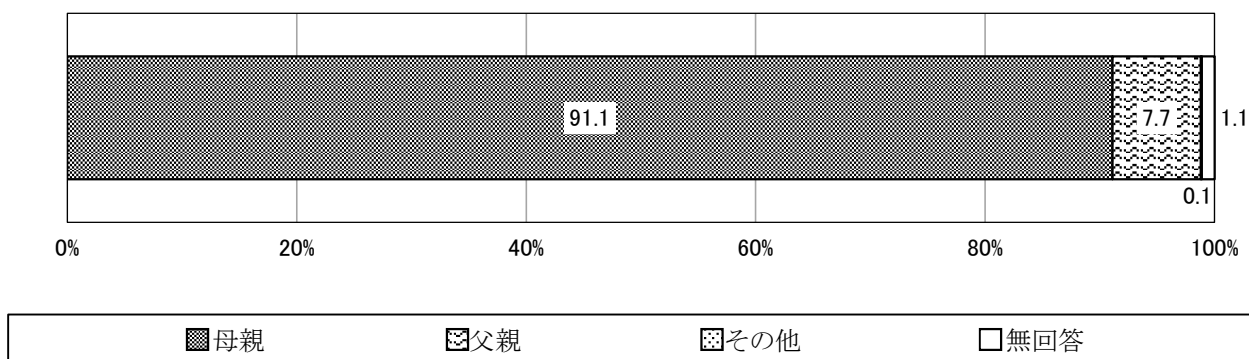


（３）調査票の回答者

問４ この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」が91.1%、「父親」が7.7%となっています。

n=1,074

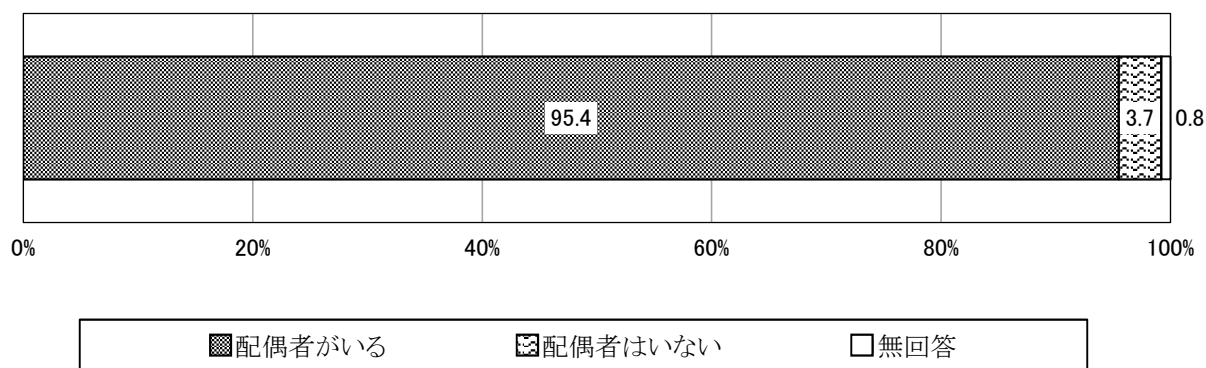


(4) 調査票の回答者の配偶関係

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。※単身赴任等により配偶者と別居している場合は「1. 配偶者がいる」を選択してください。

「配偶者がいる」が95.4%、「配偶者はいない」が3.7%となっています。

n=1,074

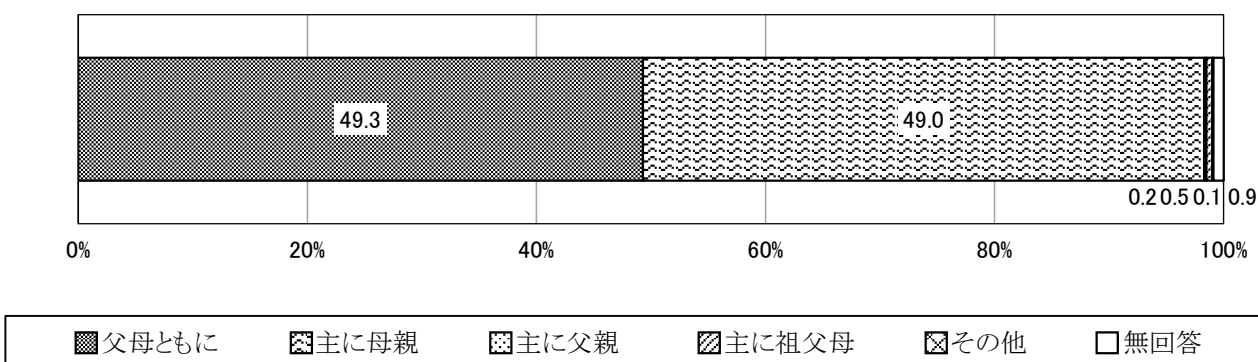


(5) 子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」が最も多く、49.3%となっています。次いで「主に母親」が49.0%と続いています。

n=1,074



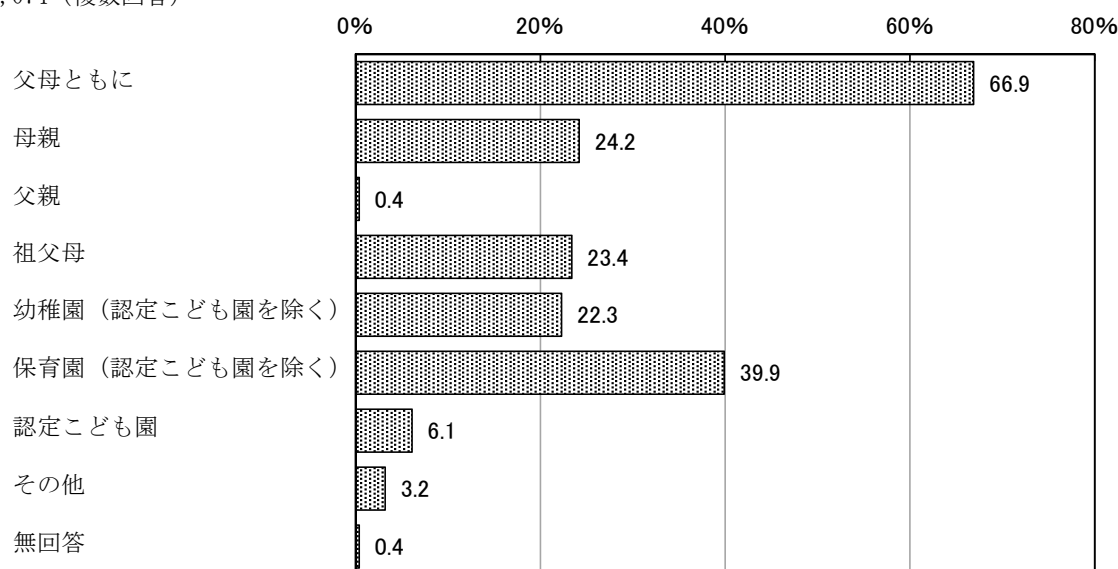
3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人や施設

問7 宛名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「父母ともに」が最も多く、66.9%となっています。次いで「保育園（認定こども園を除く）」が39.9%、「母親」が24.2%、「祖父母」が23.4%、「幼稚園（認定こども園を除く）」が22.3%と続いています。

n=1,074（複数回答）

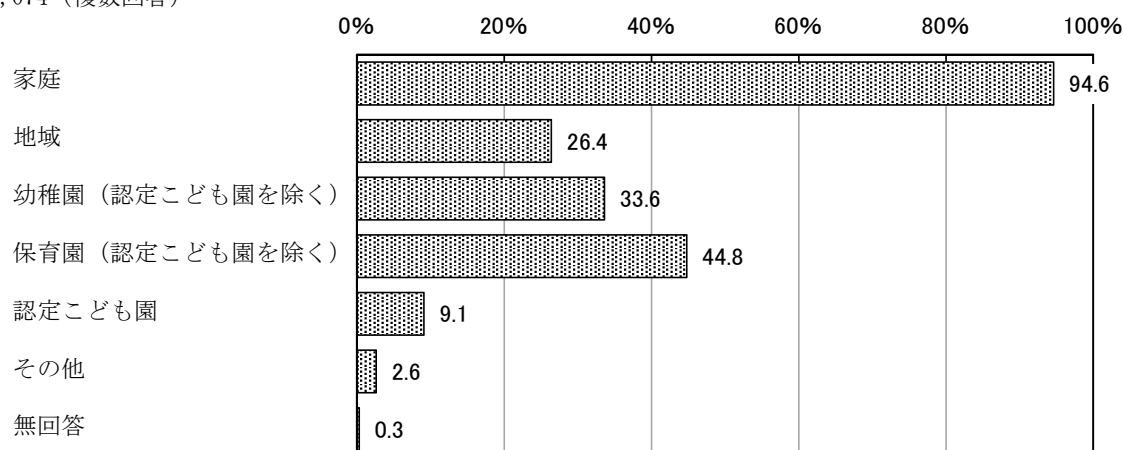


(2) 子育てにもっとも影響すると思われる環境

問8 宛名のお子さんの子育てに、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

「家庭」が最も多く、94.6%となっています。次いで「保育園」が44.8%、「幼稚園」が33.6%、「地域」が26.4と続いています。

n=1,074（複数回答）

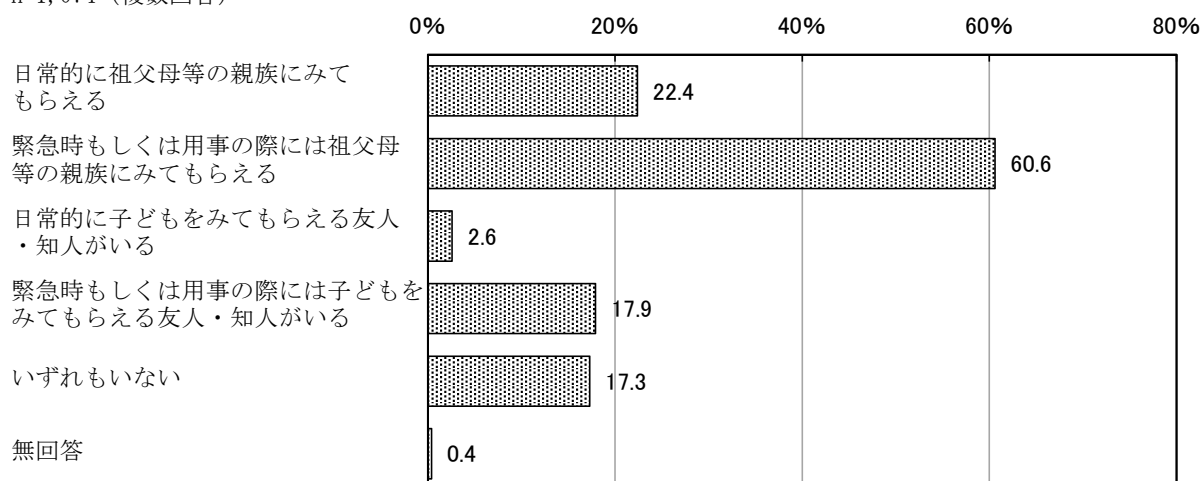


(3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多く、60.6%となっています。次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が22.4%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が17.9%、「いずれもない」が17.3%と続いています。

n=1,074 (複数回答)



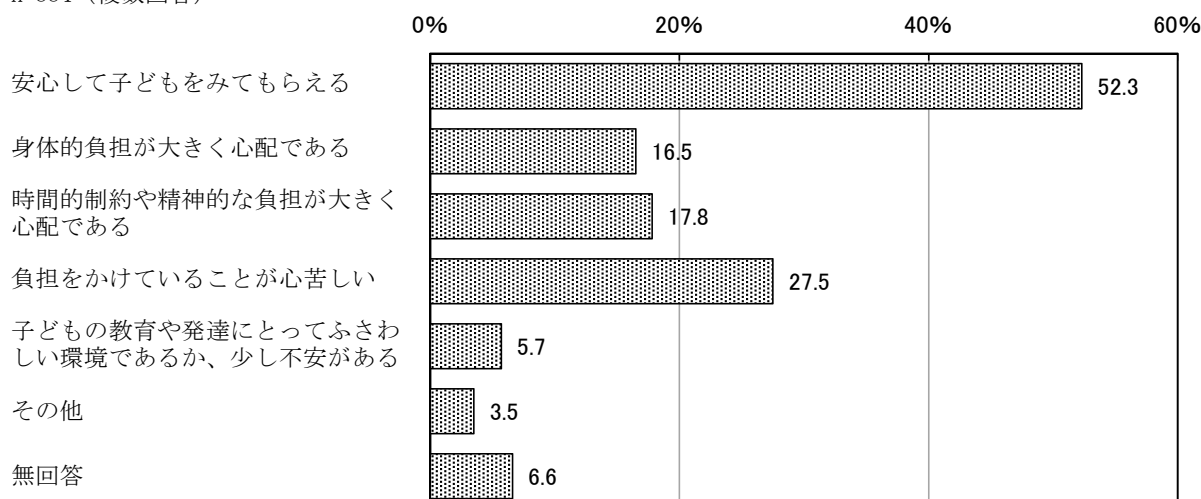
(4) 子どもをみてもらえる親族・知人の負担等

※問9で「1」から「4」のいずれか（祖父母等の親族や友人または知人にお子さんをみてもらっている）に○をつけた方にうかがいました。

問9-1 祖父母等の親族や友人または知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多く、52.3%となっています。次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が27.5%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が17.8%、「身体的負担が大きく心配である」が16.5%と続いています。

n=884 (複数回答)

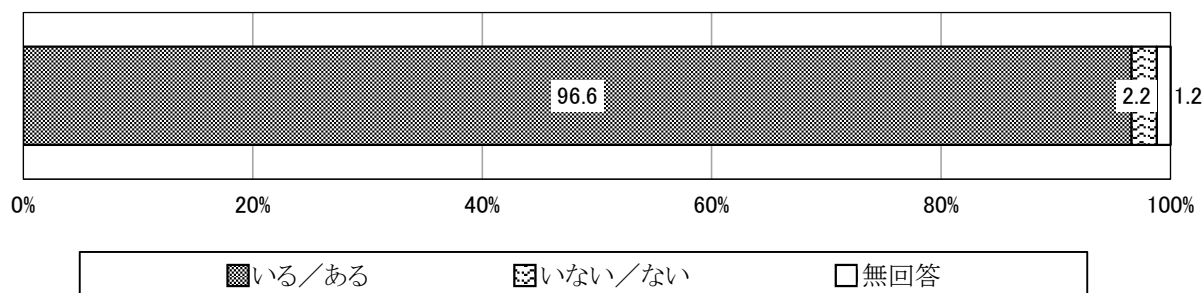


（５）気軽に相談できる人の有無

問10 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「いる／ある」が96.6%、「いない／ない」が2.2%となっています。

n=1,074



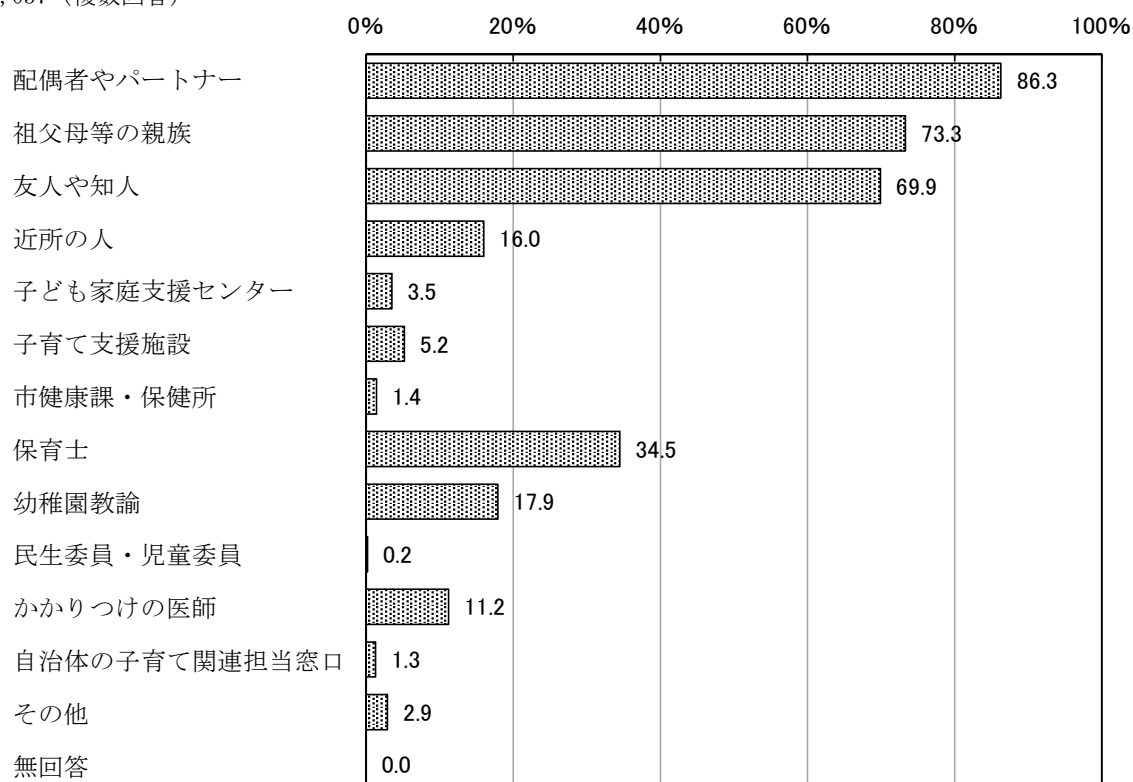
（６）気軽に相談できる人や機関

※問10で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいました。

問10-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

「配偶者やパートナー」が最も多く、86.3%となっています。次いで「祖父母等の親族」が73.3%、「友人や知人」が69.9%、「保育士」が34.5%、「幼稚園教諭」が17.9%と続いています。

n=1,037（複数回答）



(7) 子育てをする上で必要な支援

問11 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

441名の方から自由意見が寄せられました。一部の意見を掲載します（文意を変えない程度に、表記等を整理しています）。

- ・ 身近な人には充分サポートしてもらっていますが、一緒に遊べる、相談できるなどの環境があれば充分だと思います。行政はその遊べる環境、集える場の提供と整備に力を入れていただきたい。また、相談員（保育士など）を常設で設けるなど、気軽に話せる場を作っていたけるとありがたいです。
- ・ 信頼できる保育園環境の整備。保育者優先の駅前駐車場。児童館の充実。公園の整備。子連れで行けるショッピングモールなどへの補助。
- ・ 保護者の不安、ストレス軽減のための在宅時でのファミサポ、シッターなどの利用。夜間の預かり。
- ・ 習い事の送迎。夕食の準備。
- ・ 1時間でも見てくれると気持ちがリセットできる。子どもと毎日いて少なからずストレスがたまると思うから。配偶者がベストですが、仕事などでなかなか休みの日は疲れてできなかったりなので、平日等の日中に行政が無料で月1回／最大（4時間）保育できたらいいのではないのでしょうか。
- ・ 急病の時に子どもをみてもらえる場。病児保育があるのは知っているが、高額すぎる。
- ・ 地域で同じ年齢の子がいるのかもわからず、幼稚園選びに苦労しています。子育て支援課に聞いても教えてもらえないので、同じ地域で同じ年齢の子が遊べるように、ママも知り合えるように、集いを作ってほしいです。
- ・ 子育ての大変さを理解してもらうこと。子どもをどこかに預けられればいいという考えだけでなく、大変だけれどかけがえのない時間である子育てをもっと親子、家族で楽しめるように。
- ・ なにか問題等が発生した時に（友達とのトラブルなど）気軽に相談できるような行政の仕組みがあったらいいと思う。
- ・ 申請しなければ何も受けられないというのではなく、子どもの状態に合わせた支援を市から勧めてほしい。
- ・ 将来の職業選択をする上で参考になったり、社会の仕組みがのぞけたり、触れたり、体験したりできる子ども向けのイベントなどがあると参加してみたい。シニアの方たちでいろいろな経験をお持ちの方から子育て世代に何か教えていただくイベントなど。ファミリーサポートのような仕組みはありがたいと思う（利用はしなかったが）。子育てをする上でのポイントなどセミナーがあれば聞いてみたい。
- ・ 緊急時や仕事中に子どもの体調不良で連絡があったときに、面倒なことが一切なく、スムーズに「わかりました」で一時的に子どもの引き取りや預かりをお願いできれば助かる。
- ・ 仕事をしていなくても保育園を簡単に利用できる環境。

4. 保護者の働き方について

(1) 保護者の就労状況

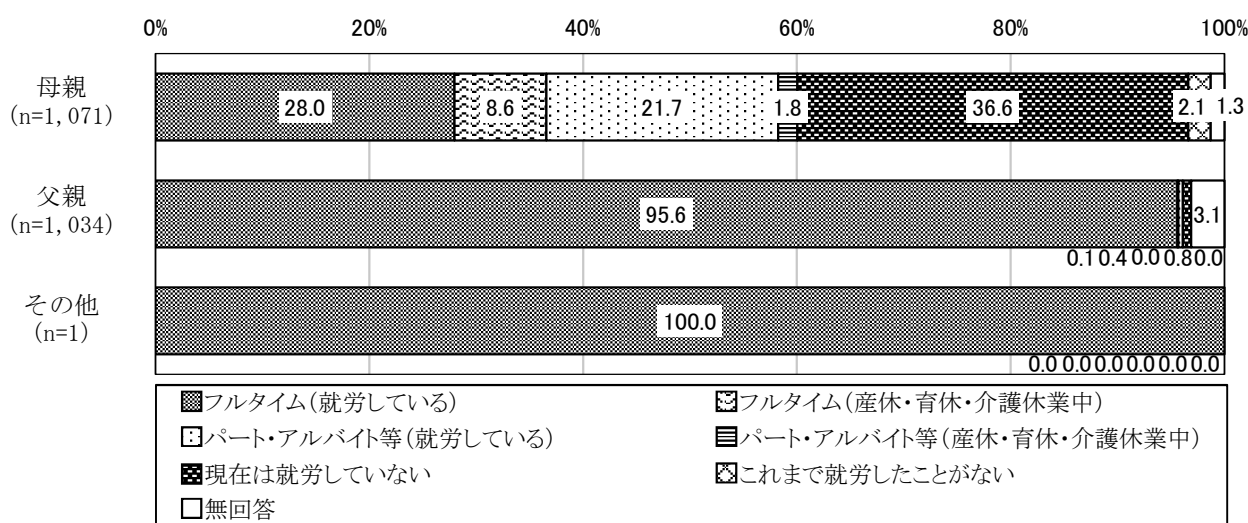
①就労状況

問12 (1) 宛名のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従業者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が最も多く、36.6%となっています。次いで「フルタイムで就労している」が28.0%、「パート・アルバイト等で就労している」が21.7%と続いています。

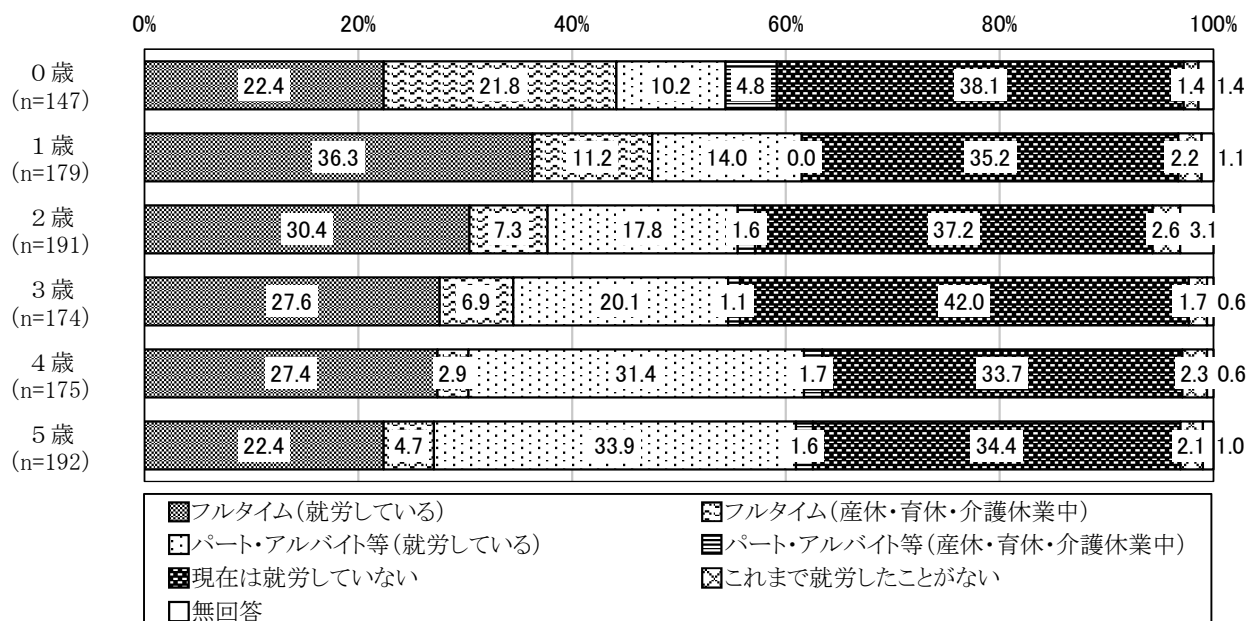
父親では「フルタイムで就労している」が最も多く、95.6%となっています。

※“その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



【母親の就労状況—子どもの年齢（学年齢）別】

母親の就労状況を子どもの年齢（学年齢）別にみると、0歳～1歳では産休・育休・介護休業中を含めた「フルタイム」の割合が4割を超えて多くなっていますが、2歳～5歳では「フルタイム」よりも「現在は就労していない」と「これまで就労したことがない」を合わせた「就労していない」のほうが多くなっています。また、2歳～5歳では年齢が上がるにつれて、産休・育休・介護休業中を含めた「パート・アルバイト等」が多くなり、5歳では35.5%となっています。



②就労日数・就労時間

※問12（1）で「1」から「4」のいずれか（就労している）に○をつけた方にうかがいました。

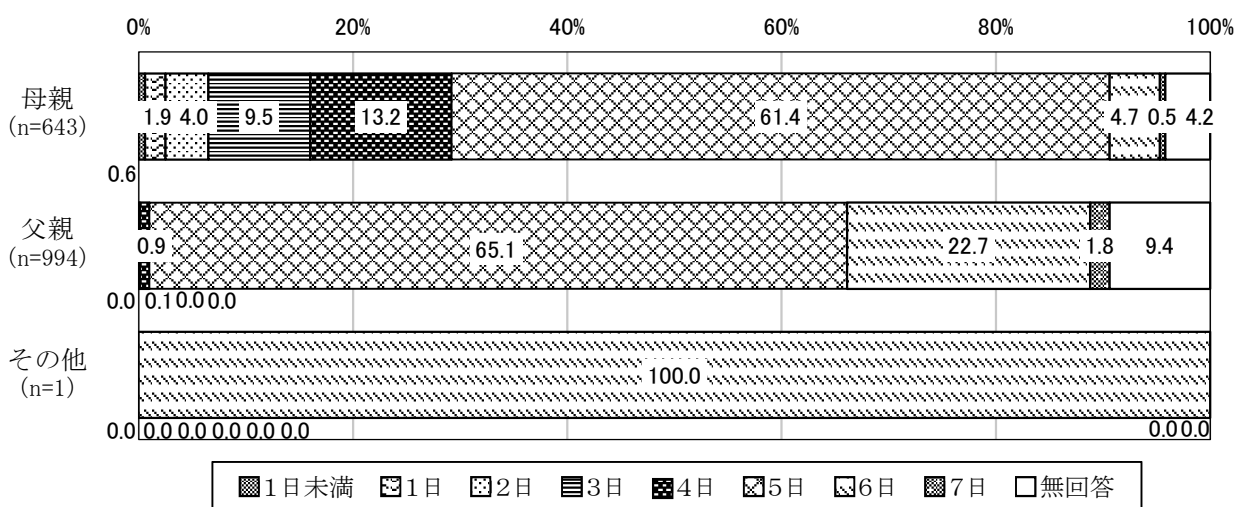
問12（2）週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【1週当たりの就労日数】

母親では「5日」が最も多く、61.4%となっています。次いで「4日」が13.2%、「3日」が9.5%と続いています。

父親では「5日」が最も多く、65.1%となっています。次いで「6日」が22.7%と続いています。

※“その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

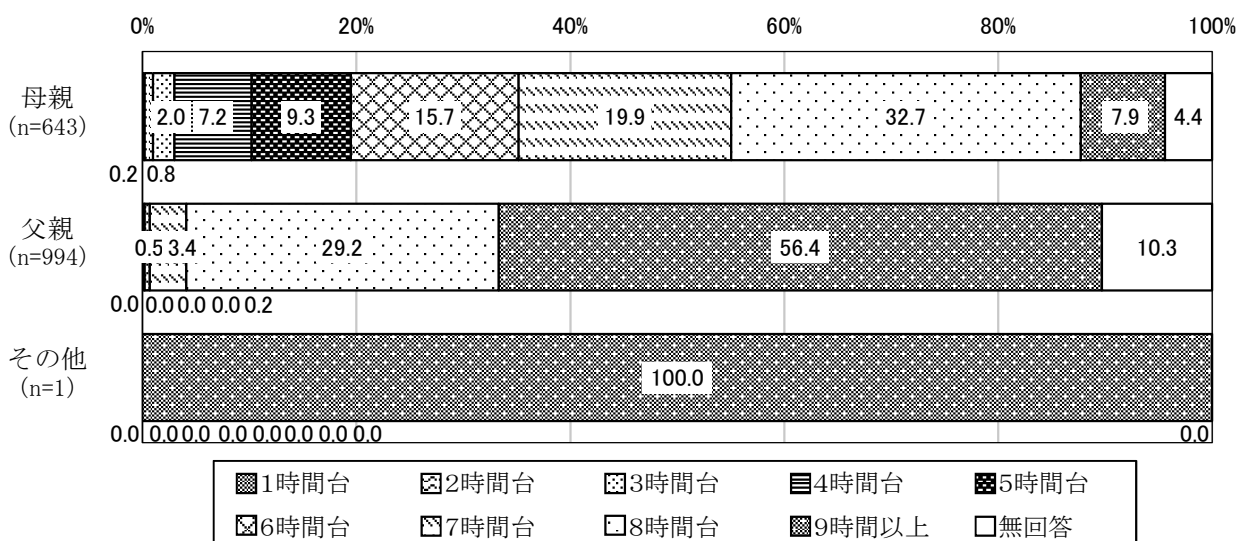


【1日当たりの就労時間】

母親では「8時間台」が最も多く、32.7%となっています。次いで「7時間台」が19.9%、「6時間台」が15.7%と続いています。

父親では「9時間以上」が最も多く、56.4%となっています。次いで「8時間台」が29.2%と続いています。

※“その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



③家を出る時間と帰宅時間

※問12（1）で「1」から「4」のいずれか（就労している）に○をつけた方にうかがいました。

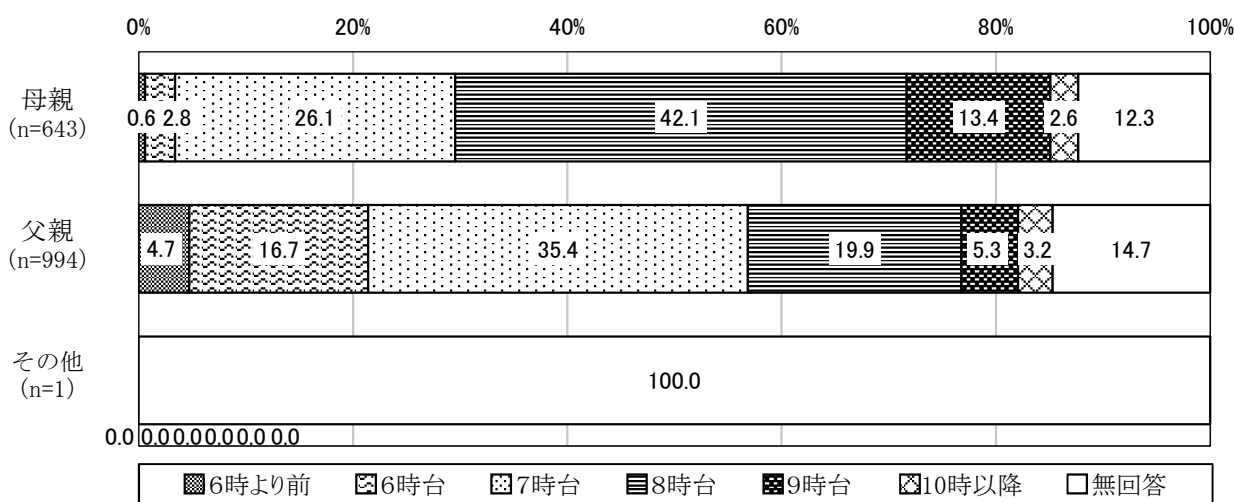
問12（3）家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合はもっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず「18時」のように24時間制でお答えください。

【家を出る時間】

母親では「8時台」が最も多く、42.1%となっています。次いで「7時台」が26.1%、「9時台」が13.4%と続いています。

父親では「7時台」が最も多く、35.4%となっています。次いで「8時台」が19.9%、「6時台」が16.7%と続いています。

※“その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

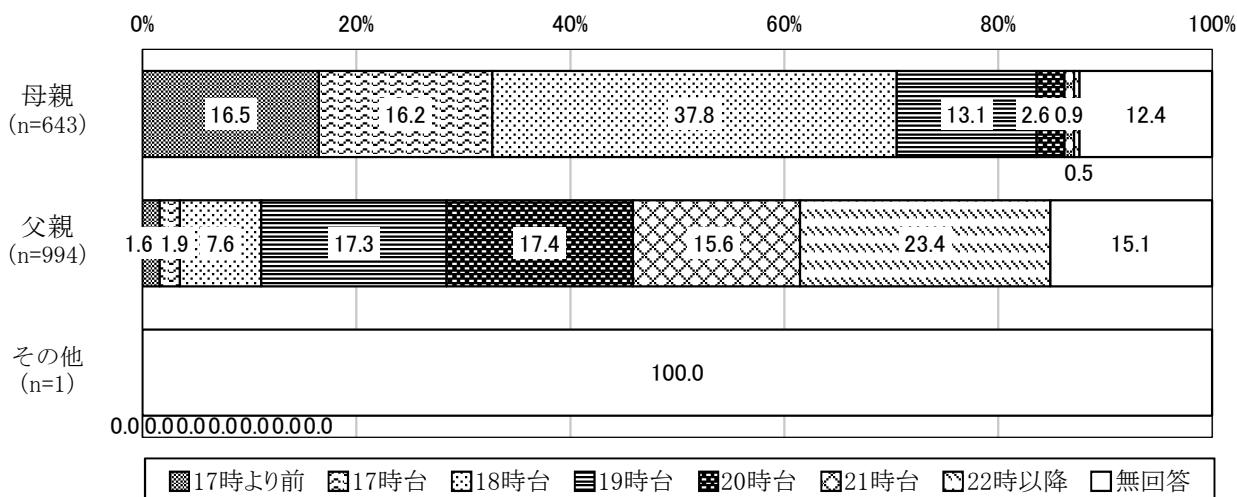


【帰宅時間】

母親では「18時台」が最も多く、37.8%となっています。次いで「17時より前」が16.5%、「17時台」が16.2%と続いています。

父親では「22時以降」が最も多く、23.4%となっています。次いで「20時間台」が17.4%、「19時台」が17.3%、「21時台」が15.6%と続いています。

※“その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



(2) フルタイムへの転換希望

※問12(1)で「3. パート・アルバイト等で就労している」または「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいました。

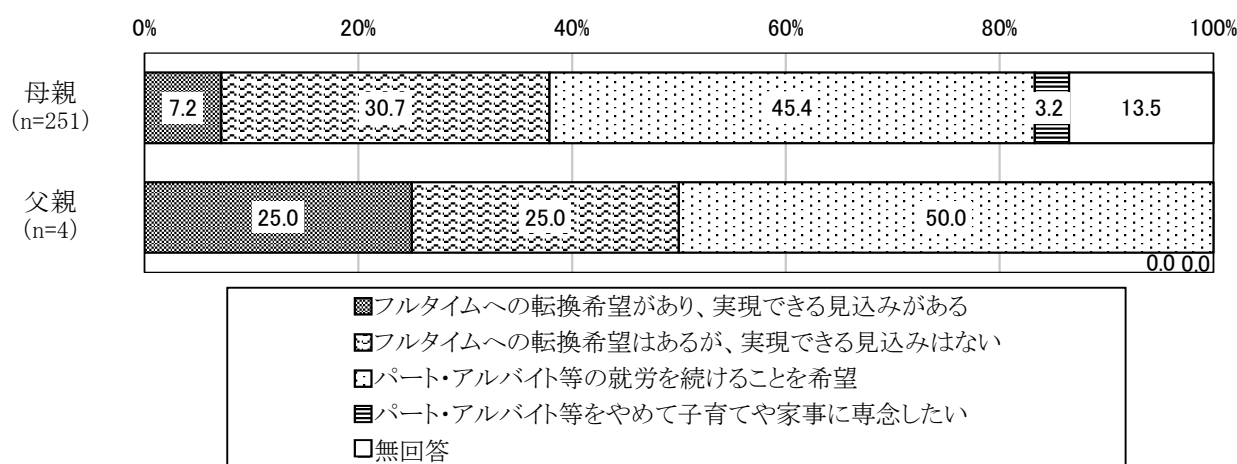
問13 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多く、45.4%となっています。次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が30.7%と続いています。

父親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多く、50.0%（4人中2人）となっています。

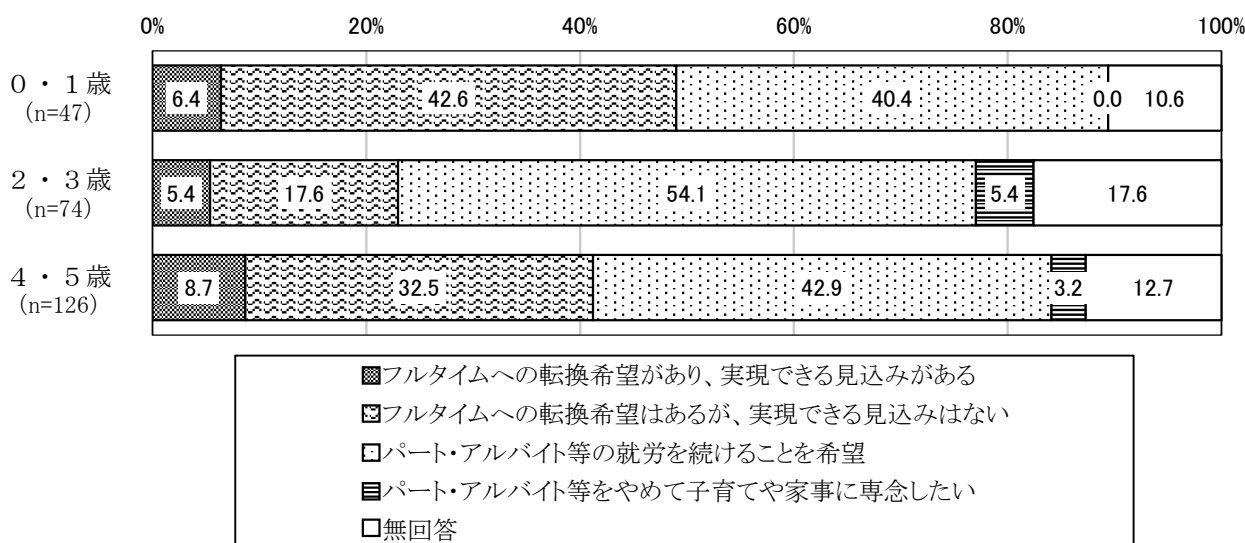
※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



【母親のフルタイムへの転換希望—子どもの年齢（学年齢）別】

母親のフルタイムへの転換希望を年齢（学年齢）別にみると、実現見込みの有無にかかわらず「転換希望あり」は0・1歳で最も多く、49.0%となっていますが、2・3歳では23.0%まで下がり、4・5歳では41.2%と上昇しています。また、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は2・3歳で最も多く、54.1%となっています。



(3) 就労希望

※問12(1)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいました。

問14 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○を付け、該当する下線部に数字をご記入ください。

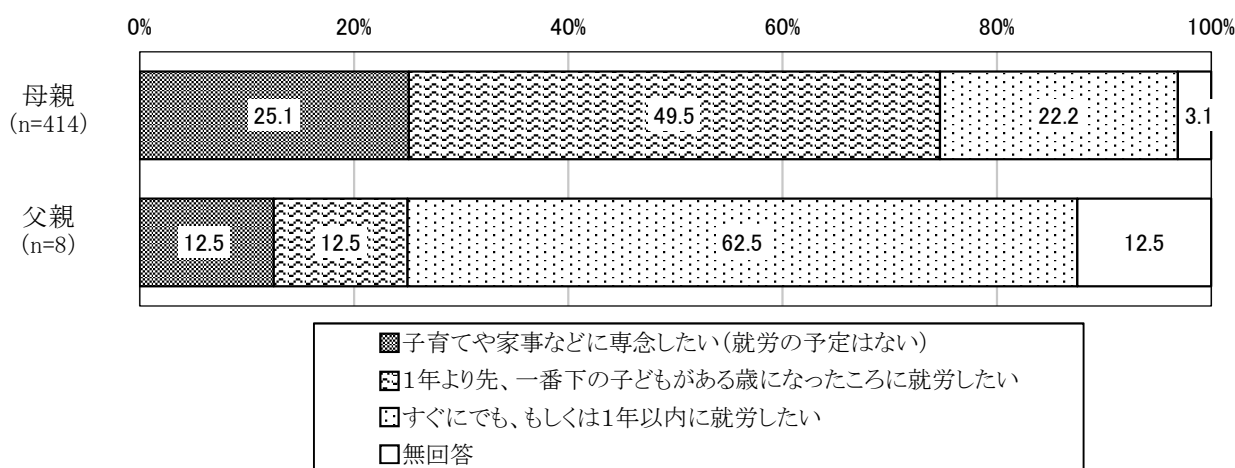
①就労希望

母親では「1年より先、一番下の子どもがある歳になったころに就労したい」が最も多く、49.5%となっています。次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が25.1%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が22.2%と続いています。

父親では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が最も多く、62.5%(8人中5人)となっています。

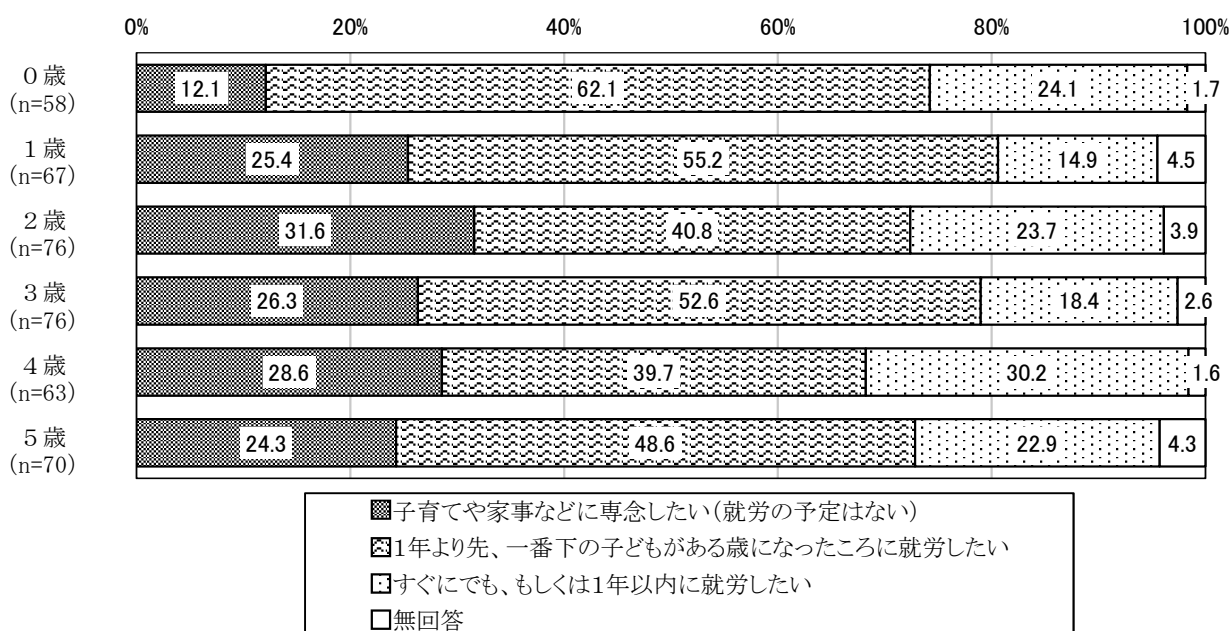
※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



【母親の就労希望—子どもの年齢(学年齢)別】

母親の就労希望を子どもの年齢(学年齢)別にみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と「1年より先、一番下の子どもがある歳になったころに就労したい」の計は0歳で86.2%と最も多く、1歳・3歳・4歳・5歳では7割前後となっていますが、2歳では64.5%とほかの年齢と比べて少なくなっています。



【一番下の子どもが何歳になったところに仕事に就きたいか】

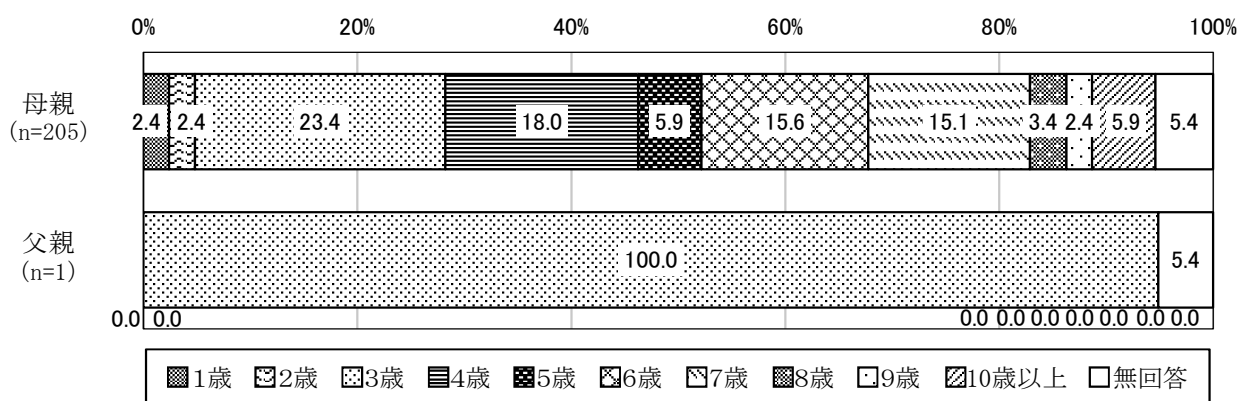
※問14で「1年より先、または一番下の子どもがある年齢になったところに仕事に就きたい」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「3歳」が最も多く、23.4%となっています。次いで「4歳」が18.0%、「6歳」が15.6%、「7歳」が15.1%と続いています。

父親では「3歳」が100%（1人中1人）となっています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



②就労形態

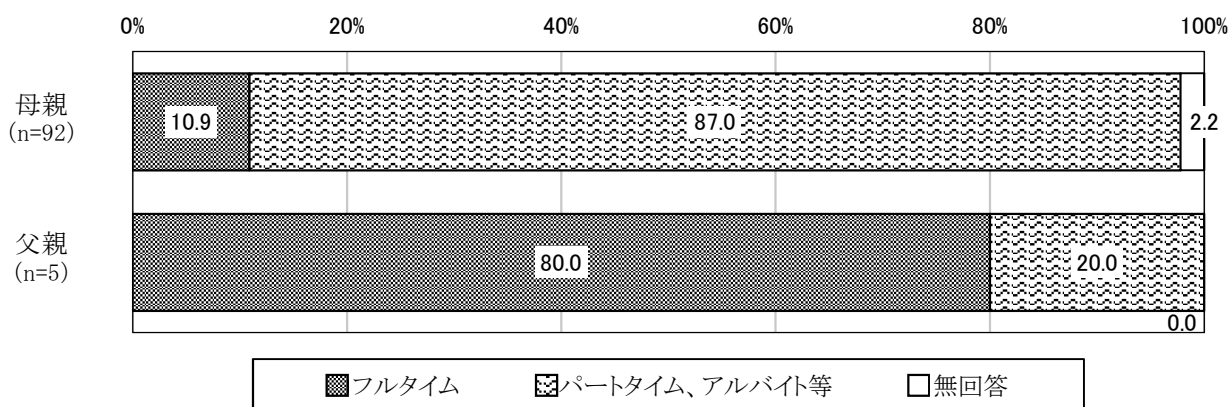
※問14で「すぐにでも、もしくは1年以内に仕事に就労したい」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「パートタイム、アルバイト等」が最も多く、87.0%となっています。次いで「フルタイム」が10.9%と続いています。

父親では「フルタイム」が最も多く、80.0%（5人中4人）となっています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



【パートタイム、アルバイト等の1週当たりの就労日数】

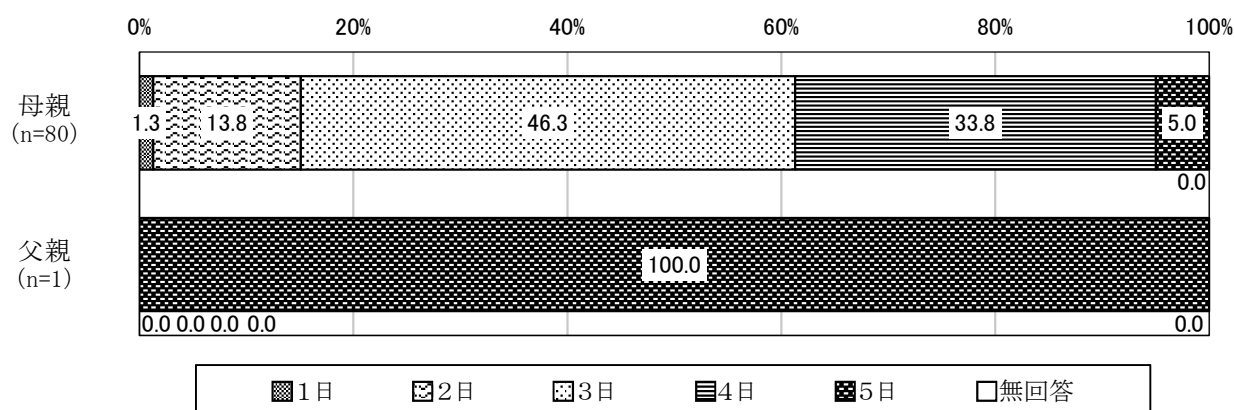
※問14で「パートタイム、アルバイト等」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「3日」が最も多く、46.3%となっています。次いで「4日」が33.8%、「2日」が13.8%と続いています。

父親では「5日」が100%（1人中1人）となっています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



【パートタイム、アルバイト等の1日当たりの就労時間】

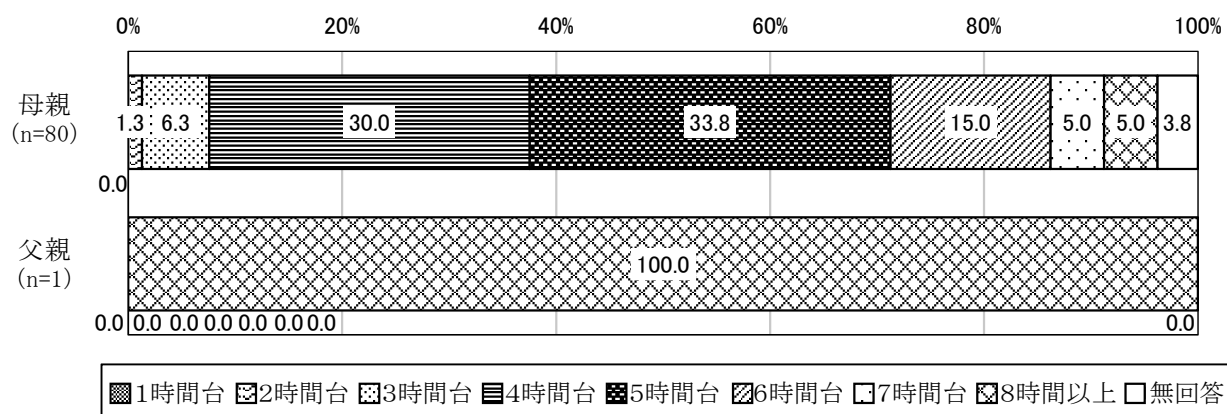
※問14で「パートタイム、アルバイト等」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「5時間台」が最も多く、33.8%となっています。次いで「4時間台」が30.0%、「6時間台」が15.0%と続いています。

父親では「8時間以上」が100%（1人中1人）となっています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



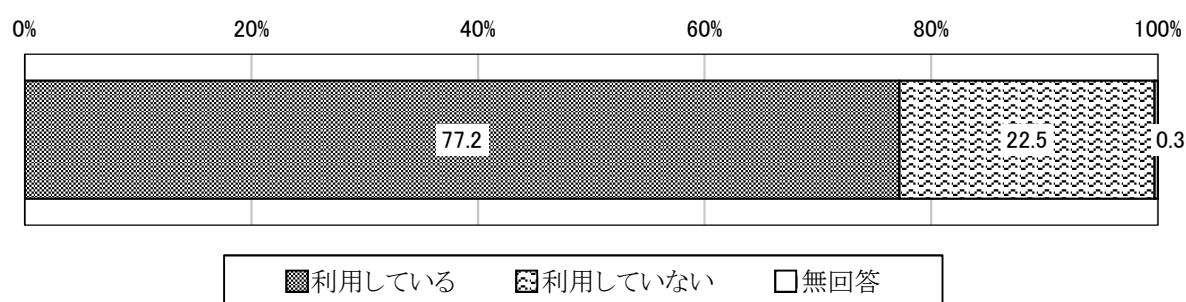
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 利用の有無

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

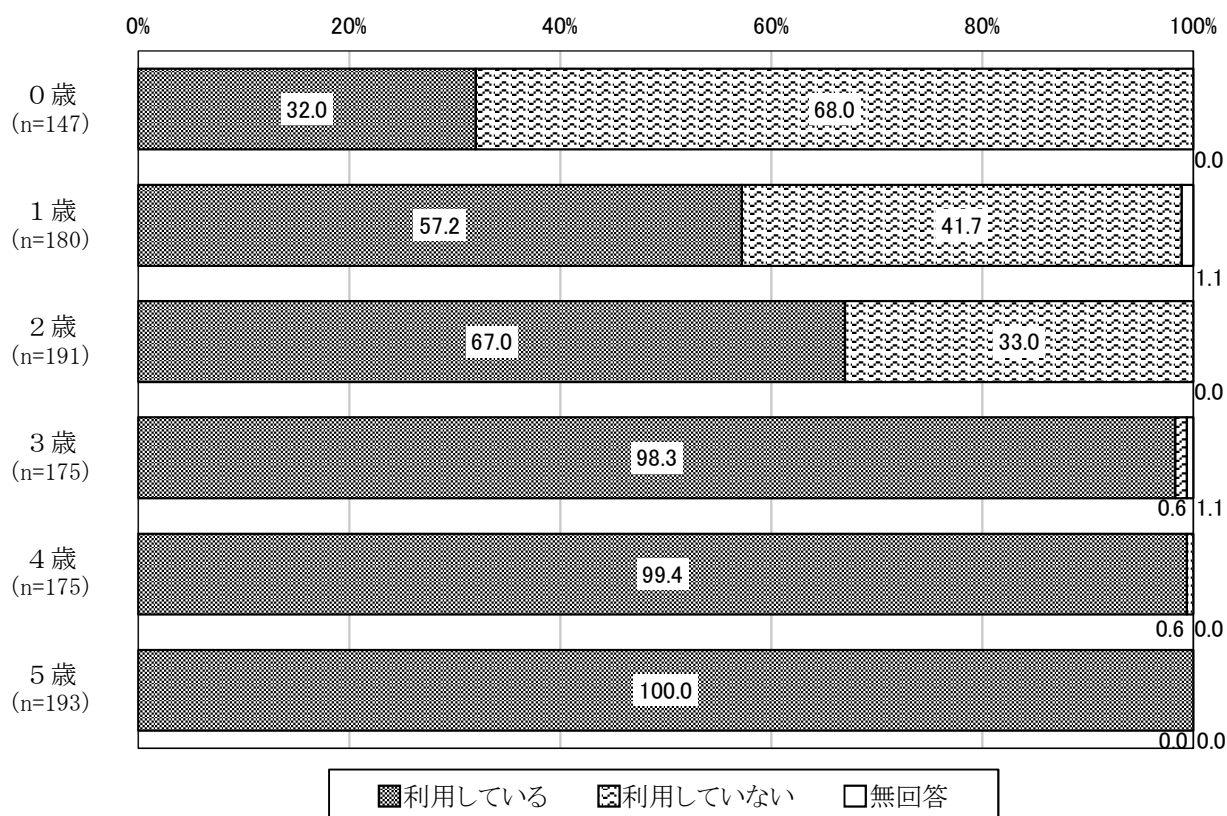
「利用している」が77.2%、「利用していない」が22.5%となっています。

n=1,074



【利用の有無－子どもの年齢（学年齢）別】

「利用している」は年齢（学年齢）が上がるほど多くなっており、0歳では32.0%、1歳では57.2%、2歳では67.0%、3歳では98.3%、4歳では99.4%、5歳では100%となっています。



(2) 現在の利用状況と今後の利用希望

※問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいました。

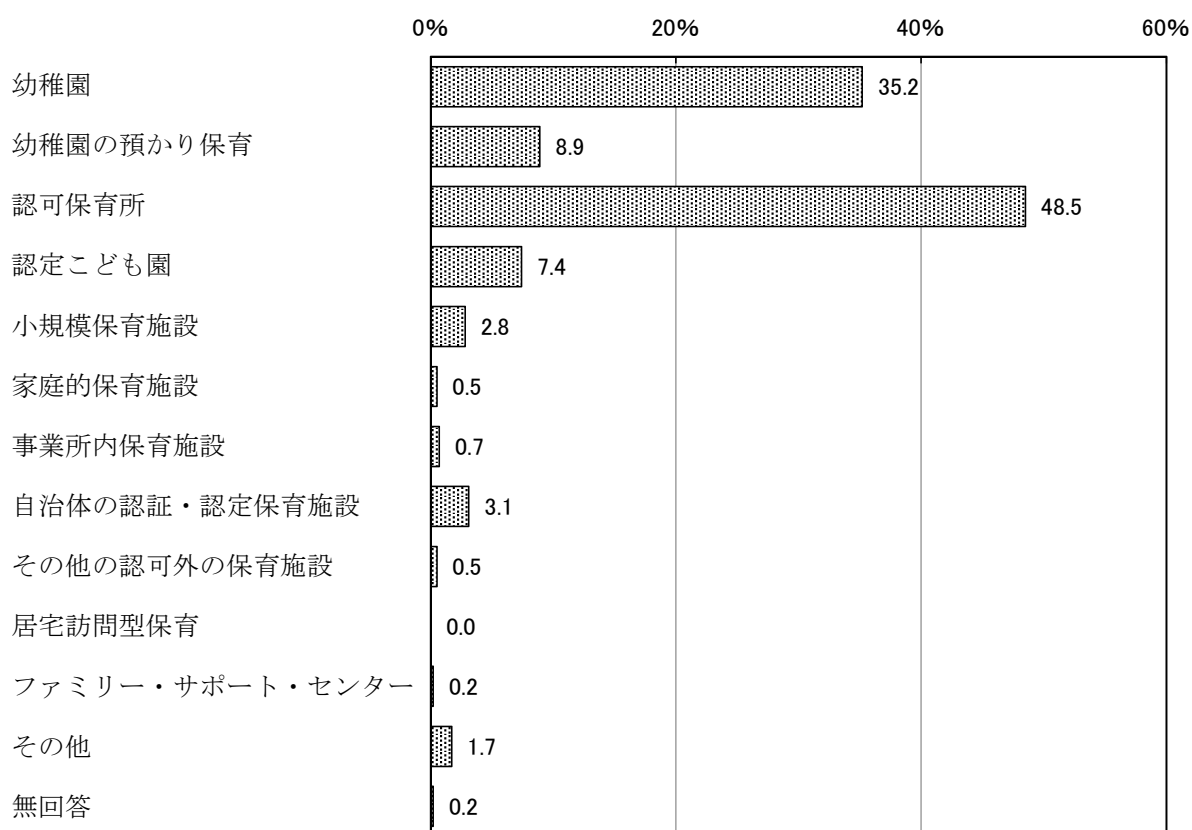
問15-1 宛名のお子さんは、平日（月～金）、幼稚園や保育園などを利用していますか。
年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに
○をつけてください。

また、平日（月～金）、幼稚園や保育園などを定期的にどのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間
（何時から何時まで）かを、具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず「18」時のよ
うに24時間制でご記入ください。

①現在利用している事業

「認可保育所」が最も多く、48.5%となっています。次いで「幼稚園」が35.2%、「幼稚園の
預かり保育」が8.9%、「認定こども園」が7.4%と続いています。

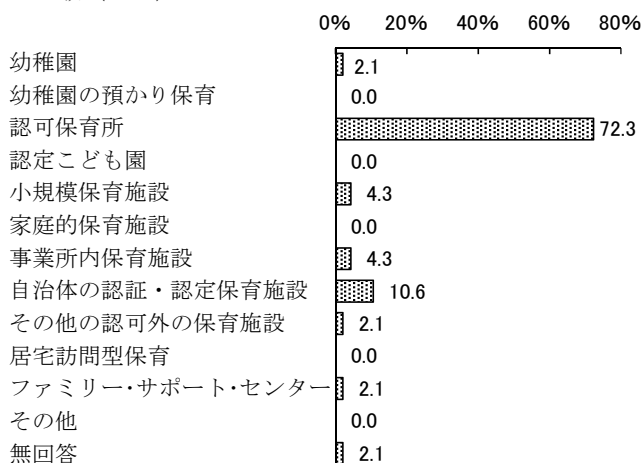
n=829（複数回答）



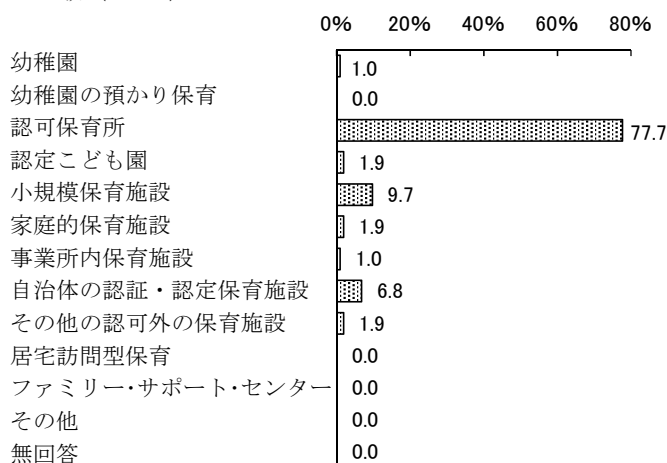
【現在利用している事業—子どもの年齢（学年齢）別】

現在利用している事業を年齢（学年齢）別にみると、0歳～2歳では「認可保育所」が最も多く、6割半ばから7割台となっています。3歳～5歳では「幼稚園」が最も多く、約5割となっており、次いで「認可保育所」「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」と続いています。

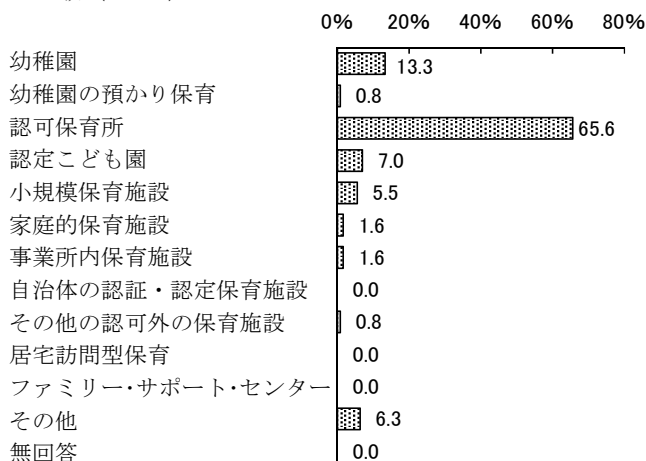
■ 0歳（n=47）



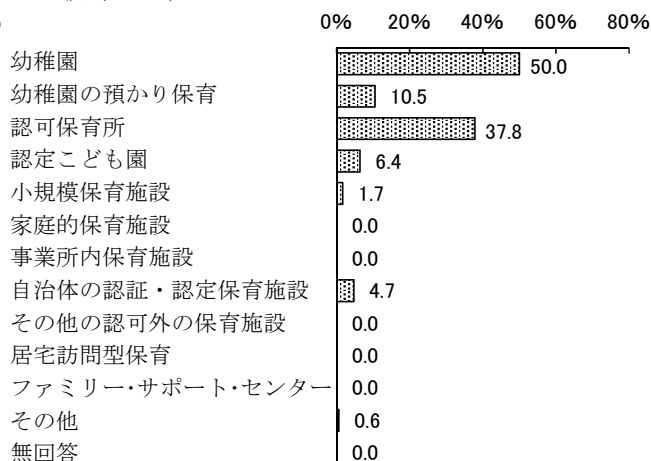
■ 1歳（n=103）



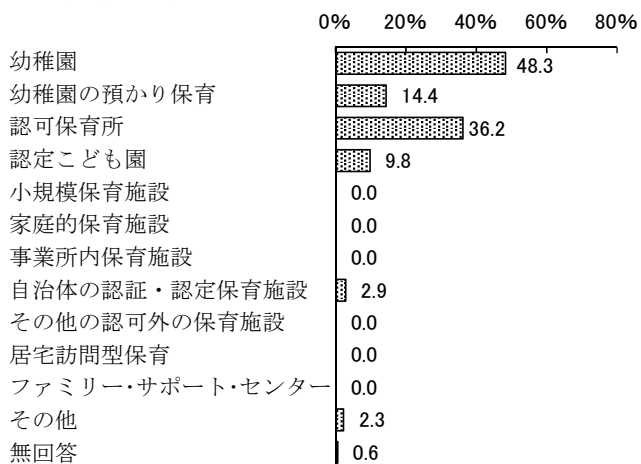
■ 2歳（n=128）



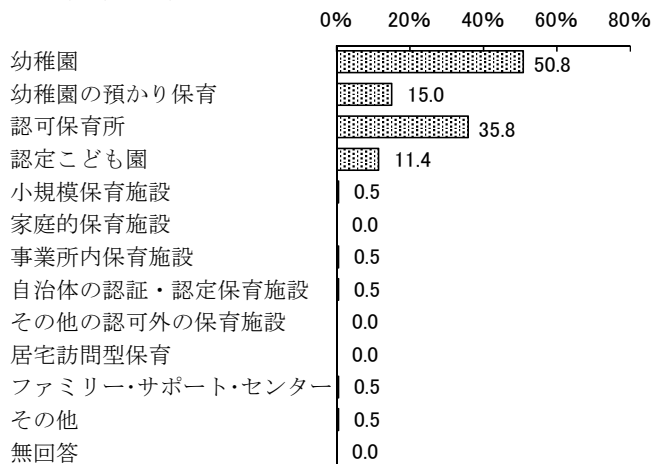
■ 3歳（n=172）



■ 4歳（n=174）



■ 5歳（n=193）



②現在の利用状況

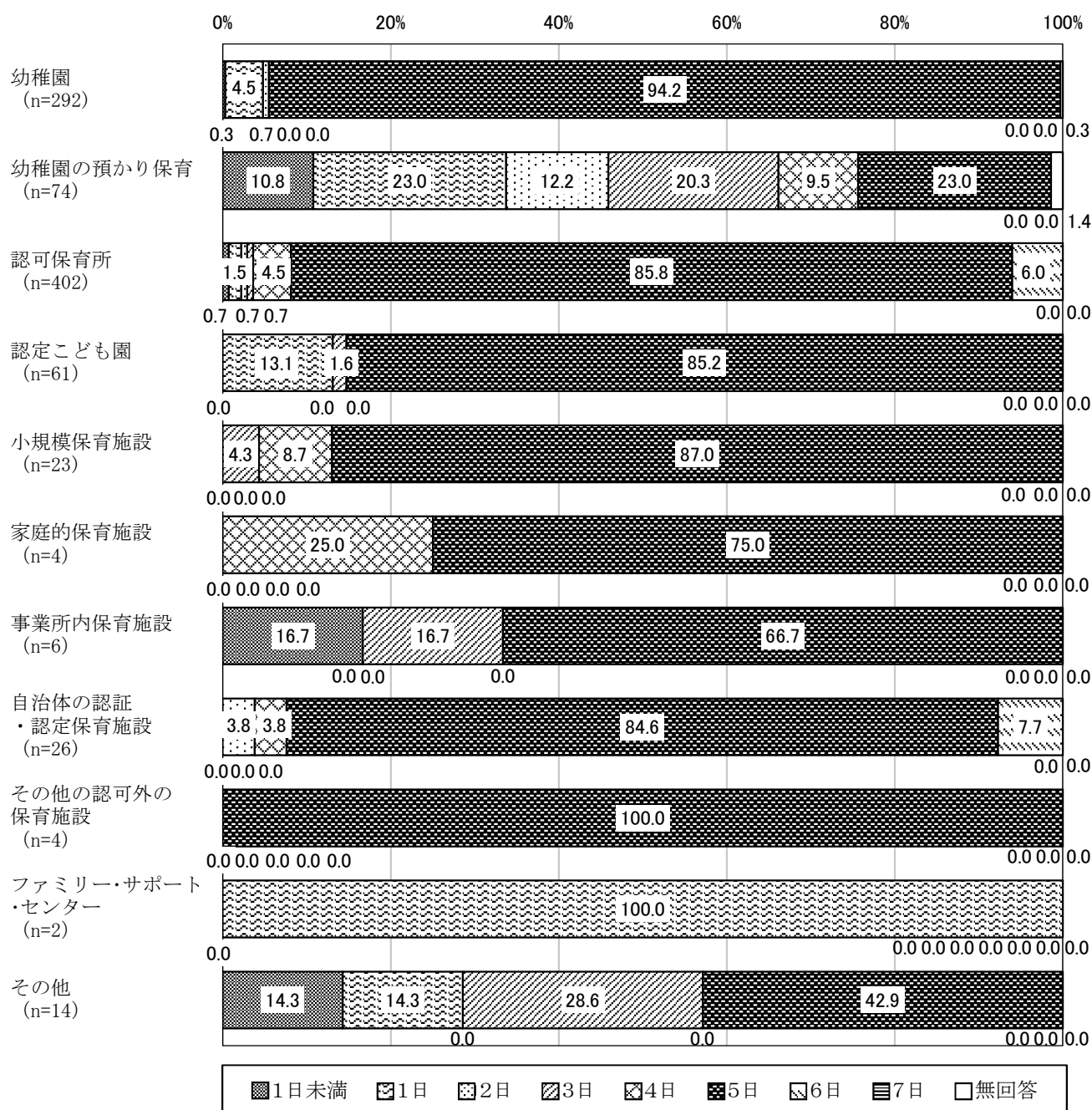
【1週当たりの利用日数】

“幼稚園” “認可保育所” “認定こども園” は「5日」が最も多く、いずれも85%を超えており、特に“幼稚園”では94.2%と多くなっています。“幼稚園の預かり保育”は「1日」と「5日」が最も多く、23.0%となっており、「3日」が20.3%、「2日」が12.2%と続いています。

※ “居宅訪問型保育” は、回答対象者がいませんでした。

※ “小規模保育施設” “家庭的保育施設” “事業所内保育施設” “自治体の認証・認定保育施設”

“その他の認可外の保育施設” “ファミリー・サポート・センター” は回答者数が少ないため、参考値となります。



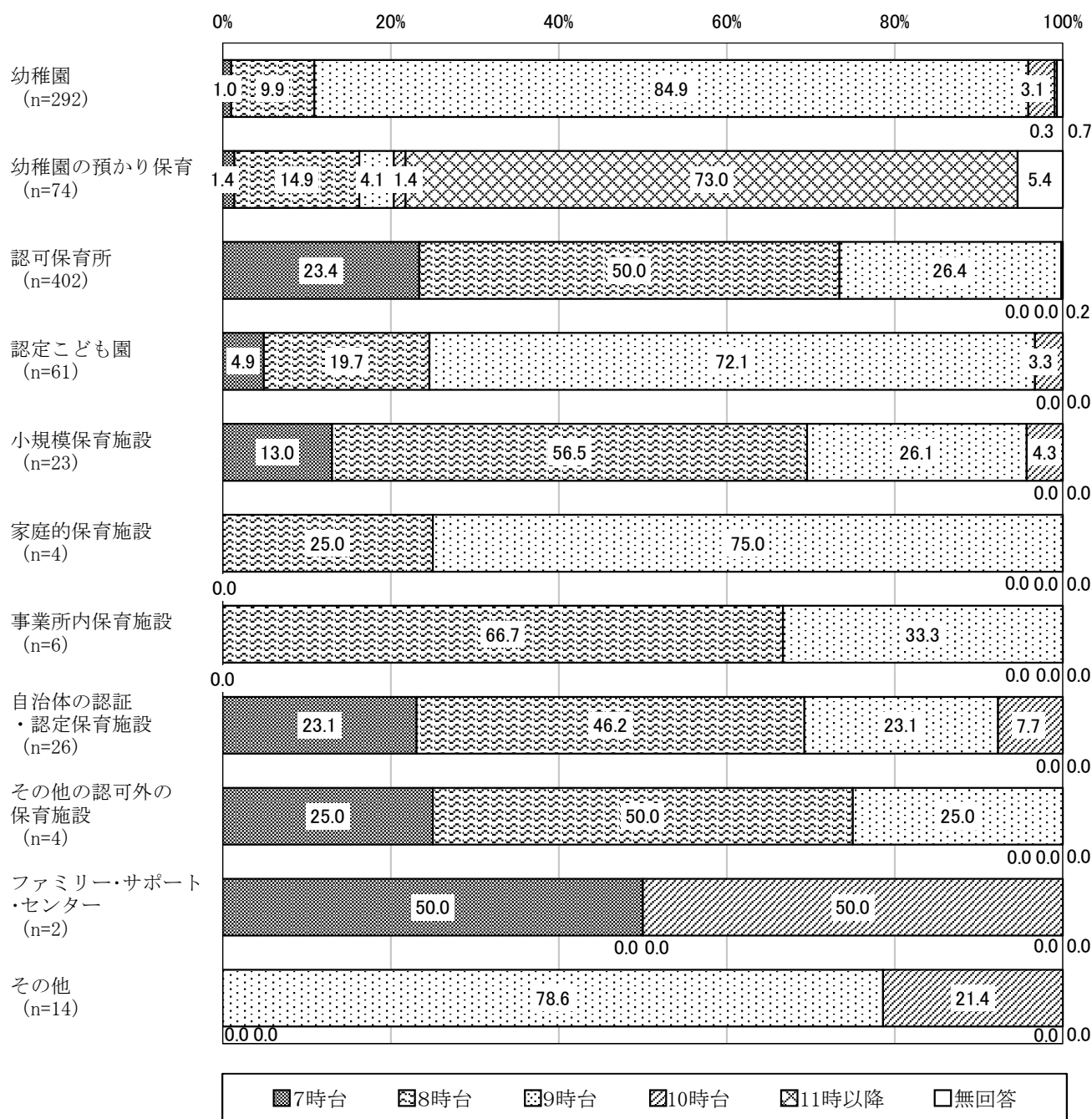
【1日当たりの利用時間：開始時間】

“幼稚園”は「9時台」が最も多く84.9%となっています。“幼稚園の預かり保育”は「11時以降」が最も多く、73.0%となっています。“認可保育所”は「8時台」が最も多く、50.0%となっており、「9時台」が26.4%、「7時台」が23.4%と続いています。“認定こども園”は「9時台」が最も多く、72.1%となっています。

※ “居宅訪問型保育”は、回答対象者がいませんでした。

※ “小規模保育施設” “家庭的保育施設” “事業所内保育施設” “自治体の認証・認定保育施設”

“その他の認可外の保育施設” “ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。



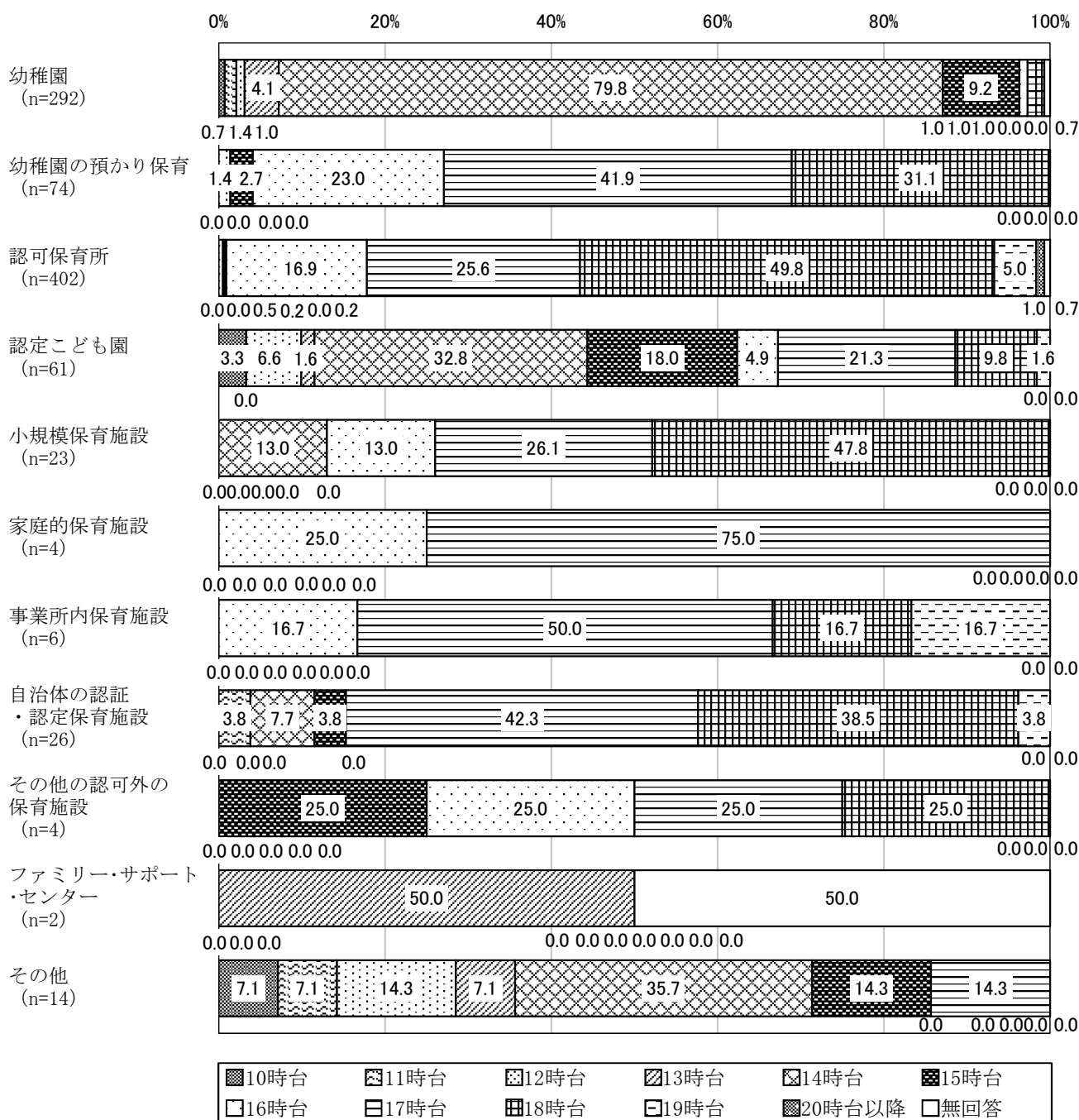
【1日当たりの利用時間：終了時間】

“幼稚園”は「14時台」が最も多く79.8%となっています。“幼稚園の預かり保育”は「17時台」が最も多く、41.9%となっており、「18時台」が31.1%、「16時台」が23.0%と続いています。“認可保育所”は「18時台」が最も多く、49.8%となっており、「17時台」が25.6%と続いています。“認定こども園”は「14時台」が最も多く、32.8%となっており、「17時台」が21.3%と続いています。

※ “居宅訪問型保育”は、回答対象者がいませんでした。

※ “小規模保育施設” “家庭的保育施設” “事業所内保育施設” “自治体の認証・認定保育施設”

“その他の認可外の保育施設” “ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。



③今後の利用希望

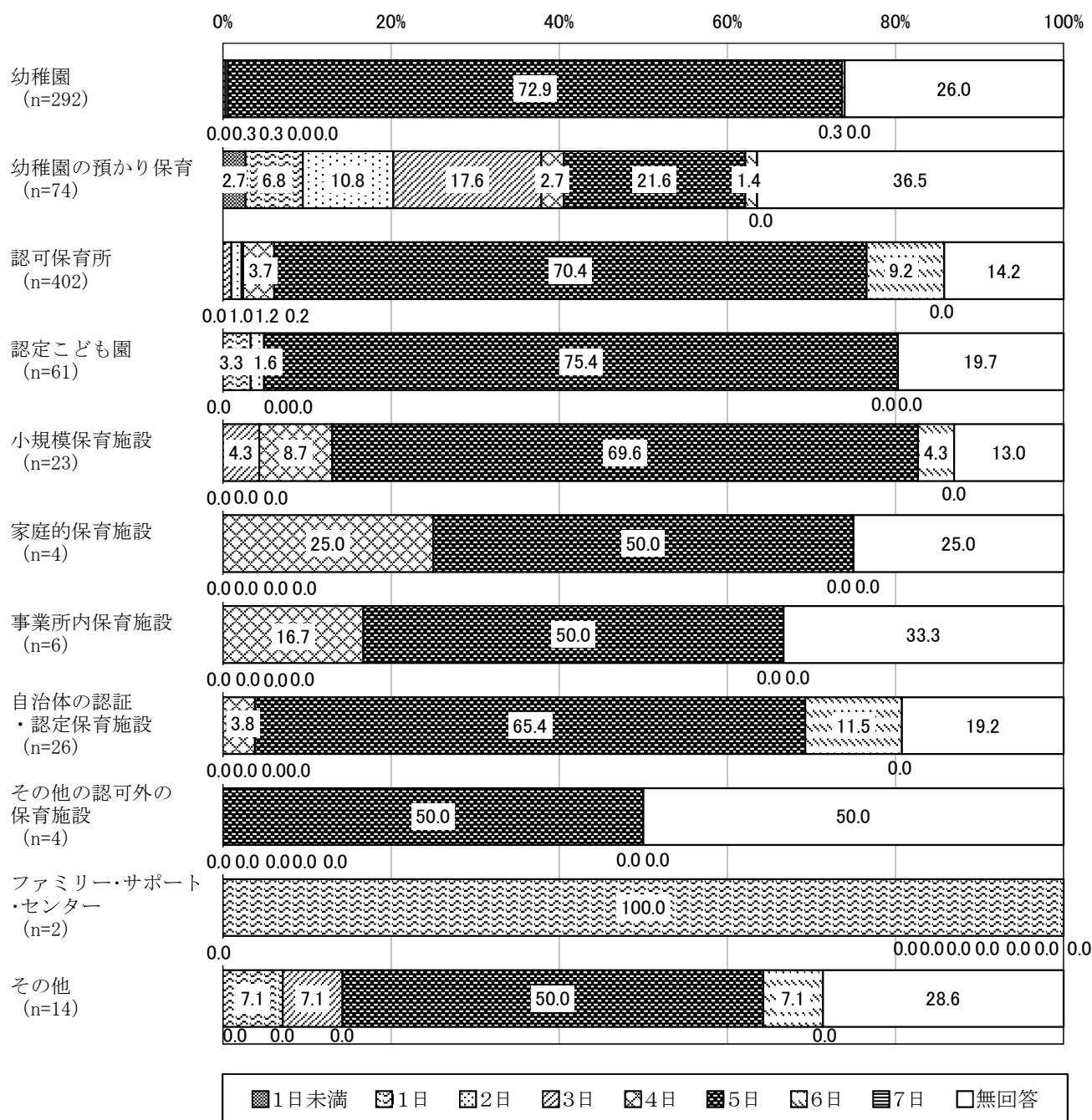
【1週当たりの利用日数】

“幼稚園” “認可保育所” “認定こども園” は「5日」が最も多く、いずれも70%を超えており、特に“認定こども園”では75.4%と多くなっています。“幼稚園の預かり保育”は「5日」が最も多く、21.6%となっており、「3日」が17.6%と続いています。

※ “居宅訪問型保育” は、回答対象者がいませんでした。

※ “小規模保育施設” “家庭的保育施設” “事業所内保育施設” “自治体の認証・認定保育施設”

“その他の認可外の保育施設” “ファミリー・サポート・センター” は回答者数が少ないため、参考値となります。



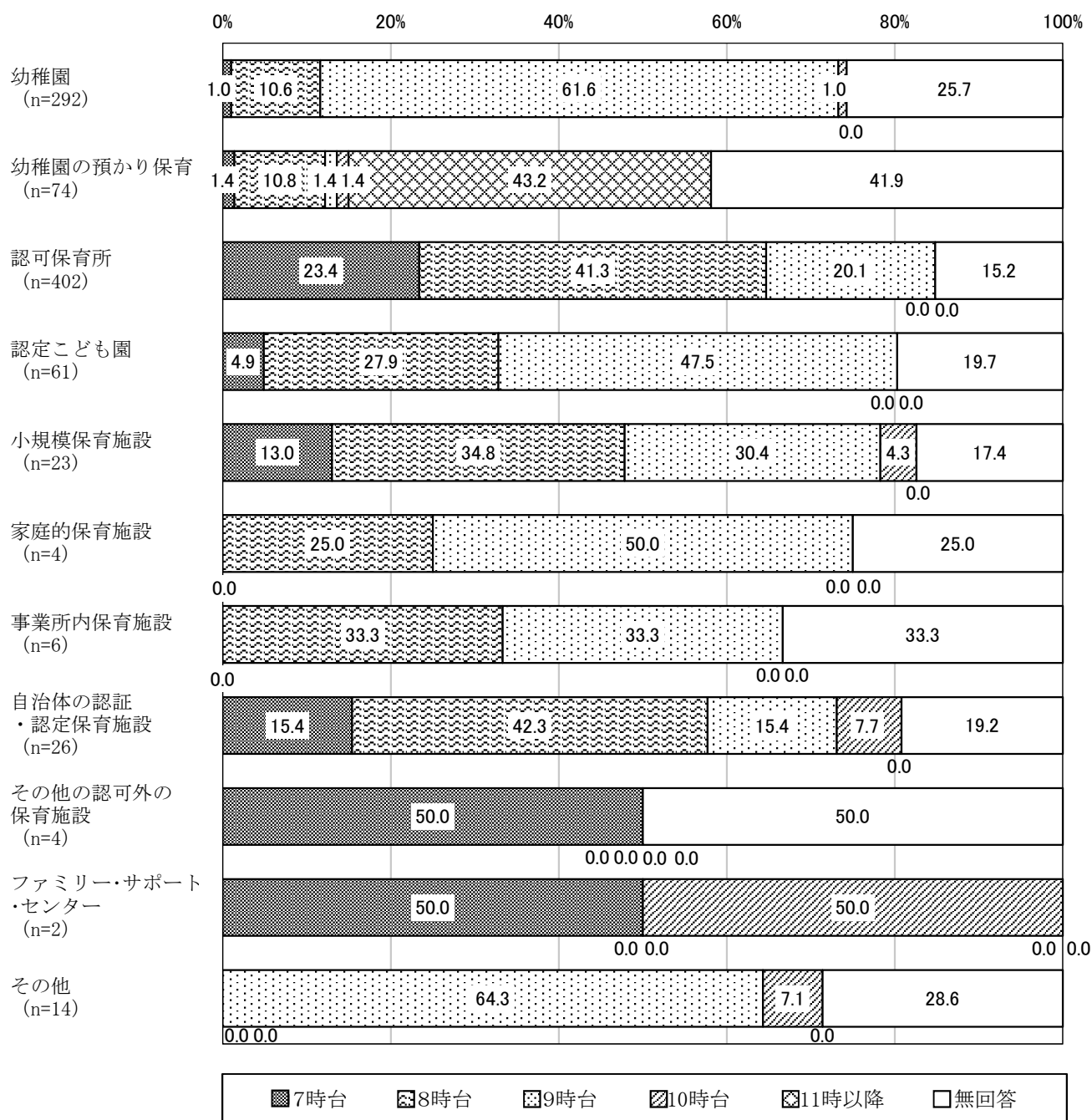
【1日当たりの利用時間：開始時間】

“幼稚園”は「9時台」が最も多く61.6%となっています。“幼稚園の預かり保育”は「11時以降」が最も多く、43.2%となっています。“認可保育所”は「8時台」が最も多く、41.3%となっており、「7時台」が23.4%、「9時台」が20.1%と続いています。“認定こども園”は「9時台」が最も多く、47.5%となっており、「8時台」が27.9%と続いています。

※ “居宅訪問型保育”は、回答対象者がいませんでした。

※ “小規模保育施設” “家庭的保育施設” “事業所内保育施設” “自治体の認証・認定保育施設”

“その他の認可外の保育施設” “ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。



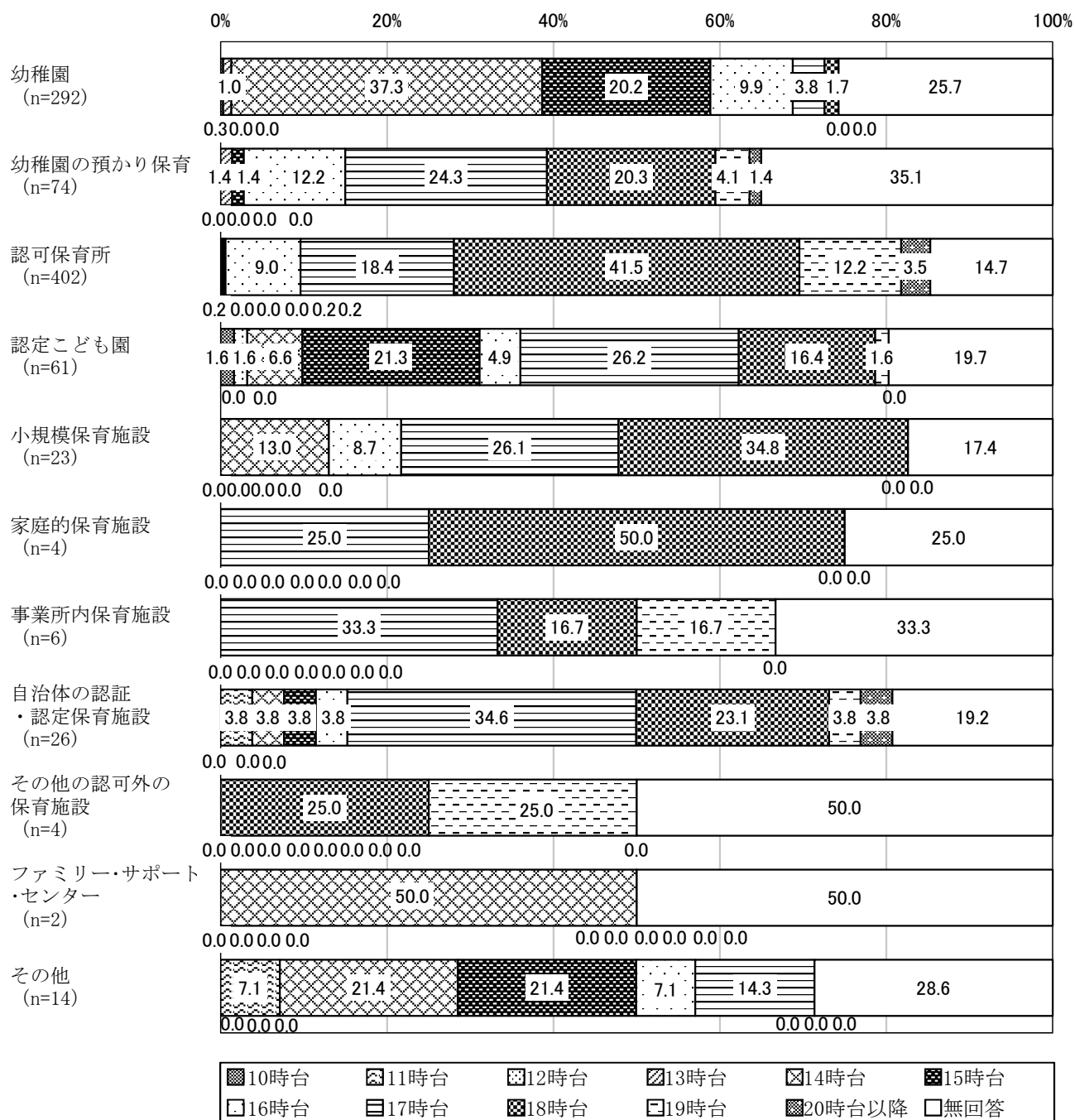
【1日当たりの利用時間：終了時間】

“幼稚園”は「14時台」が最も多く、37.3%となっており、「15時台」が20.2%と続いています。“幼稚園の預かり保育”は「17時台」が最も多く、24.3%となっており、「18時台」が20.3%と続いています。“認可保育所”は「18時台」が最も多く、41.5%となっています。“認定こども園”は「17時台」が最も多く、26.2%となっており、「15時台」が21.3%と続いています。

※ “居宅訪問型保育”は、回答対象者がいませんでした。

※ “小規模保育施設” “家庭的保育施設” “事業所内保育施設” “自治体の認証・認定保育施設”

“その他の認可外の保育施設” “ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。



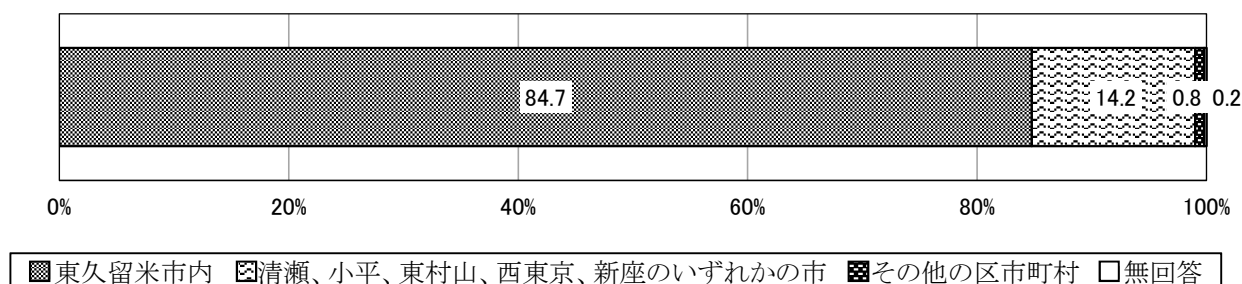
(3) 利用場所

※問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいました。

問15-2 問15-1 であげたような幼稚園や保育園などの現在の利用場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「東久留米市内」が最も多く、84.7%となっています。次いで「清瀬、小平、東村山、西東京、新座のいずれかの市」が14.2%と続いています。

n=829



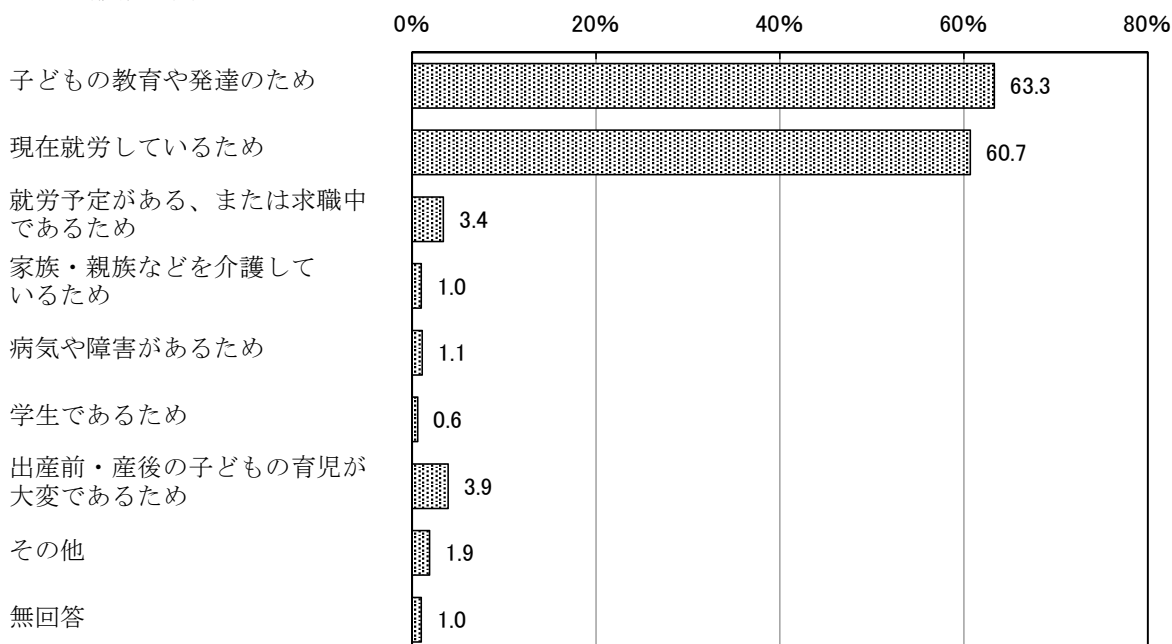
(4) 利用している理由

※問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいました。

問15-3 子育てをしている方が、平日（月～金）に定期的に幼稚園や保育園などを利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの教育や発達のため」が最も多く、63.3%となっています。次いで「子育てをしている方が現在就労しているため」が60.7%と続いています。

n=829（複数回答）



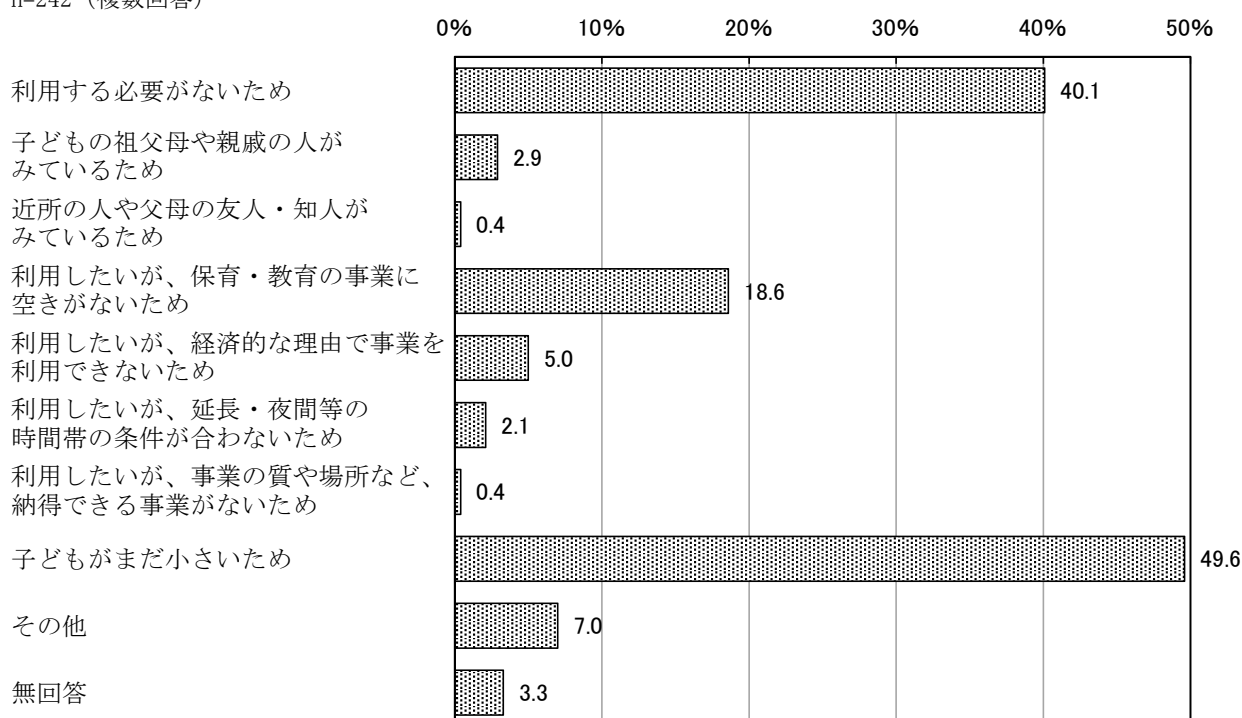
(5) 利用していない理由

※問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいました。

問15-4 利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。「8. 子どもがまだ小さいため」を選んだ場合は、下線部に年齢を数字でご記入ください。

「子どもがまだ小さいため」が最も多く、49.6%となっています。次いで「(子どもの教育や発達のため、あるいは子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がないため」が40.1%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがないため」が18.6%と続いています。

n=242 (複数回答)

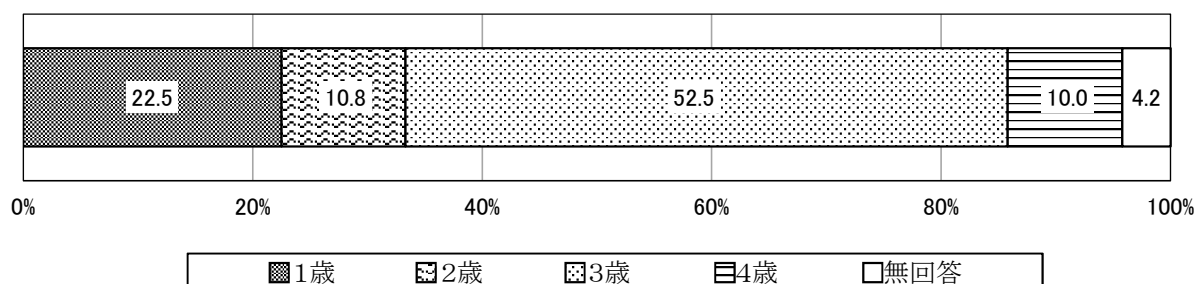


【子どもが何歳くらいになったら利用したいか】

※問15-4で「子どもがまだ小さいため」に○をつけた方にうかがいました。

「3歳」が最も多く、52.5%となっています。次いで「1歳」が22.5%、「2歳」が10.8%と続いています。

n=120

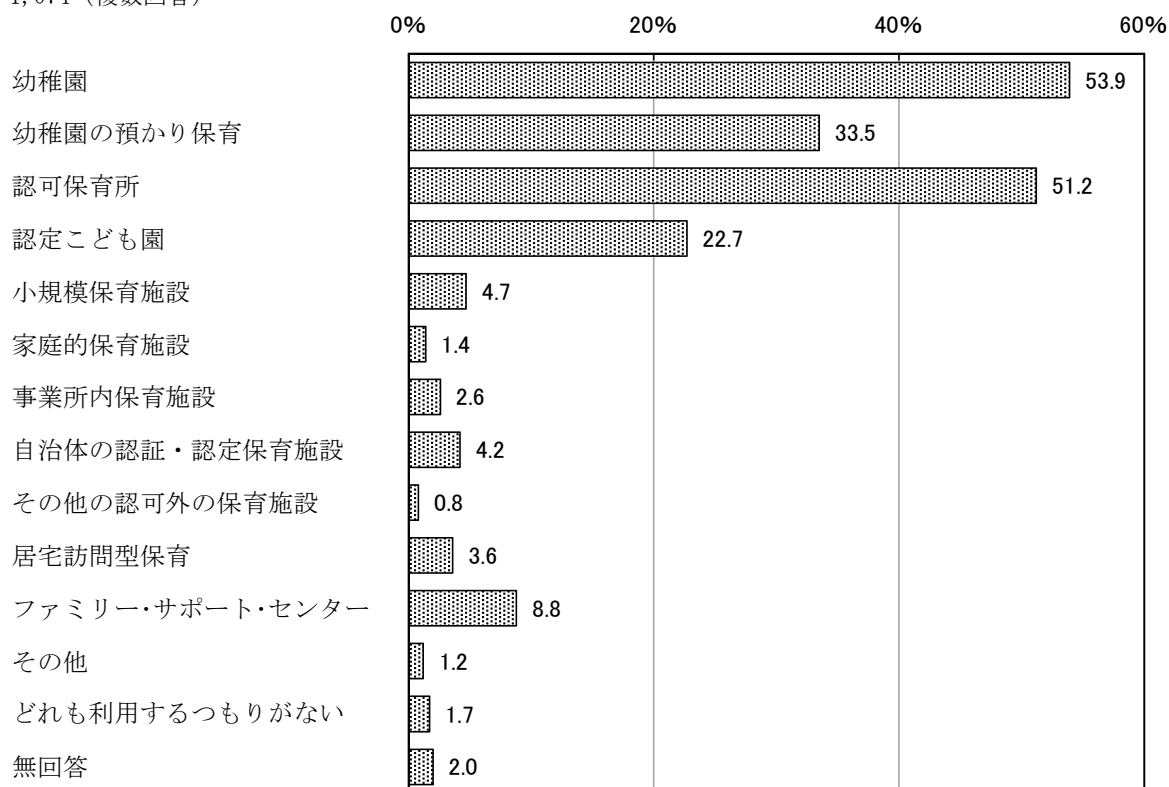


（６）定期的な教育・保育事業の利用希望

問16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日（月～金）の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「幼稚園」が最も多く、53.9%となっています。次いで「認可保育所」が51.2%、「幼稚園の預かり保育」が33.5%、「認定こども園」が22.7%と続いています。

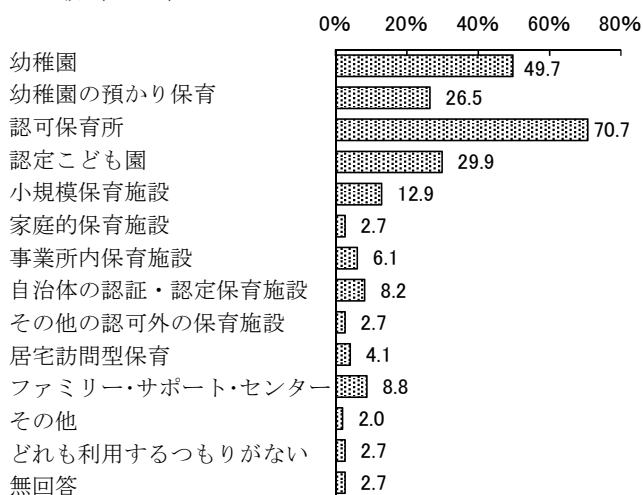
n=1,074（複数回答）



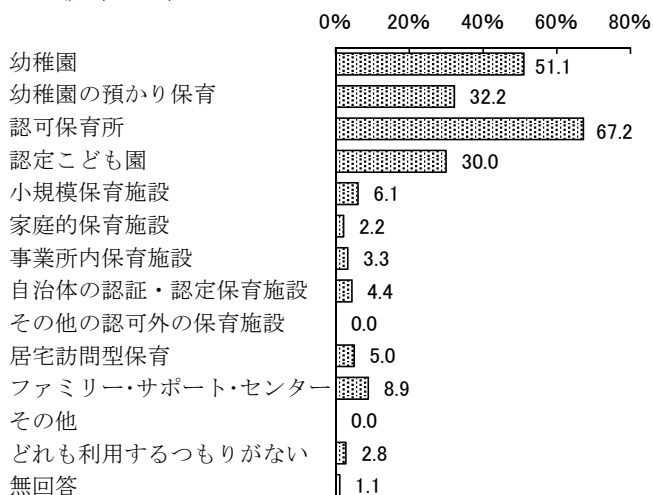
【定期的な教育・保育事業の利用希望—子どもの年齢（学年齢）別】

定期的な教育・保育事業の利用希望を年齢（学年齢）別にみると、0歳～1歳では「認可保育所」が最も多く、6割後半から約7割となっています。2歳では「幼稚園」と「認可保育所」がどちらも5割を超え、多くなっています。3歳～5歳では「幼稚園」が最も多く、いずれも5割後半となっています。

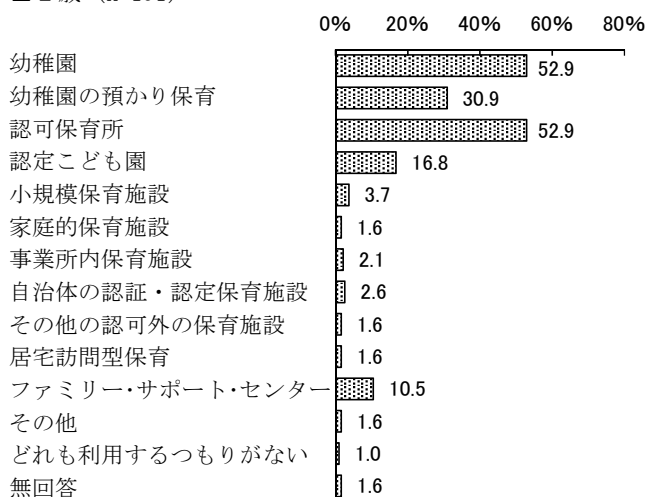
■ 0歳（n=147）



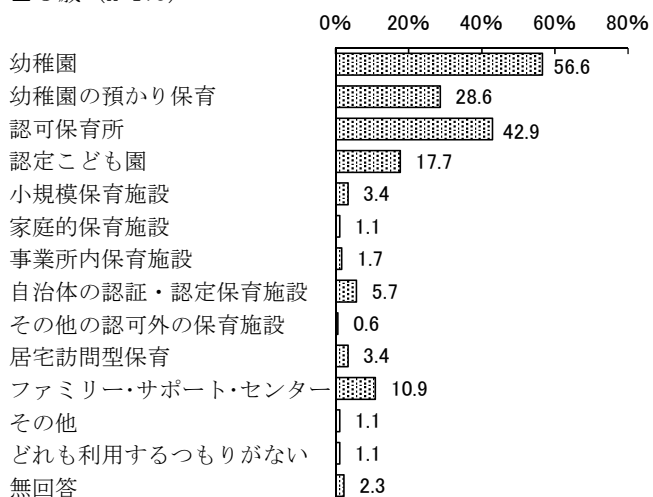
■ 1歳（n=180）



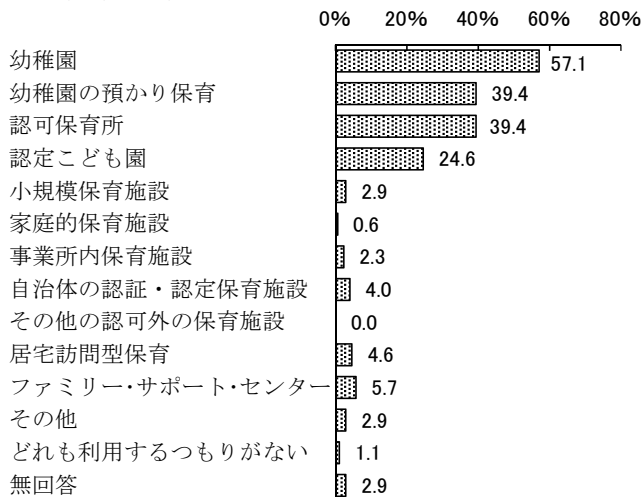
■ 2歳（n=191）



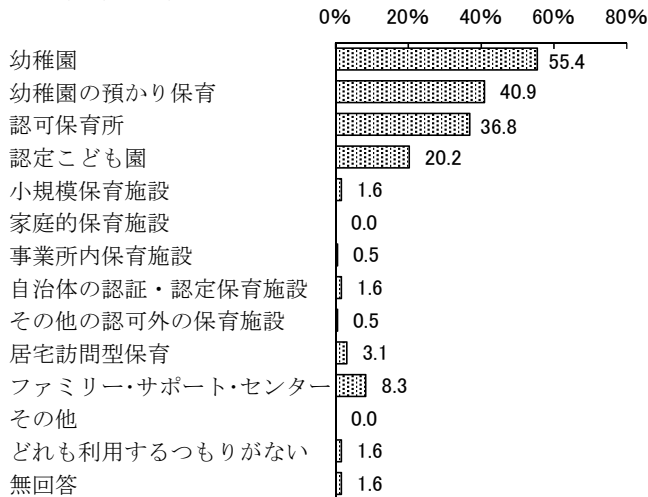
■ 3歳（n=175）



■ 4歳（n=175）



■ 5歳（n=193）



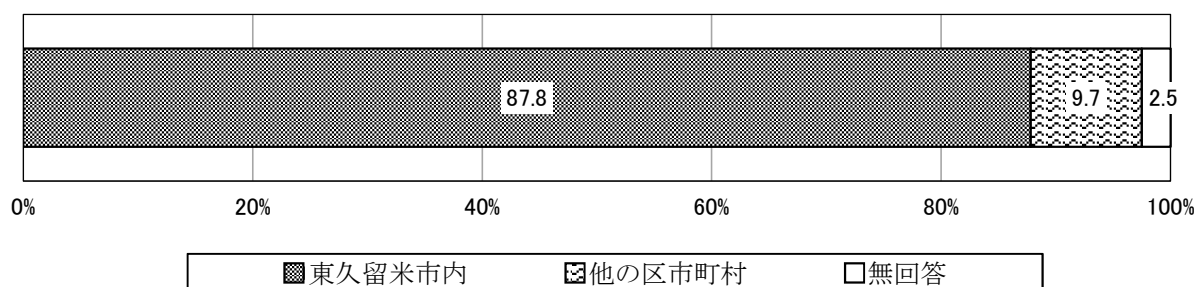
（７）定期的な教育・保育事業を利用したい場所

※問16で「１．幼稚園」から「12．その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいました。

問16－１ 問16のような幼稚園や保育園などを利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号１つに○をつけてください。

「東久留米市内」が87.8%、「他の区市町村」が9.7%となっています。

n=1,035



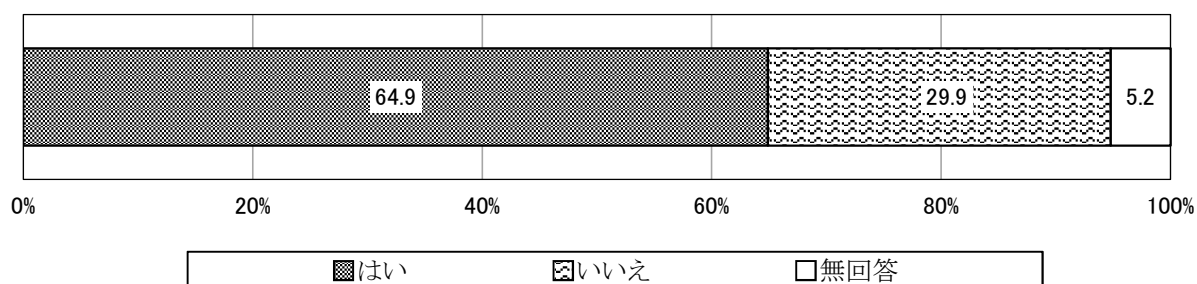
（８）幼稚園を利用したい強い希望の有無

※問16で「１．幼稚園」または「２．幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「３．認可保育所」～「12．その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいました。

問16－２ 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

「はい」が64.9%、「いいえ」が29.9%となっています。

n=271

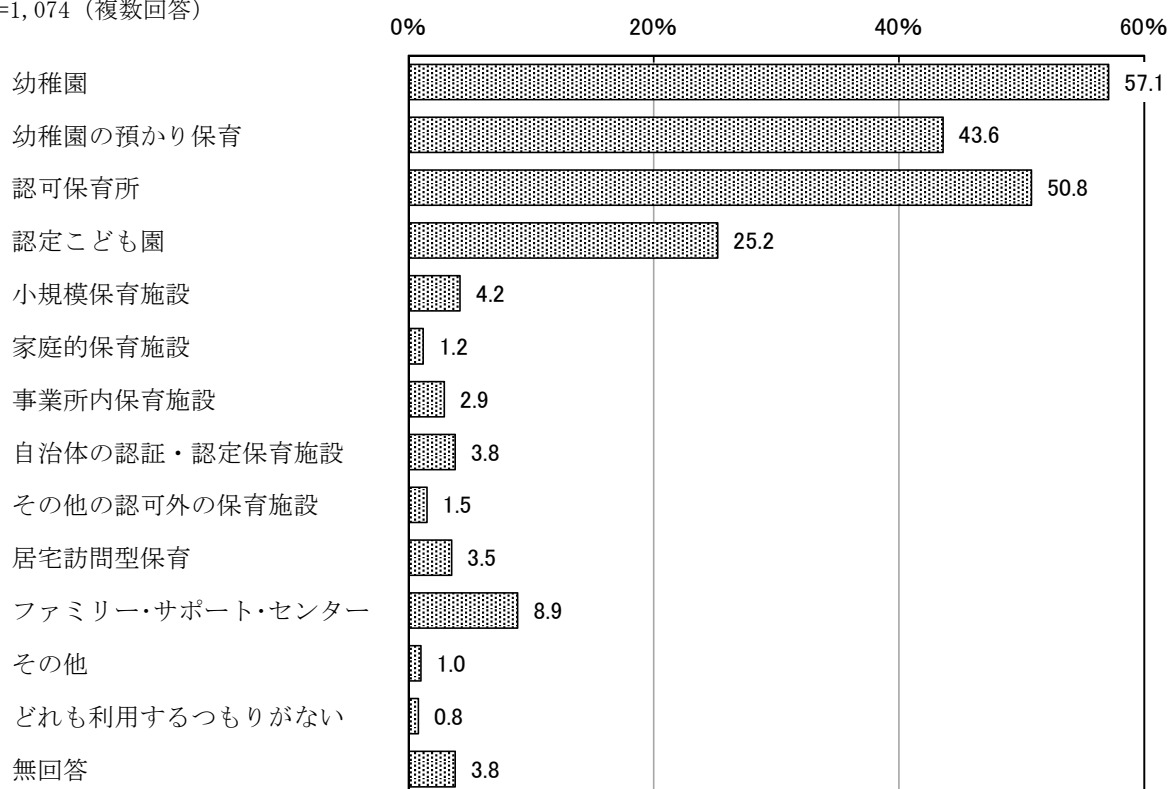


（９）幼児教育の無償化が拡大した場合の定期的な教育・保育事業の利用希望

問16ー3 すべての方にうかがいます。前ページに記載した内容で幼児教育の無償化が拡大した場合、現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日（月～金）の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「幼稚園」が最も多く、57.1%となっています。次いで「認可保育所」が50.8%、「幼稚園の預かり保育」が43.6%、「認定こども園」が25.2%と続いています。

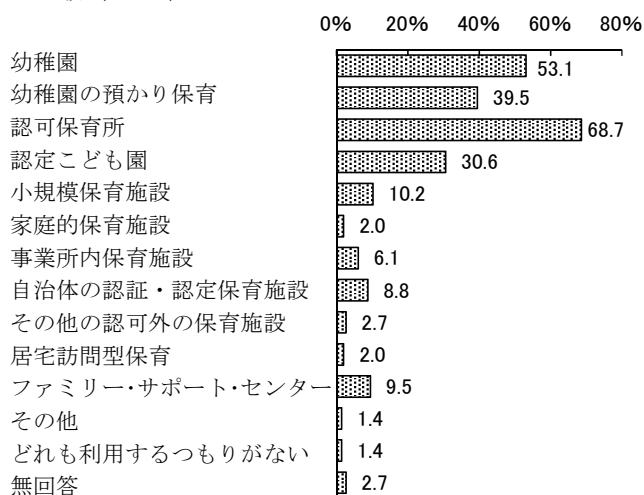
n=1,074（複数回答）



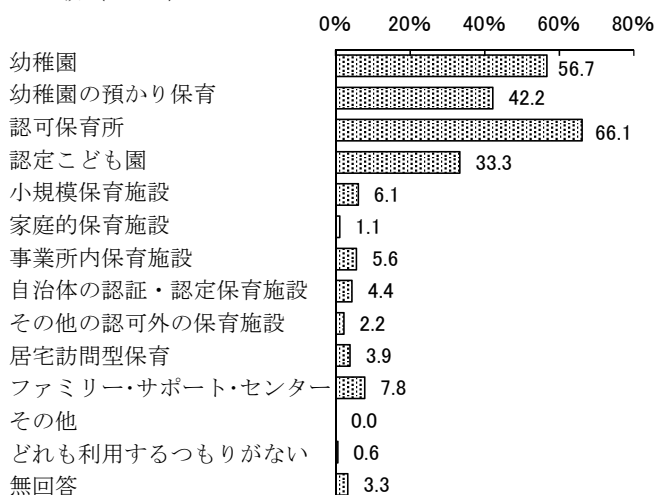
【幼児教育の無償化が拡大した場合の事業の利用希望—子どもの年齢（学年齢）別】

幼児教育の無償化が拡大した場合の定期的な教育・保育事業の利用希望を年齢（学年齢）別にみると、0歳～1歳では「認可保育所」が6割後半と最も多く、次いで「幼稚園」が5割台、「幼稚園の預かり保育」が4割前後と続いています。2歳～5歳では「幼稚園」が最も多く、いずれも5割後半から6割となっています。

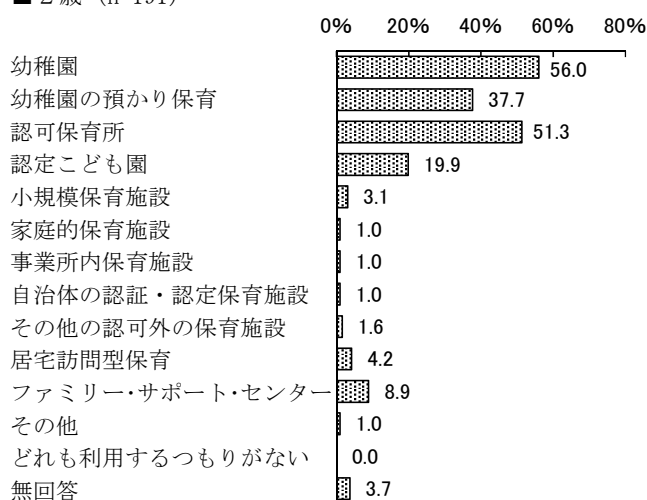
■ 0歳（n=147）



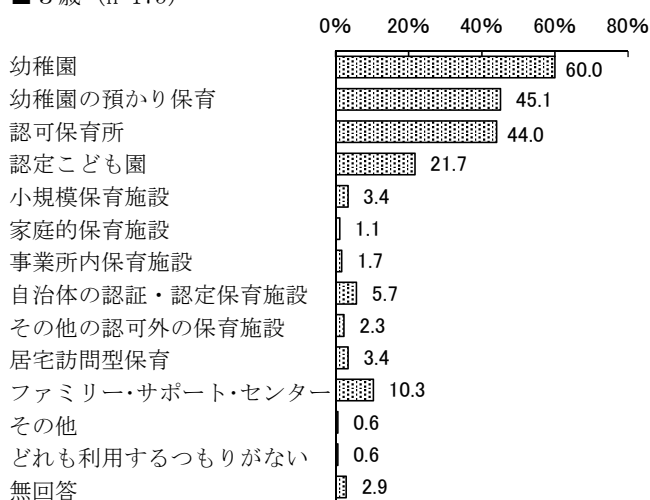
■ 1歳（n=180）



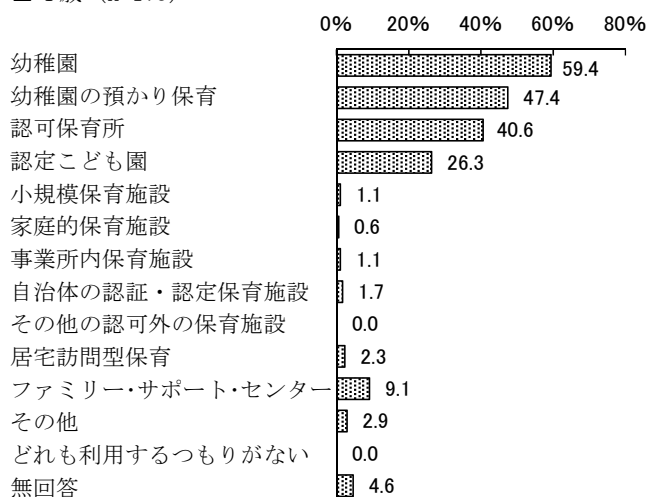
■ 2歳（n=191）



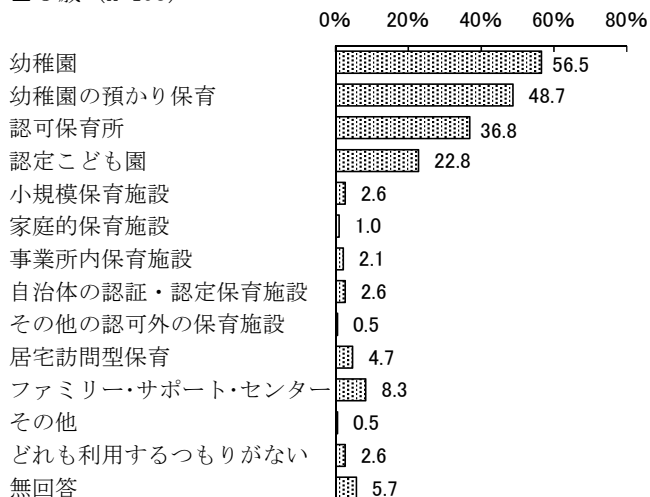
■ 3歳（n=175）



■ 4歳（n=175）



■ 5歳（n=193）



6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

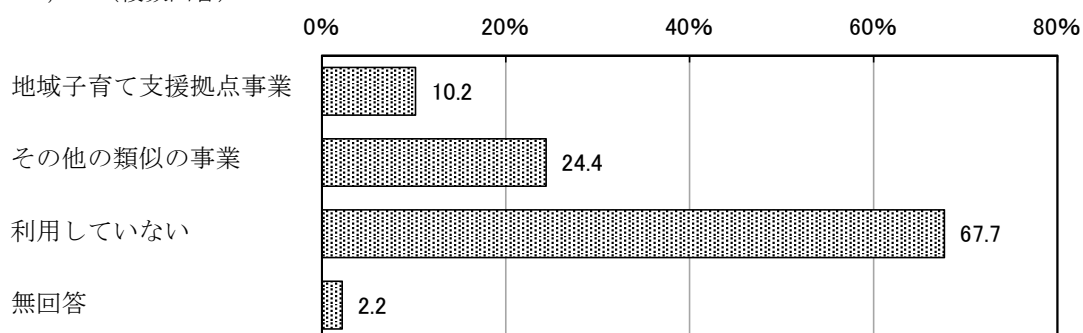
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（当市では「子育てひろば（地域子ども家庭支援センター上の原・地域子育て支援センターはこぶね館）」、「健康課の育児相談」が該当します）や児童館を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

①利用状況

「利用していない」が最も多く、67.7%となっています。次いで「その他の類似の事業」が24.4%、「地域子育て支援拠点事業」が10.2%と続いています。

n=1,074（複数回答）

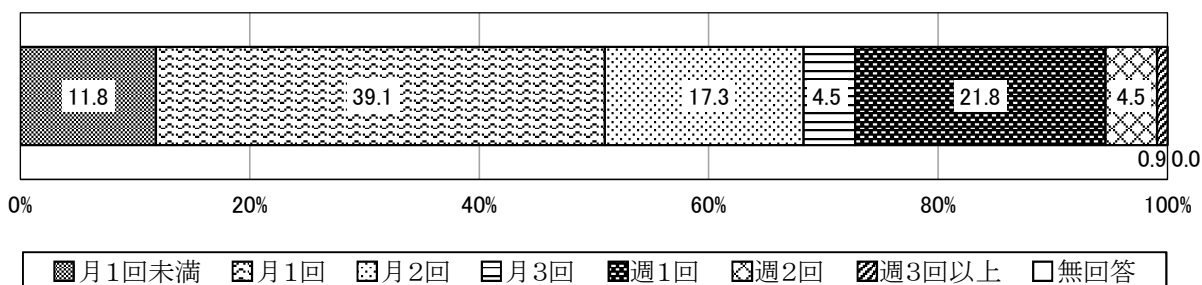


②「地域子育て支援拠点事業」の利用回数（頻度）

※問17で「1. 地域子育て支援拠点事業」に○をつけた方にうかがいました。

「月1回」が最も多く、39.1%となっています。次いで「週1回」が21.8%、「月2回」が17.3%と続いています。

n=110

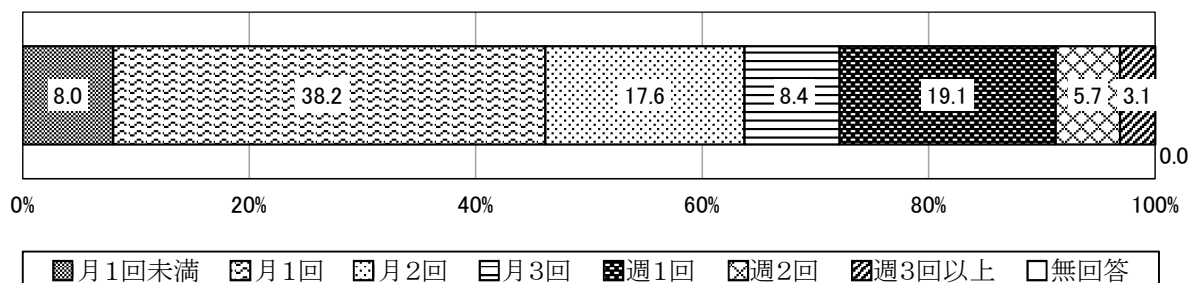


③「その他の類似の事業」の利用回数（頻度）

※問17で「2. その他の類似の事業」に○をつけた方にうかがいました。

「月1回」が最も多く、38.2%となっています。次いで「週1回」が19.1%、「月2回」が17.6%と続いています。

n=262



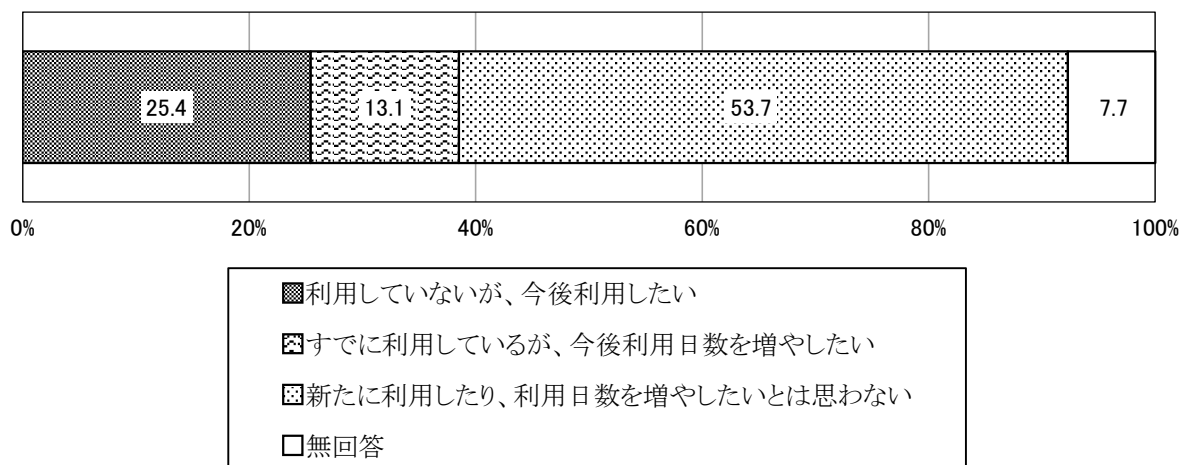
（2）地域子育て支援拠点事業の利用意向

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業などについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

①利用意向

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が最も多く、53.7%となっています。次いで「利用していないが、今後利用したい」が25.4%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が13.1%と続いています。

n=1,074

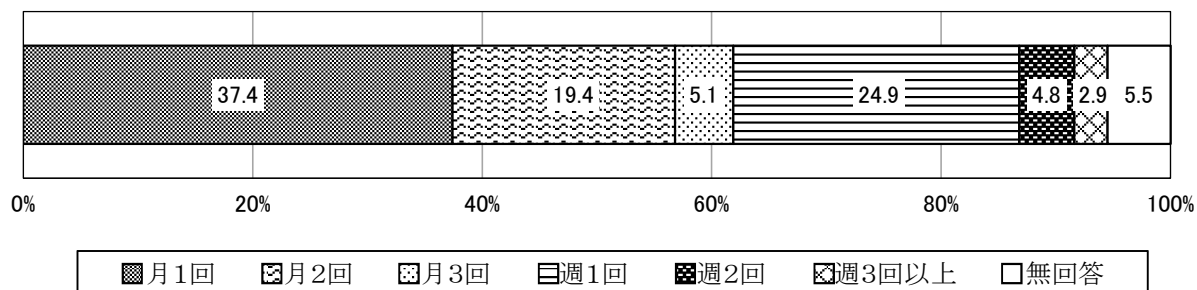


②今後利用したい回数

※問18で「1. 利用していないが、今後利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「月1回」が最も多く、37.4%となっています。次いで「週1回」が24.9%、「月2回」が19.4%と続いています。

n=273

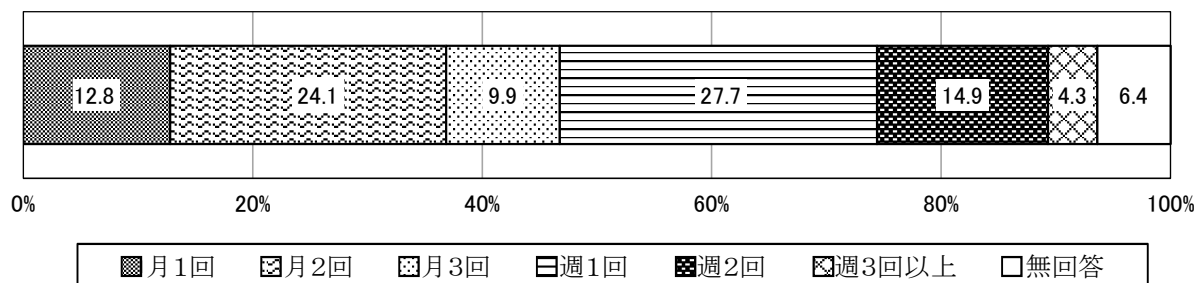


③利用日数を増やしたい回数

※問18で「2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」に○をつけた方にうかがいました。

「週1回」が最も多く、27.7%となっています。次いで「月2回」が24.1%、「週2回」が14.9%と続いています。

n=141



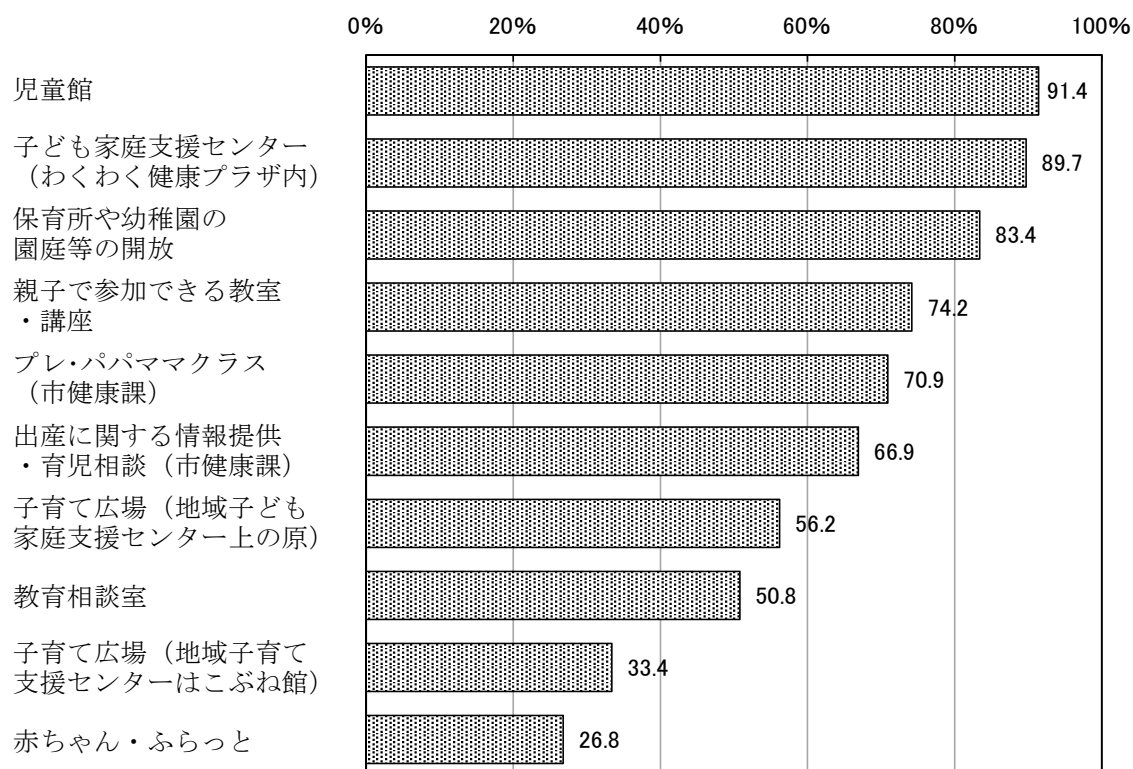
（３）子育て支援事業の認知状況・利用状況・利用意向

問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

①認知状況

「児童館」が最も多く、91.4%となっています。次いで「子ども家庭支援センター（わくわく健康プラザ内）」が89.7%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が83.4%、「親子で参加できる教室・講座」が74.2%、「プレ・パパママクラス（市健康課）」が70.9%、「出産に関する情報提供・育児相談（市健康課）」が66.9%と続いています。

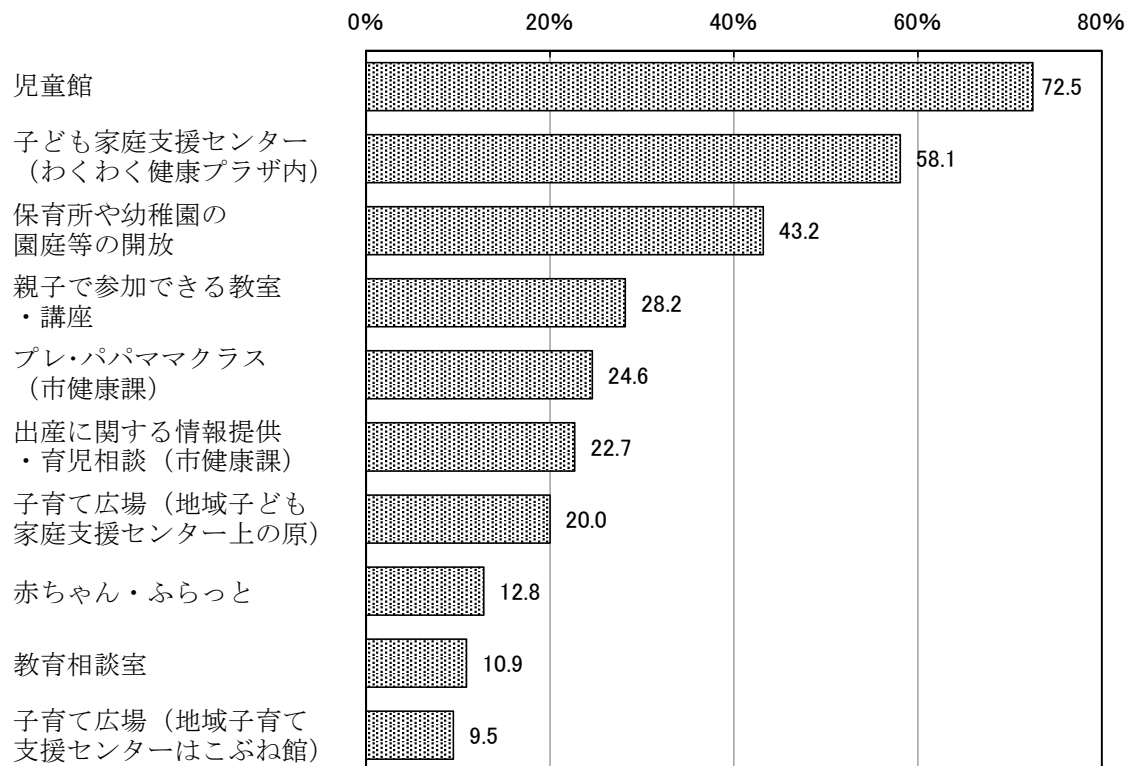
n=1,074



②利用状況

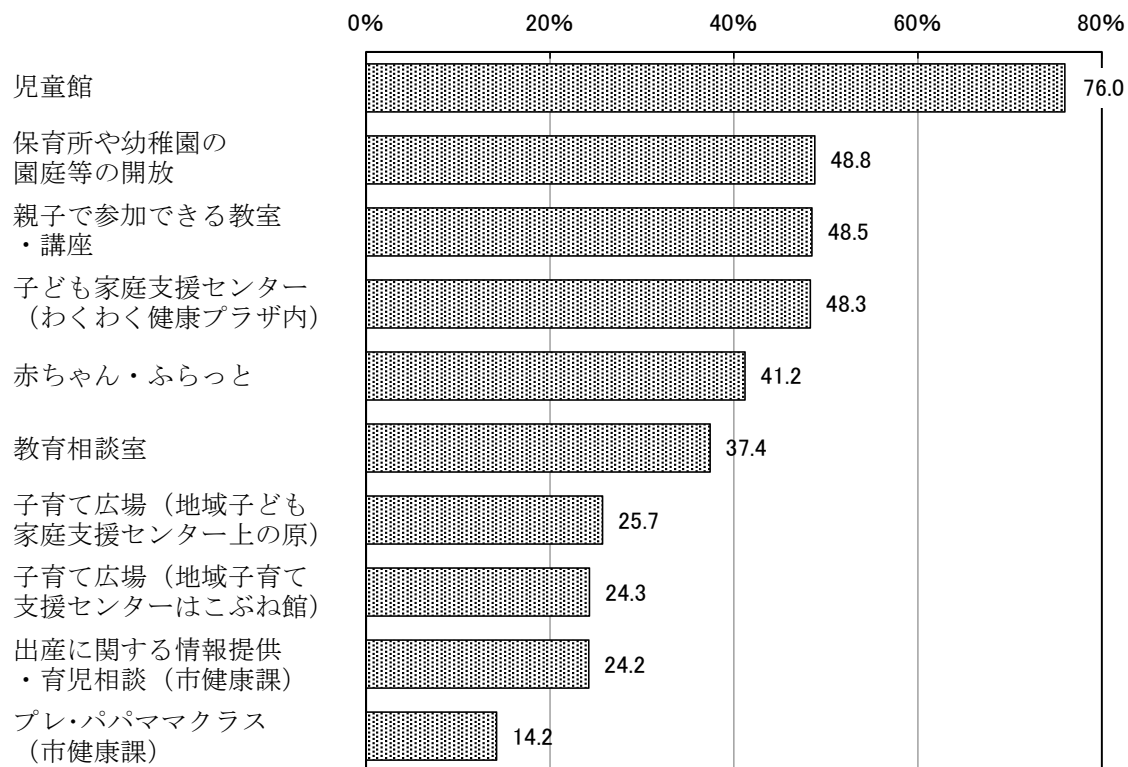
「児童館」が最も多く、72.5%となっています。次いで「子ども家庭支援センター（わくわく健康プラザ内）」が58.1%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が43.2%、「親子で参加できる教室・講座」が28.2%、「プレ・パパママクラス（市健康課）」が24.6%と続いています。

n=1,074



③利用意向

「児童館」が最も多く、76.0%となっています。次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が48.8%、「親子で参加できる教室・講座」が48.5%、「子ども家庭支援センター（わくわく健康プラザ内）」が48.3%、「赤ちゃん・ふらっと」が41.2%、「教育相談室」が37.4%と続いています。



7. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜日と日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

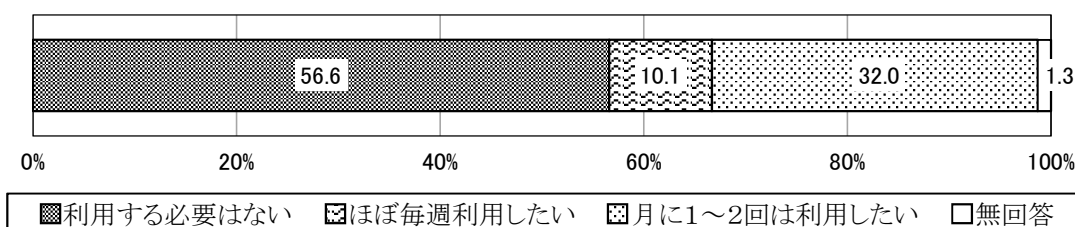
※ 保育・教育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

①土曜日

【利用希望】

「利用する必要はない」が最も多く、56.6%となっています。次いで「月に1～2回は利用したい」が32.0%、「ほぼ毎週利用したい」が10.1%と続いています。

n=1,074

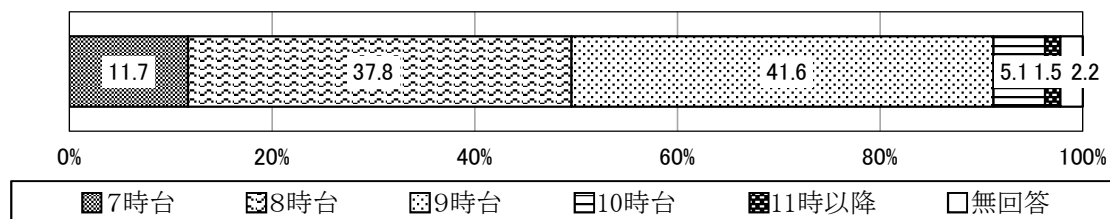


【利用開始時間】

※問20 (1) で「2. ほぼ毎週利用したい」または「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「9時台」が最も多く、41.6%となっています。次いで「8時台」が37.8%、「7時台」が11.7%と続いています。

n=452

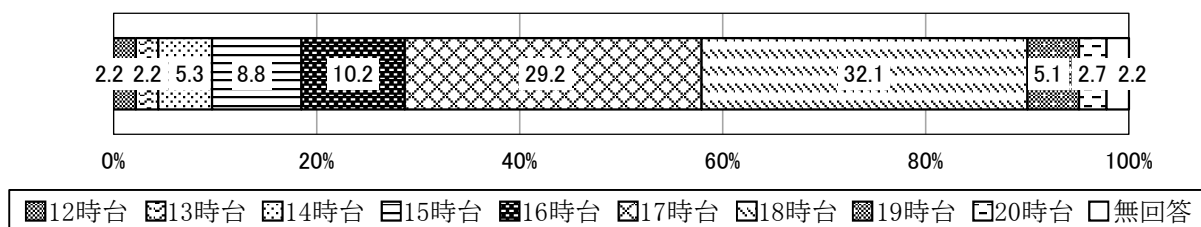


【利用終了時間】

※問20 (1) で「2. ほぼ毎週利用したい」または「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、32.1%となっています。次いで「17時台」が29.2%、「16時台」が10.2%と続いています。

n=452

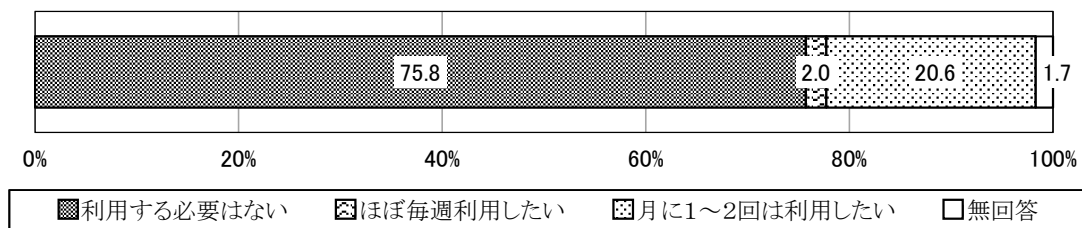


②日曜日・祝日

【利用希望】

「利用する必要はない」が最も多く、75.8%となっています。次いで「月に1～2回は利用したい」が20.6%、「ほぼ毎週利用したい」が2.0%と続いています。

n=1,074

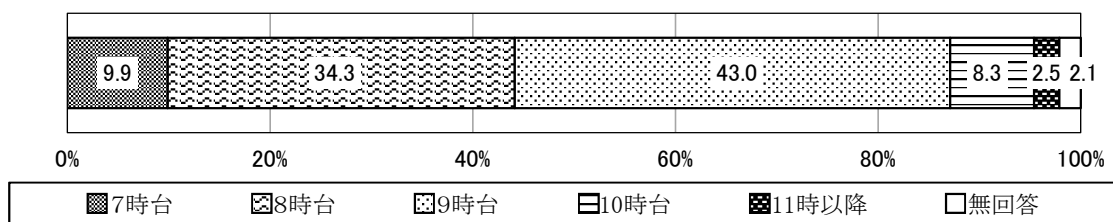


【利用開始時間】

※問20（2）で「2. ほぼ毎週利用したい」または「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「9時台」が最も多く、43.0%となっています。次いで「8時台」が34.3%、「7時台」が9.9%と続いています。

n=242

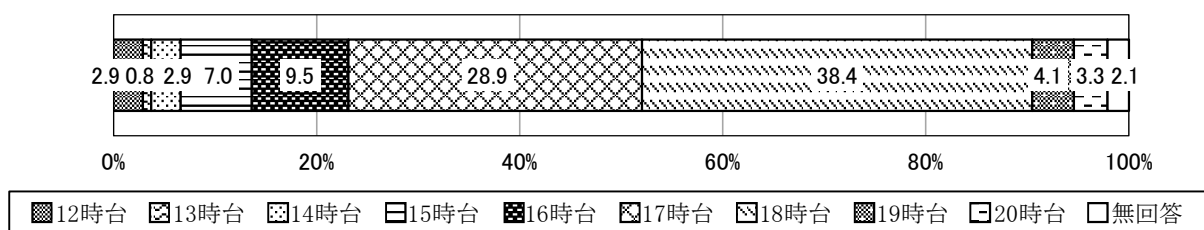


【利用終了時間】

※問20（2）で「2. ほぼ毎週利用したい」または「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、38.4%となっています。次いで「17時台」が28.9%、「16時台」が9.5%と続いています。

n=242



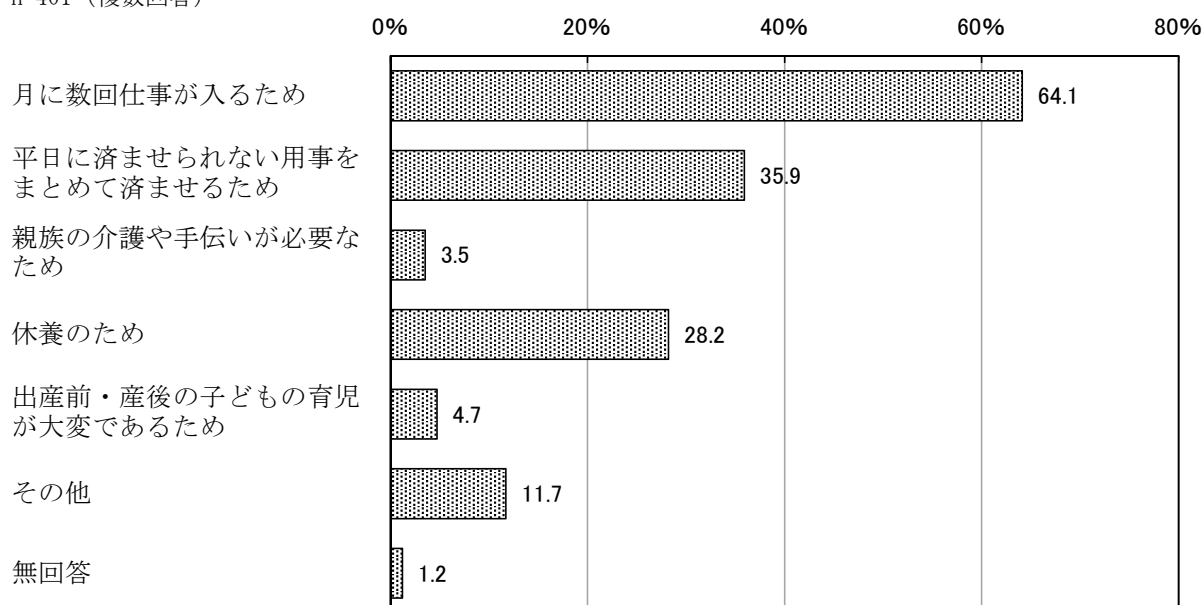
（２）土曜日と日曜日・祝日に教育・保育事業をたまに利用したい理由

※問20の（１）もしくは（２）で「３．月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

問20－１ 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」が最も多く、64.1%となっています。次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が35.9%、「休養のため」が28.2%と続いています。

n=401（複数回答）



(3) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

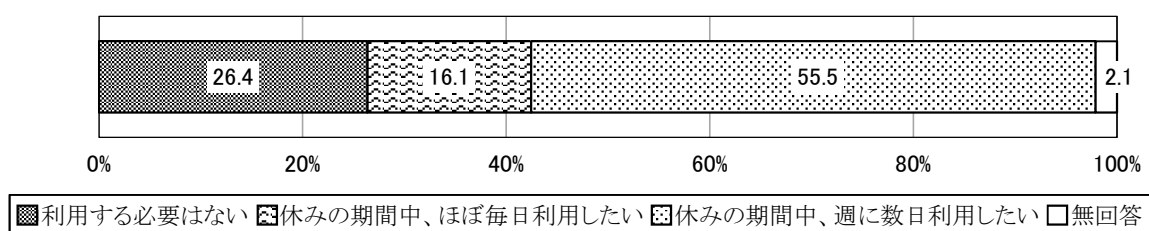
※問15－1で「1. 幼稚園」に○をつけた方にうかがいました。

問21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

【利用希望】

「休みの期間中、週に数日利用したい」が最も多く、55.5%となっています。次いで「利用する必要はない」が26.4%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が16.1%と続いています。

n=292

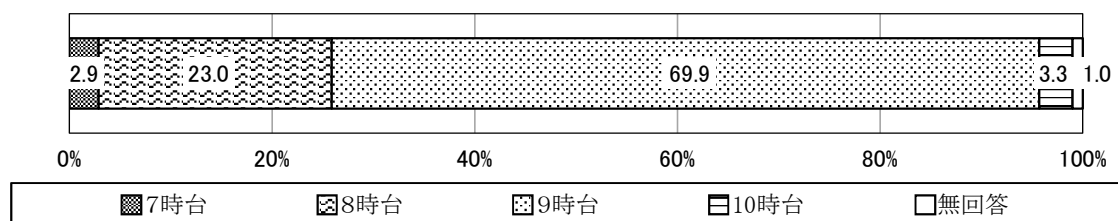


【利用開始時間】

※問21で「2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」または「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「9時台」が最も多く、69.9%となっています。次いで「8時台」が23.0%と続いています。

n=209

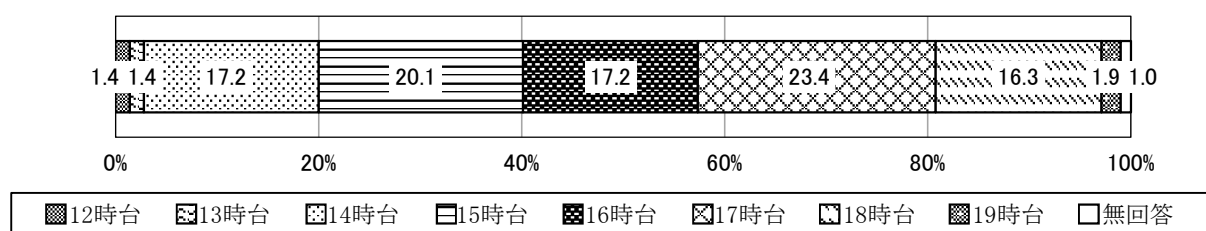


【利用終了時間】

※問21で「2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」または「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「17時台」が最も多く、23.4%となっています。次いで「15時台」が20.1%、「14時台」と「16時台」が17.2%と続いています。

n=209



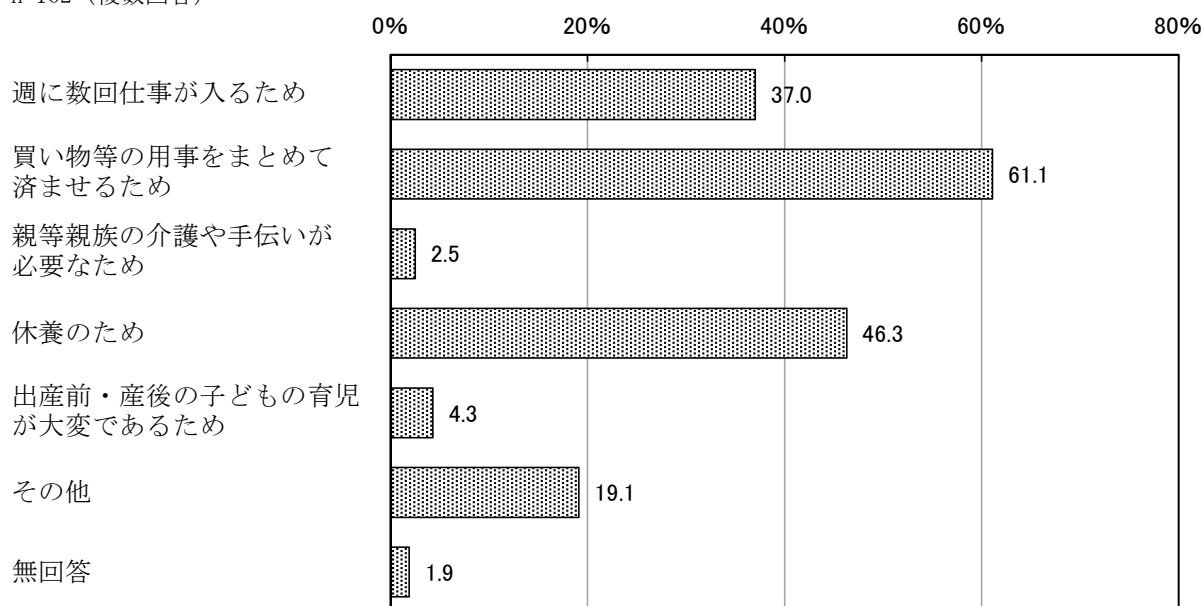
（４）長期休暇中に教育・保育事業をたまに利用したい理由

※問21で「３．週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

問21－１ 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が最も多く、61.1%となっています。次いで「休養のため」が46.3%、「週に数回仕事が入るため」が37.0%と続いています。

n=162（複数回答）



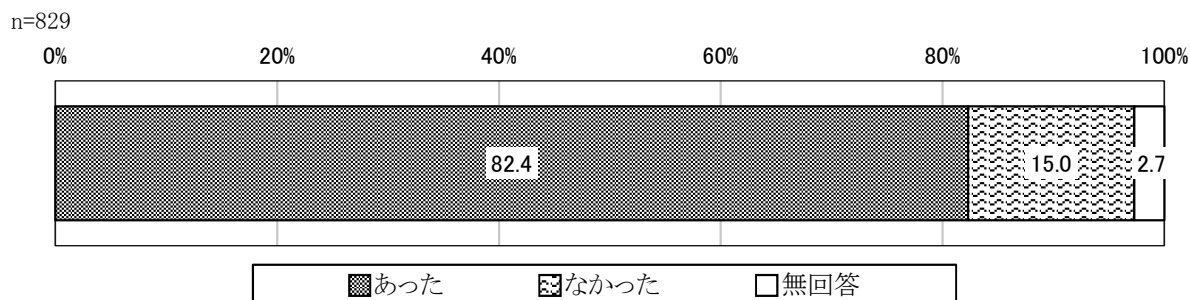
8. お子さんの病気の際の対応について

（１）病気やケガで幼稚園や保育園を利用できなかったことの有無

※平日（月～金）、定期的に幼稚園や保育園などを利用していると答えた保護者の方（問15で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいました。

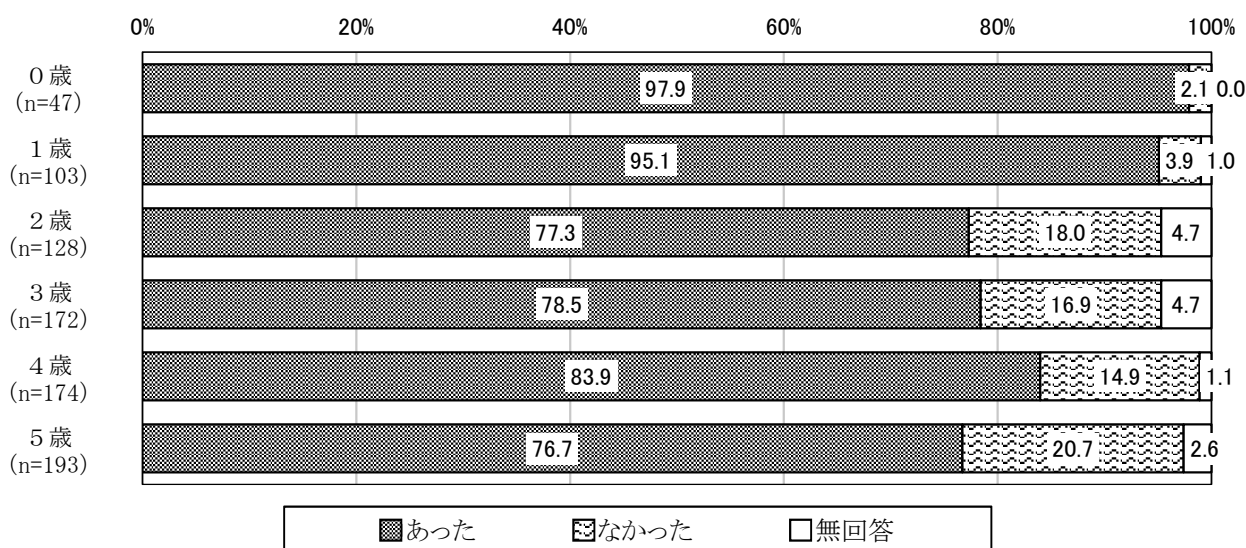
問22 この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで幼稚園や保育園などを利用できなかったことはありますか。

「あった」が82.4%、「なかった」が15.0%となっています。



【病気やケガで幼稚園や保育園を利用できなかったことの有無－子どもの年齢（学年齢）別】

病気やケガで幼稚園や保育園を利用できなかったことの有無を子どもの年齢（学年齢）別に見ると、「あった」は0歳で最も多く、97.9%となっています。次いで、1歳で95.1%、4歳で83.9%と続いています。



（２）病気やケガで幼稚園や保育園を利用できなかった場合の対処方法と日数

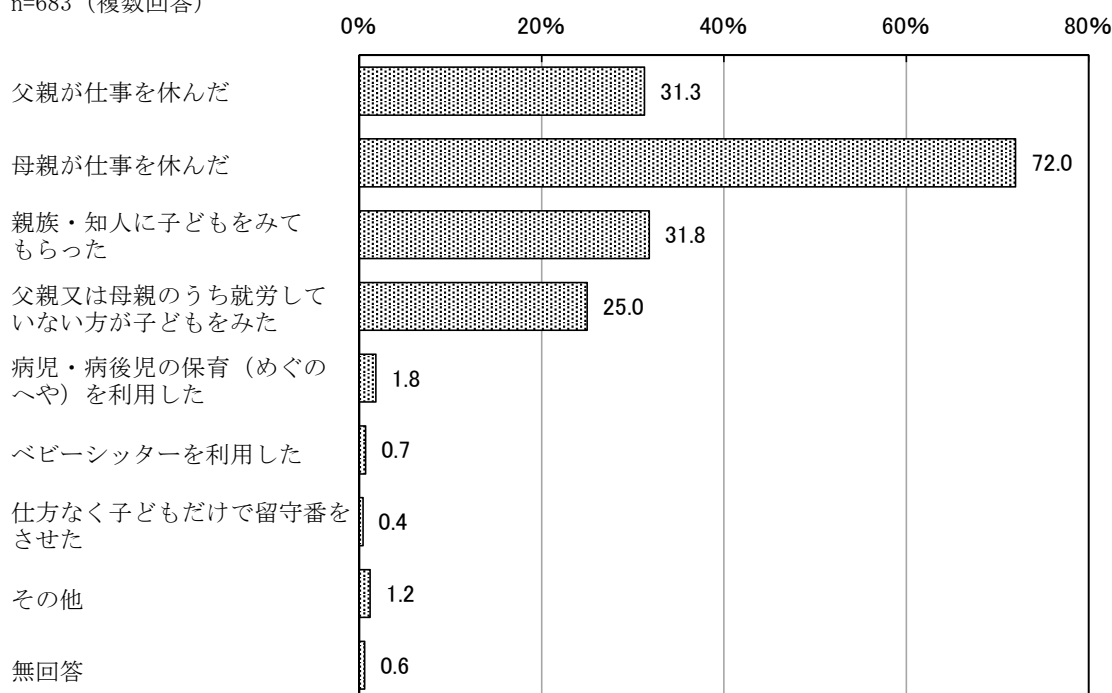
※問22で「１．あった」に○をつけた方にうかがいました。

問22－１ 宛名のお子さんが病気やけがでふだん利用している幼稚園や保育園などを利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください）。

①対処方法

「母親が仕事を休んだ」が最も多く、72.0%となっています。次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が31.8%、「父親が仕事を休んだ」が31.3%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が25.0%と続いています。

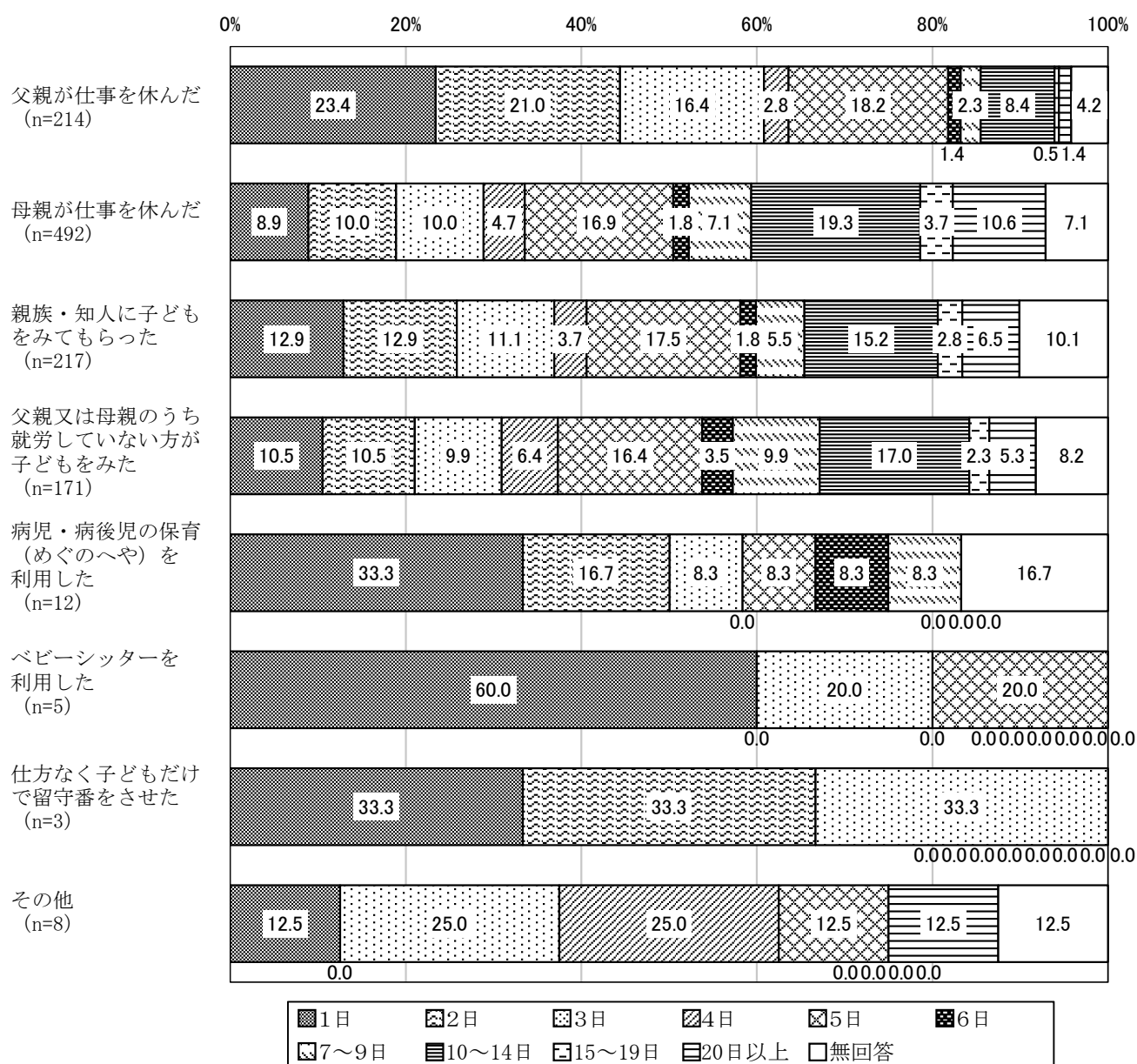
n=683（複数回答）



②日数

“父親が仕事を休んだ”は「1日」が最も多く、23.4%となっており、「2日」が21.0%、「5日」が18.2%と続いています。“母親が仕事を休んだ”と“父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた”は「10～14日」が最も多く、10%台後半となっており、「5日」が10%台半ばと続いています。“親族・知人に子どもをみてもらった”は「5日」が最も多く、17.5%となっており、「10～14日」が15.2%と続いています。

※ “病児・病後児の保育（めぐのへや）を利用した” “ベビーシッターを利用した” “仕方なく子どもだけで留守番をさせた” は回答者数が少ないため、参考値となります。



(3) 病児・病後児施設等の利用意向と利用希望日数

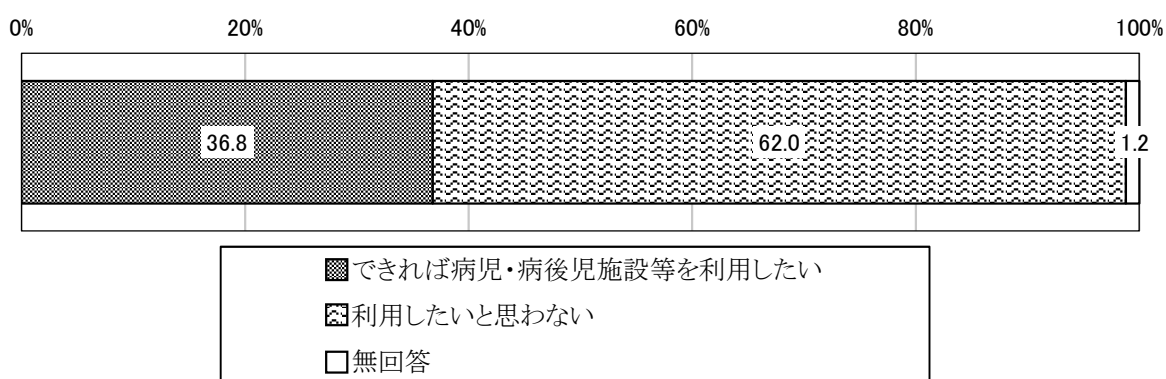
※問22－1で「ア．父親が仕事を休んだ」または「イ．母親が仕事を休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいました。

問22－2 その際、「できれば病児・病後児のための施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても 数字 でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

①利用意向

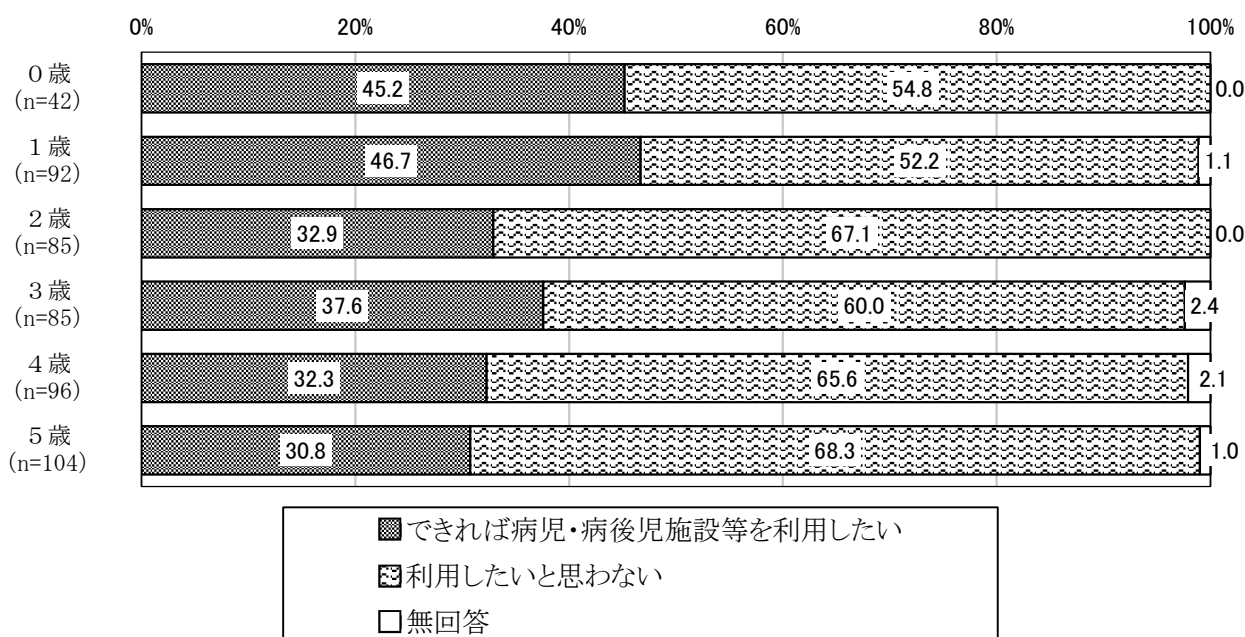
「できれば病児・病後児施設等を利用したい」が36.8%、「利用したいと思わない」が62.0%となっています。

n=513



【病児・病後児施設等の利用意向－子どもの年齢（学年齢）別】

病児・病後児施設等の利用意向を子どもの年齢（学年齢）別にみると、「できれば病児・病後児施設等を利用したい」は1歳で最も多く、46.7%となっています。「利用したいと思わない」は5歳で最も多く、68.3%となっています。

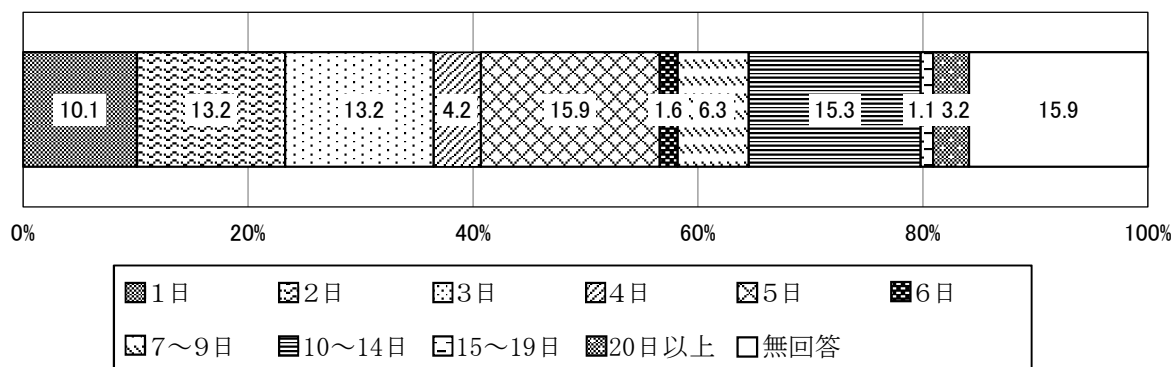


②利用希望日数

※問22－2で「1. できれば病児・病後児施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「5日」が最も多く、15.9%となっています。次いで「10～14日」が15.3%、「2日」と「3日」が13.2%と続いています。

n=189



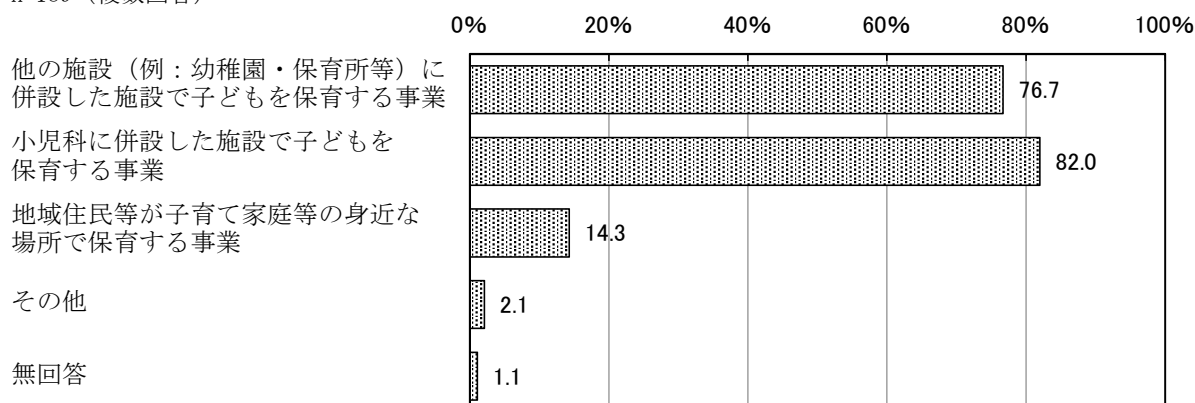
(4) 病児・病後児施設等の事業形態

※問22－2で「1. できれば病児・病後児施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

問22－3 子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が最も多く、82.0%となっています。次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が76.7%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が14.3%と続いています。

n=189（複数回答）



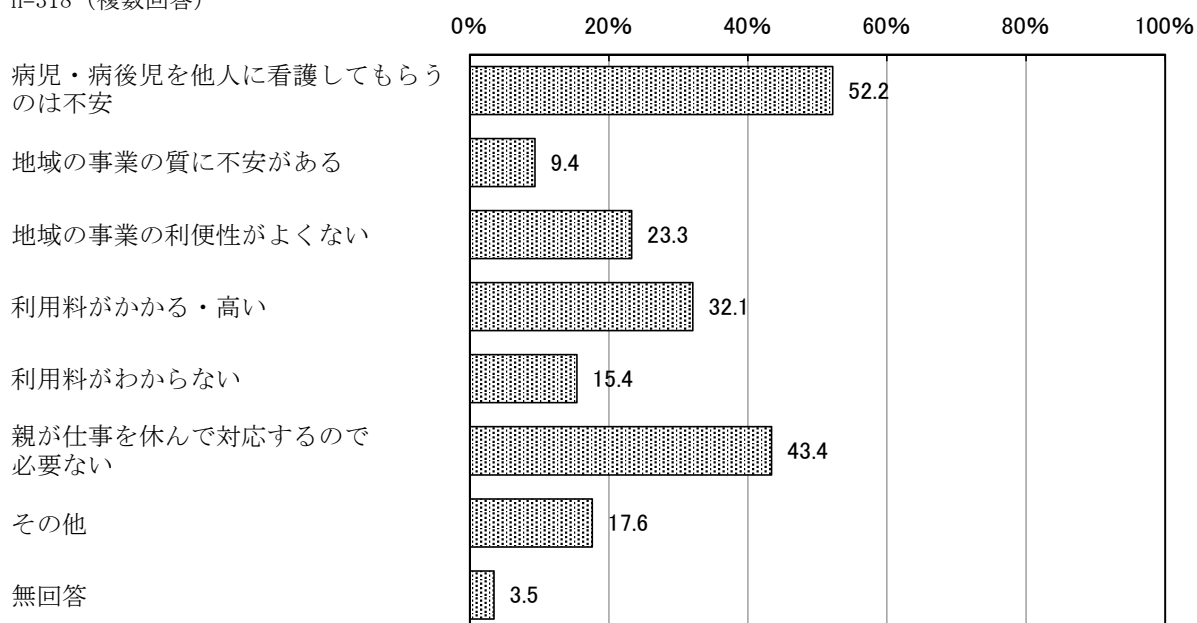
（５）病児・病後児施設等を利用したいと思わない理由

※問22－２で「１．利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいました。

問22－４ そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」が最も多く、52.2%となっています。次いで「親が仕事を休んで対応するので必要ない」が43.4%、「利用料がかかる・高い」が32.1%、「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない」が23.3%と続いています。

n=318（複数回答）



（６）子どもの看護のための休暇取得希望と日数

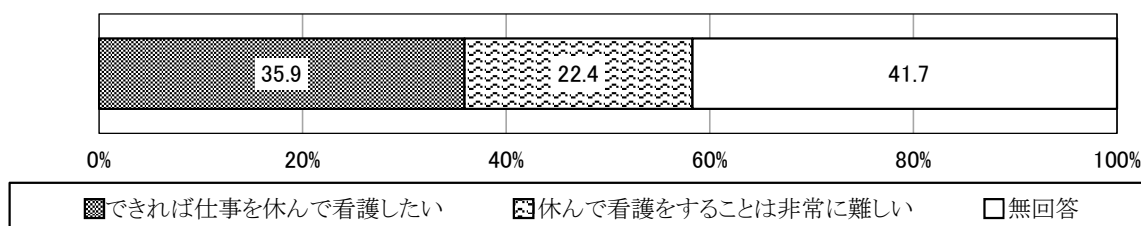
※問22－１で「ウ．（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」から「ク．その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいました。

問22－５ その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、「ウ」から「ク」の日数のうち仕事を休んで看護したかった日数についても数字でご記入ください。

①休暇取得希望

「できれば仕事を休んで看護したい」が35.9%、「休んで看護をすることは非常に難しい」が22.4%となっています。

n=393

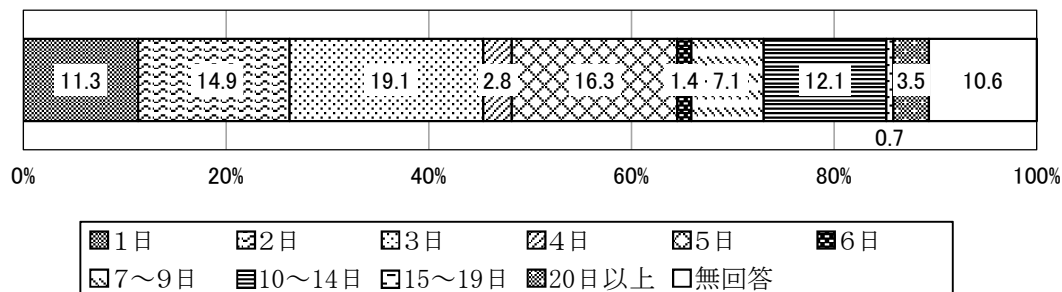


②日数

※問22－5で「1. できれば仕事を休んで看護したい」に○をつけた方にうかがいました。

「3日」が最も多く、19.1%となっています。次いで「5日」が16.3%、「2日」が14.9%と続いています。

n=141



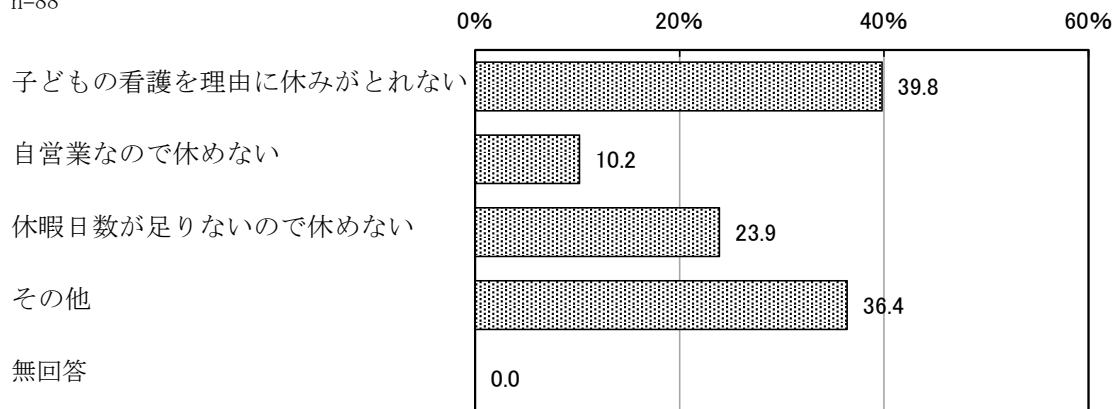
(7) 子どもの看護のための休暇取得が難しい理由

※問22－5で「2. 休んで看護することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいました。

問22－6 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が最も多く、39.8%となっています。次いで「休暇日数が足りないので休めない」が23.9%と続いています。

n=88



9. 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用状況について

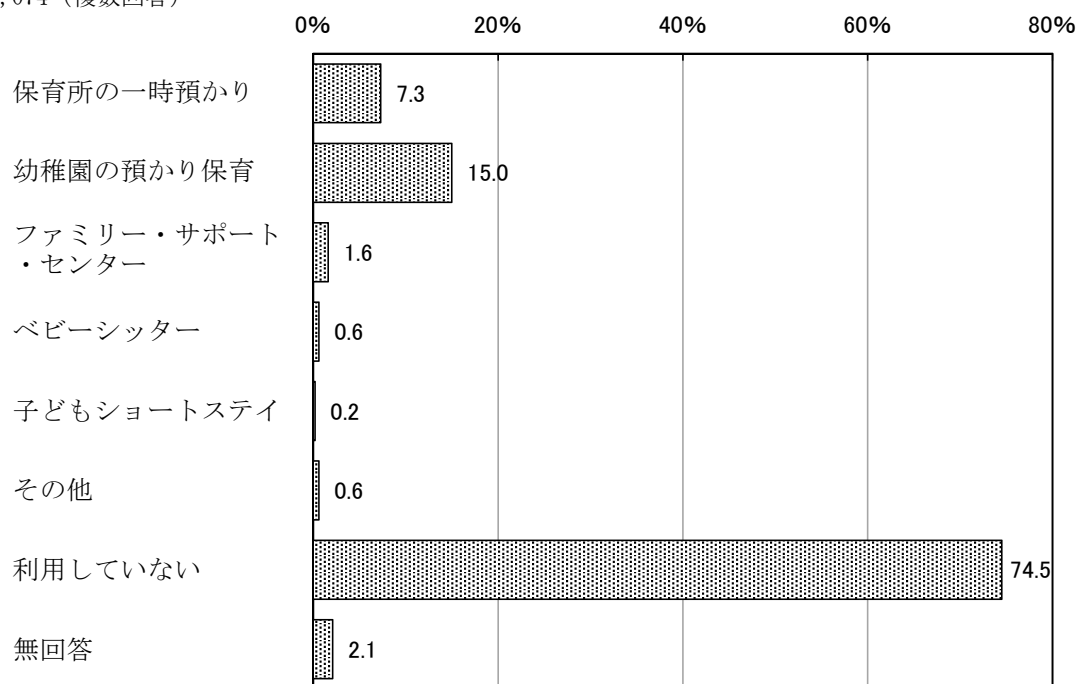
(1) 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用状況と日数

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育利用以外に、保護者の私用、通院、不
定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる
番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

①利用状況

「利用していない」が最も多く、74.5%となっています。次いで「幼稚園の預かり保育」が15.0%、「保育所の一時預かり」が7.3%と続いています。

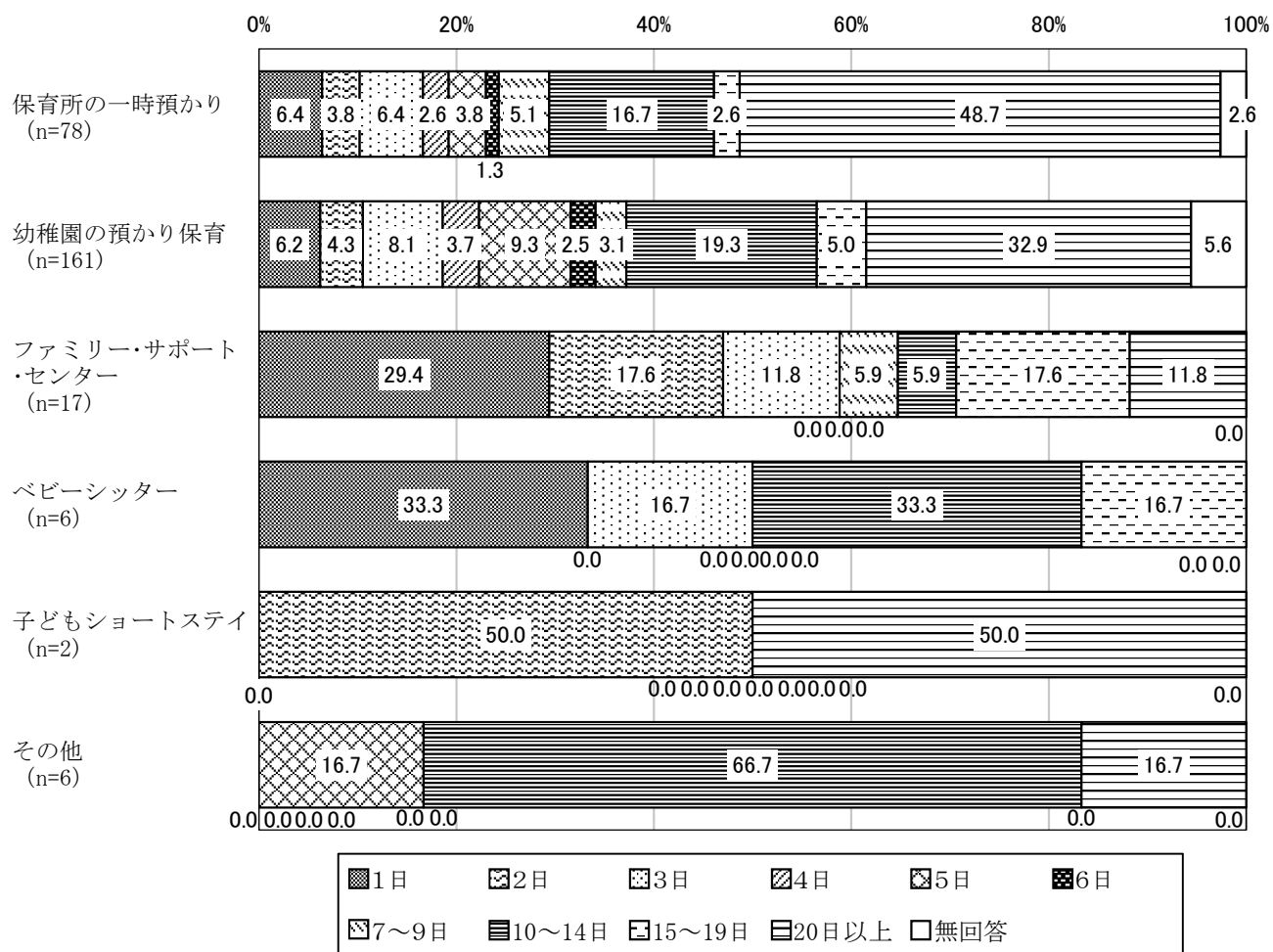
n=1,074（複数回答）



②日数

“保育所の一時預かり”は「20日以上」が最も多く、48.7%となっており、「10～14日」が16.7%と続いています。“幼稚園の預かり保育”は「20日以上」が最も多く、32.9%となっており、「10～14日」が19.3%と続いています。

※ “ファミリー・サポート・センター” “ベビーシッター” “子どもショートステイ”は回答者数が少ないため、参考値となります。



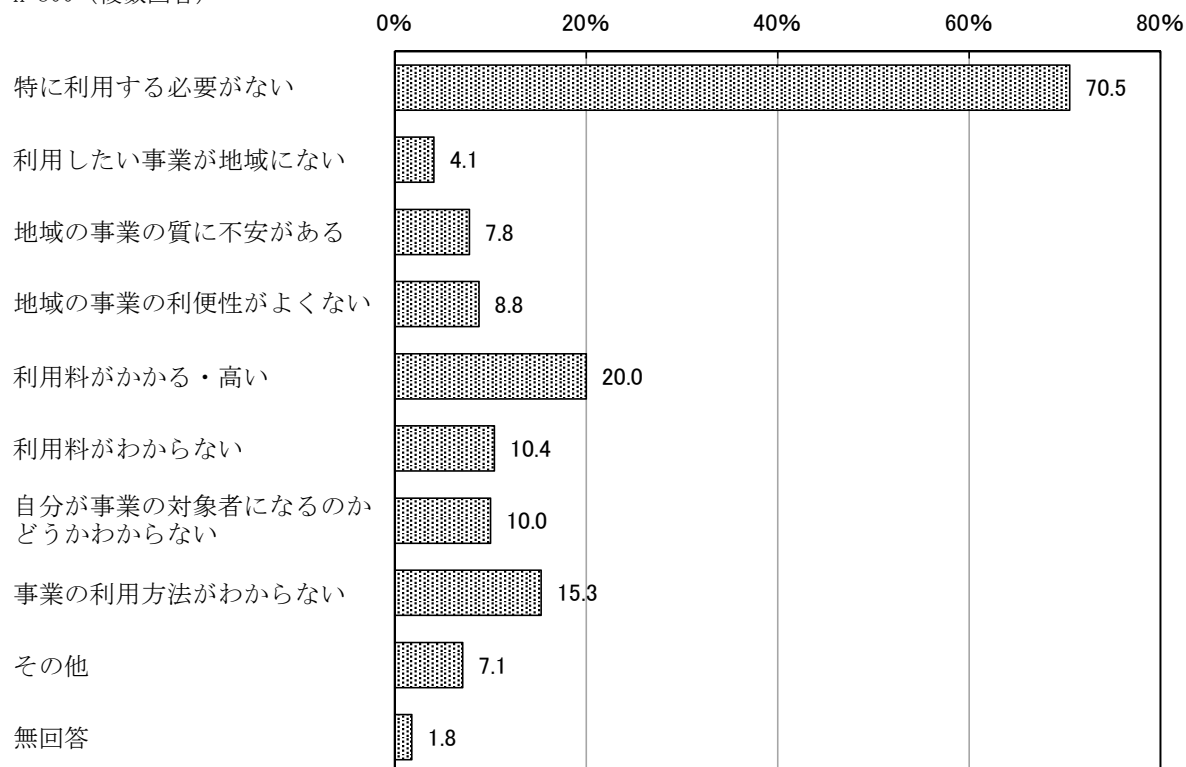
（２）不定期の教育・保育事業を利用していない理由

※問23で「７．利用していない」に○をつけた方にうかがいました。

問23－１ 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」が最も多く、70.5%となっています。次いで「利用料がかかる・高い」が20.0%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が15.3%と続いています。

n=800（複数回答）



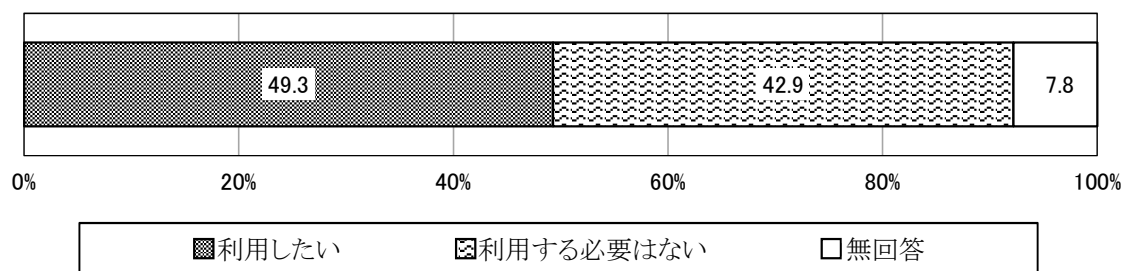
(3) 不定期の教育・保育事業の利用希望と日数

問24 宛名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください）。

①利用希望

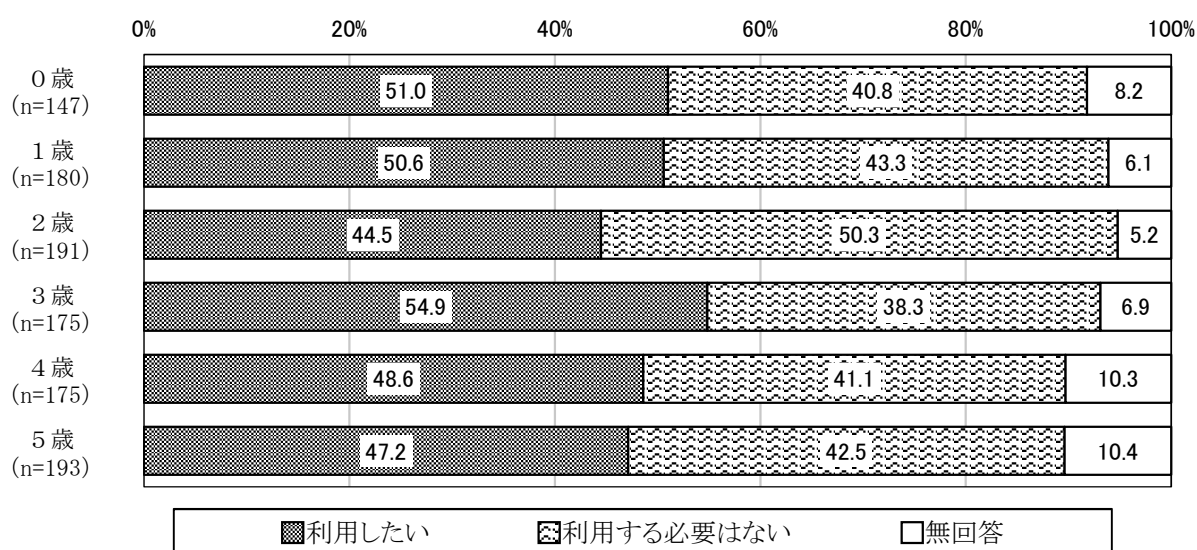
「利用したい」が49.3%、「利用する必要はない」が42.9%となっています。

n=1,074



【不定期の教育・保育事業の利用希望—子どもの年齢（学年齢）別】

不定期の教育・保育事業の利用希望を子どもの年齢（学年齢）別にみると、2歳では44.5%とほかの年齢と比べて若干少なくなっていますが、年齢による特徴的な差異はみられず、各年齢ともに5割前後が「利用したい」と回答しています。

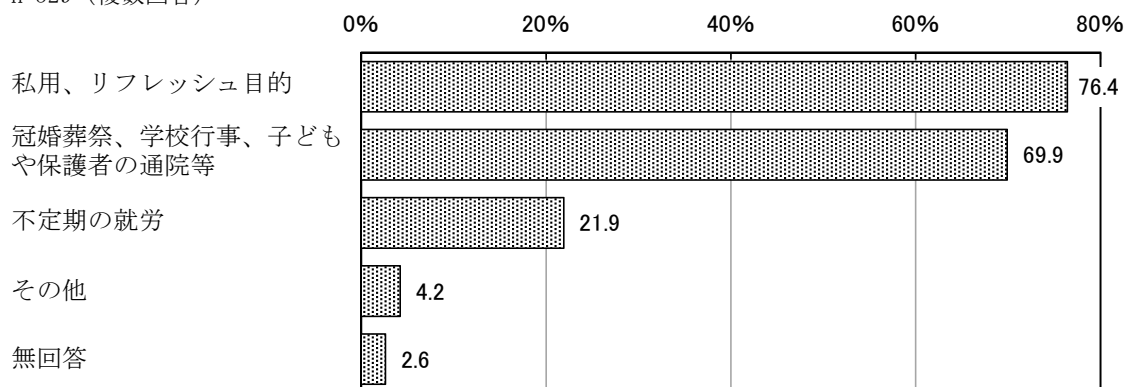


②利用目的

※問24で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいました。

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的」が最も多く、76.4%となっています。次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の通院等」が69.9%、「不特定の就労」が21.9%と続いています。

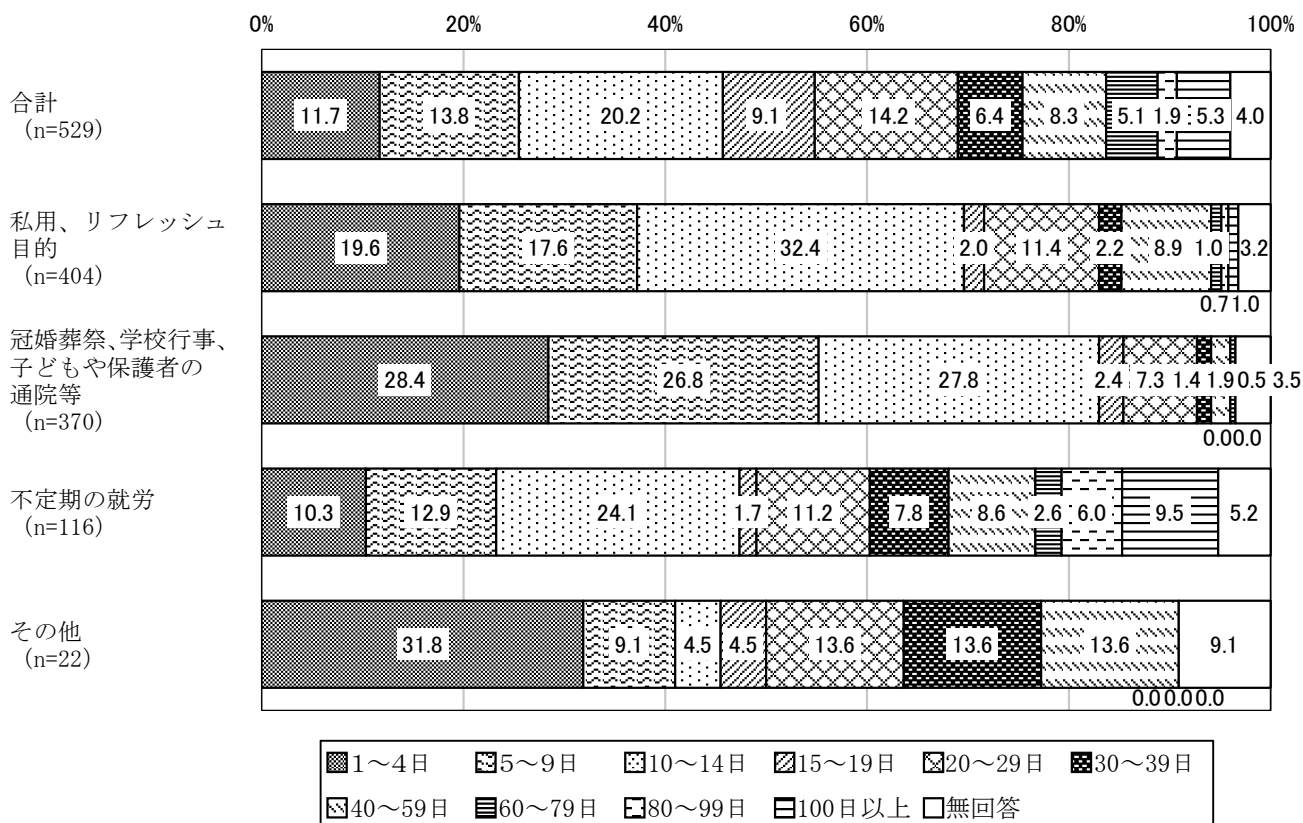
n=529（複数回答）



③日数

※問24で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいました。

“私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的”は「10～14日」が最も多く、32.4%となっており、「1～4日」が19.6%と続いています。“冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の通院等”は「1～4日」が最も多く、28.4%となっており、「10～14日」が27.8%と続いています。“不特定の就労”は「10～14日」が最も多く、24.1%となっており、「5～9日」が12.9%と続いています。



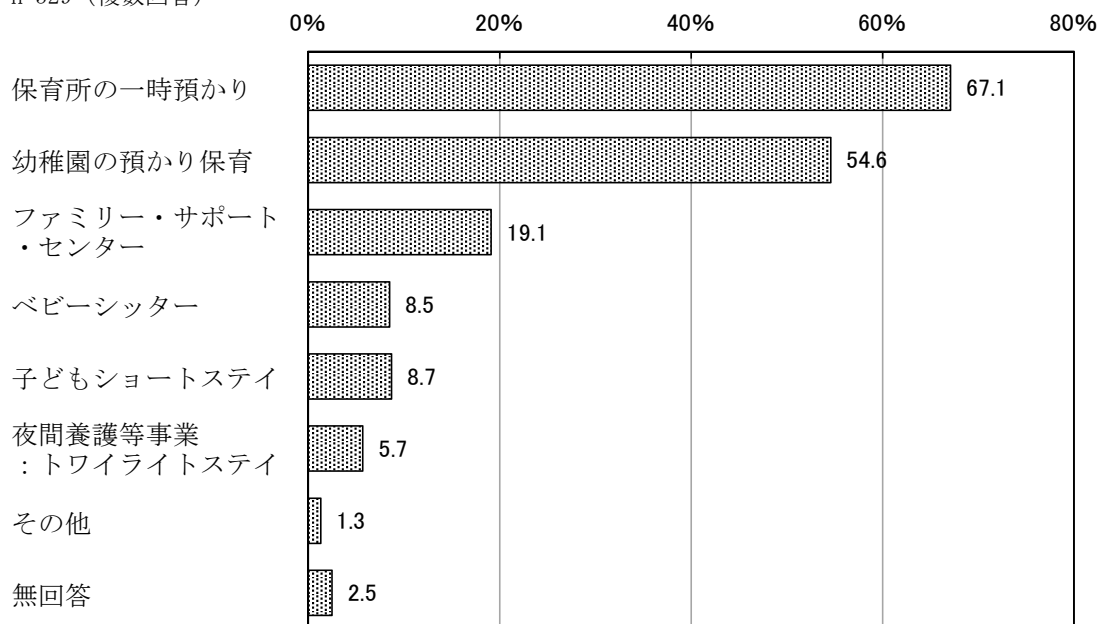
（４）不定期の教育・保育事業の利用形態

※問24で「１．利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

問24－１ 問24の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保育所の一時預かり」が最も多く、67.1%となっています。次いで「幼稚園の預かり保育」が54.6%、「ファミリー・サポート・センター」が19.1%と続いています。

n=529（複数回答）



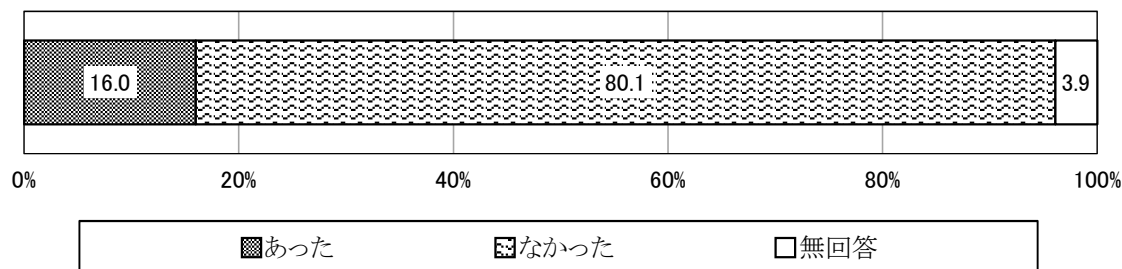
（５）宿泊を伴う一時預かりの状況

問25 この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法としてアから力の当てはまるものをすべてに○をつけ、それぞれの泊数も数字でご記入ください。

①宿泊を伴う一時預かりの有無

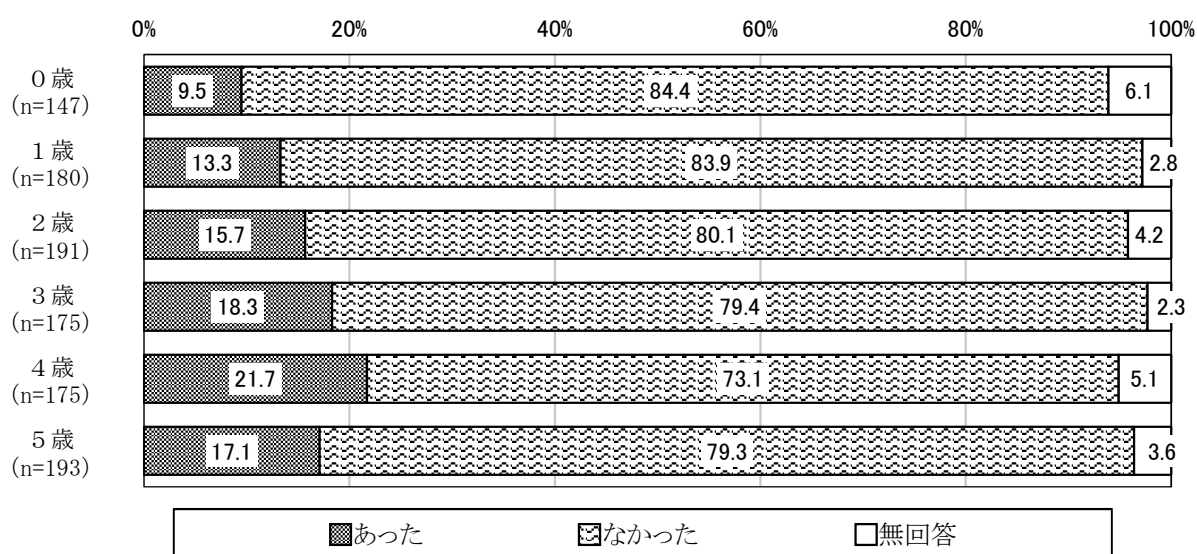
「あった」が16.0%、「なかった」が80.1%となっています。

n=1,074



【宿泊を伴う一時預かりの有無－子どもの年齢（学年齢）別】

宿泊を伴う一時預かりの有無を子どもの年齢（学年齢）別にみると、「あった」は4歳で最も多く、21.7%となっています。また、1歳・2歳・3歳・5歳ではそれぞれ1割台となっており、0歳では9.5%と最も少なくなっています。

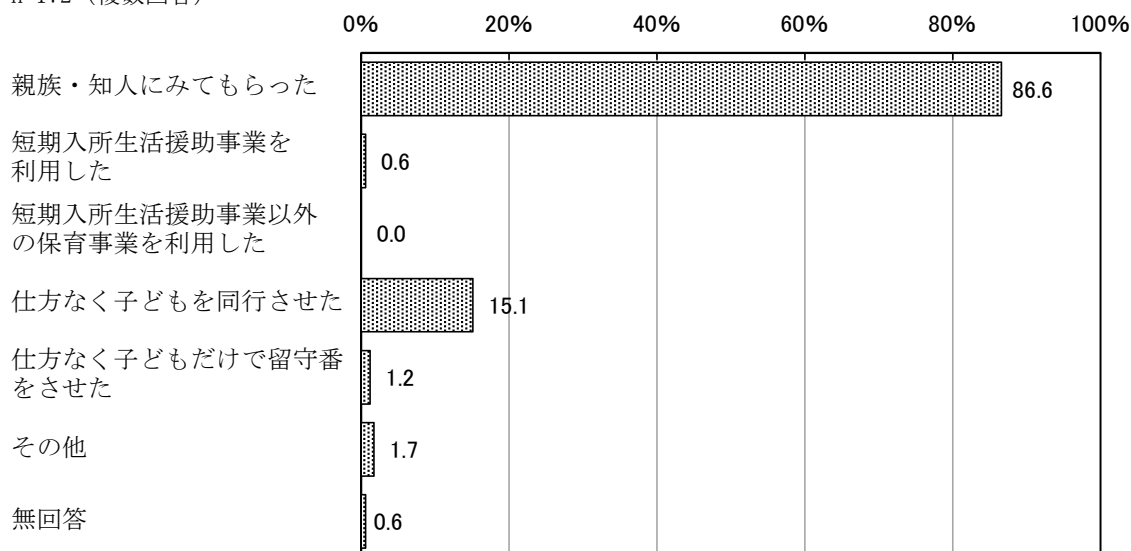


②対処方法

※問25で「1. あった」に○をつけた方にうかがいました。

「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が最も多く、86.6%となっています。次いで「仕方なく子どもを同行させた」が15.1%と続いています。

n=172（複数回答）



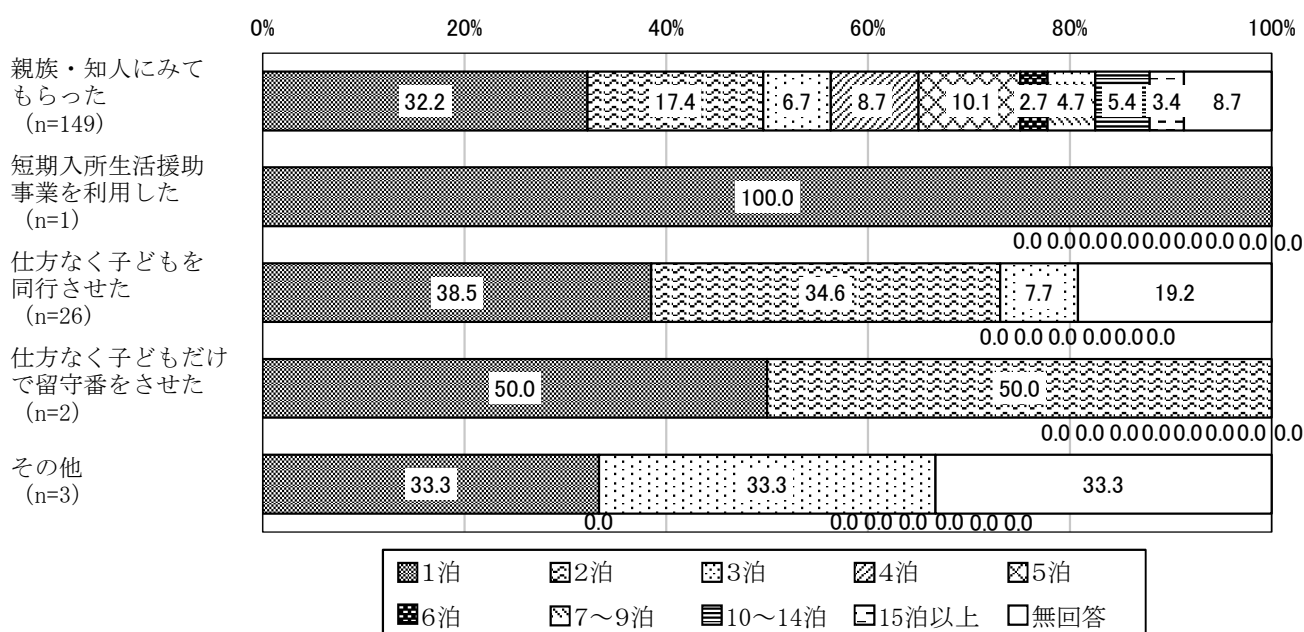
③泊数

※問25で「1. あった」に○をつけた方にうかがいました。

“（同居者を含む）親族・知人にみてもらった”は「1泊」が最も多く、32.2%となっており、「2泊」が17.4%、「5泊」が10.1%と続いています。

※ “短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した”は、回答対象者がいませんでした。

※ “短期入所生活援助事業を利用した” “仕方なく子どもを同行させた” “仕方なく子どもだけで留守番をさせた” は回答者数が少ないため、参考値となります。



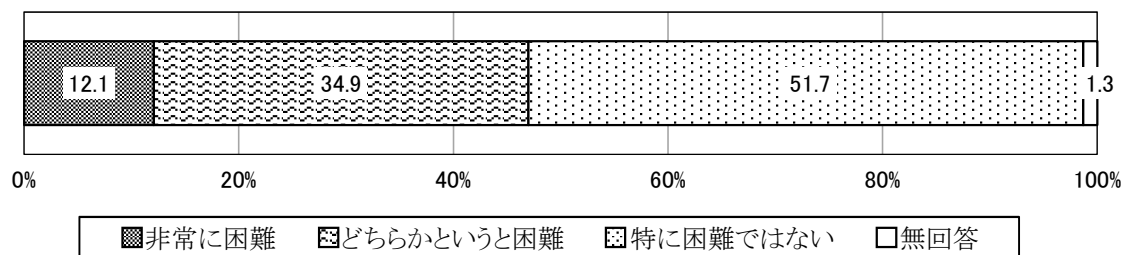
（６）親族・知人に預ける困難さ

※問25で「１．あった」のうち、「ア．（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいました。

問25－１ その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

「特に困難ではない」が最も多く、51.7%となっています。次いで「どちらかというとも困難」が34.9%、「非常に困難」が12.1%と続いています。

n=149



10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

※「10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について」は、2012年（平成24年）4月2日～2013年（平成25年）4月1日生まれのお子さんを対象としています。

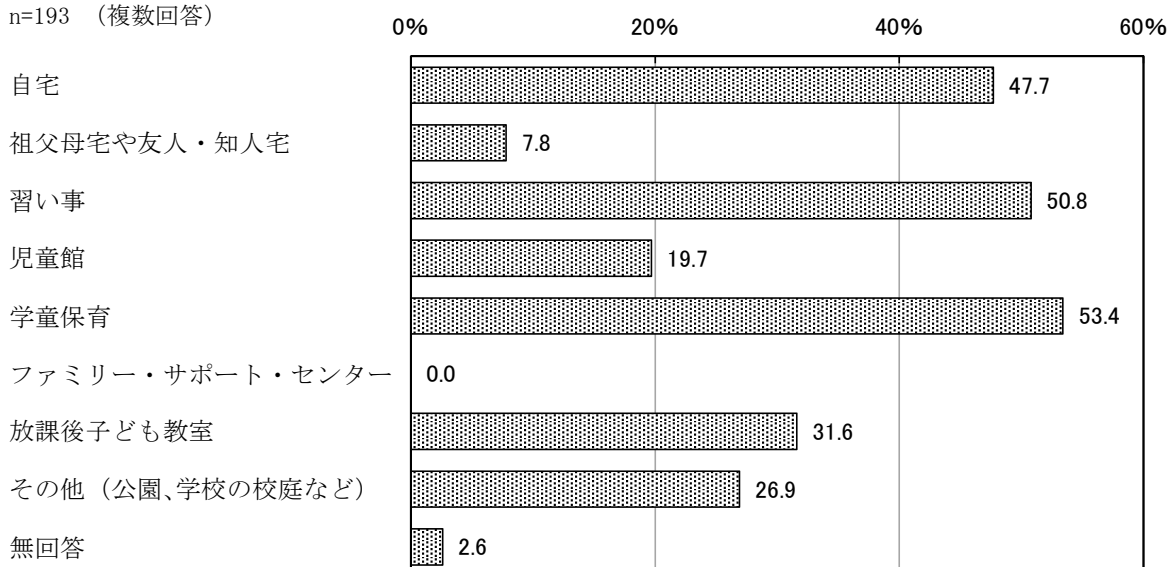
（１）小学校低学年のうちの放課後の過ごし方の希望

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日（月～金）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「５．学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18 時のように24時間制でご記入ください。

①希望する放課後の過ごし方

「学童保育」が最も多く、53.4%となっています。次いで「習い事」が50.8%、「自宅」が47.7%と続いています。

n=193（複数回答）

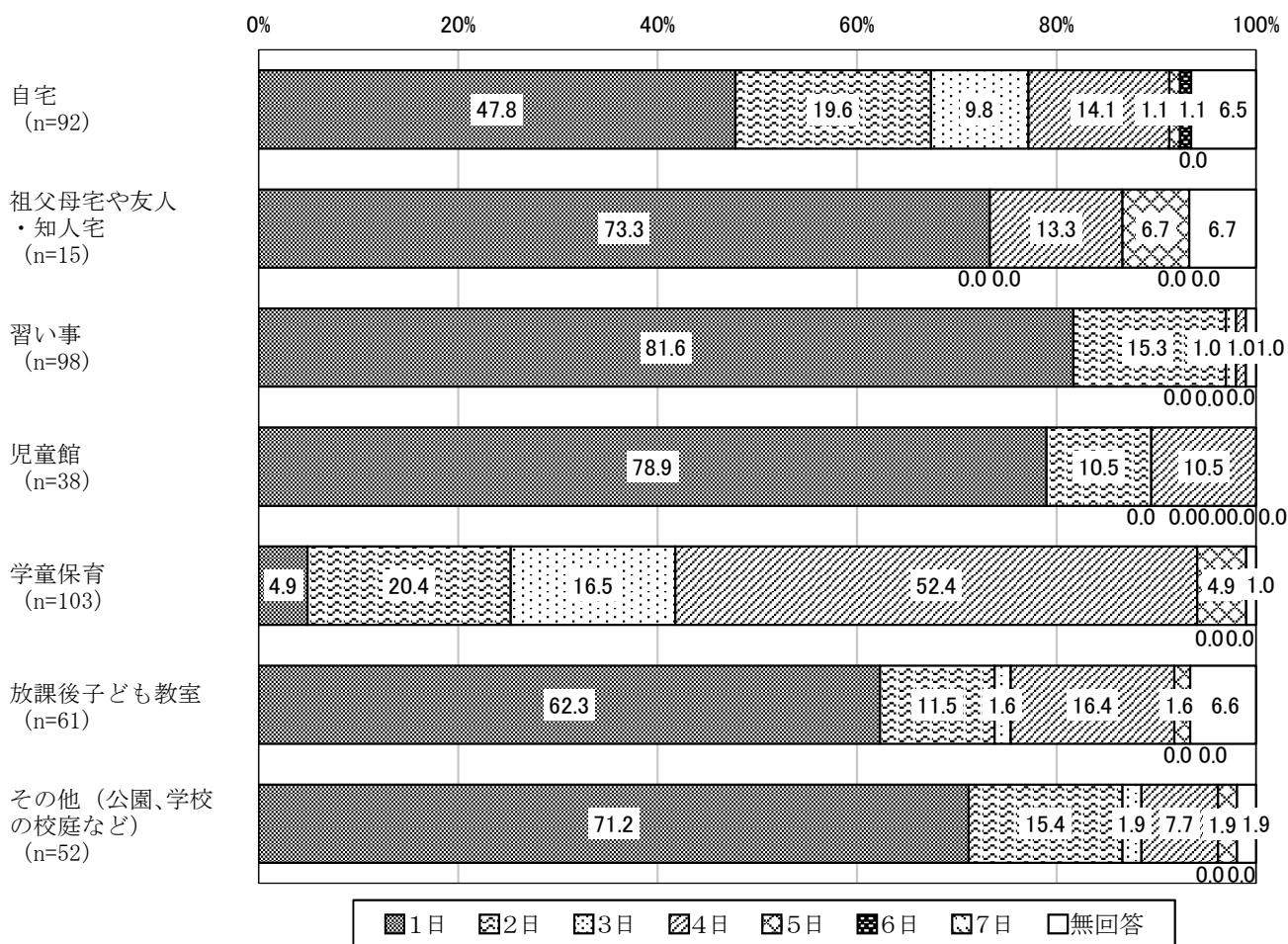


② 1週当たりの日数

“自宅”は「1日」が最も多く、47.8%となっており、「2日」が19.6%、「4日」が14.1%と続いています。“習い事”は「1日」が最も多く、81.6%となっており、「2日」が15.3%と続いています。“児童館”は「1日」が最も多く、78.9%となっています。“学童保育”は「4日」が最も多く、52.4%となっており、「2日」が20.4%、「3日」が16.5%と続いています。“放課後子ども教室”は「1日」が最も多く、62.3%となっており、「4日」が16.4%と続いています。

※ “ファミリー・サポート・センター”は、回答対象者がいませんでした。

※ “祖父母宅や友人・知人宅”は回答者数が少ないため、参考値となります。

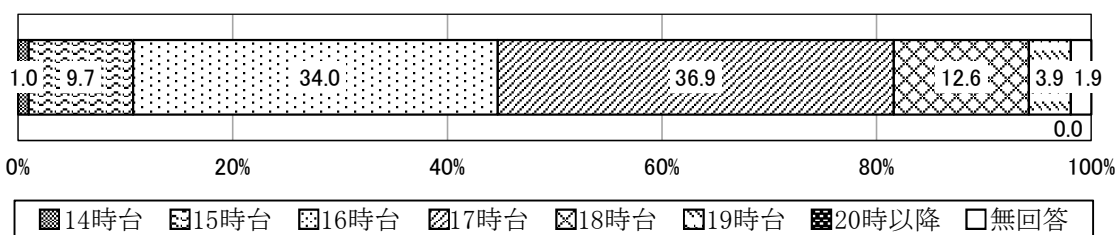


③ 学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

※問26で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいました。

「17時台」が最も多く、36.9%となっています。次いで「16時台」が34.0%、「18時台」が12.6%と続いています。

n=103



(2) 小学校高学年になってからの放課後の過ごし方の希望

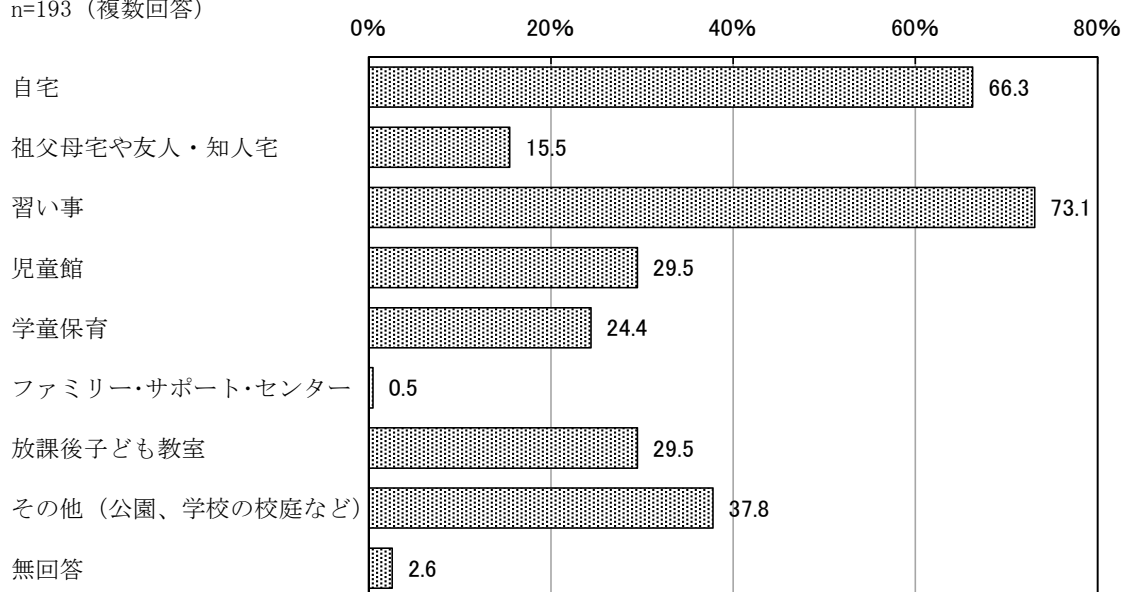
問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日（月～金）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。

また、「5. 学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18 時のように24時間制でご記入ください。

①希望する放課後の過ごし方

「習い事」が最も多く、73.1%となっています。次いで「自宅」が66.3%、「その他（公園、学校の校庭など）」が37.8%、「児童館」と「放課後子ども教室」が29.5%、「学童保育」が24.4%と続いています。

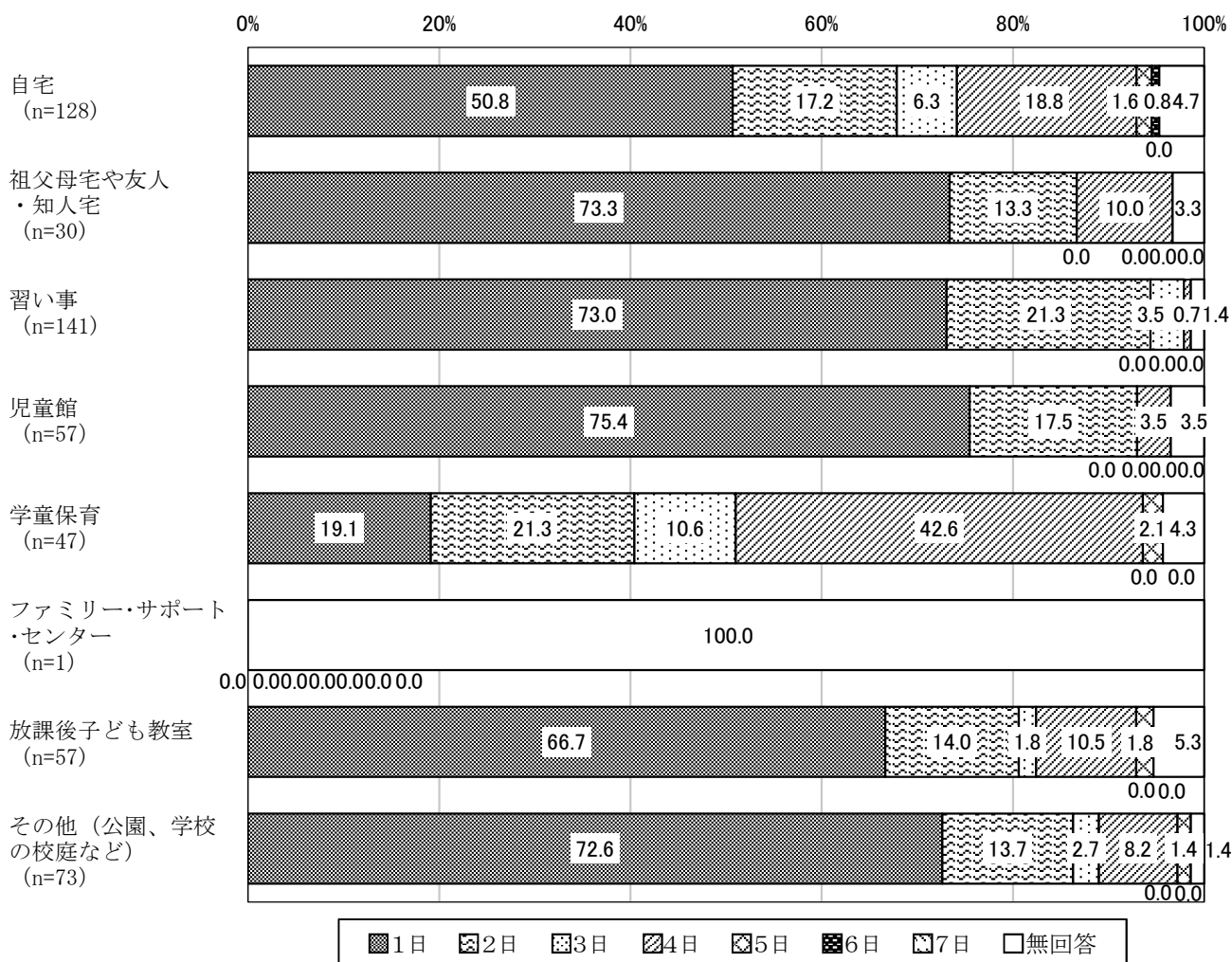
n=193（複数回答）



② 1週当たりの日数

“自宅”は「1日」が最も多く、50.8%となっており、「4日」が18.8%、「2日」が17.2%と続いています。“祖父母や友人・知人宅”、“習い事”、“児童館”、“放課後子ども教室”、“その他（公園、学校の校庭など）”はいずれも「1日」が最も多く、特に“児童館”では75.4%となっています。“学童保育”は「4日」が最も多く、42.6%となっており、「2日」が21.3%、「1日」が19.1%と続いています。

※“ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。

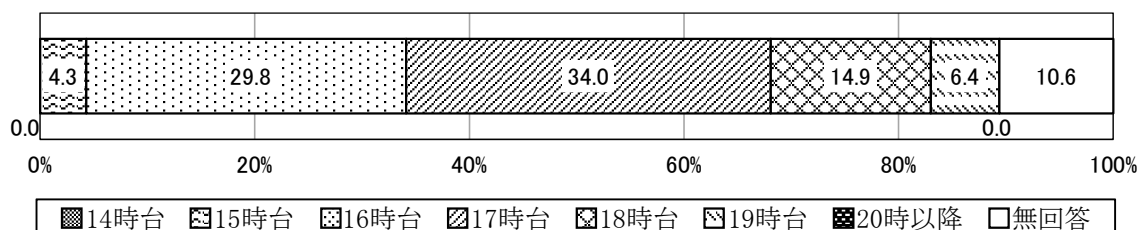


③ 学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

※問27で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいました。

「17時台」が最も多く、34.0%となっています。次いで「16時台」が29.8%、「18時台」が14.9%と続いています。

n=47



(3) 土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望

※問26または問27で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいました。

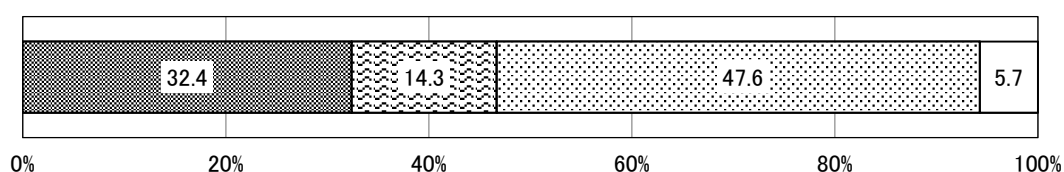
問28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。
(1) (2) それぞれについて、当てはまる番号 1つ に○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

①土曜日

【利用希望】

「利用する必要はない」が最も多く、47.6%となっています。次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が32.4%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が14.3%と続いています。

n=105



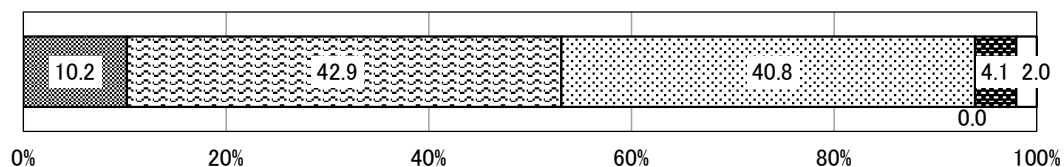
■低学年(1～3年生)の間は利用したい ■高学年(4～6年生)になっても利用したい ■利用する必要はない □無回答

【利用開始時間】

※問28 (1) で「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「8時台」が最も多く、42.9%となっています。次いで「9時台」が40.8%と続いています。

n=49



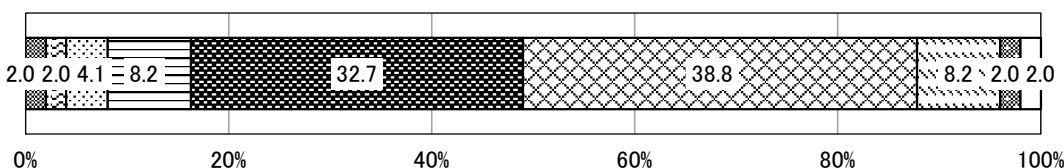
■7時台 ■8時台 ■9時台 ■10時台 ■11時以降 □無回答

【利用終了時間】

※問28 (1) で「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、38.8%となっています。次いで「17時台」が32.7%と続いています。

n=49



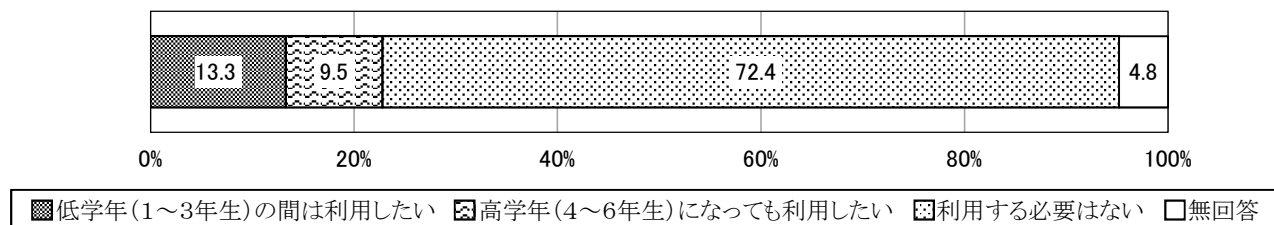
■13時台 ■14時台 ■15時台 ■16時台 ■17時台 ■18時台 ■19時台 ■20時以降 □無回答

②日曜日

【利用希望】

「利用する必要はない」が最も多く、72.4%となっています。次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が13.3%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が9.5%と続いています。

n=105



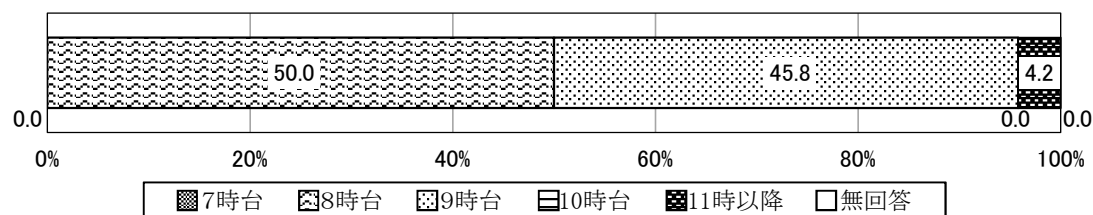
【利用開始時間】

※問28（2）で「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「8時台」が最も多く、50.0%（24人中12人）となっています。次いで「9時台」が45.8%（24人中11人）と続いています。

※ 本設問の結果については、回答者数が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

n=24



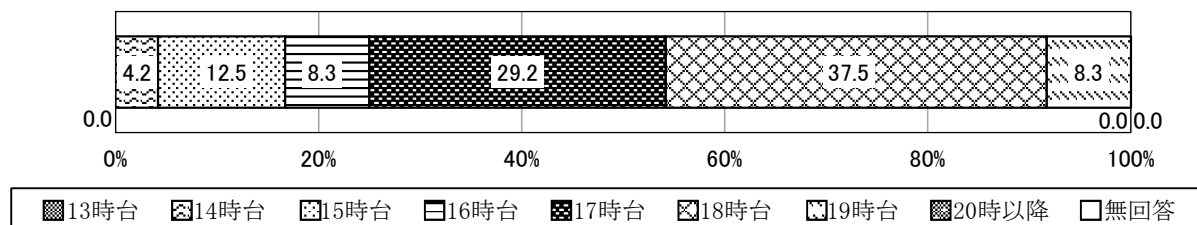
【利用終了時間】

※問28（2）で「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、37.5%（24人中9人）となっています。次いで「17時台」が29.2%（24人中7人）と続いています。

※ 本設問の結果については、回答者数が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

n=24



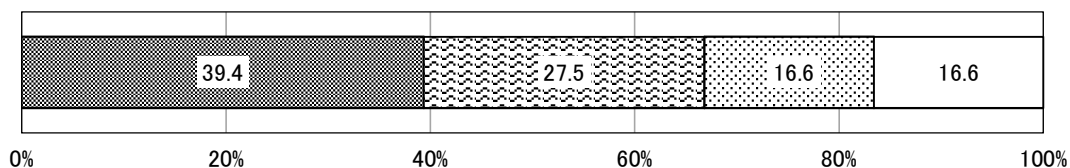
(4) 長期期間中の学童保育の利用希望

問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

【利用希望】

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が最も多く、39.4%となっています。次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が27.5%、「利用する必要はない」が16.6%と続いています。

n=193



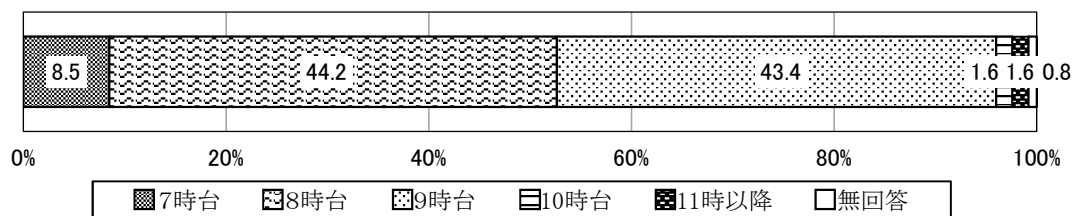
■低学年(1～3年生)の間は利用したい ■高学年(4～6年生)になっても利用したい ■利用する必要はない □無回答

【利用開始時間】

※問29で「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「8時台」が最も多く、44.2%となっています。次いで「9時台」が43.4%と続いています。

n=129



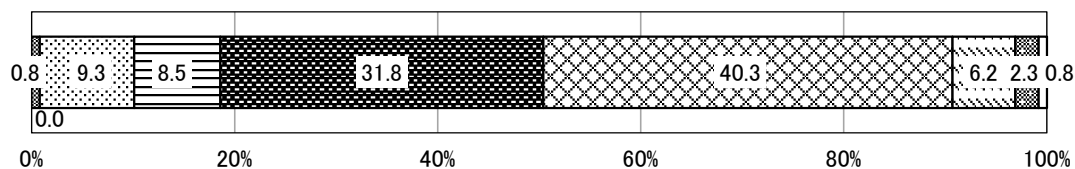
■7時台 ■8時台 ■9時台 ■10時台 ■11時以降 □無回答

【利用終了時間】

※問29で「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、40.3%となっています。次いで「17時台」が31.8%と続いています。

n=129



■13時台 ■14時台 ■15時台 ■16時台 ■17時台 ■18時台 ■19時台 ■20時以降 □無回答

11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

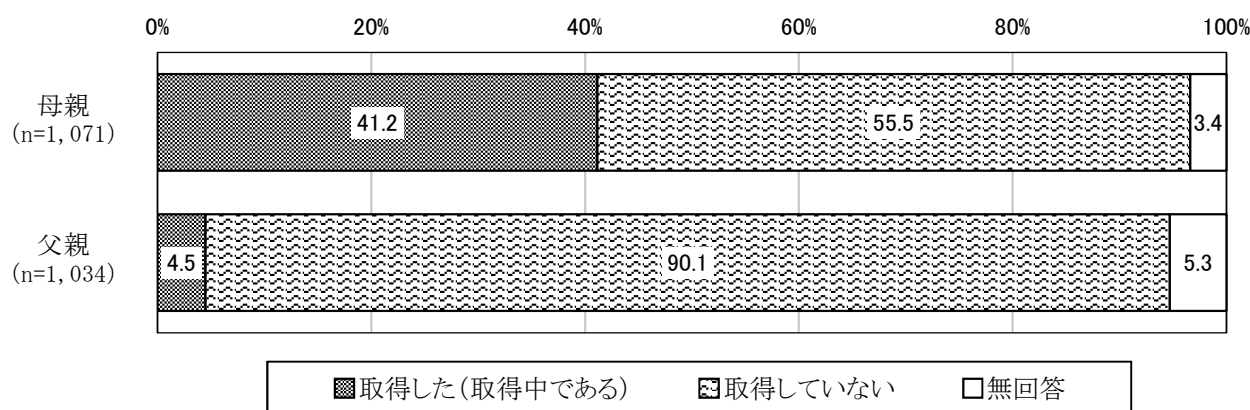
(1) 育児休業の取得状況・取得していない理由

問30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「2. 取得していない」を選んだ方はその理由を選択肢から選び、あてはまるものすべてをご記入ください。

①取得状況

母親では「取得した（取得中である）」が41.2%、「取得していない」が55.5%となっています。

父親では「取得した（取得中である）」が4.5%、「取得していない」が90.1%となっています。



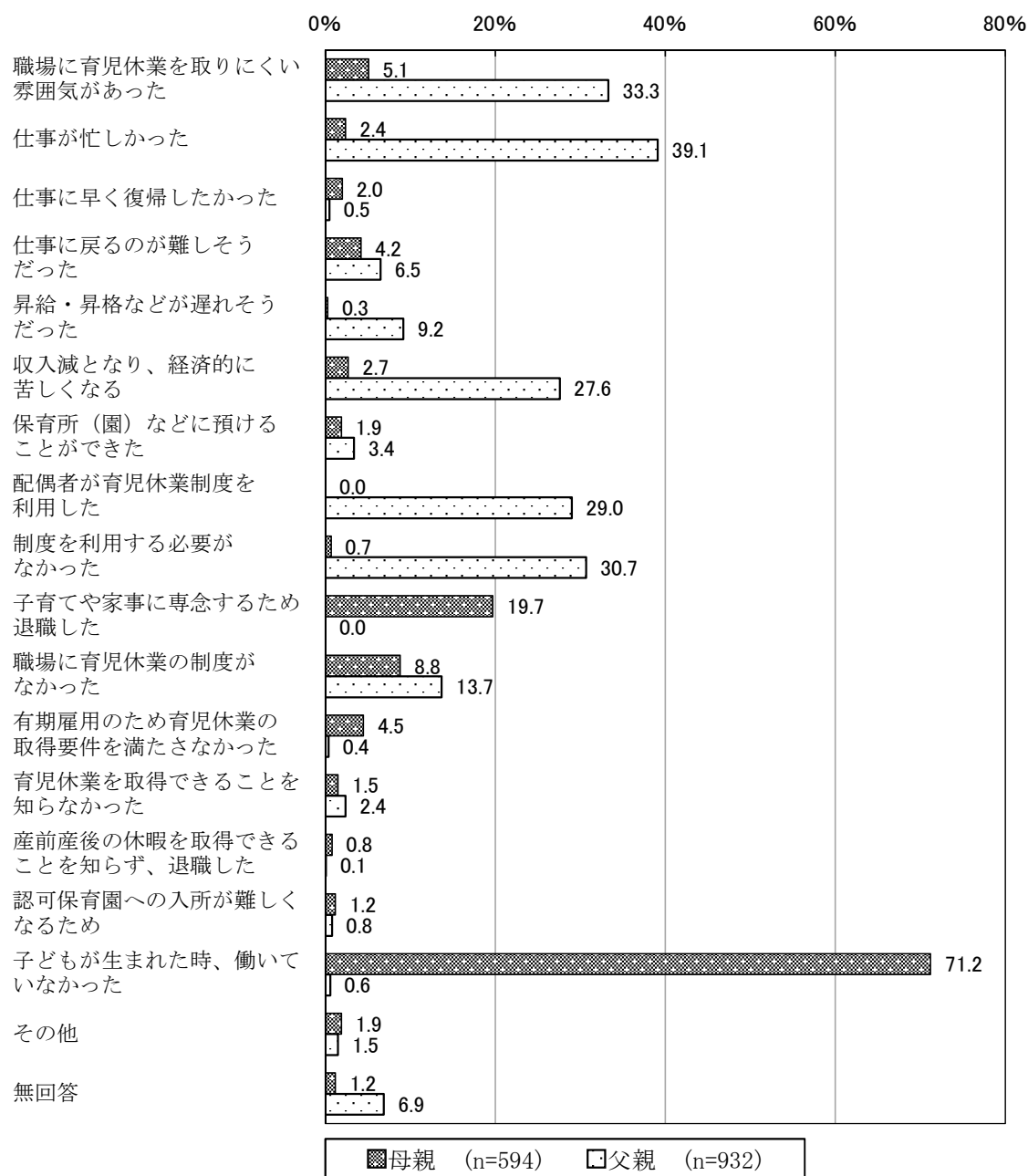
②取得していない理由

※問30で「2. 取得していない」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「子どもが生まれた時、働いていなかった」が最も多く、71.2%となっています。次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が19.7%と続いています。

父親では「仕事が忙しかった」が最も多く、39.1%となっています。次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が33.3%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」30.7%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が29.0%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が27.6%と続いています。

(複数回答)

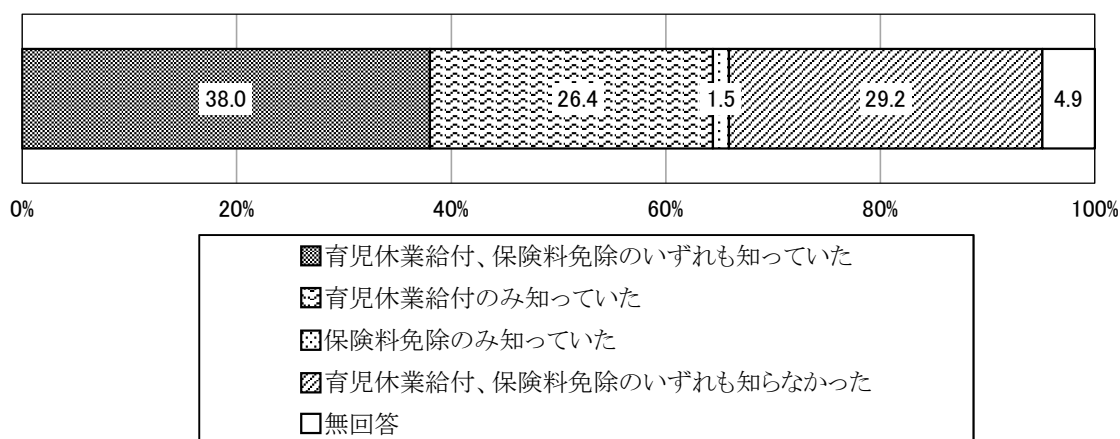


（２）育児休業給付・保育料免除の認知状況

問30－１ 子どもが原則１歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は２歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満３歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 １ つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が最も多く、38.0%となっています。次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が29.2%、「育児休業給付のみ知っていた」が26.4%と続いています。

n=1,074



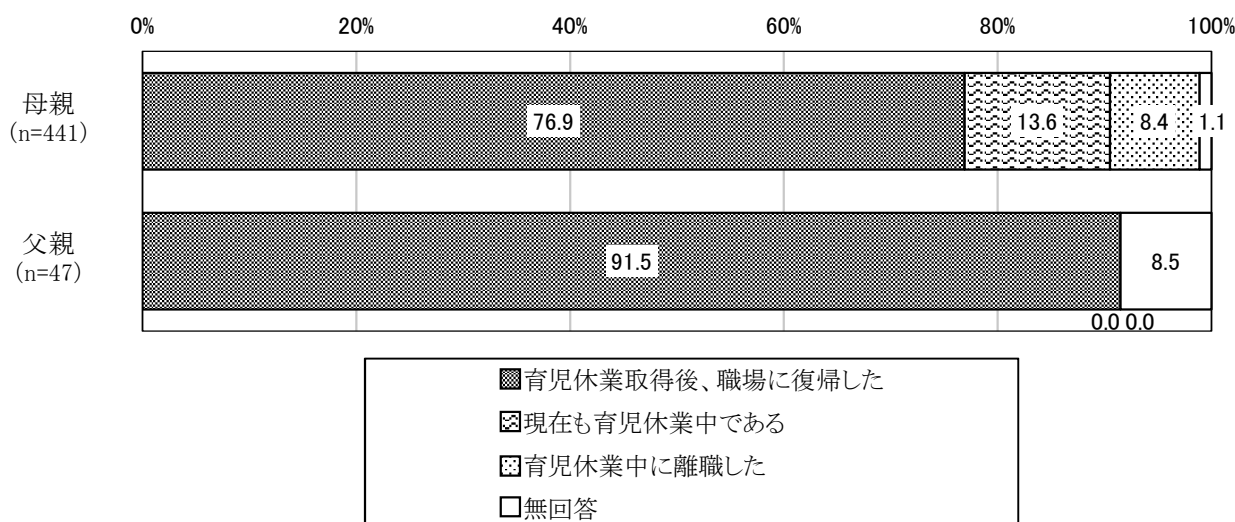
（３）育児休業取得後の職場復帰

※問30で「１．取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいました。

問30－２ 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 １ つに○をつけてください。

母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も多く、76.9%となっています。次いで、「現在も育児休業中である」が13.6%と続いています。

父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が91.5%となっています。



(4) 職場復帰の時期

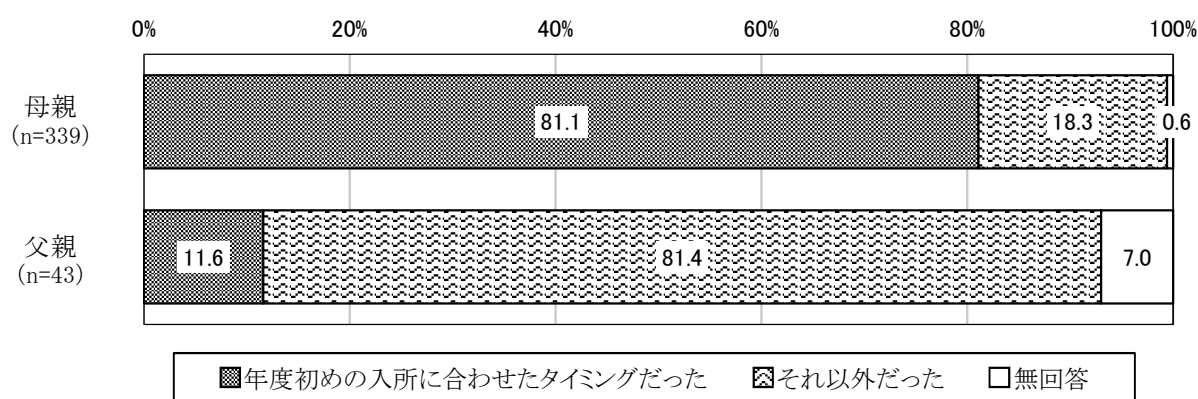
※問30－2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいました。

問30－3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可保育所に入所した場合なども「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が81.1%、「それ以外だった」が18.3%となっています。

父親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が11.6%、「それ以外だった」が81.4%となっています。



(5) 職場復帰時の子どもの年齢と希望時期

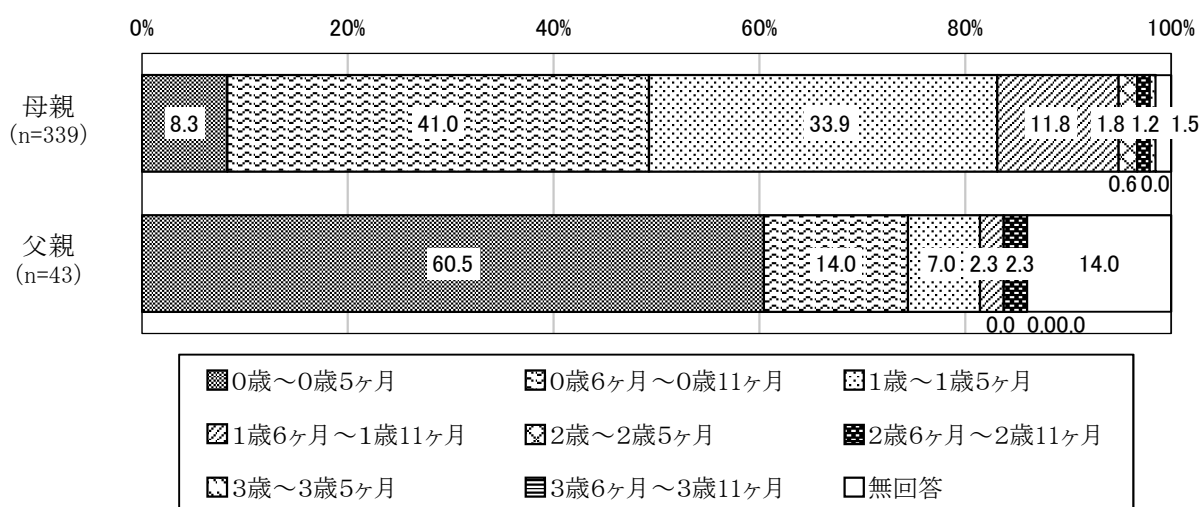
※問30－2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいました。

問30－4 育児休業からは、「実際にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。下線部に数字でご記入ください。

①職場復帰時の子どもの年齢

母親では「0歳6ヶ月～0歳11ヶ月」が最も多く、41.0%となっています。次いで「1歳～1歳5ヶ月」が33.9%、「1歳6ヶ月～1歳11ヶ月」が11.8%と続いています。

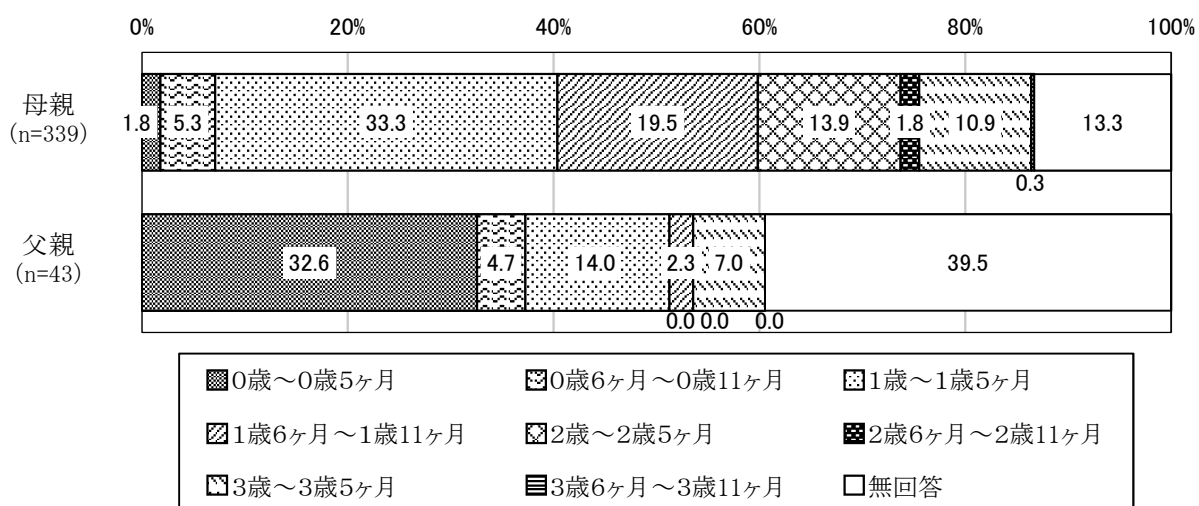
父親では「0歳～0歳5ヶ月」が最も多く、60.5%となっています。次いで「0歳6ヶ月～0歳11ヶ月」が14.0%と続いています。



②希望時期

母親では「1歳～1歳5ヶ月」が最も多く、33.3%となっています。次いで「1歳6ヶ月～1歳11ヶ月」が19.5%、「2歳～2歳5ヶ月」が13.9%と続いています。

父親では「0歳～0歳5ヶ月」が最も多く、32.6%となっています。次いで「1歳～1歳5ヶ月」が14.0%と続いています。



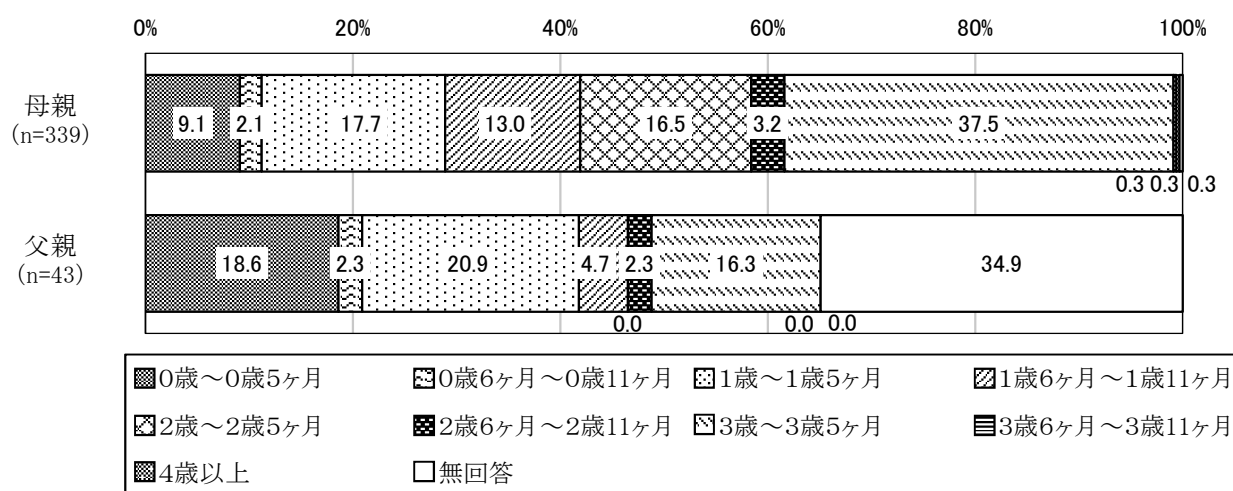
（６）３歳まで休暇を取得できる制度があった場合の職場復帰の希望時期

※問30－２で「１．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいました。

問30－５ お勤め先に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。数字をご記入ください。

母親では「３歳～３歳５ヶ月」が最も多く、37.5%となっています。次いで「１歳～１歳５ヶ月」が17.7%、「２歳～２歳５ヶ月」が16.5%と続いています。

父親では「１歳～１歳５ヶ月」が最も多く、20.9%となっています。次いで「０歳～０歳５ヶ月」が18.6%、「３歳～３歳５ヶ月」が16.3%と続いています。



(7) 希望の時期に職場復帰できなかった理由

※問30－4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいました。

問30－6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。当てはまる番号
すべてに○をつけてください。

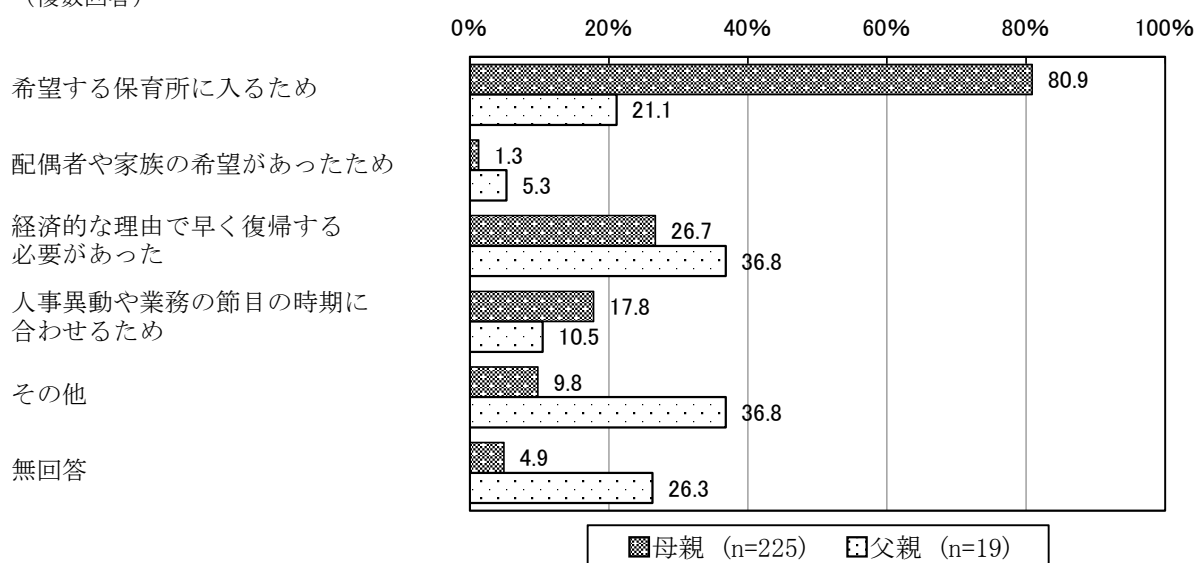
①希望より早く復帰した理由

母親では「希望する保育所に入るため」が最も多く、80.9%となっています。次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が26.7%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が17.8%と続いています。

父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が最も多く、36.8%（19人中7人）となっています。

※ 父親の結果については、回答者数が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

(複数回答)



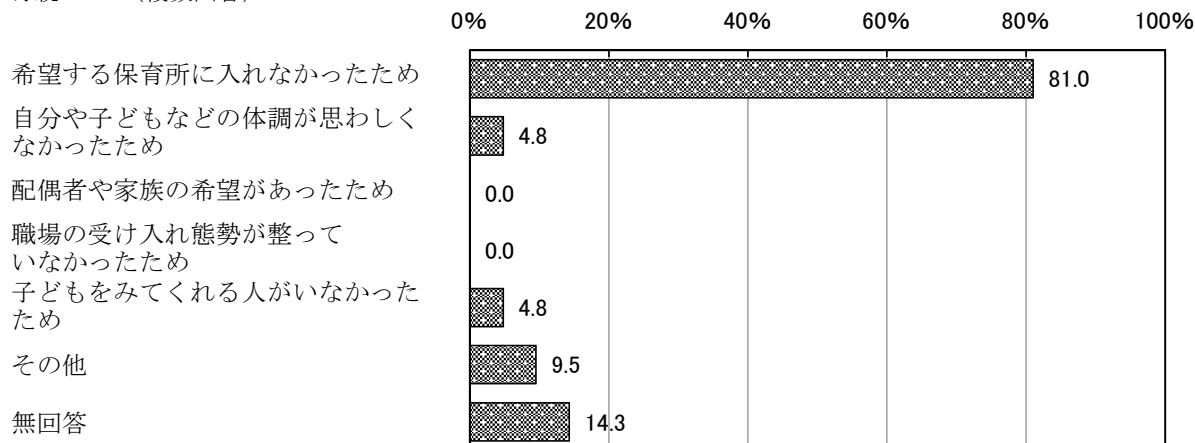
②希望より遅く復帰した理由

母親では「希望する保育所に入れなかったため」が最も多く、81.0%（21人中17人）となっています。

※ “父親”は、回答対象者がいませんでした。

※ 本設問の結果については、回答者数が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

母親 n=21 (複数回答)



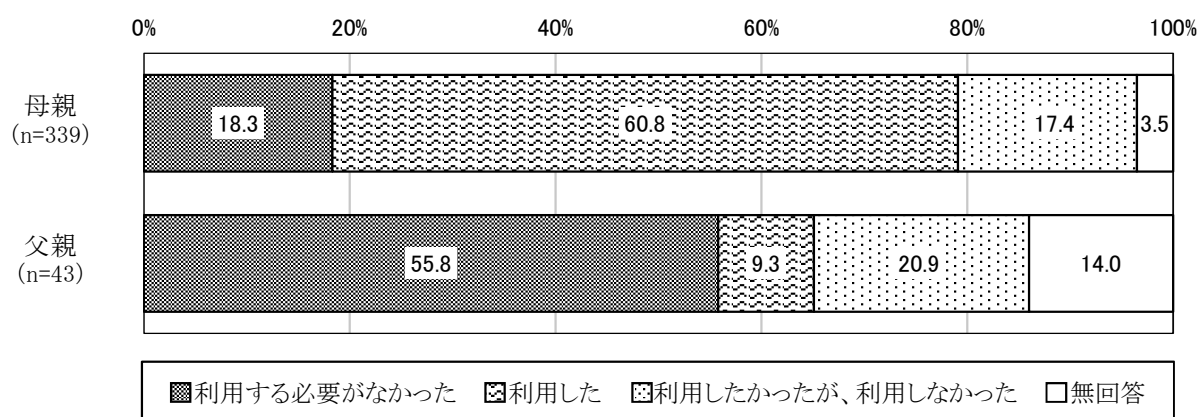
（８）短時間勤務制度の利用の有無

※問30－２で「１．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいました。

問30－７ 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

母親では「利用した」が最も多く、60.8%となっています。次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が18.3%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が17.4%と続いています。

父親では「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が最も多く、55.8%となっています。次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が20.9%と続いています。



（９）短時間勤務制度を利用できなかった理由

※問30－7で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいました。

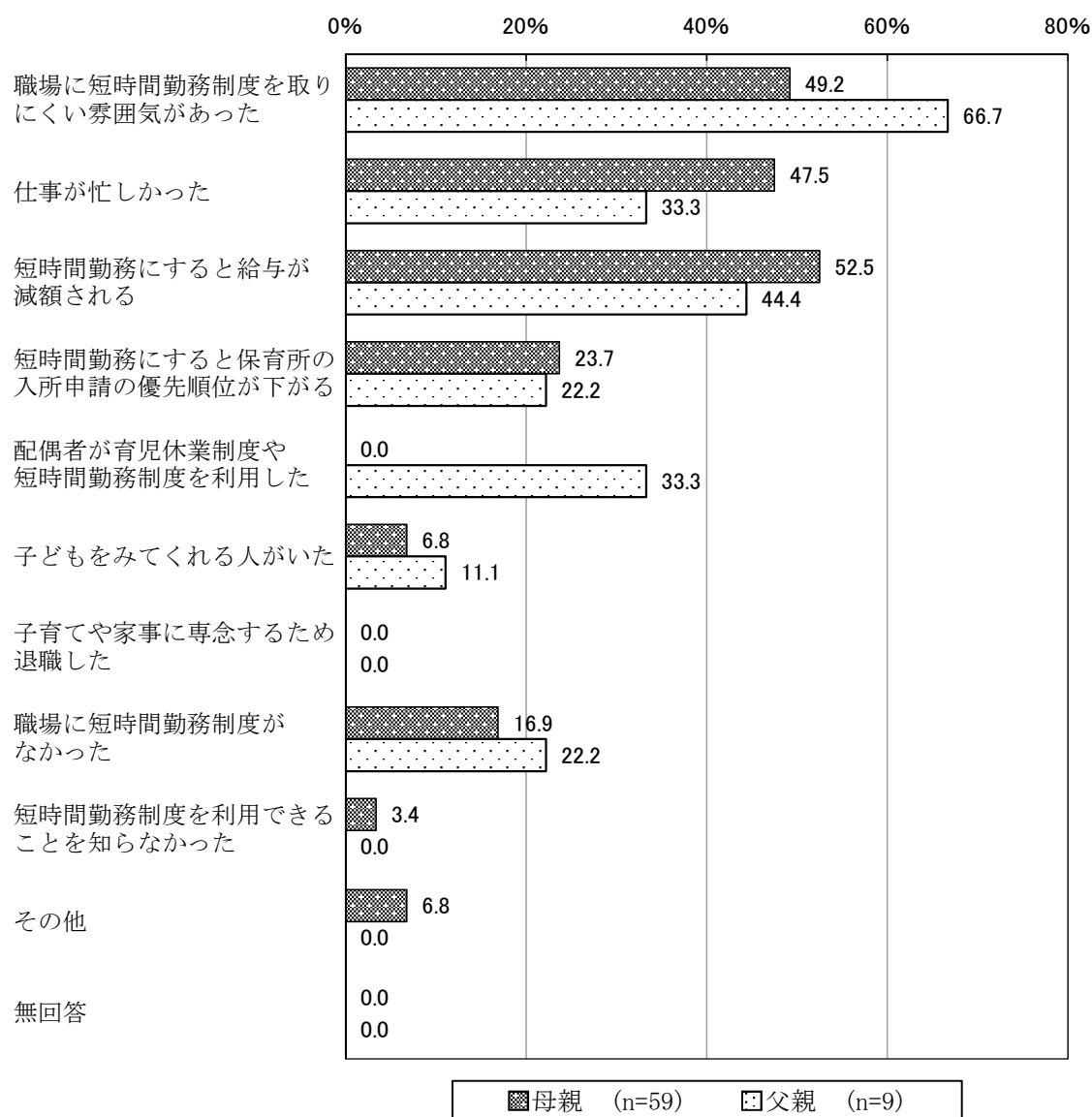
問30－8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

母親では「短時間勤務にすると給与が減額される」が最も多く、52.5%となっています。次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が49.2%、「仕事が忙しかった」が47.5%、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」が23.7%と続いています。

父親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が最も多く、66.7%（9人中6人）となっています。次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」が44.4%（9人中4人）と続いています。

※ 父親の結果については、回答者数が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

（複数回答）



(10) 必ず利用できる事業があった場合の、1歳になるまでの育児休業取得希望

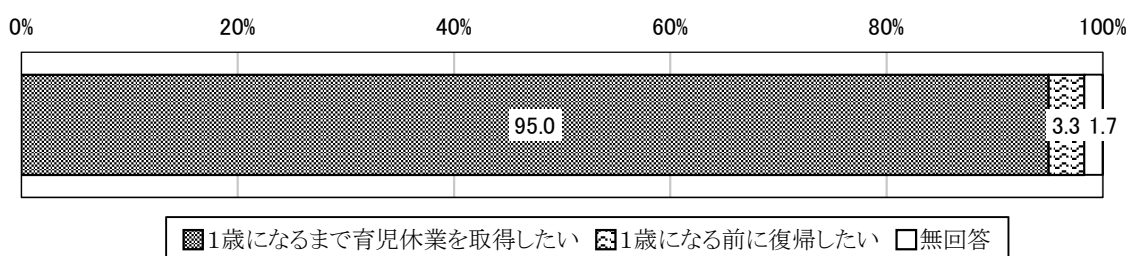
※問30-2で「2. 現在も育児休暇中である」に○をつけた方にうかがいました。

問30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が95.0%、「1歳になる前に復帰したい」が3.3%となっています。

※ 父親については、回答対象者がいませんでした。

n=60 (母親)



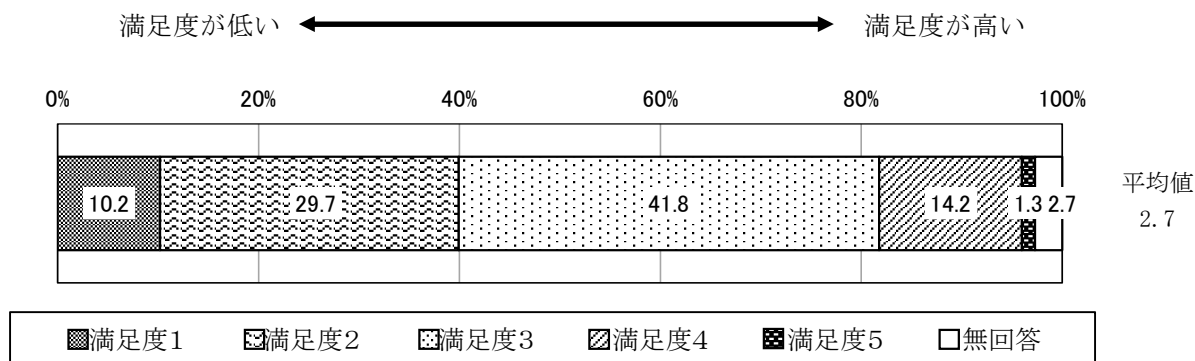
12. 子育て支援への満足度やご意見について

(1) 東久留米市の子育て環境や支援に対する満足度

問31 東久留米市の子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

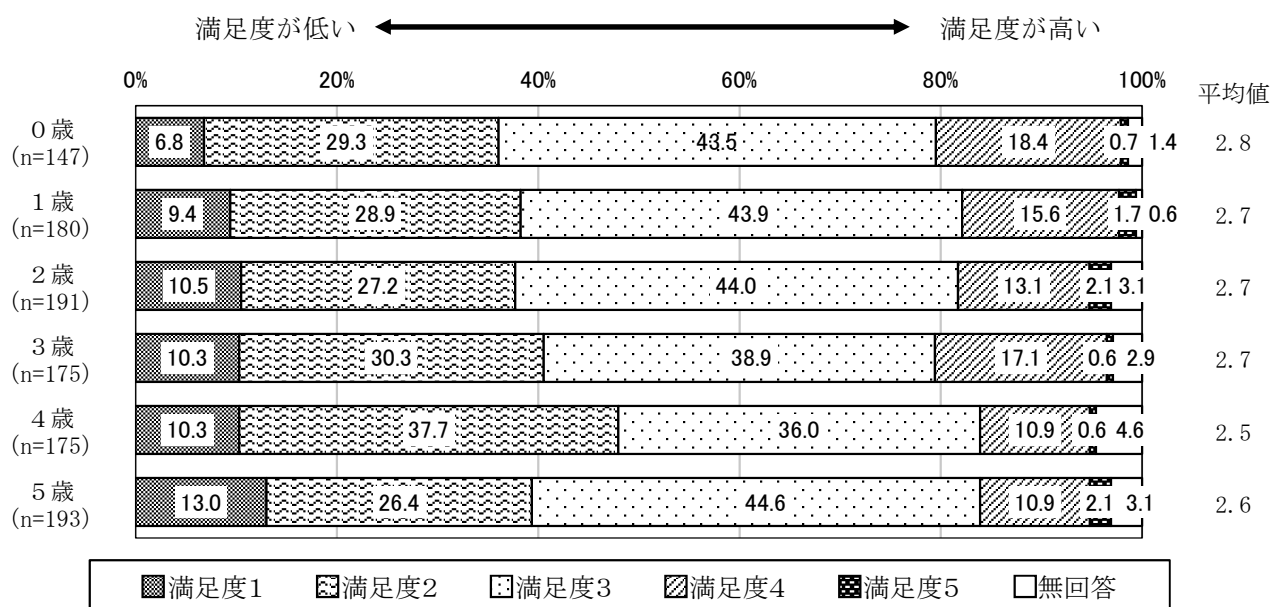
「満足度3」が最も多く、41.8%となっています。次いで「満足度2」が29.7%、「満足度4」が14.2%、「満足度1」が10.2%、「満足度5」が1.3%と続いています。

n=1,074



【東久留米市の子育て環境や支援に対する満足度—子どもの年齢（学年齢）別】

東久留米市の子育て環境や支援に対する満足度を子どもの年齢（学年齢）別にみると、4歳では「満足度2」が37.7%と最も多く、他の年齢では「満足度3」が4割弱から4割半ばと最も多くなっています。



(2) 自由意見

問32 最後に、東久留米市の教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

645名の方から自由意見が寄せられました。一部の意見を掲載します（文意を変えない程度に、表記等を整理しています）。

【幼児教育に関する意見】

- ・ 保育園に入れず、幼稚園に入園しました。幼稚園も預かり保育が充実していて預けやすくなりました。その園は教育内容や行事などを見て魅力的だったので入園を決めました。でも、子どもを預ける保育環境が充実しておらず、こういうのが事前にわかっていたら考え直したのになと思います。市のホームページには各幼稚園のHPアドレスだけがリンクされていて、情報が少ないと思います。第三者から見た市が客観的に評価し、それをHPに載せるなどしてくれてもいいと思います。
- ・ 下里に住んでいますが、幼稚園が近くになく、東村山市が近くになるので、学校に行くときに知り合いがいなかったため、子どもも大人も困りました。近所付き合いもないため、もっと子どもの集いの場所、機会がほしいです。幼稚園がほしいです。
- ・ 働くお母さんが利用しやすい幼稚園が少ない。延長可能な時間や行事への参加など、仕事と両立が難しいところばかりだった。
- ・ 全ての子が幼稚園を選択することが可能なように、園の数を増やしてほしい。幼稚園での教育（経験）は受けたいが、働きたいという希望もあるため、現状だと選択肢がない（預かり保育だと春休み中に預かりができない期間があったりするため、こども園しか選べない）。園の場所が駅と反対方向なので、仕事に復帰できたとしても送り迎えがかなり負担。駅で預かって送迎してくれるようなサービスや早い時間の園バスなどがあるといい。

【保育に関する意見】

- ・ 正社員、フルタイムという条件であれば保育所に入りやすいが、派遣で求職し、保育所に入りたいとなるとなかなか入れない。派遣会社も“保育所に入れる”という確約がないと派遣先を紹介していただけないので、結果家にいることになってしまいます。働きたい人が育休・求職に関わらず子どもを保育所に預けられる仕組みがほしいです。
- ・ 認可の基準が低くなってきている気がします。園庭がある、ゆとりある保育空間がないと、預けたい気が起きないお母さんがまわりには多く思われます。周辺地域に比べれば預けられるようになっていることは良いと思いますが、次は環境を整えて、より子どもが生活しやすい園を促してほしいです。
- ・ 駅近の保育園がもっとできたらいい。
- ・ これから共働きする方が増えると思うので、充実した保育施設を求めます。保育内容も子どもがのびのびと個性が尊重された環境で行われるといいです。
- ・ 待機児童が多く、近年保育園が増えたが、その多くが小規模保育施設のため3歳になるときにまた転園しなければならず、なおかつ認可保育所に必ず入れるわけでもないで困る。公立の保育園がなくなるという話もあり、市内の保育の質が悪くならないようにしてほしい。

ただ、公立保育園の父母会役員や行事の係等、全員が何かしら担当しなければならないというのは働いている親としてはかなり負担です。その点については私立園のほうが良いと思います。

- ・ 保育園（認可保育所）の数が足りず、不満に思う。希望した職場復帰時期に保育所に入所できず、また、入所できる人数に限りがあるため、早くから「保活」が必要であり、子育てしつつ入所に関しての情報収集や行動がストレスに感じた。
- ・ 保育所入所の審査について、5年前は希望所別に入所が決まっていた。その方法について大変不満がある。現在は点数の高い人から優先とのこと。現在も遠い保育園に通っている。大変不便である。その他については感謝している。
- ・ 保育園や幼稚園が多くあり、新しく開設された保育所も増えてきていると耳にしました。前職では産休・育休制度がなかったため退職し、上の子が1歳になる頃は保育園に空きがなく預けることができないまま2人目出産となりました。現在では年子の子どもを育てていますが、来年度（H31）4月頃から子ども2人を預けて働きたいと思っています。経済状況も含めてフルタイムで働きたいとは思っていますが、本来ならば扶養範囲内で働き、子どもとの時間を多く取りたいのですが、保育園に入園するためにはフルタイムで働かなければ入れないのではと思うところです。さらに姉弟が同じ園に入園させてもらえるのかということのも不安なところです。
- ・ 現在仕事では時短を申請しているが、一度も取れていない状況です。朝7時～18時半まで子どもをフルで保育園に預かっていただけて助かっています。保育園に関しては感謝しつつ、病気の際に見えていただける施設は事前予約が必要で、子どもの急な病気に対応しきれなかったり、仕事の休みが取れない日も多く困っている。保育園で37.8℃で呼び出しが来て「食事が全てとれて、おやつも食べれます」と迎えに行ったとき言われ、次の日も同様で呼び出しが来たときは困った。子にもよるが呼び出しの基準もあると思う。平日早退すると休日結局仕事に行かなくてはいけないこともあり、困ったこともありました。仕事上、専門職で職場に1人しかいないため、仕事を休んだりが困難です。夫の実家が市内ですが働いているので、子どもを見ていただくときも気を遣います。休日にも仕事が入ることが1カ月に1～2回あり、保育園または夫か実家に頼っていますが、頼れない人も多くいると思います。病児保育は調べても利用しにくいと感じました。場所も1箇所です遠いとなかなか困難です。ですが、全て行政に責任や負担を求めすぎる今の現状にも疑問はあります。東久留米市としてという意見ではありませんが、国で取り決めたことも会社や職場ではできていない理由、できていない現状があると思います。時間がない、マンパワー不足でも仕事量は増えていくばかりな気がします。いらない書類などはなくす、もっとシンプルにし、必要なところに時間とお金をかけてワーク・ライフ・バランスが取れる社会にしていかないと、ただ無償化などにしても少子化は改善しないと思います。

【時間外保育に関する意見】

- ・ 幼稚園の延長保育、多少入園できる可能性が広がる安心感はある。反面、保育士や教諭の数や保育体制、環境はどの程度整っているのだろうかという不安？疑問もある（安全面を考えた時に）。
- ・ 保育園の開所時間を延長してほしい（19:00や19:30までだとありがたい）。開所時間が施設によって違うのではなく、できるだけ統一してほしい（特に認可保育所）。
- ・ 保育園自体、20時まで開いているところが増え、働く親にとってはありがたい。子どもの通っているところは18時半までなので、仕事の当番により祖父母にお迎えを頼んでいる。20時まで開いているところだったら20時まで利用していたと思う。今の時代、両親フルタイム

でない」と厳しい現状があるが、自分の子どもとかかわる触れ合う時間が短くなり、働く親として葛藤している。もっと働きやすい職場、子育てと仕事を両立しやすい社会になればと思う。

- ・認可保育所の土曜保育の利用枠を増やしてほしい（受け入れ可能人数や保育士の確保など）。かつ、就業以外の私用での利用も認めてほしい。

【学童保育に関する意見】

- ・学童保育の時間を保育園並みにしてほしい。できれば7:30～18:30まで。学童保育を6年生まで利用できると助かります（4年生～6年生は場所だけの提供でもいいのですが、春夏秋冬休み等、長期休み期間中に利用できると助かります）。
- ・今現在、接客業で土日仕事です。保育園では延長保育もありますが、今後小学校に上がるときに、今の東久留米の現状だと仕事の時間を短くするしかありません。特に土曜の学童が16:15までというのは短すぎます。平日と同じ時間にしてほしいと強く願います。近くの市でも土曜も平日と同じ時間の18:00までが多く、しかも料金は上がりますが延長19:00までとかやっていたりする市や区が多いです。これから学童の時間を長くしてもらわないと、他の市や区へ引越しすることを考えなくてはなりません。ぜひ学童の時間延長、土曜日の学童も平日と同じにしてください。
- ・小学校入学後の話になりますが、保護者が働いていない家庭の子どもでも、学童を一時的にでも利用できるような仕組みがあればいいと思います。急な用事や通院などで家を空けなければいけないとき、現在は幼稚園の一時預かりを利用できるので助かっていますが、小学生（特に低学年時）はどうすればよいのだろうと不安になります。放課後の居場所としては、児童館や校庭開放が思いつきますが、いずれも一度家に帰ってランドセルを置いてからの利用となっています。学童が利用できれば家に帰る必要がなく、安心して預けることができます。放課後子ども教室を実施している地域があると聞き、東久留米市にもあるのかと期待しましたが、残念ながらまだないようなので、学童の一時的利用を検討していただけたらと思います。有料（1回につき〇円など）でも構いません。ただでさえ定員いっぱいの学童に無茶な話だということは承知しておりますが、上記のような不安点があることを知っていただけたらうれしいです。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・小学校の学童保育は現在終了時刻が18:00となっていますが、19:00まで延長してほしいです。特に低学年のときは迎えに行きたいと思っていますが、小学校に入ると父母とも業務時間を短縮できないので、18:00までのお迎えが困難です。
- ・学童に無事に入れるかが心配。パートでも下校時間には間に合わないの。学校でも1人につき1回は役員をしなくてはならないのに、学童に入ったらこちらも役があると聞き不安しかない。でも、学童には入れたいので負担がある。
- ・学童保育については平日は18:00で終了という点、学校の長期休暇中は8:15開所という点、共働き世帯としては柔軟さに欠ける施設だと感じます。低学年児童限定でもいいので保育所に準ずるレベルの開所時間を望みます。

【乳幼児家庭全戸訪問に関する意見】

- ・乳児家庭全戸訪問事業はとてもありがたかったです。そこで誘っていただいた「新米ママの会」をきっかけに新しい友人ができたり、子連れでの外出に慣れることができました。

【地域子育て支援拠点に関する意見】

- ・ パパママクラスや健診、予防接種等でわくわく健康プラザに行くことが多いが、市内のはずれにあるので行くのが少し不便です。
- ・ わくわく健康プラザまで健診に行くのが大変。健診会場を増やしてほしい。シルバーパスのように子育てパスも作ってくれれば助かる。子どもが夜間ケガや病気をしたときに市内にも診てもらえる病院があると心強い。子育て世帯に子育て支援パスポート的なものを作してほしい。
- ・ 児童館や公園が少ない。児童館は下里、滝山あたりに1つあるといいと思います。
- ・ すぐ近くに子どもセンターひばりがあるのでよく利用しています。子どもの名前と顔をすぐ覚えてくれて、行くたびに先生が声をかけてくれるのでとてもうれしいです。ピヨピヨママの会や幼児のつどい、スポーツで元気など、準備が大変そうなイベントもありますが、先生が一生懸命用意してくれるので子どもも楽しく参加しています。雑誌が置いてあるのもうれしいです。ほかのお母さんが「家では雑誌を読む暇がないので久しぶりに読めた」と言っているのも耳にしました。子どもだけでなく、親にとっても憩いの場となっています。
- ・ 小山、野火止地域に児童館、支援センターなどがありません。小山は公園もありません。地域によって違いすぎます。予算がないと言われれば何も言えませんが、予算がないと言っても必要だと思うものは作ってほしいです。
- ・ 子ども家庭支援センターなど、利用しています。とてもありがたい場所です。我が家には2歳～8歳の子ども3人ですが、あおぞらで遊んでお昼を食べようとしたら、小学生がいるので一緒に食べられないと言われました。親一人で子ども3人を連れて行った場合、小学生だけ一緒に食べられないのは悲しいです。あと、日曜日や雨でも子育てに休みはありません。利用できるよう、日曜日の開館や駐車場利用可など、市内センターの見直しをお願いしたいです。よろしくお願いいたします。
- ・ 地域の子育て支援事業に関しては、住んでいる地区（本町）には支援拠点がなく、利用できません。子育て世帯は増えているように感じるので、拠点を増やすなど充実してほしいです。
- ・ 車で行ける児童館が少ないなと思います。やはり子どもが2人以上いると、車のほうが便利（荷物が多い、遊んだ帰りに寝てしまうことが多いなどの理由により）なので、車を停められる場所に行くことが多いです。東久留米市のスポーツセンターはとても良いと思います。

【子育て援助活動支援に関する意見】

- ・ 他県にある「パパママ支援」といった、ショップやレストランで優待が受けられるような仕組みが市内でもあれば、東久留米市内で買い物や食事をする機会も増え、子育て家庭の経済的負担も軽減されるため、有効であると思います。
- ・ 医療費や学費等の支援がさらに向上することを希望します（子育てにおける親子とも）。他の市区町村にある子育て応募券等、目に見えて支援いただいていることを実感できるような制度があるといいと思います。
- ・ ワンオペ育児は大変なので、家事などを手伝いにきてほしい。子どもにかかるものは無料にしてほしい。上記関連で保育園の一時保育も無料にしてほしい。親子で楽しめるイベントや

コンサート、ミュージカルを多数開催してほしい。子育てしやすさ都内1位を目指してほしい。

- ・産後のベビーシッター利用券など（他市でやっているような）があると、産後の体を休める時間ができて助かります。実際に下の子出産時には手伝ってもらえる人がいなく、産後1週間後から上の子の保育園送迎や体調不良（熱など）の対応や買い物など、体もきつくつらかった経験をしました。ファミリーサポートは病児や突然の依頼に対応が難しいようで、実際は民間のベビーシッターに頼みましたが、1時間あたり1500～2500円ほどかかり、ここ1年で相当な費用を払いました。これなら引越（知人や親族がいるところへ）したほうが良いかもと考えながら今に至ります。
- ・幼児～小学生の平日の習い事について、送り迎えのサポートがあると助かります。例えばスポーツセンターと市内の小学校（幼稚園、保育園）を循環して、親がいなくても送迎してくれるサービスなどは需要があるのではないのでしょうか。

【一時預かりに関する意見】

- ・一時預かり事業で1日に利用可能な人数が少なかったのも、もっと増やしてくれたら1人で抱え込まずにリフレッシュ目的で利用できるママが増えて、育児を気楽にできる良い流れができると思います。上の子のときも利用しましたが、希望しても月に2回くらいしか利用可能なことにならなかったのも、その手続きをしに行くことすら負担になり、だんだん利用しなくなりました。人気の保育園は人数を増やしてくれたらいいのにと考えていました。ご検討よろしくお願いします。
- ・予約開始日であれば予約が取れますが、病院に行くために数日後に預けたいという場合などは予約がいっぱいで取れたことがありません。もう少し予約が取りやすい仕組みを考えていただけるとありがたいです。
- ・産後は体調が悪く、祖父母に頼って子どもを見てもらったりしていました。たまにならいいのですが、度々頼ると祖父母の負担になってしまい、市のサービスを利用することも検討しましたが、有料であったり事前登録が必要であったりと気軽に利用できるものでなかったため諦めました。保育園の一時預かりも枠が少ないという話を聞いていたので、利用する気持ちになれませんでした。
- ・一時保育について、リラックス、息抜きのための利用OKとありながら、現実には待機児童の子ばかりで利用しにくいです。子育てに行き詰まり、一時子どもから離れてリフレッシュしたいと思っていても断られることも多く、悲しくなります。お仕事のためとはいえ、何か良い方法があればいいのと思います（たまにでよいので）。
- ・ショートステイがとても高い。ショートステイ他、全ての有料サービスについて、子どもの数が多いほど金額がかさみ、使いづらいです。本当は子どもが多いほど使いたいのに。1人っ子の人も子だくさんの人も同じようなお金の負担でママを助けてください。

【病児保育に関する意見】

- ・病後児保育の登録料の無償化を望みます。また、場所を増やしてほしい。
- ・病児保育など充実させてほしい（利用時間が短く、利用しづらい）。

- ・ 保育園児のときは病気にも多くかかるので、そのたびに会社を休まなくてははいけない。主に母親が休むことが多く、仕事場に気を使うことも多い。切実に病児保育の充実を望みます。現在あるところはパートでは利用料が高すぎる。

【相談支援・情報提供に関する意見】

- ・ 市内でいろいろと支援をしてくださっているのは理解しているのですが、両親ともに仕事が忙しく、わざわざホームページを見て確認することができません。
- ・ なかなか子育て事業のことについて知る機会が少なく感じます。働きながらだと、なおさら触れることが少ないかなと思いました。育休中だと、子育てセンターへ足を運ぶといろいろな情報などを得ることができてよかったです。そこでやっている教室などは友人から聞いたり、センターの人に教えてもらったりして、「行きたいな、参加したいな」と思ったときには終わっていたり、定員だったり、有料だったりなので、二部制とかもありなのかなと思いました。
- ・ 市報で休日の病院がわかるのは良いです。土日などに家族で参加できるイベントなどがあると良いかなと思います。また、世帯のケース別（幼稚園、保育園、家庭育児）に利用するのに最適な事案がわかったら良いと思う。いろいろと事業はそろっていると思うが、全てを確認するのが難しいため。あるのに知らないことが多かったりして損することもあります。利用できるものは利用していきたい。児童館、市役所、幼稚園などに1枚ペラくらいの内容であったら、待ち時間に確認できるので便利そう。
- ・ 主婦は楽だと思われがちだが、1年中休みなしでの育児は気が抜けないことをもう少しわかかってほしい。お金が少々かかっても大切なことだと思う。安心してお願いできるプロと施設、必要です。カウンセリングを母親が受けられたら子育てトラブルは減ると思う。病院より施設センターや市役所であったらほしいサービス。
- ・ 妊娠→出産→子育て、どの場面でも手厚く、心強かったです。自分で情報を探すのが得意な方はいいのですが、そうでない方へはもう少し情報が手に入りやすい用意をしてもらえると良いのかもしれませんが（携帯を持っていない家庭へはパンフレットが定期的に届く等）。これからも子どもたちのために東久留米市が住みやすい市になってほしいと思います。

【その他の意見】

- ・ 一部の道路整備がされていないのが不満です。市役所へ行くのも道が悪く、かつカーブが多くて危ないと思いました。それ以外はとても住みよい市だと思いますので、これからのインフラ整備に期待をしています。また、市での子育て事業、ワクチン接種を整備されていて、非常によく考えてしていると思います。今後も期待しています。
- ・ 赤ちゃんを一緒に連れて行けるレストランやお店が少ない（座敷の部屋がない）。子どもを遊ばせているあいだに休憩できるカフェやレストランが少ない。
- ・ 東久留米の環境や支援とは別に、現在とてもいい保育園を利用させていただいております。ですが保育園の前を通る市民の方々がとても厳しく、子どもたちが楽しく通っている保育園、先生たちがすごく気の毒に思ってしまう。車も停めづらいので、保育園に通う人たちの車の停め方にも問題があることもわかってはいるのですが、もう少し子どもたちも先生たちももっと楽しく保育生活を過ごすことができるいい方法があれば…と思います。子育てをしていく上で、まわりの方々が“子どもに厳しい”というのは、子育てをしている母親、父親が肩身の狭い思いをしているのではないかと思います。子育ての環境は市民の方々に

よって全く違うと思います。

- ・特に不満があるわけではないのですが、「特に子育てしやすい」と感じたこともないのが正直なところ。東久留米市は自然も多く商業施設もいろいろあるのでそういった意味では子どもとともに暮らしやすいとは思いますが、ほかの自治体と比べたときに東久留米市独自の取り組みがあるのかどうか思いつかないためです。今回同封されていたピンクの紙の一覧は持ち歩きやすくいいと思います。今後ネットからさまざまな施設の利用予約ができるようになることを望みます。

Ⅲ. 就学児童（小学校 2 年生） 調査の結果

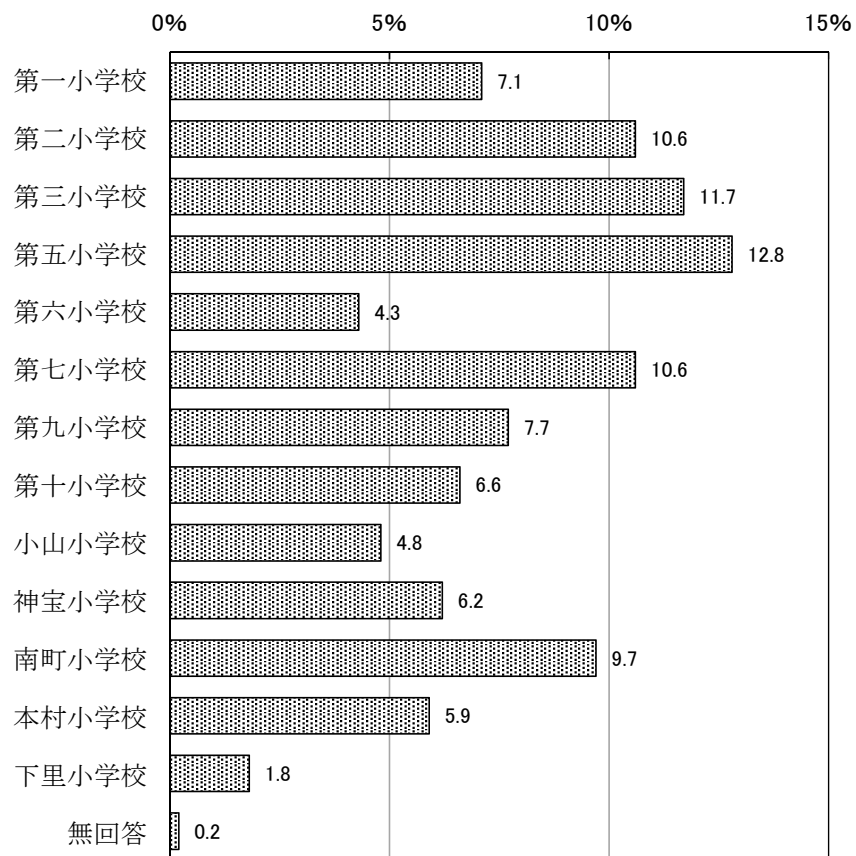
1. お住まいの地域

(1) 通っている小学校

問1 お子さんが通っている学校はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「第五小学校」が最も多く、12.8%となっています。次いで「第三小学校」が11.7%、「第二小学校」と「第七小学校」が10.6%と続いています。

n=649



2. お子さんご家族の状況について

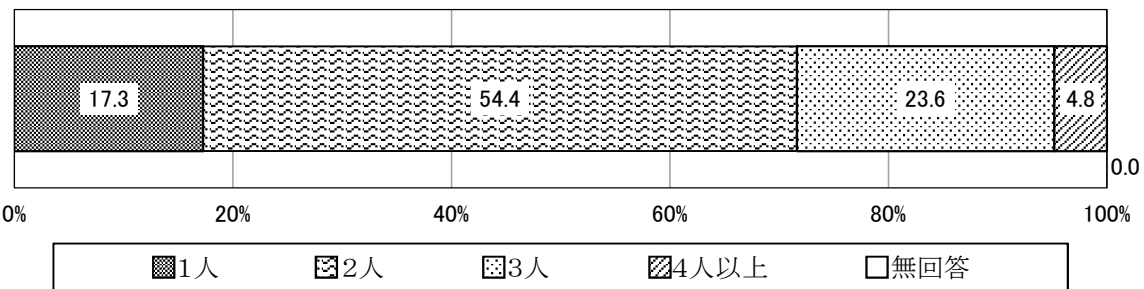
(1) きょうだいの数・末子の年齢

問2 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。小学2年生のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください（「ひとりっ子」は「1」）。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月をご記入ください。

①きょうだいの数

「2人」が最も多く、54.4%となっています。次いで「3人」が23.6%、「1人」が17.3%と続いています。

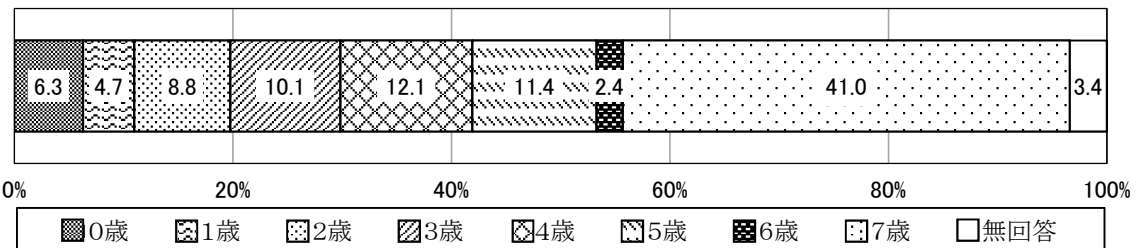
n=649



②末子の年齢

「7歳」が最も多く、41.0%となっています。次いで「4歳」が12.1%、「5歳」が11.4%、「3歳」が10.1%と続いています。

n=537

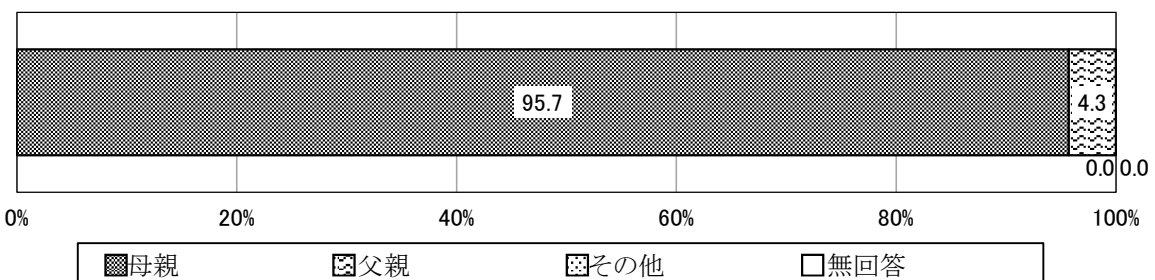


(2) 調査票の回答者

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。小学2年生のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」が95.7%、「父親」が4.3%となっています。

n=649

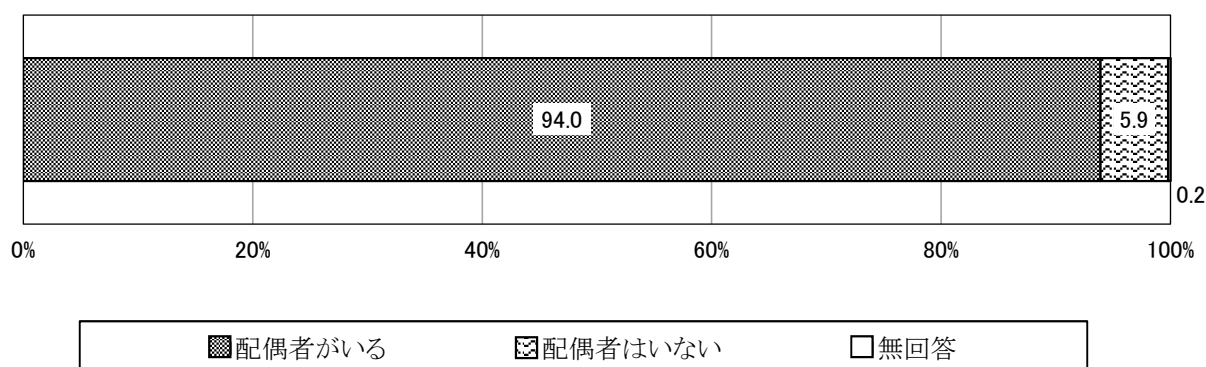


（３）調査票の回答者の配偶関係

問４ この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「配偶者がいる」が94.0%、「配偶者はいない」が5.9%となっています。

n=649

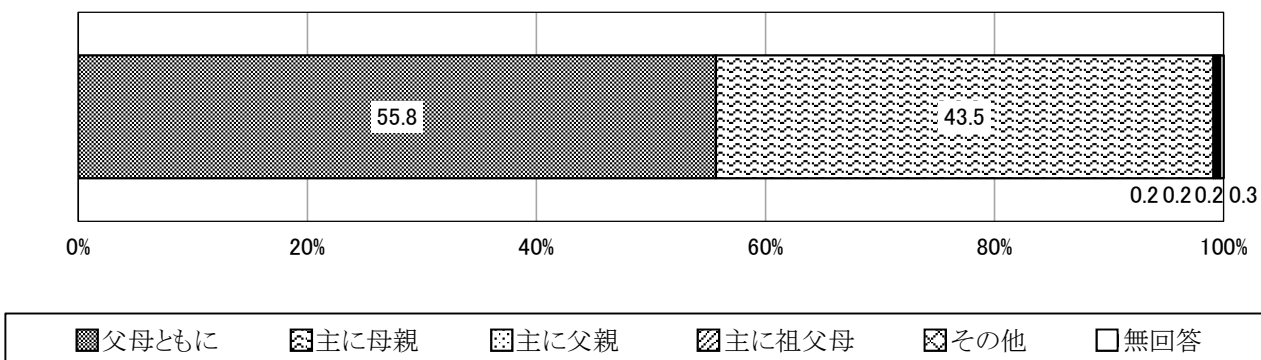


（４）子育てを主に行っている人

問５ 小学２年生のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「父母ともに」が最も多く、55.8%となっています。次いで「主に母親」が43.5%と続いています。

n=649



3. 保護者の働き方について

(1) 保護者の就労状況

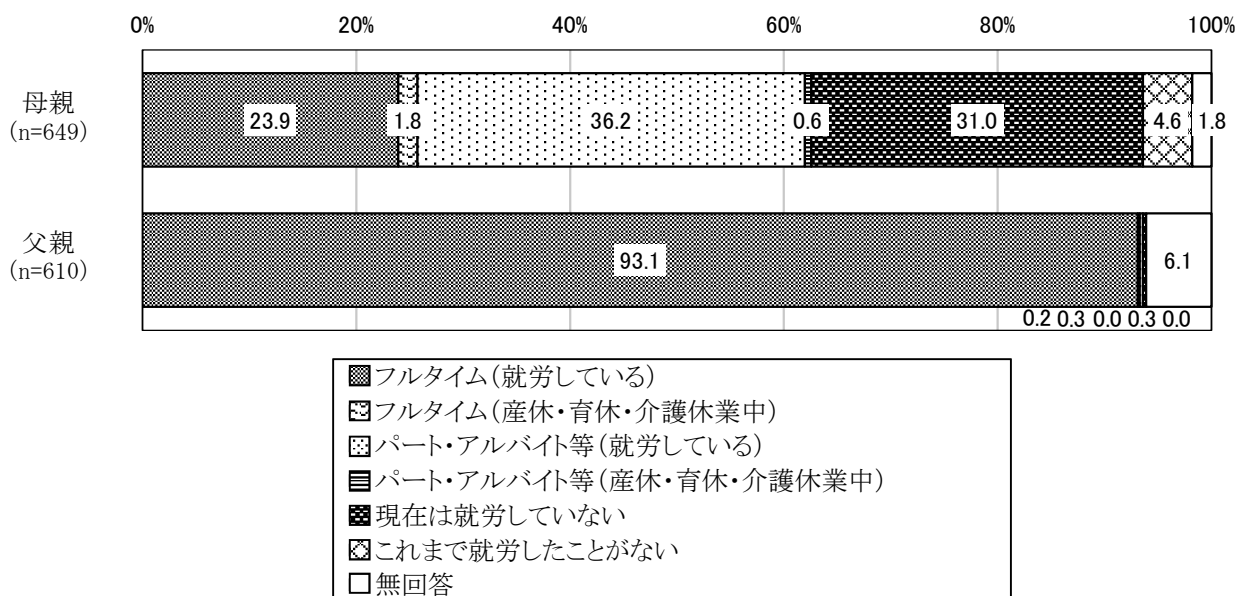
①就労状況

問6 (1) 小学2年生のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従業者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「パート・アルバイト等で就労している」が最も多く、36.2%となっています。次いで「現在は就労していない」が31.0%、「フルタイムで就労している」が23.9%と続いています。

父親では「フルタイムで就労している」が最も多く、93.1%となっています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。



②就労日数・就労時間

※問6（1）で「1」から「4」のいずれか（就労している）に○をつけた方にうかがいました。

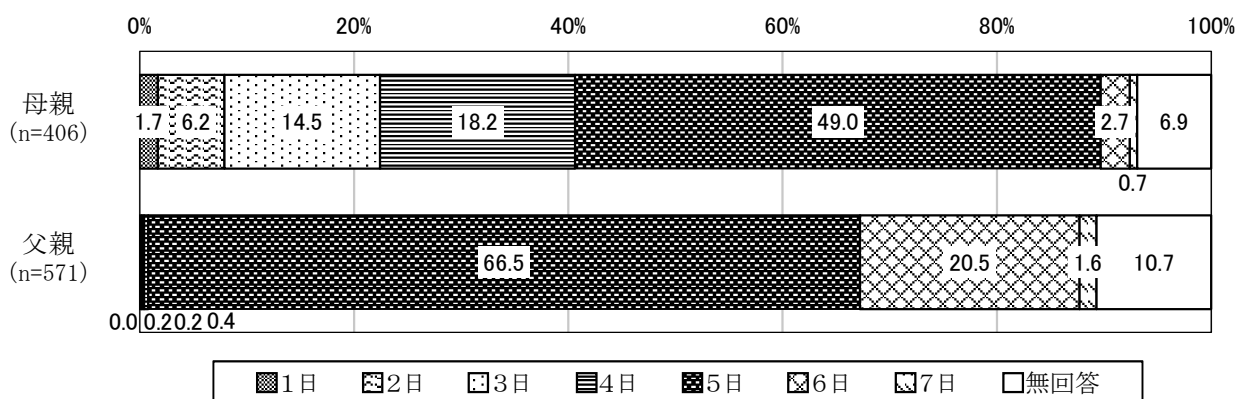
問6（2）週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【1週当たりの就労日数】

母親では「5日」が最も多く、49.0%となっています。次いで「4日」が18.2%、「3日」が14.5%と続いています。

父親では「5日」が最も多く、66.5%となっています。次いで「6日」が20.5%と続いています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

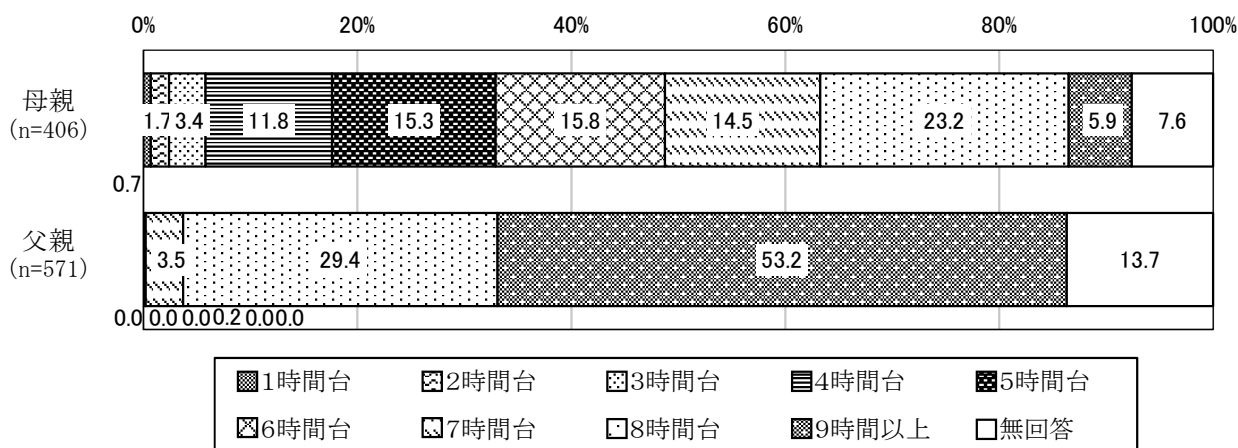


【1日当たりの就労時間】

母親では「8時間台」が最も多く、23.2%となっています。次いで「6時間台」が15.8%、「5時間台」が15.3%、「7時間台」が14.5%、「4時間台」が11.8%と続いています。

父親では「9時間以上」が最も多く、53.2%となっています。次いで「8時間台」が29.4%と続いています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。



③家を出る時間と帰宅時間

※問6で「1」から「4」のいずれか（就労している）に○をつけた方にうかがいました。

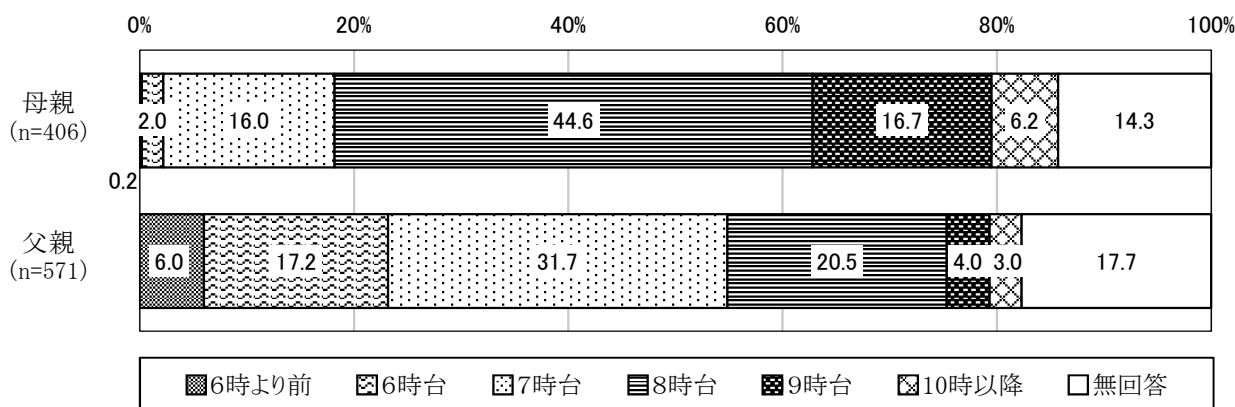
問6（3）家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず「18時」のように24時間制でお答えください。

【家を出る時間】

母親では「8時台」が最も多く、44.6%となっています。次いで「9時台」が16.7%、「7時台」が16.0%と続いています。

父親では「7時台」が最も多く、31.7%となっています。次いで「8時台」が20.5%、「6時台」が17.2%と続いています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

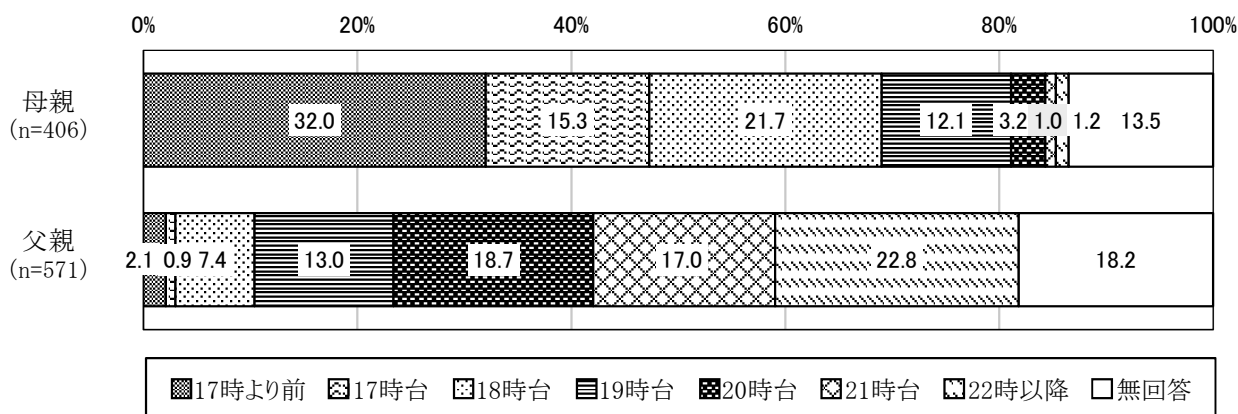


【帰宅時間】

母親では「17時より前」が最も多く、32.0%となっています。次いで「18時台」が21.7%、「17時台」が15.3%、「19時台」が12.1%と続いています。

父親では「22時以降」が最も多く、22.8%となっています。次いで「20時台」が18.7%、「21時台」が17.0%と続いています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。



（２）フルタイムへの転換希望

※問6（１）で「３．パート・アルバイト等で就労している」または「４．パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいました。

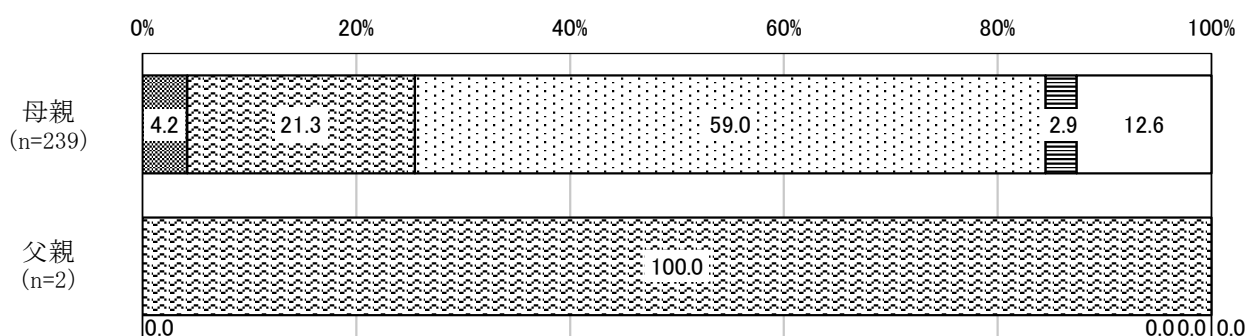
問７ フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多く、59.0%となっています。次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が21.3%と続いています。

父親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が100.0%（２人中２人）となっています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▨ フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- ▤ パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- ▥ パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

(3) 就労希望

※問6 (1)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいました。

問8 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する下線部に数字をご記入ください。

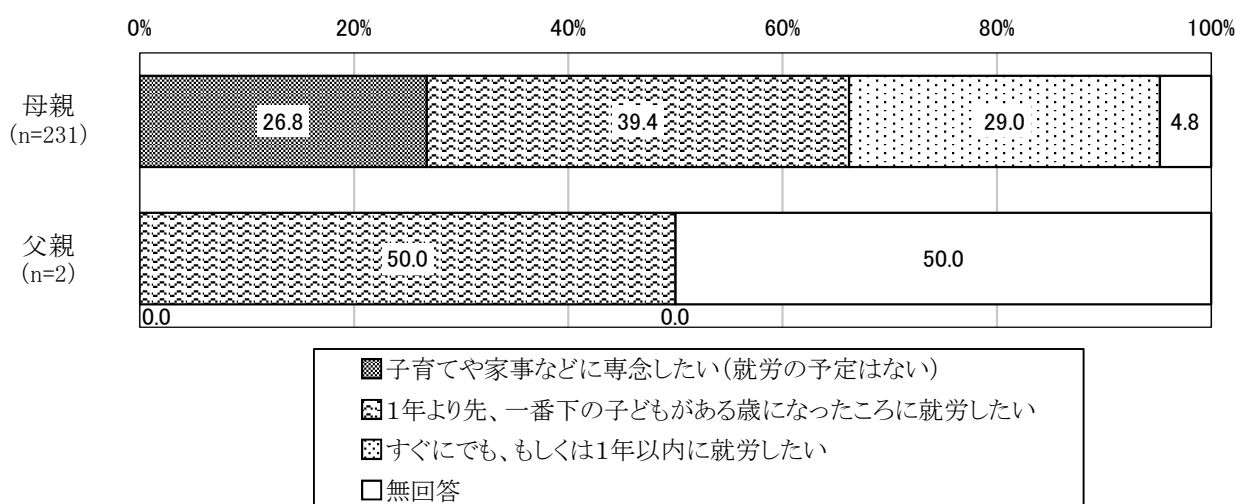
①就労希望

母親では「1年より先、一番下の子どもがある歳になったところに就労したい」が最も多く、39.4%となっています。次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が29.0%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が26.8%と続いています。

父親では「1年より先、一番下の子どもがある歳になったところに就労したい」が50.0% (2人中1人) となっています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



【一番下の子どもが何歳になったところに仕事に就きたいか】

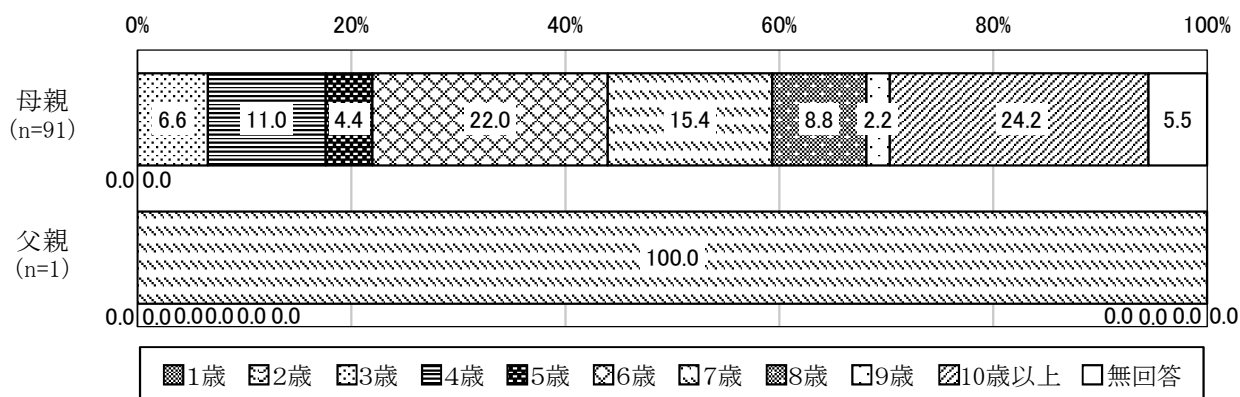
※問8で「1年より先、一番下の子どもがある年齢になったところに仕事に就きたい」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「10歳以上」が最も多く、24.2%となっています。次いで「6歳」が22.0%、「7歳」が15.4%、「4歳」が11.0%と続いています。

父親では「7歳」が100% (1人中1人) となっています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

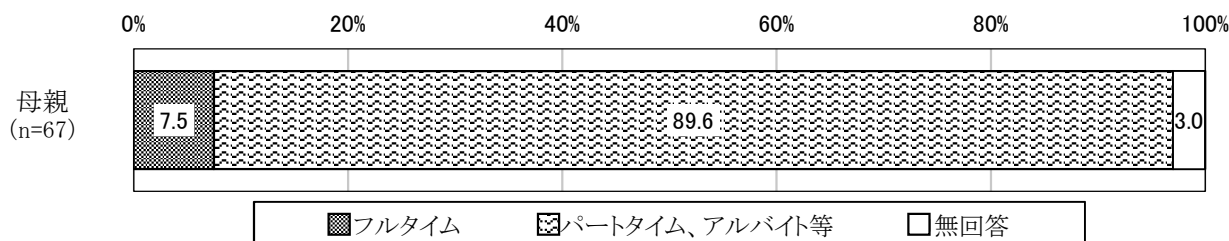


②就労形態

※問8で「すぐにでも、もしくは1年以内に仕事に就労したい」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「パートタイム、アルバイト等」が最も多く、89.6%となっています。次いで「フルタイム」が7.5%と続いています。

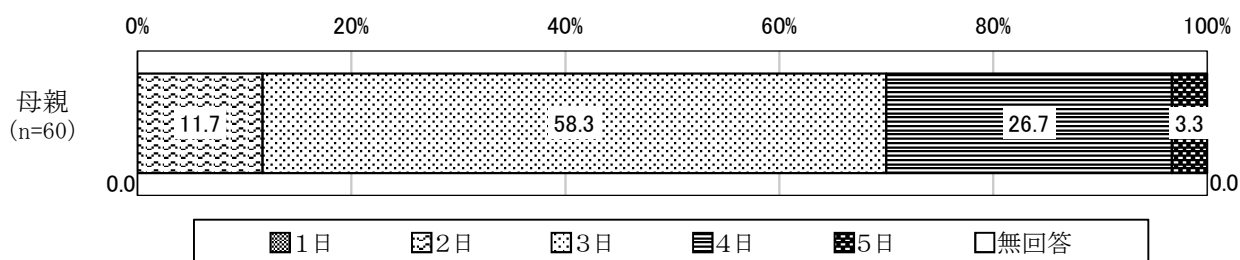
※“父親”“その他”は、回答対象者がいませんでした。



【パートタイム、アルバイト等の1週当たりの就労日数】

母親では「3日」が最も多く、58.3%となっています。次いで「4日」が26.7%、「2日」が11.7%と続いています。

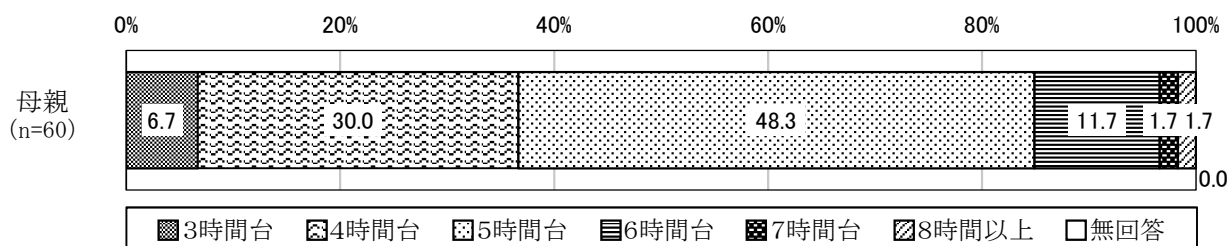
※“父親”“その他”は、回答対象者がいませんでした。



【パートタイム、アルバイト等の1日当たりの就労時間】

母親では「5時間台」が最も多く、48.3%となっています。次いで「4時間台」が30.0%、「6時間台」が11.7%と続いています。

※“父親”“その他”は、回答対象者がいませんでした。



4. お子さんの病気の際の対応について

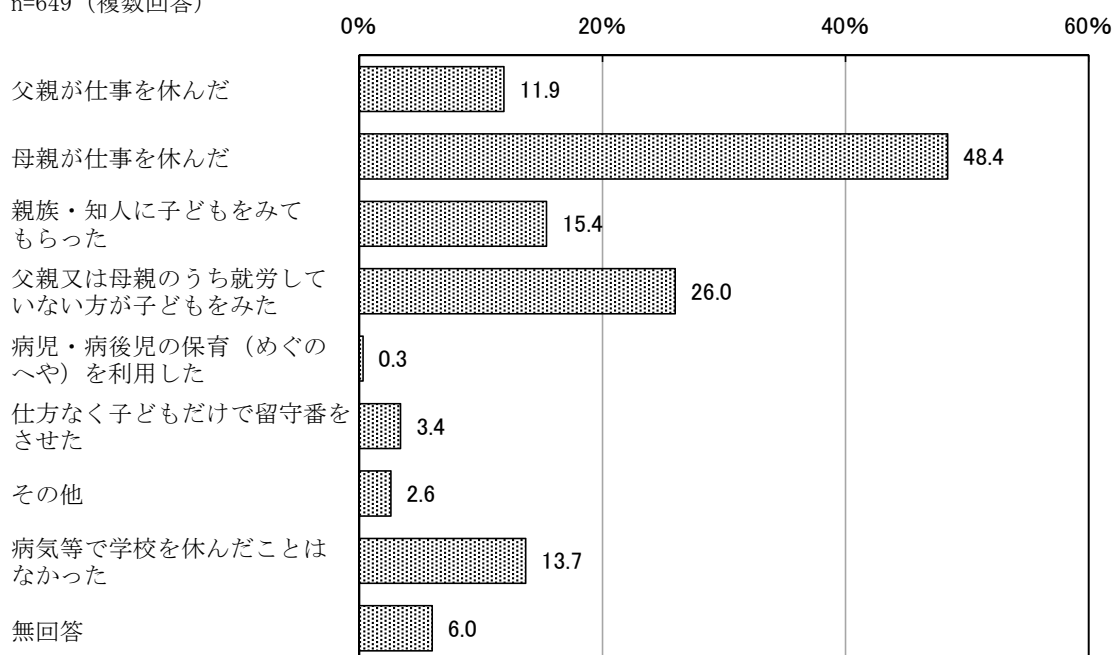
（１）病気やケガで学校を休んだ際の対処方法と日数

問 9－１ この１年間に、小学２年生のお子さんが病気やけがで学校を休んだ時の対処方法として、当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください）。

①対処方法

「母親が仕事を休んだ」が最も多く、48.4%となっています。次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が26.0%、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が15.4%と続いています。

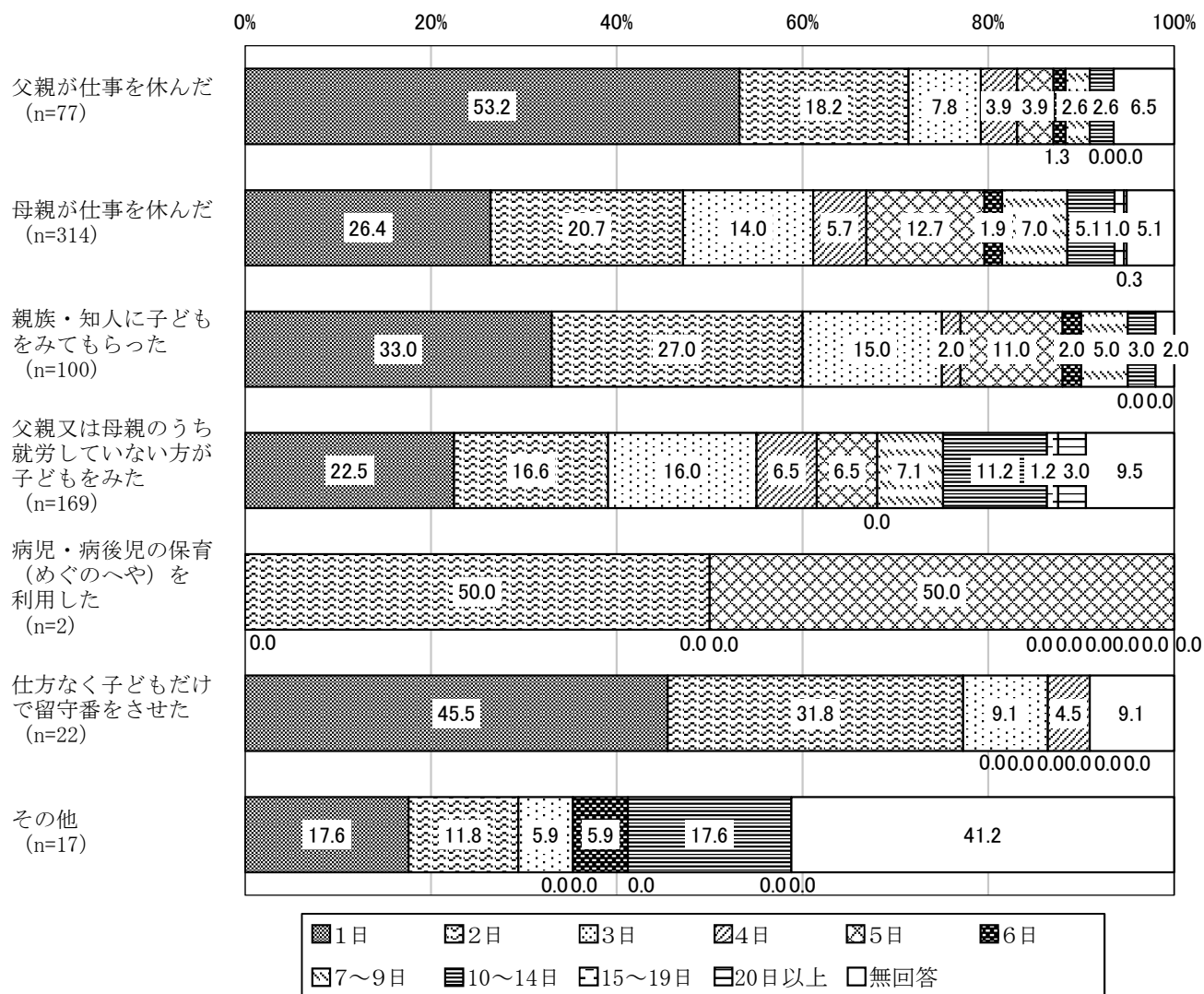
n=649（複数回答）



② 1年間の日数

いずれの項目も「1日」が最も多く、“父親が仕事を休んだ”では53.2%と半数以上となっています。次いで「2日」、「3日」と続いています。

※ “病児・病後児の保育（めぐのへや）を利用した” “仕方なく子どもだけで留守番をさせた” は回答者数が少ないため、参考値となります。



(2) 病児・病後児施設等の利用意向と利用希望日数

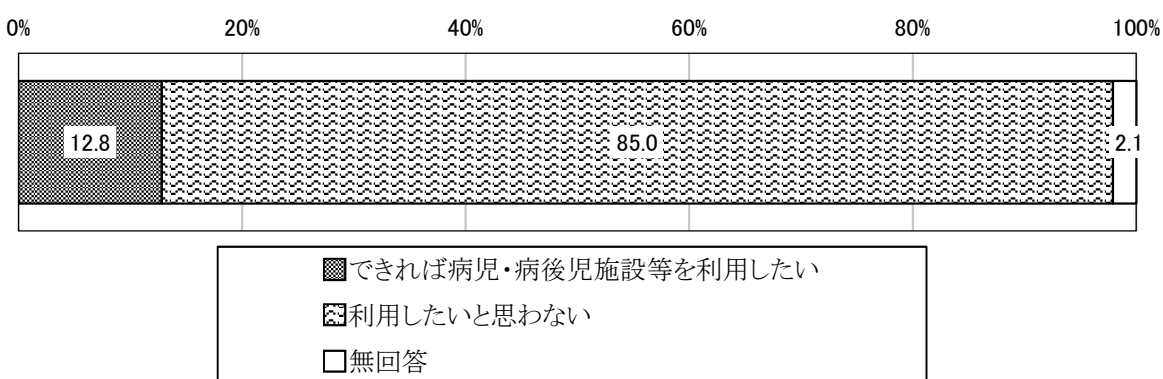
※問 9-1 で「ア. 父親が仕事を休んだ」または「イ. 母親が仕事を休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいました。

問 9-2 父親または母親が仕事を休んで子どもを看護したとき、「できれば病児・病後児のための施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

①利用意向

「できれば病児・病後児施設等を利用したい」が12.8%、「利用したいと思わない」が85.0%となっています。

n=327

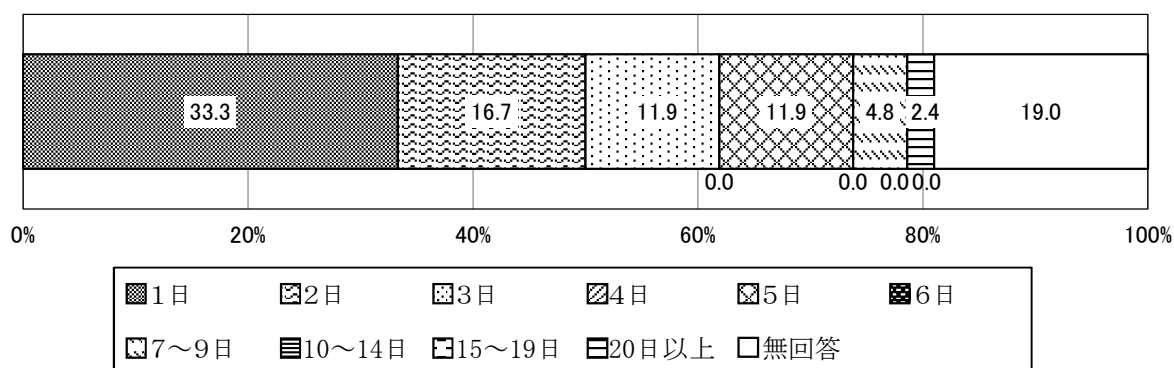


②利用希望日数

※問 9-2 で「1. できれば病児・病後児施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「1日」が最も多く、33.3%となっています。次いで「2日」が16.7%、「3日」と「5日」が11.9%と続いています。

n=42



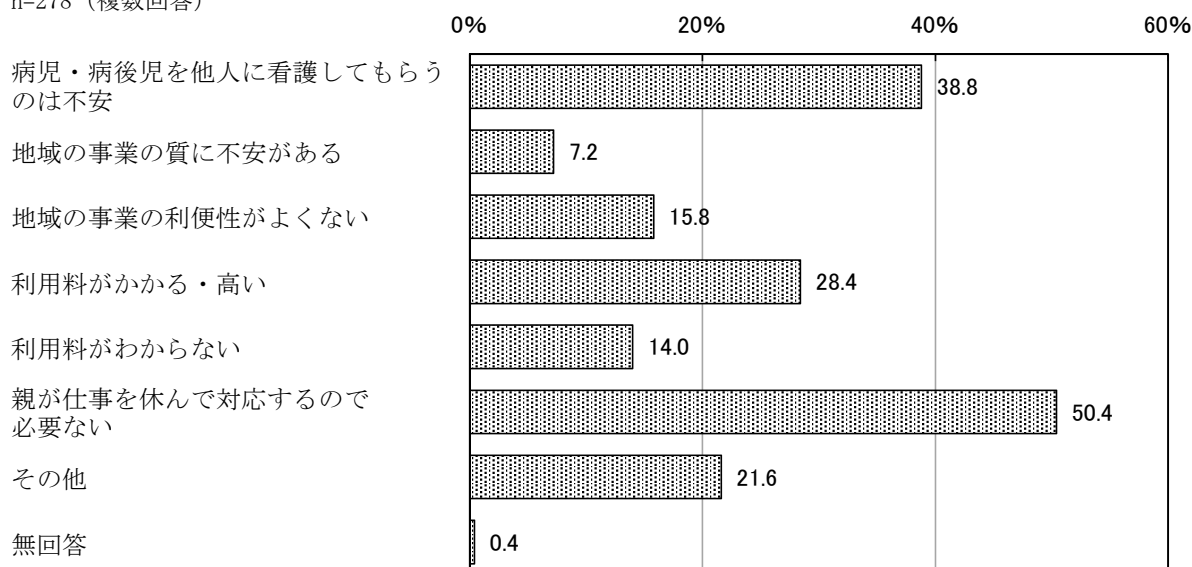
(3) 病児・病後児施設等を利用したいと思わない理由

※問9-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいました。

問9-3 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休んで対応するので必要ない」が最も多く、50.4%となっています。次いで「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」が38.8%、「利用料がかかる・高い」が28.4%と続いています。

n=278 (複数回答)



(4) 子どもの看護のための休暇取得希望と日数

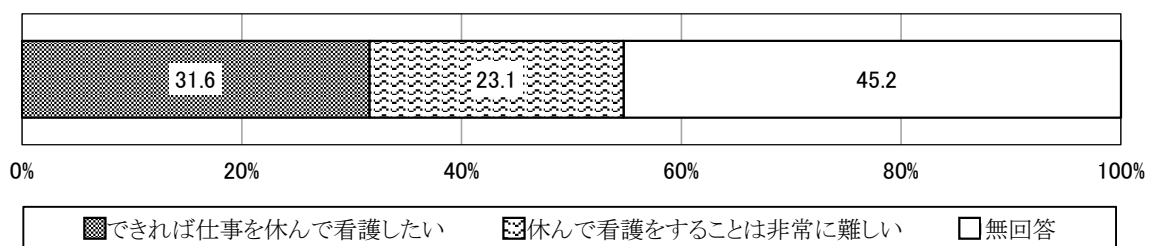
※問9-1で「ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「キ. その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいました。

問9-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「キ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。

①休暇取得希望

「できれば仕事を休んで看護したい」が31.6%、「休んで看護をすることは非常に難しい」が23.1%となっています。

n=294

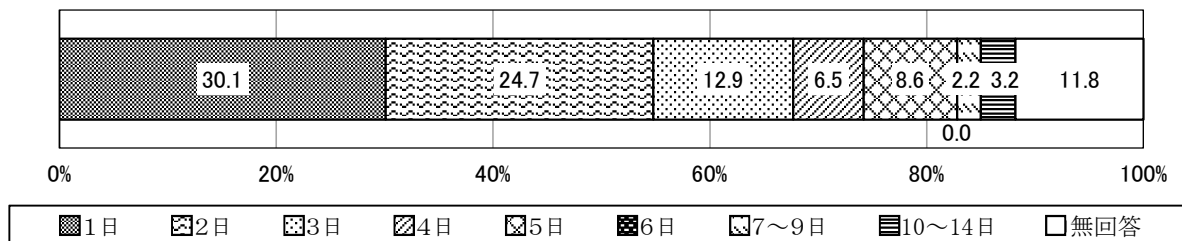


②日数

※問 9－4 で「1. できれば仕事を休んで看護したい」に○をつけた方にうかがいました。

「1 日」が最も多く、30.1%となっています。次いで「2 日」が24.7%、「3 日」が12.9%と続いています。

n=93



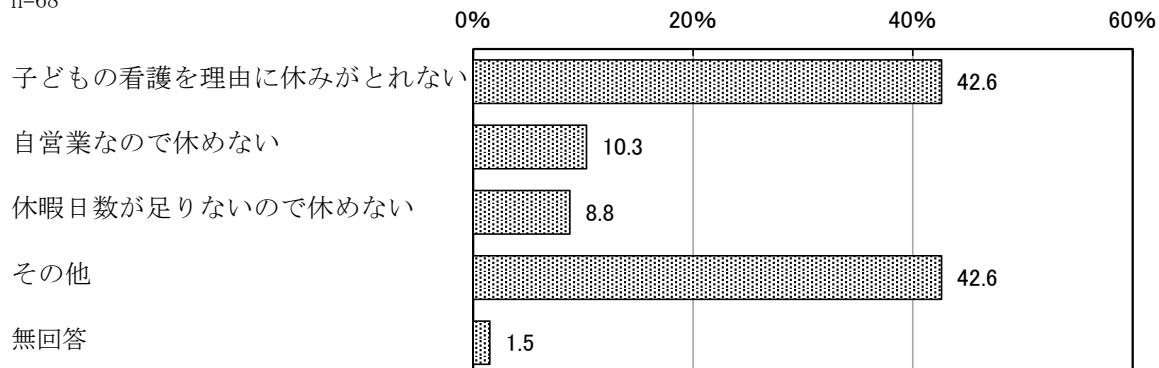
(5) 子どもの看護のための休暇取得が難しい理由

※問 9－4 で「2. 休んで看護することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいました。

問 9－5 「休んで看護することは難しい」理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が最も多く、42.6%となっています。次いで「自営業なので休めない」が10.3%と続いています。

n=68



5. 一時預かり等の利用状況について

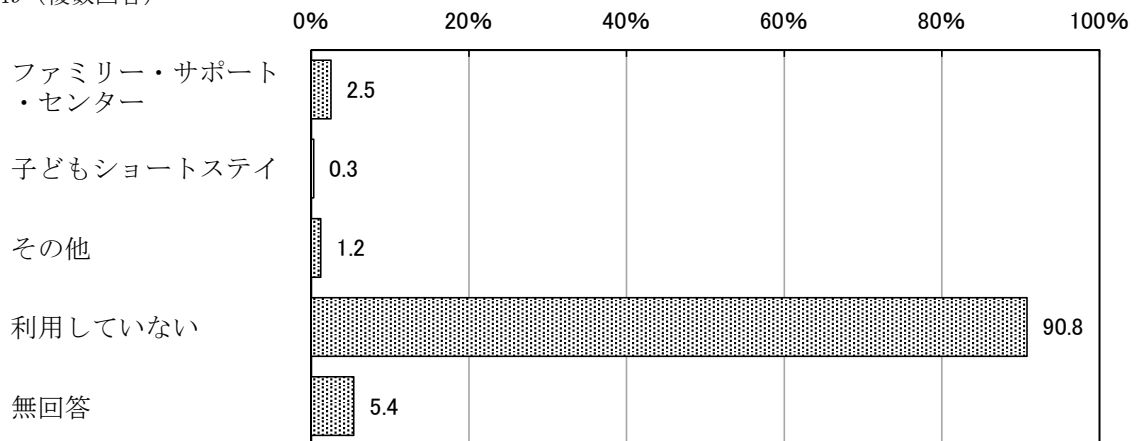
(1) 一時預かり等の利用状況と日数

問10 小学2年生のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

①利用状況

「利用していない」が最も多く、90.8%となっています。次いで「ファミリー・サポート・センター」が2.5%と続いています。

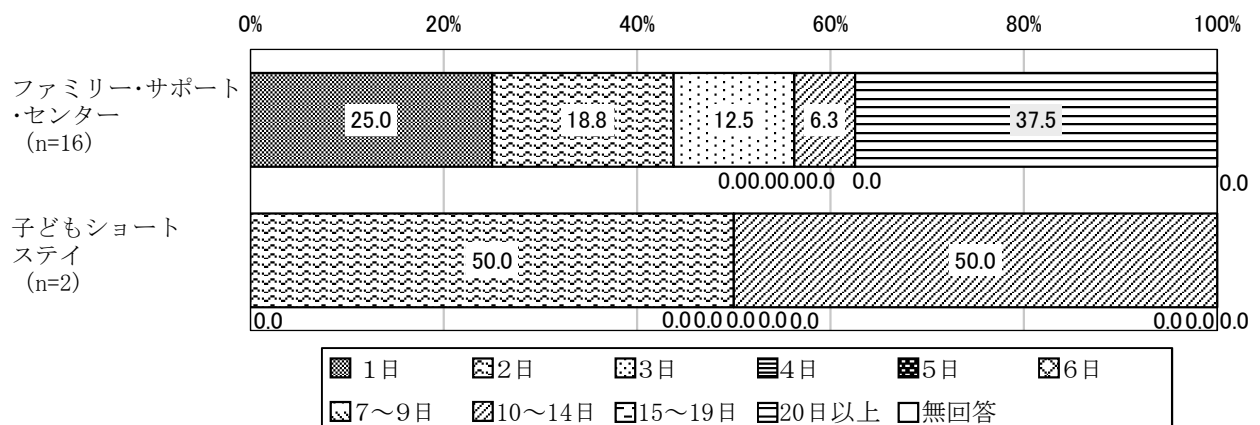
n=649（複数回答）



②日数

“ファミリー・サポート・センター”の利用日数は「20日以上」が最も多く、37.5%（16人中6人）となっています。“子どもショートステイ”の利用日数は「2日」と「10～14日」が50.0%（2人中1人）となっています。

※本設問の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



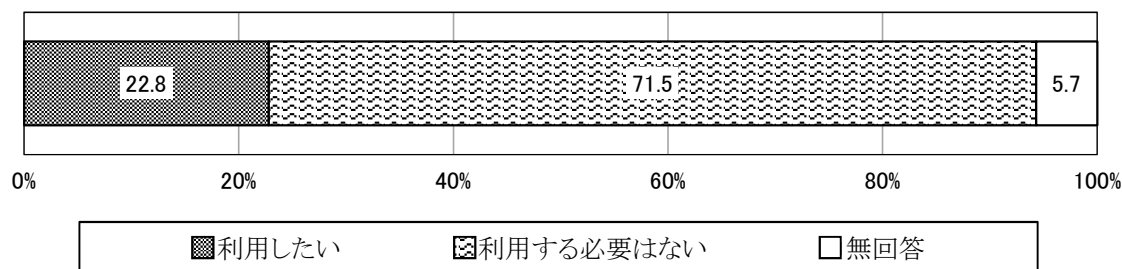
（２）一時預かり等の利用希望と日数

問11 小学2年生のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください）。

①利用希望

「利用したい」が22.8%、「利用する必要はない」が71.5%となっています。

n=649

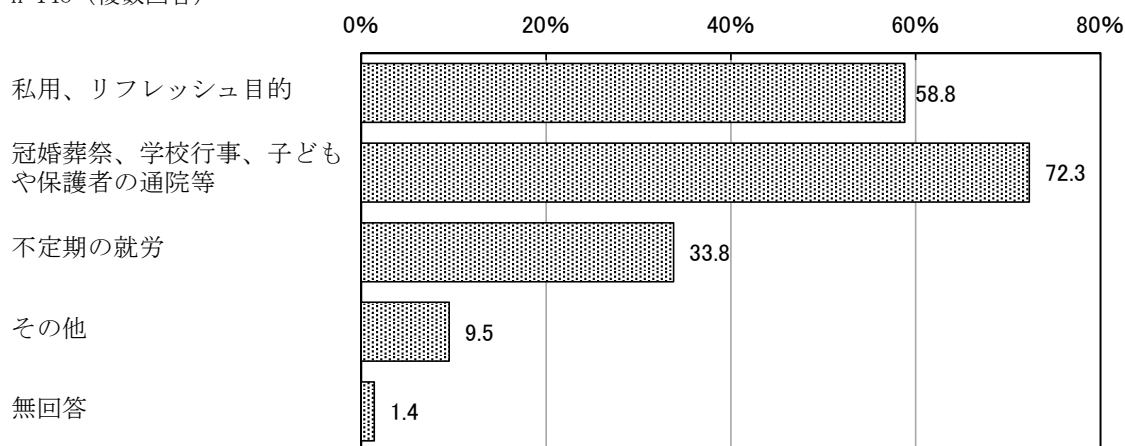


②利用目的

※問11で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の通院等」が最も多く、72.3%となっています。次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的」が58.8%、「不定期の就労」が33.8%と続いています。

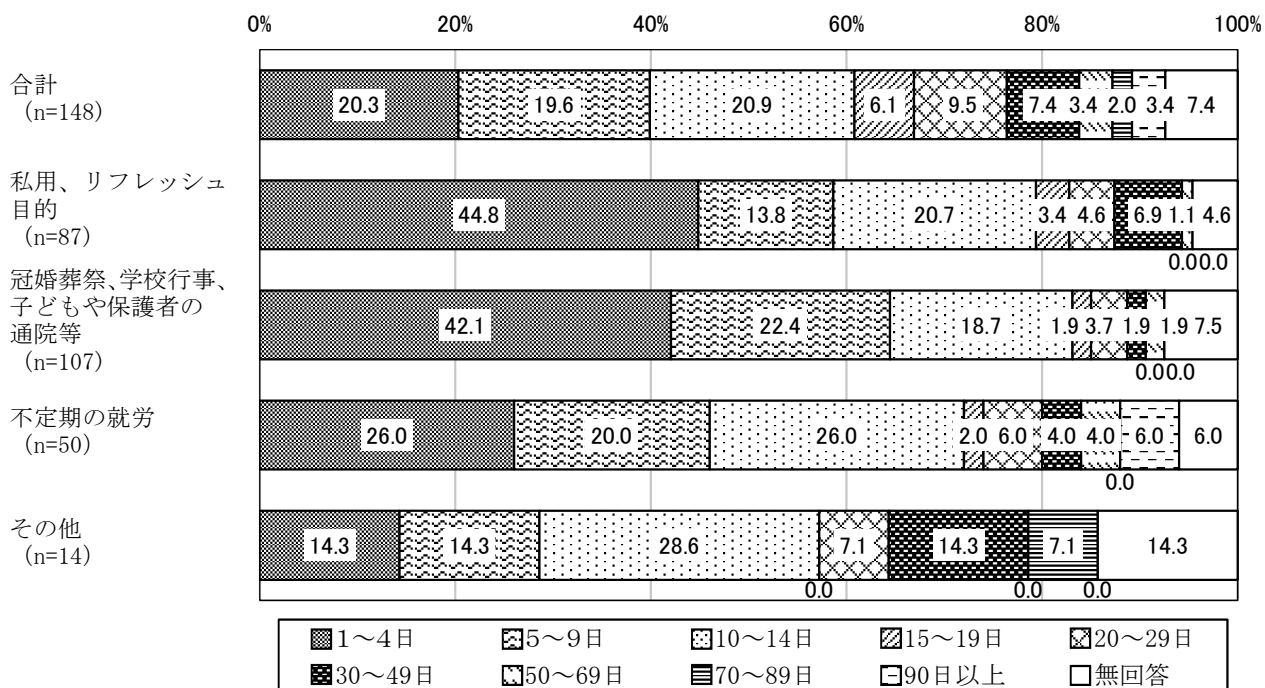
n=148（複数回答）



③日数

※問11で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

“合計”では「10～14日」が最も多く、20.9%となっており、「1～4日」が20.3%、「5～9日」が19.6%と続いています。“私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的”では「1～4日」が最も多く、44.8%となっており、「10～14日」が20.7%と続いています。“冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の通院等”では「1～4日」が最も多く、42.1%となっており、「5～9日」が22.4%、「10～14日」が18.7%と続いています。“不定期の就労”では「1～4日」と「10～14日」が最も多く、26.0%となっており、次いで「5～9日」が20.0%と続いています。

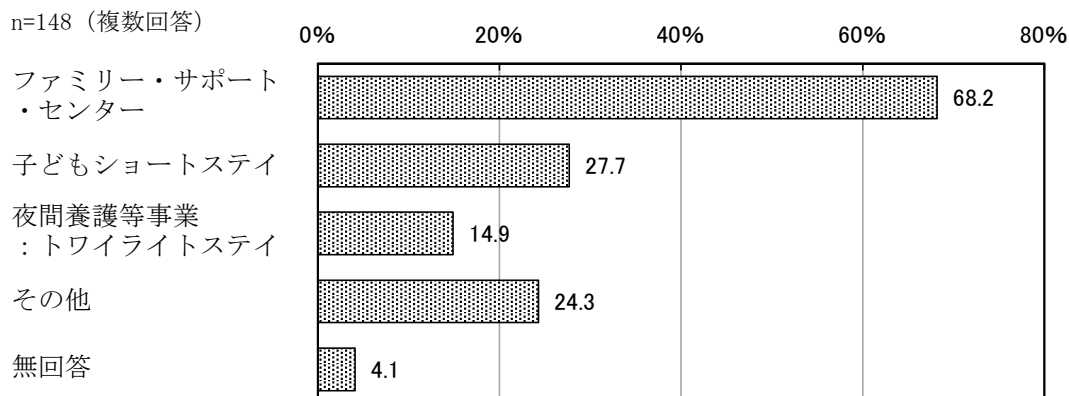


（３）一時預かり等の事業形態

※問11で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

問11－１ 問11の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「ファミリー・サポート・センター」が最も多く、68.2%となっています。次いで「子どもショートステイ」が27.7%、「夜間養護等事業：トワイライトステイ」が14.9%と続いています。



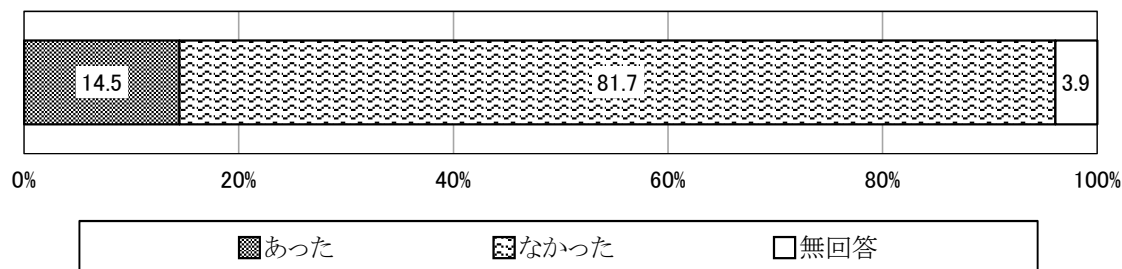
(4) 宿泊を伴う一時預かりの状況

問12 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、小学2年生のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの泊数も数字でご記入ください。

①宿泊を伴う一時預かりの有無

「あった」が14.5%、「なかった」が81.7%となっています。

n=649

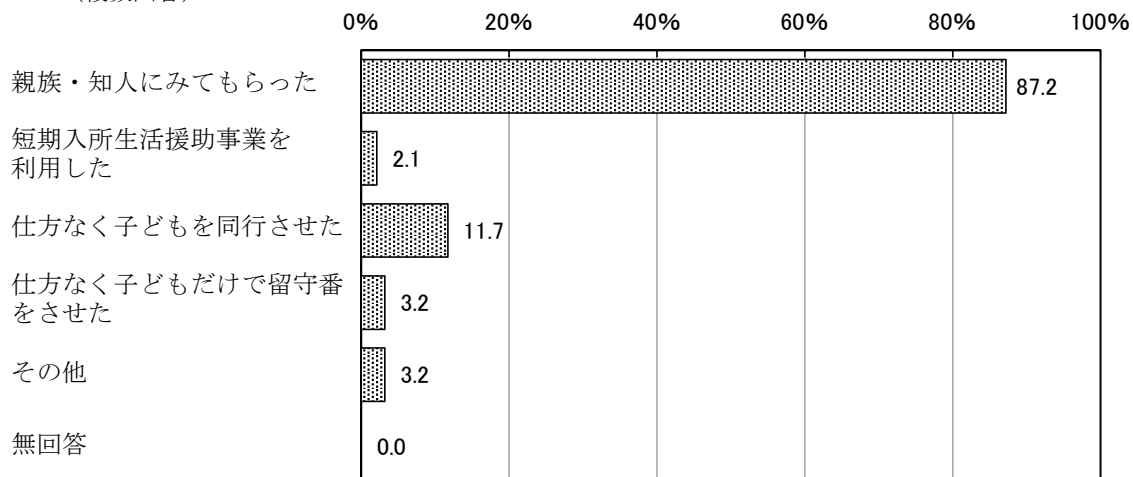


②対処方法

※問12で「1. あった」に○をつけた方にうかがいました。

「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が最も多く、87.2%となっています。次いで「仕方なく子どもを同行させた」が11.7%と続いています。

n=94（複数回答）

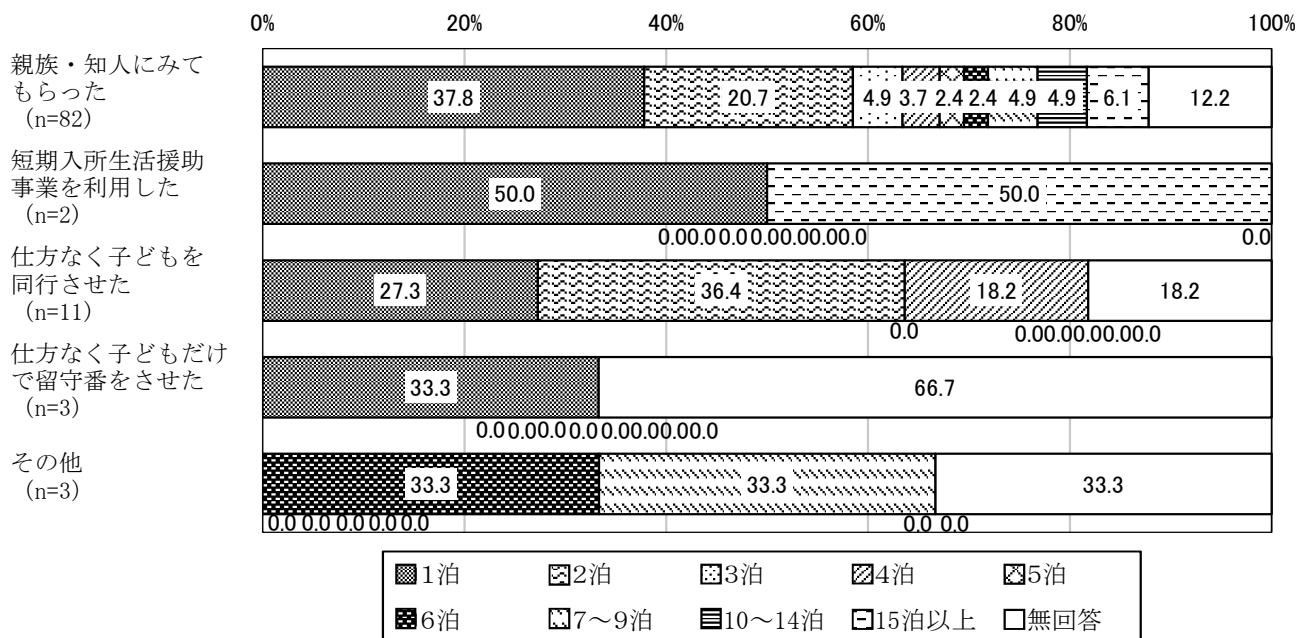


③泊数

※問12で「1. あった」に○をつけた方にうかがいました。

“（同居者を含む）親族・知人にみてもらった”では「1泊」が最も多く、37.8%となっており、「2泊」が20.7%と続いています。

※“短期入所生活援助事業を利用した”“仕方なく子どもを同行させた”“仕方なく子どもだけで留守番をさせた”は回答者数が少ないため、参考値となります。



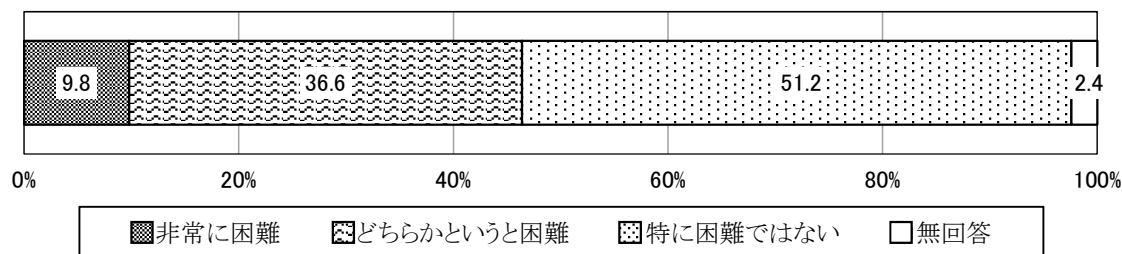
（５）親族・知人に預ける困難さ

※問12で「1. あった」のうち、「ア. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいました。

問12－1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「特に困難ではない」が最も多く、51.2%となっています。次いで「どちらかというと困難」が36.6%、「非常に困難」が9.8%と続いています。

n=82



6. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

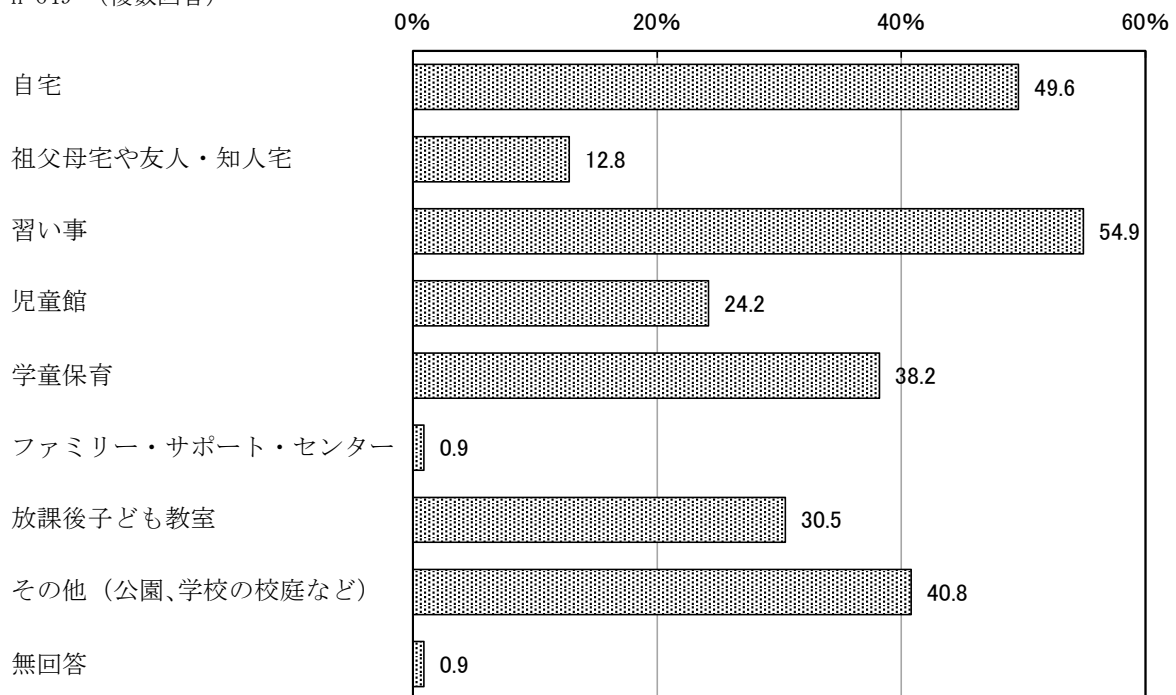
(1) 小学校低学年のうちの放課後の過ごし方の希望

問13 小学2年生のお子さんについて、小学校低学年（3年生まで）のうちは、放課後（平日（月～金）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「5. 学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は必ず「18時」のように24時間制でご記入ください。

①希望する放課後の過ごし方

「習い事」が最も多く、54.9%となっています。次いで「自宅」が49.6%、「その他（公園、学校の校庭など）」が40.8%、「学童保育」が38.2%と続いています。

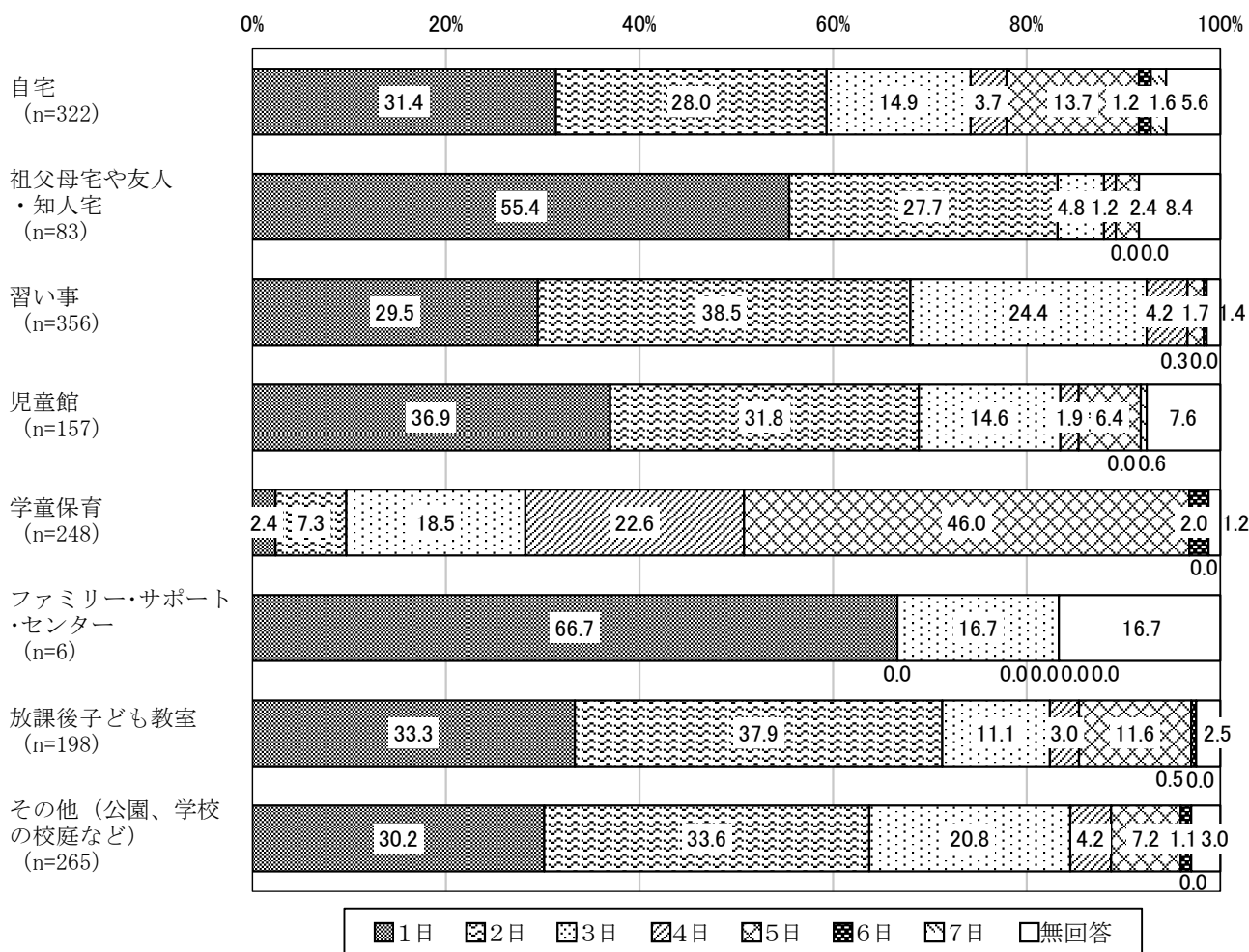
n=649 （複数回答）



② 1週当たりの日数

“自宅”、“祖父母宅や友人・知人宅”、“児童館”では「1日」が最も多く、特に“祖父母宅や友人・知人宅”は55.4%となっています。“習い事”、“放課後子ども教室”、“その他公園、学校の公園など”は「2日」が最も多く、いずれも30%台となっています。“学童保育”は「5日」が最も多く、46.0%となっており、次いで「4日」が22.6%、「3日」が18.5%と続いています。

※ “ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。

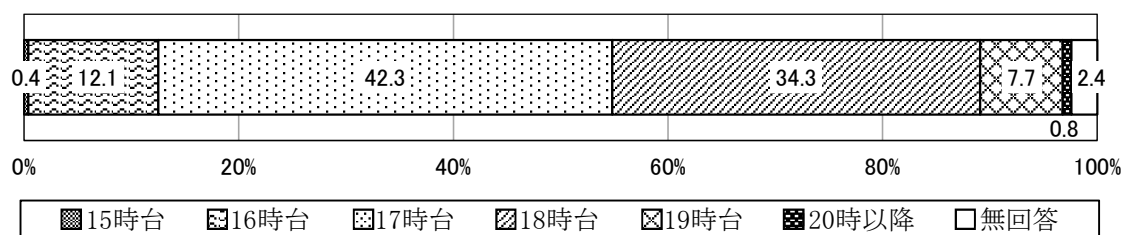


③ 学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

※問13で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいました。

「17時台」が最も多く、42.3%となっています。次いで「18時台」が34.3%、「16時台」が12.1%と続いています。

n=248



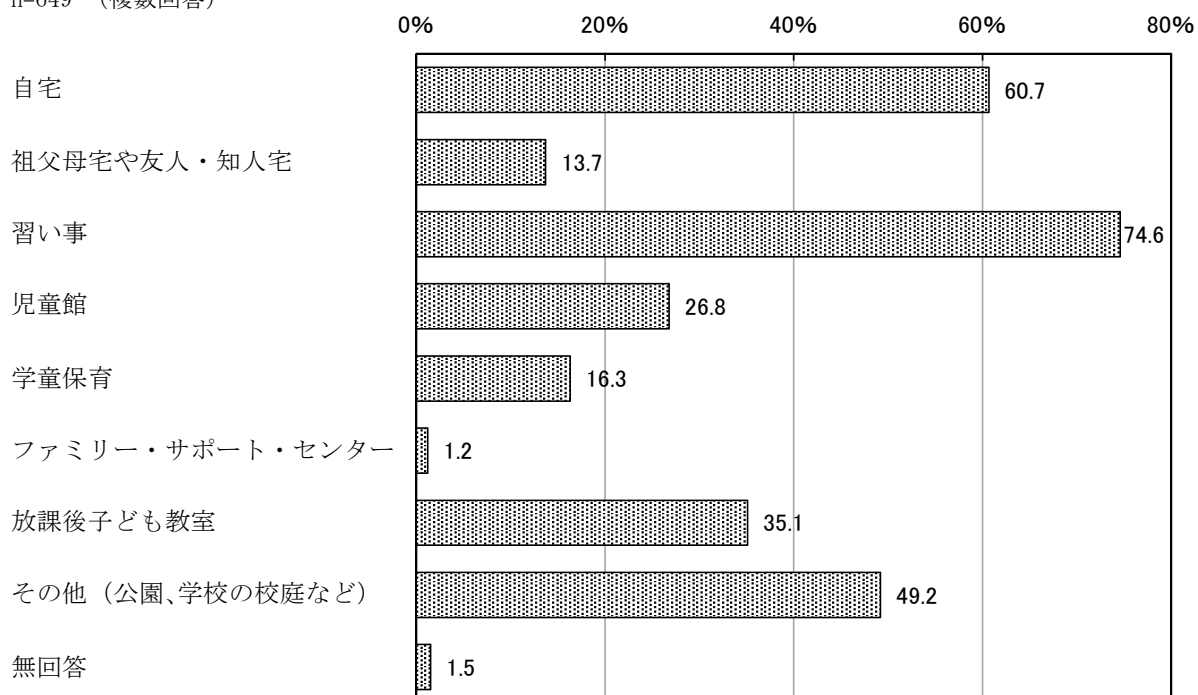
（２）小学校高学年になってからの放課後の過ごし方の希望

問14 小学2年生のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日（月～金）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「５．学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。

①希望する放課後の過ごし方

「習い事」が最も多く、74.6%となっています。次いで「自宅」が60.7%、「その他（公園、学校の校庭など）」が49.2%、「放課後子ども教室」が35.1%、「児童館」が26.8%と続いています。

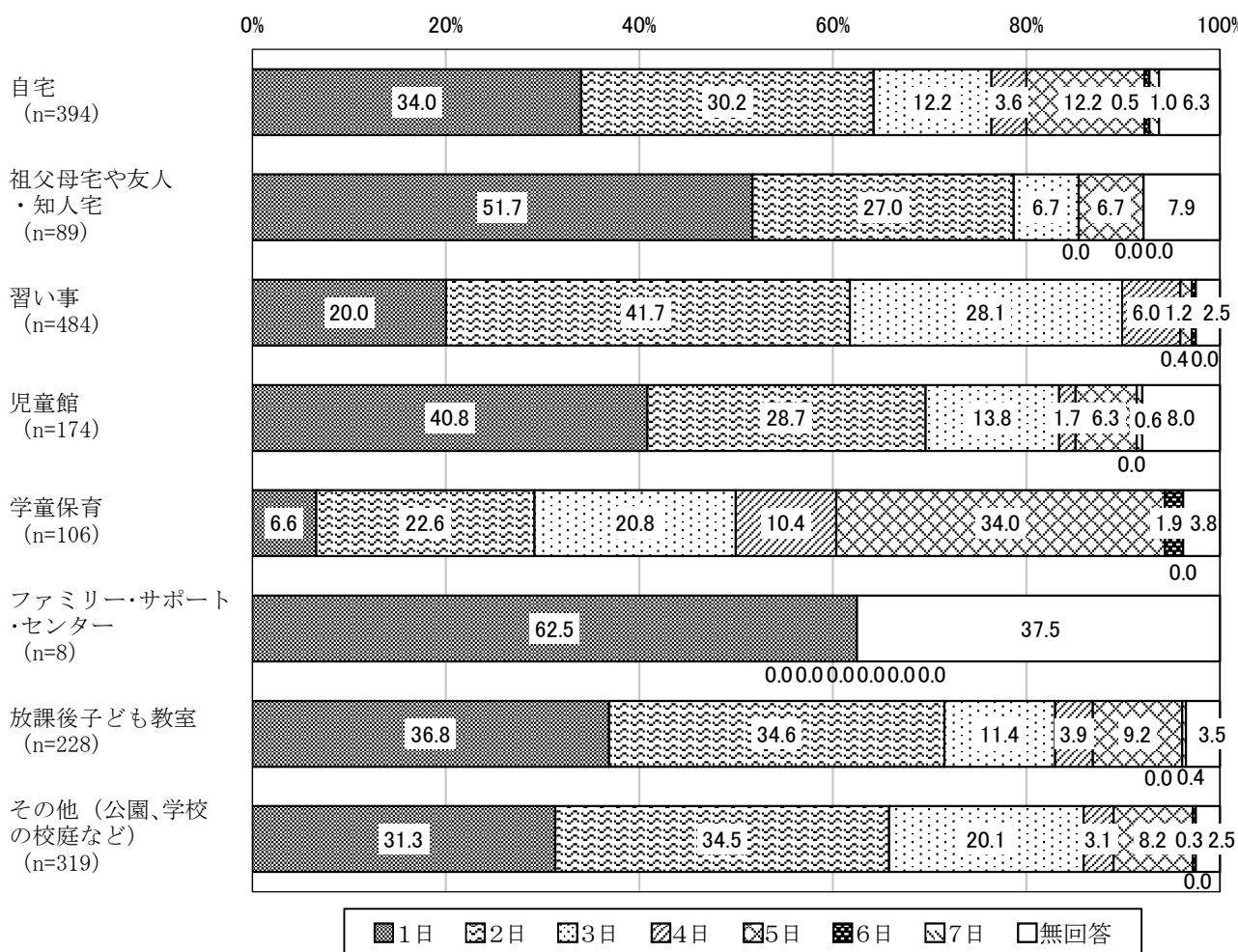
n=649 （複数回答）



② 1週当たりの日数

“自宅”、“祖父母宅や友人・知人宅”、“児童館”、“放課後子ども教室”では「1日」が最も多く、特に“祖父母宅や友人・知人宅”は51.7%となっています。“習い事”、“その他（公園、学校の校庭など）”は「2日」が最も多くなっています。“学童保育”は「5日」が最も多く、34.0%となっており、次いで「2日」が22.6%、「3日」が20.8%と続いています。

※ “ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。

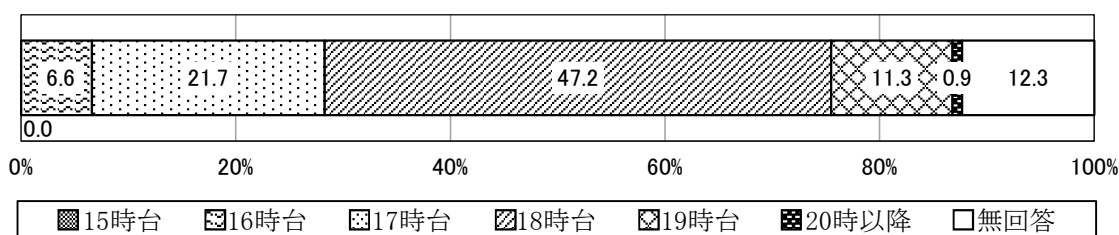


③ 学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

※問14で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、47.2%となっています。次いで「17時台」が21.7%、「19時台」が11.3%と続いています。

n=106



(3) 土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望

※問13または問14で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいました。

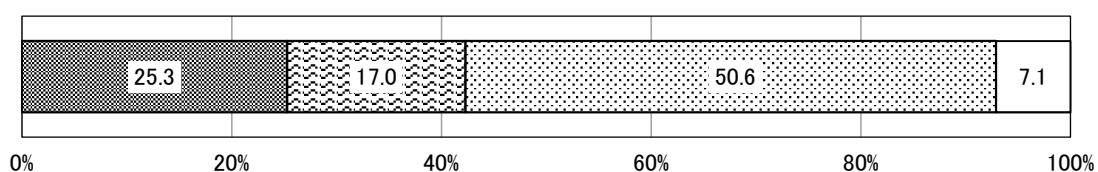
問15 小学2年生のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。(1) (2) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。
また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

①土曜日

【利用希望】

「利用する必要はない」が最も多く、50.6%となっています。次いで「低学年(3年生まで)の間は利用したい」が25.3%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が17.0%と続いています。

n=253



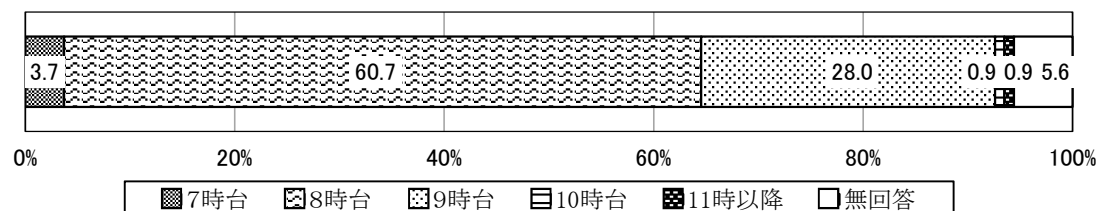
■低学年(3年生まで)の間は利用したい ■高学年(4～6年生)になっても利用したい ■利用する必要はない □無回答

【利用開始時間】

※問15(1)で「1. 低学年(3年生まで)の間は利用したい」または「2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「8時台」が最も多く、60.7%となっています。次いで「9時台」が28.0%と続いています。

n=107



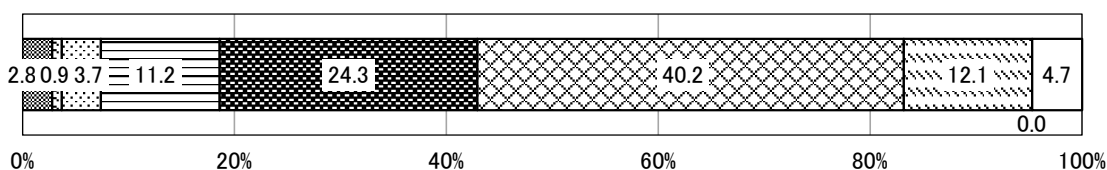
■7時台 ■8時台 ■9時台 ■10時台 ■11時以降 □無回答

【利用終了時間】

※問15(1)で「1. 低学年(3年生まで)の間は利用したい」または「2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、40.2%となっています。次いで「17時台」が24.3%、「19時台」が12.1%と続いています。

n=107



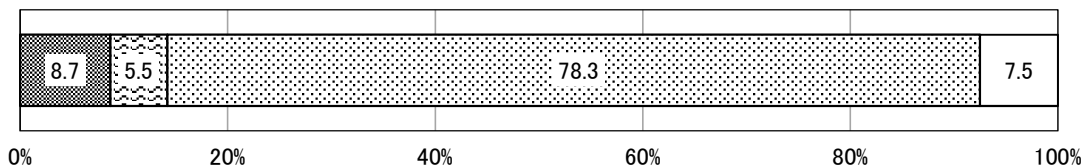
■13時台 ■14時台 ■15時台 ■16時台 ■17時台 ■18時台 ■19時台 ■20時以降 □無回答

②日曜日

【利用希望】

「利用する必要はない」が最も多く、78.3%となっています。次いで「低学年（3年生まで）の間は利用したい」が8.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が5.5%と続いています。

n=253



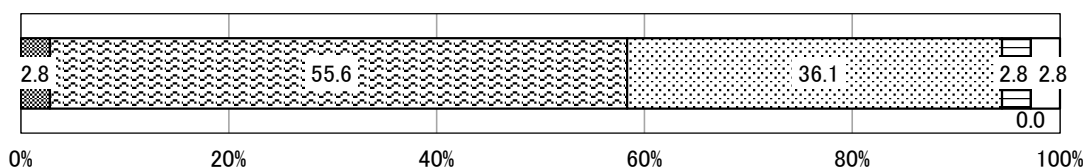
■低学年(3年生まで)の間は利用したい ■高学年(4～6年生)になっても利用したい ■利用する必要はない □無回答

【利用開始時間】

※問15（2）で「1. 低学年（3年生まで）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「8時台」が最も多く、55.6%となっています。次いで「9時台」が36.1%と続いています。

n=36



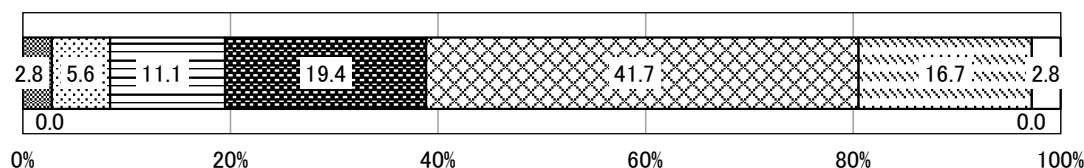
■7時台 ■8時台 ■9時台 ■10時台 ■11時以降 □無回答

【利用終了時間】

※問15（2）で「1. 低学年（3年生まで）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、41.7%となっています。次いで「17時台」が19.4%、「19時台」が16.7%と続いています。

n=36



■13時台 ■14時台 ■15時台 ■16時台 ■17時台 ■18時台 ■19時台 ■20時以降 □無回答

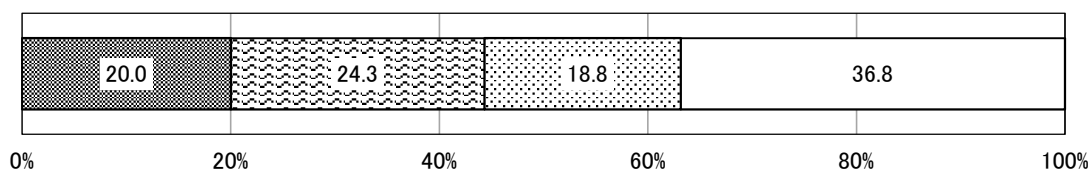
(4) 長期休暇中の学童保育の利用希望

問16 小学2年生のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

【利用希望】

「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が最も多く、24.3%となっています。次いで「低学年（3年生まで）の間は利用したい」が20.0%、「利用する必要はない」が18.8%と続いています。

n=649



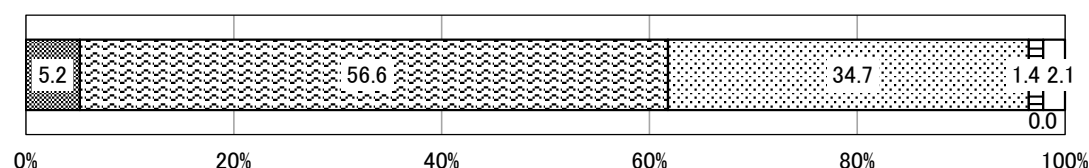
■低学年(3年生まで)の間は利用したい ■高学年(4～6年生)になっても利用したい ■利用する必要はない □無回答

【利用開始時間】

※問16で「1. 低学年（3年生まで）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「8時台」が最も多く、56.6%となっています。次いで「9時台」が34.7%と続いています。

n=288



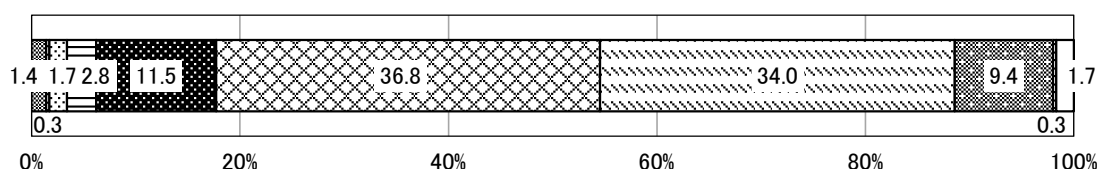
■7時台 ■8時台 ■9時台 ■10時台 ■11時以降 □無回答

【利用終了時間】

※問16で「1. 低学年（3年生まで）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「17時台」が最も多く、36.8%となっています。次いで「18時台」が34.0%、「16時台」が11.5%と続いています。

n=288



■12時台 ■13時台 ■14時台 ■15時台 ■16時台 ■17時台 ■18時台 ■19時台 ■20時以降 □無回答

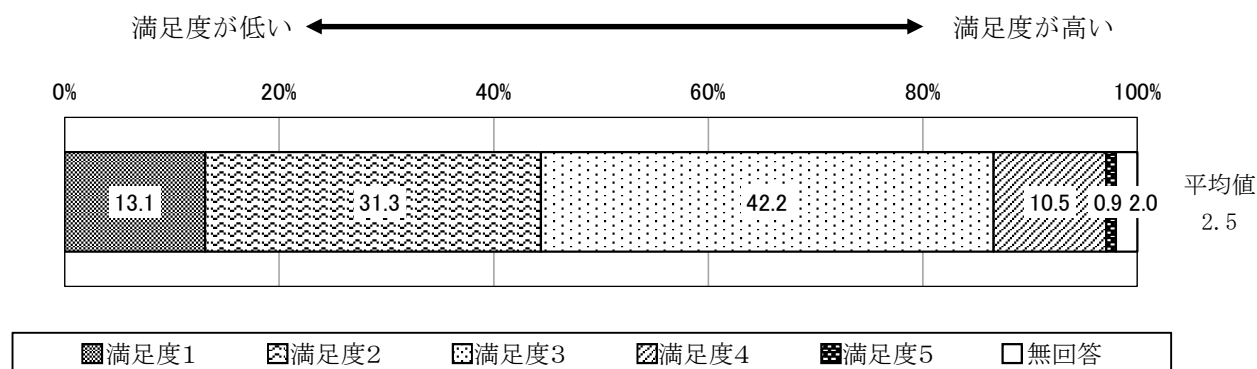
7. 子育て支援への満足度やご意見について

(1) 東久留米市の子育て環境や支援に対する満足度

問17 東久留米市の子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

「満足度3」が最も多く、42.2%となっています。次いで「満足度2」が31.3%、「満足度1」が13.1%、「満足度4」が10.5%、「満足度5」が0.9%と続いています。

n=649



(2) 自由意見

問18 最後に、東久留米市の教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

305名の方から自由意見が寄せられました。一部の意見を掲載します（文意を変えない程度に、表記等を整理しています）。

- ・ 放課後子ども教室はとてもよいと思いますが、中高学年になったら時間を延ばして学童利用なしでできると良い。学童もその分の日数の料金を減らしてもらえると楽。長期（夏冬休み）休業の間は日数で料金が発生してくれると助かる（大変なら15日以内、10日以内なら〇円など）。病児保育も市内で知る限りは1箇所ですが、病児なので他に病気がうつってかえって休みが長引かないような施設があるといいです。土曜の学童の時間を延ばしてほしい。休みの日（夏休み、冬休み）、朝ももう少し早く開けてほしい。1人での登校は、低学年ではまわりに子どももいなく、大人のボランティアの見守りもないので不安なため、車で送っています。まだ職場が近く、ギリギリで開く前に着いて子どもに学童の前で待っててもらってます。
- ・ 校庭開放をしてもらいたい。登録しないでも気軽に遊べるといい。
- ・ 公園や児童館が少なすぎる。遠くて普段利用しづらい（1人で行けない、知ってる友人があまり来てなくてつまらないなど）。学童には入所できないが、親が朝から毎日働くので、子どもだけで家にいる長期休暇中は4年生と2年生など、中低学年の子どもにはどうなのか。考えたなら大人は皆同じことを思うと思います。児童館のランチタイムは土日祝全ての長期休暇で設けるべきです。
- ・ 放課後子ども教室や夏休み中の児童館のランチタイムなど、保護者が仕事や用事でいないときに子どもが過ごせる場所を作っていただけたらありがたいと思います。幼稚園の頃は預かり保育があったので、保護者として身動きが取りやすかったのですが、小学生になるとそれがないので、学童に入れるほどではなく、ピンポイントで出かけなければならないときなどは非常に助かる制度です。なので、できれば児童館のランチタイムなど、夏休みだけでなく冬休み春休みも実施していただけたらと思います。ただ、世間の風潮というか全体的な考えとして、働いている（フルタイムで）お母さんに焦点を当てすぎなのでは？と思います。もちろんフルタイムで働いているお母さんにとっては毎日朝早くから夜遅くまで預けられる保育園、学童は必要でしょう。でも、子育ては親が主体となってやるものです。両親が協力し合って子どもと過ごす、それが難しいときに利用できるシステムがあるとありがたい、くらいのシステムでいいのではないのでしょうか。昨今、子どもの居場所づくりを一生懸命になっでやっている感じがします（行政が）。フルタイムで働いている親も制度制度というのではなく、シングルなどの生活に困っている家庭は別として、そうでないなら「仕事＜子育て」で考えたほうが子どもにとっても幸せなことだと思います。
- ・ 児童館のような施設が少なく、放課後に安心して遊ばせるところが少ない。放課後の学校での預かりをもっと増やしてほしい。
- ・ 近くに良い公園が少ないです。遊具も古いので、小さな公園でも新しく変えたり、草木をきれいにし見通しを良くすると安心して遊ばせることができます。
- ・ フルタイムで働いているので、もっと学年が上がったときの放課後が心配。学年が上がるにつれ、学童は利用できない、しづらい雰囲気がある。

- ・台風で休校のときは学童で見てくれるのに、休校ではなく遅れて学校が始まるときの預かりがないのは困ります。警報が出ても会社には行きます。そのとき子どもを家で1人にしないといけない状況になります。他の市では学校が遅れて開始するときでも学童の預かりはあります。東久留米市は不便です。また、学童の預かりも18時までは厳しいです。都心で勤務している時、17時には会社を出ないといけません。迎えが間に合わない場合は1人で暗い中を帰らせることになり、不安です。
- ・インフルエンザ等が発生したときの学級閉鎖の際、学童を開所してくれるのはありがたいが、1時間遅れての開所（学校が始まる時間の）になることには不満がある。学童の職員に聞くと、時間が重なると感染の恐れがあるからというが、感染の恐れがない可能性がある子どもが学童に登所している、または登校時、道を歩いている際の感染のおそれがそこまであるのか？という非常に納得がいかない。学童を希望した際の、学年が上がると入れない（就労状況により）という状況について、学童の定員の枠を拡大して希望者は入れるという形に努力していつてくれている市の姿勢は感じられてありがたい。ただ、増員ありき（定員）で職員の質については人により偏りがあるのは外部から見ても感じられるので、偏りがなくなっていくための取り組み等、努力してほしい。
- ・だんだんと学年が上がっていくと自転車で移動することが増えていきます。駅付近の踏切は一度閉まると歩行者、自転車が歩道側にごった返し、踏切が開くと我先にと危険な運転をする自転車がが多く、怖い思いを何度もしています。自転車と歩行者の道を完全に分けるなどの工夫していただけると助かります。また、市内に歩道の狭い道が多くあり、車との距離が近く危険を感じます。学童が18時までですと、フルタイムで働くことが難しくなります。駅前保育園Nicot、いちご保育園さんが20時までで非常に助かりました。学童も20時までにしていただけると正社員として働きやすいです。東久留米の公園は掃除も行き届いており、利用しやすいです。草刈りもしていただき、いつもありがとうございます。今回のアンケートや上記HPを拝見させていただき、市の取り組みの多さとしっかり点検、評価なさっていることで安心感を得られました。いつもありがとうございます。
- ・23区でも導入されている登下校時の連絡（下校時など教室を出る時にタッチすると、登録した保護者にメールが届く）をするようなシステムを導入していただきたいです。不審者や事故等が起きた際に迅速に対応するためです。資金面で厳しい場合は保護者側に募金を募っても良いと思います。
- ・学童を利用していませんが、夏休み等長期の休みのときだけ（利用したい日だけ）学童を利用できると助かります。
- ・フルタイムで働いているわけではなく、自営で家での仕事のため、子どもをどこかに預けることは少ないのであまり困ったことはありません。が、子どもが幼い頃、一時保育に預けるのに大変だった記憶があります。急な用事ができ、子どもを預けたくても何週間も前に予約をしなくてはならないのはとても不自由でした。
- ・自然が充実しており、環境は良いと思うが、校庭開放や学童以外の子が行ける広場など、学校でも放課後のサポートは必要だと思います。大人の目がない公園や室内中心の児童館にお任せというのもどうかと思います。地域の方や放課後の図書室の利用も検討していただきたい。教育についても、都内や学力向上を意識して、より充実させたほうが良いと思う。宿題の量、特に長期休暇時は都内よりも遥かに少ない。学力向上を考えるとそういうところも家庭任せにせず、検討する必要があると思います。
- ・放課後子ども教室は子どもにとってとても楽しい場となっていて、親からも安心して預けられる場となっており、大変感謝しています。ただ、週2回と決められている曜日なので、ぜひ月～金と実施していただけるとありがたいです。

IV. 資料（調査票）

東久留米市子ども・子育て支援ニーズ調査票 (就学前児童保護者用)

「東久留米市

子ども・子育て支援ニーズ調査」

ご協力をお願い

日頃より市政に対しご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
突然のご案内で大変恐れ入りますが、東久留米市の子ども・子育て支援に関するアンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

平成27年度より、「子ども・子育て支援法」に基づく新たな子ども・子育て支援新制度がスタートし、東久留米市の幼児教育(幼稚園等)・保育や、子ども・子育て支援の充実を図るために、5年間で一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施してきました。
2020年度から2024年度までの第二期子ども・子育て支援事業計画を、東久留米市の子育て家庭の実情やニーズに合ったものにするため、現在小学校就学前のお子さんがいるご家庭に、子ども・子育て支援サービスの利用希望に関するニーズ調査を実施いたします。

調査結果は、今後の東久留米市における子ども・子育て支援施策を検討する上で、重要な資料となります。お忙しいところ、まことに恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成30年10月

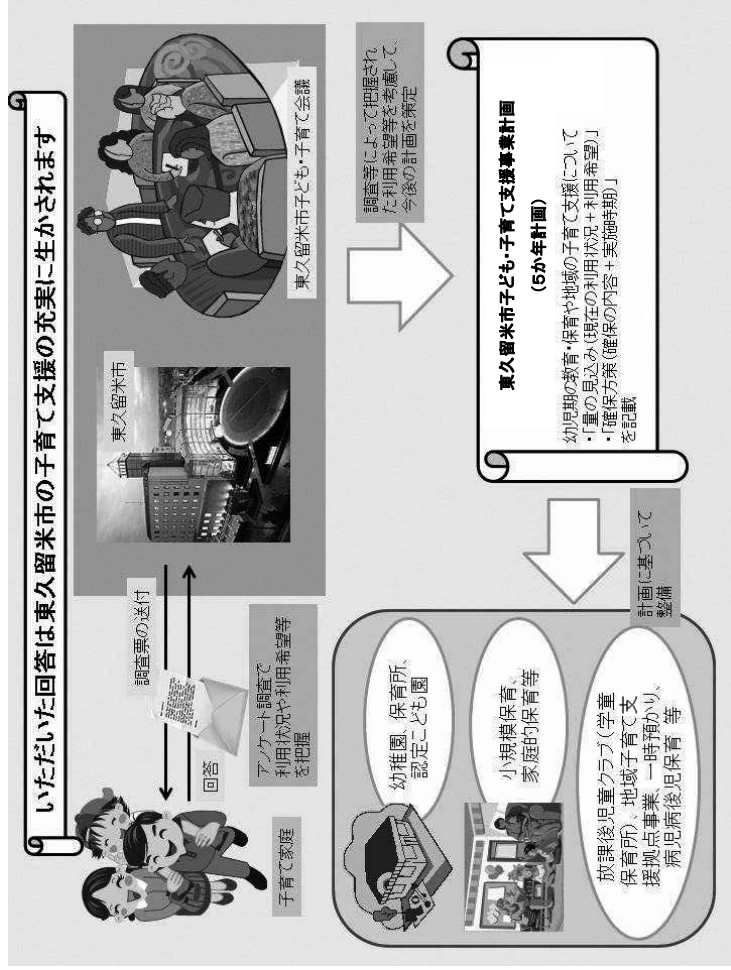
東久留米市長 並木 克巳

※この調査は、市内にお住まいの小学校就学前(平成24年(2012年)4月2日～平成30年(2018年)4月1日生まれ)のお子さんの中から、無作為で2,000人を選ばせて頂き、その保護者の皆様にご協力をお願いするものです。この調査票についてご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【担当】 東久留米市子ども家庭部 子育て支援課 子ども政策担当
【住所】 〒203-8555 東久留米市本町3-3-1
【電話】 042(470)7777 内線2440
(受付時間：平日9:00～12:00及び13:00～17:00)

【ご記入に当たってのお願い】

- 1 調査票には、封筒のあて名のお子さんの保護者の方がご回答ください。(保護者ご本人の記入が難しい場合は、ご家族の方などが代わって、保護者ご本人の意見をご記入ください。)
 - 2 ボールペンまたは、濃い鉛筆ではっきりとご記入ください。
 - 3 回答方法は、選択肢の中から当てはまる番号に○印をつけていただく場合、数字を記載していただく場合、ご自由に記述していただく場合とがあります。
 - 4 選択肢の中からお選びいただく場合には、選択していただく数が増える場合がありますので、ご注意ください。
 - 5 設問によって回答していただく方が限られる場合があります。説明文や矢印にしたがってご回答ください。
- ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要です)で11月9日(金)までにご投函くださいますようお願いいたします。ご住所、お名前は記載なさらないで結構です。また、封筒には調査票以外は同封しないようお願いいたします。



お住まいの地域についてうかがいます。

問 1-1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号 1つに○をつけてください。

- | | | | | | |
|--------|--------|-------------|---------|--------|---------|
| 1. 上の原 | 5. 大門町 | 9. 学園町 | 13. 幸町 | 17. 南町 | 21. 野火止 |
| 2. 神宝町 | 6. 東本町 | 10. ひばりが丘団地 | 14. 中央町 | 18. 滝山 | 22. 八幡町 |
| 3. 金山町 | 7. 新川町 | 11. 本町 | 15. 南沢 | 19. 下里 | 23. 弥生 |
| 4. 氷川台 | 8. 浅間町 | 12. 小山 | 16. 前沢 | 20. 柳窪 | |

問 1-2 お住まいの丁目を数字でご記入ください。

丁目（東本町及びひばりが丘団地は除く）

問 1-3 封筒（宛名ラベルの右端）に記載のあるアルファベットをご記入ください。
（お住まいの地区の中学校区を判定するために使用します）

封筒の宛名のお子さんご家族の状況
についてうかがいます。

問 2 宛名のお子さんの生年月、現在の年齢をご記入ください。

西暦 年 月 生まれ （ 歳 ）

問 3 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください（「ひとりっ子」は「1」）。

お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月をご記入ください。

- | | | |
|-----------|------------|---------|
| 1. きょうだい数 | 人 | （本人を含む） |
| 2. 末子の生年月 | 西暦 年 月 生まれ | （ 歳 ） |

問 4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ ） |
|-------|-------|-----------|

問 5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。※単身赴任等により配偶者と別居している場合は「1. 配偶者がいる」を選択してください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問 6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他（ ） |
|----------|---------|---------|----------|-----------|

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問 7 宛名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------|-------------------|-----------|
| 1. 父母ともに | 4. 祖父母 | 7. 認定こども園 |
| 2. 母親 | 5. 幼稚園（認定こども園を除く） | 8. その他（ ） |
| 3. 父親 | 6. 保育園（認定こども園を除く） | |

問 8 宛名のお子さんの子育てに、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------------------|-----------|
| 1. 家庭 | 3. 幼稚園（認定こども園を除く） | 5. 認定こども園 |
| 2. 地域 | 4. 保育園（認定こども園を除く） | 6. その他（ ） |

問 9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

⇒ 問 10へ

問 9で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」～「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 9-1 祖父母等の親族や友人または知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 身体的負担が大きく心配である |
| 3. 時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってさらわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（ ） |

⇒ 問 9-1を回答したあとは問 10へ

問 10 宛名のお子さんの子育てををする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. いる／ある

2. いない／ない

⇒ 問 11へ

問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問 10-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者やパートナー

2. 祖父母等の親族

3. 友人や知人

4. 近所の人

5. 子ども家庭支援センター

6. 子育て支援施設
(地域子ども家庭支援センター上の原、地域子育て支援センターはこぶね館、児童館等)

7. 市健康課・保健所
8. 保育士

9. 幼稚園教諭

10. 民生委員・児童委員

11. かかりつけの医師

12. 自治体の子育て関連担当窓口
(子育て支援課・児童青少年課)

13. その他 【例】ベビージッター、NPO など

問 11 子育てををする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の働き方 についてうかがいます。

※ここでの「フルタイム(育児時間の時短勤務の方を含みます)」とは、「1週5日程度・1日8時間程度の就労」をいい、「パート・アルバイト等」は「フルタイム以外の就労」をいいます。

「母親」、「父親」について両方ともご記入ください。

母子家庭、父子家庭の場合は、それぞれ当てはまらない箇所の記入は不要です。
保護者が「母親」、「父親」以外の場合のみ「その他」にご記入ください。

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
1. フルタイムで就労している 産休・育休・介護休暇中である 3. パート・アルバイト等で就労している 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1. フルタイムで就労している 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休暇中である 3. パート・アルバイト等で就労している 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1. フルタイムで就労している 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休暇中である 3. パート・アルバイト等で就労している 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない
⇒ 問 14へ	⇒ 問 14へ	⇒ 問 14へ

(1) で「1. フルタイムで就労している」～「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

(2) 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
a. 1週当たり _____ 日	a. 1週当たり _____ 日	a. 1週当たり _____ 日
b. 1日当たり _____ 時間	b. 1日当たり _____ 時間	b. 1日当たり _____ 時間

(1) で「1. フルタイムで就労している」～「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

(3) 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず「18時」のように24時間制でお答えください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
a. 家を出る時刻 _____ 時 _____ ころ	a. 家を出る時刻 _____ 時 _____ ころ	a. 家を出る時刻 _____ 時 _____ ころ
b. 帰宅時刻 _____ 時 _____ ころ	b. 帰宅時刻 _____ 時 _____ ころ	b. 帰宅時刻 _____ 時 _____ ころ

問12の(1)で「3. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。
該当しない方は、問15へお進みください。

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
1. フルタイムへの転換希望があり、 実現できる見込みがある	1. フルタイムへの転換希望があり、 実現できる見込みがある	1. フルタイムへの転換希望があり、 実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない	2. フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない	2. フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を 続けることを希望	3. パート・アルバイト等の就労を 続けることを希望	3. パート・アルバイト等の就労を 続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい

問12の(1)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

問14 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する下線部に数字をご記入ください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが ____歳になったところに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが ____歳になったところに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが ____歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に 就労したい	3. すぐにも、もしくは1年以内に 就労したい	3. すぐにも、もしくは1年以内に 就労したい
希望する就労形態 ① フルタイム ② パートタイム、 アルバイト等 a. 1週当たり____日 b. 1日当たり____時間	希望する就労形態 ① フルタイム ② パートタイム、 アルバイト等 a. 1週当たり____日 b. 1日当たり____時間	希望する就労形態 ① フルタイム ② パートタイム、 アルバイト等 a. 1週当たり____日 b. 1日当たり____時間

宛名のお子さんの平日（月～金）の定期的な幼稚園や保育園などの利用状況についてうかがいます。

※こここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問15-1へ 2. 利用していない ⇒ 問15-4へ

問15-1～問15-3は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問15-1 宛名のお子さんは、平日（月～金）、幼稚園や保育園などを利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

また、平日（月～金）、幼稚園や保育園などを定期的にとどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず「18」時のように24時間制でご記入ください。

	現在の利用状況		今後の利用希望	
	週当たりの利用日数	1日当たりの利用時間	週当たりの利用日数	1日当たりの利用時間
1. 幼稚園 ※⑬ (通常の就園時間(おおむね9時から14時まで)の利用。ただし、各園により異なる)	____日	____時～____時	____日	____時～____時
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	____日	____時～____時	____日	____時～____時
3. 認可保育所 ※⑭ (都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	____日	____時～____時	____日	____時～____時
4. 認定こども園 ※⑭ (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	____日	____時～____時	____日	____時～____時
5. 小規模保育施設 (市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの)	____日	____時～____時	____日	____時～____時
6. 家庭的保育施設 ※⑮ (保育者の家庭等で5人以下の子どもの保育する事業)	____日	____時～____時	____日	____時～____時
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	____日	____時～____時	____日	____時～____時
8. 自治体の認証・認定保育施設 ※⑯ (認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設)	____日	____時～____時	____日	____時～____時
9. その他の認可外の保育施設	____日	____時～____時	____日	____時～____時
10. 居宅訪問型保育 (ベビシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	____日	____時～____時	____日	____時～____時

問 16 すべての方にかかっています。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日（月～金）の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園 ※⑬

(通常の就園時間（おおむね9時から14時まで）の利用。ただし、各園により異なる)

2. 幼稚園の預かり保育

(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)

3. 認可保育所 ※①

(都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)

4. 認定こども園 ※⑩

(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)

5. 小規模保育施設

(市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)

6. 家庭的保育施設※③

(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)

7. 事業所内保育施設

(企業が主に従業員用に運営する施設)

8. 自治体の認証・認定保育施設※⑥

(認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設)

9. その他の認可外の保育施設

10. 居宅訪問型保育

(ベビシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)

11. ファミリー・サポート・センター ※⑮

(ファミリー・サポート・センターに登録した地域住民が子どもを預かる事業)

12. その他

(具体的に：)

13. どれも利用するつもりがない

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問 16-1 上記のような幼稚園や保育園などを利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 東久留米市内

2. 他の区市町村

問 16 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. 認可保育所」～「12. その他」のいずれかにも○をつけた方にかかっています。

問 16-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい

2. いいえ

	現在の利用状況		今後の利用希望	
	週当たりの利用日数	1日当たりの利用時間	週当たりの利用日数	1日当たりの利用時間
11. ファミリー・サポート・センター ※⑮ (ファミリー・サポート・センターに登録した地域住民が、子どもを預かる事業)	_____日	_____時～_____時	_____日	_____時～_____時
12. その他 (具体的に：_____)	_____日	_____時～_____時	_____日	_____時～_____時

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問 15-2 現在、上記のような幼稚園や保育園などの利用場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 東久留米市内

2. 清瀬、小平、東村山、西東京、新座のいずれかの市

3. その他の区市町村

問 15-3 子育てをしている方が、平日（月～金）に定期的に幼稚園や保育園などを利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため

2. 子育てをしている方が現在就労しているため

3. 子育てをしている方が就労予定がある、または求職中であるため

4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護しているため

5. 子育てをしている方が病気や障害があるため

6. 子育てをしている方が学生であるため

7. 子育てをしている方が出産前・産後の子どもの育児が大変であるため

8. その他（_____）

問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にかかっています。

問 15-4 利用していない理由は何ですか。理由としても当てはまる番号すべてに○をつけてください。
「8. 子どもがまだ小さいため」を選んだ場合は、下線部に年齢を数字でご記入ください。

1. (子どもの教育や発達のため、あるいは子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がないため

2. 子どもの祖父母や親戚の人がみているため

3. 近所の人や父母の友人・知人がみているため

4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがないため

5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できないため

6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わないため

7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がないため

8. 子どもがまだ小さいため ⇒a. (_____歳くらいになったら利用しようと考えている)

9. その他（_____）

幼稚園、保育所、認定こども園等の無償化について

以下は国が実施する「幼稚園、保育所、認定こども園等の無償化」について内閣府から配付されたものです。お読みいただいた後、問 16-3 をお答えください。

- 子育て世帯を応援し、社会保険を全世代型へ抜本的に変えるため、幼児教育の無償化を一気に加速することとされました。幼児教育の無償化は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や、幼児教育の負担軽減を図る少子化対策の観点などから取り組まれるものです。
- 「新しい経済政策パッケージ」（2017 年 12 月 8 日閣議決定）、「経済財政運営と改革の基本方針 2018」（2018 年 6 月 15 日閣議決定）において、以下の方針が示され、消費税率引上げ時の 2019 年 10 月 1 日からの実施を目指すこととされています。具体的な手続き等については、現在検討が行われているところです。

幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する子供たち

【対象者・利用料】

- 幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳から5歳の全ての子供たちの利用料が無償化されます。
 - * 子ども、子育て支援新制度の対象とされない幼稚園の利用料については、同制度における利用者負担額を上限として無償化されます（上限月額 257 万円）。
 - * 実費として徴収されている費用（通園送迎費、食材料費、行事費など）は、無償化の対象外です。
 - * 幼稚園（4時間程度）については満3歳（3歳になった日）から、保育所については3歳児クラス（3歳になった後の最初の4月以降）から無償化されます。その他の施設等については、上記取扱いも踏まえて、検討が行われているところがあります。
- 0歳から2歳児の子供たちの利用料については、住民税非課税世帯を対象として無償化されます。

【対象となる施設・サービス】

- 幼稚園、保育所、認定こども園に加え、地域型保育（小規模保育、家庭的保育、居宅訪問型保育、事業所内保育）、企業主導型保育事業（標準的な利用料）も同様に無償化の対象とされます。
- ※ 最優先の課題である待機児童解消の実現に向けては、女性就業率 80% に対応できる「子育て安心プラン」を前倒し、2020 年度末までに 32 万人分の受け皿整備を進めます。

幼稚園の預かり保育を利用する子供たち

【対象者・利用料】

- 幼稚園の預かり保育を利用する子供たちについては、新たに保育の必要性があると認定を受けた場合には、幼稚園保育料の無償化（上限月額 257 万円）に加え、利用実態に応じて、認可保育所における保育料の全国平均額（月額 3.7 万円）と幼稚園保育料の無償化の上限額との差額である最大月 1.13 万円までの範囲で預かり保育の利用料が無償化されます。
- ※ 認定こども園における子ども、子育て支援新制度の1号認定の子供たちが利用する預かり保育も含まれます。

認可外保育施設等を利用する子供たち

【対象者・利用料】

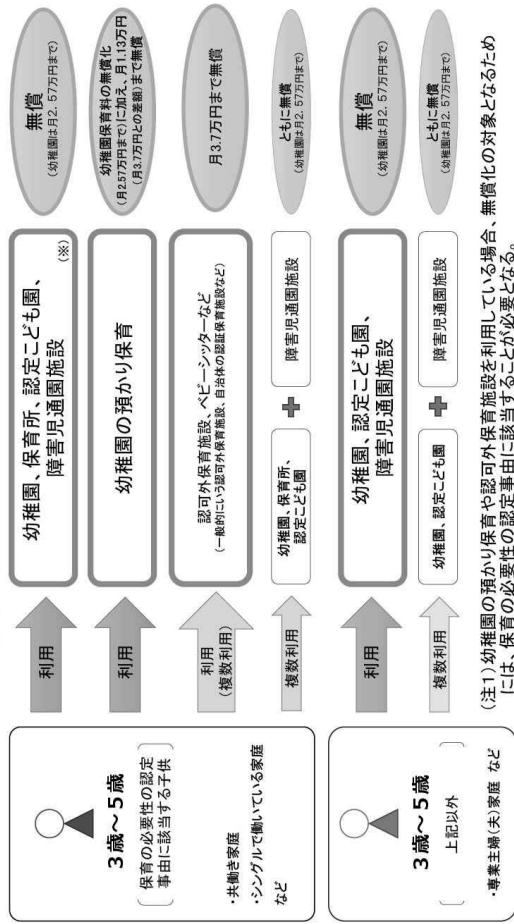
- 認可外保育施設等を利用する子供たちについても、保育の必要性があると認定された3歳から5歳の子供たちを対象として、認可保育所における保育料の全国平均額（月額 3.7 万円）までの利用料が無償化されます。
 - 0歳から2歳児の子供たちについては、住民税非課税世帯の子供たちを対象として、月額 4.2 万円までの利用料が無償化されます。
- 【対象となる施設・サービス】**
- 認可外保育施設等とは、一般的な認可外保育施設、地方自治体独自の認証保育施設、ベビーホテル、ベビースタター、認可外の事業所内保育等を指します。このほか、子ども、子育て支援法に基づく預かり事業、病児保育事業及びファミリー・サポート・センター事業を対象とします。
 - 無償化の対象となる認可外保育施設等は、都道府県等に届出を行い、国が定める認可外保育施設の指導監督基準を満たすことが必要です。ただし、経過措置として、指導監督基準を満たしていない場合でも無償化の対象とする5年間の猶予期間を設けます。

いわゆる「障害児通園施設」を利用する子供たち

【対象者・利用料】

- 就学前の障害児の発達支援（いわゆる障害児通園施設）を利用する子供たちについて、利用料が無償化されます。
 - * 3歳から5歳が対象です（なお、0歳から2歳児の住民税非課税世帯については、既に無償となっています）。
- 幼稚園、保育所、認定こども園といわゆる障害児通園施設の両方を利用する場合は、両方とも無償化の対象となります。

幼児教育の無償化の具体的なイメージ（例）



住民税非課税世帯については、0歳～2歳児についても上記と同様の考え方により無償化の対象となる。この場合、月4.2万円まで無償。

(注2) 上記のうち認可外保育施設及びベビースタターについては、認可外保育施設の届出し、指導監督の基準を満たすものに限り、5年間の経過措置として、指導監督の基準を満たしていない場合でも無償化の対象とする猶予期間を設ける。

(※) 地域型保育も対象。また、企業主導型保育事業(標準的な利用料)も対象。

問 16-3 すべてのの方にうかがいます。前ページに記載した内容で幼児教育の無償化が拡大した場合、現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日（月～金）の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園 ※⑬

(通常の就園時間（おおむね9時から14時まで）の利用。ただし、各園により異なる)

2. 幼稚園の預かり保育

(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)

3. 認可保育所 ※⑬

(都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)

4. 認定こども園 ※⑭

(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)

5. 小規模保育施設

(市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの) ※現在、東久留米市では実施していません。

6. 家庭的保育施設※③

(保育者の家庭等で5人以下の子どもの子を保育する事業)

7. 事業所内保育施設

(企業が主に従業員用に運営する施設)

8. 自治体の認証・認定保育施設※⑥

(認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設)

9. その他の認可外の保育施設

10. 居宅訪問型保育

(ベビーシッターのような保育者が子どもを家庭で保育する事業)

11. ファミリー・サポート・センター ※⑩

(ファミリー・サポート・センターに登録した地域住民が子どもを預かる事業)

12. その他

(具体的に：)

13. どれも利用するつもりがない

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

13

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（当市では「子育てひろば（地域子ども家庭支援センター上原・地域子育て支援センターはこぶね館）」、「健康課の育児相談」が該当します）や児童館を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業

1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 程度

2. その他の類似の事業 例：児童館等（具体名：)

1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 程度

3. 利用していない

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業などについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい

1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1週当たり 更に 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に 程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
①プレ・ババママクラス（市健康課）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②出産に関する情報提供・育児相談（市健康課）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③親子で参加できる教室・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥赤ちゃん・ふらっと（乳幼児をもつ親が安心して授乳やおむつ替えができる施設として、都が認めたもの）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦子ども家庭支援センター（わくわく健康プラザ内）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧子育てひろば（地域子ども家庭支援センター上の原）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨子育てひろば（地域子育て支援センターはこぶね館）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩児童館	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

14

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
.....時から.....時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
.....時から.....時まで

問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 休養のため
5. 出産前・産後の子どもの育児が大変であるため
6. その他（ ）

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問 21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
.....時から.....時まで

問 21 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 休養のため
5. 出産前・産後の子どもの育児が大変であるため
6. その他（ ）

宛名のお子さんの病気の病気の対応についてうかがいます。
(平日（月～金）、幼稚園や保育園などを利用する方のみ)

平日（月～金）、定期的に幼稚園や保育園などを利用していると答えた保護者の方（問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問 23 にお進みください。

問 22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで幼稚園や保育園などを利用できなかったことはありますか。

1. あった
2. なかった
- ⇒ 問 23へ

問 22 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがでふだん利用している幼稚園や保育園などを利用できなかった場合に、この1年間にいったん対応方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

1年間の対応方法		日数
ア. 父親が仕事を休んだ		日
イ. 母親が仕事を休んだ		日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった		日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた		日
オ. 病児・病後児の保育 (めぐのへや) を利用した		日
カ. ベビーシッターを利用した		日
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた		日
ク その他 ()		日

問 22-1 で「ア. 父親が仕事を休んだ」または「イ. 母親が仕事を休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児施設等を利用したい ⇒日
2. 利用したいとは思わない
- ⇒ 問 22-4へ

問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記いずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設 (例: 幼稚園・保育所等) に併設した施設で子どもを保育する事業
(※現在、東久留米市にはありません。)
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で開催する事業
4. その他 ()

⇒ 問 22-3 を回答したあとは問 23へ

問 22-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。

問 22-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看護してもらえない
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間）がよい
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応するの
7. その他（ ）

⇒ 問 22-4 に答えたとしたら問 23 へ

問 22-1 で「ウ.（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」から「ク. その他」のいずれかに○をつけた方に伺います。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ.（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」から「ク. その他」の日数のうち、仕事を休んで看護したかった日数についても数字で記入してください。

1. できれば仕事を休んで看護したい ⇒ 日 ⇒ 問 23 へ
2. 休んで看護することは非常に難しい

問 22-5 で「2. 休んで看護することは非常に難しい」に○をつけた方に伺います。

問 22-6 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りない
4. その他（ ）

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を
伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育利用以外に、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1 年間の利用日数（おおよそ）も数字で記入ください。

利用している事業	1 年間の利用日数
1. 保育所の一時預かり （私用など理由を問わずに保育所で一時的に預かる事業）	日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長し預かる事業で不定期に利用するもの）	日
3. ファミリー・サポート・センター （ファミリー・サポート・センターに登録した地域住民が子どもを預かる事業）	日
4. ベビーシッター	日
5. 子どもショートステイ （出産や病気などの理由で児童養護施設で一時的に子どもを預かる事業）	日
6. その他（ ）	日
7. 利用していない	日

問 23 で「7. 利用していない」に○をつけた方に伺います。

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよい
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

問 24 宛名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字で記入ください。）。

1. 利用したい

合計日数 日

ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的 日

イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の通院等 日

ウ. 不定期の就労 日

エ. その他（ ） 日

2. 利用する必要はない ⇒ 問 25 へ

問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 24-1 問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保育所の一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長し預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)
3. ファミリー・サポート・センター (ファミリー・サポート・センターに登録した地域住民が子どもを預かる事業)
4. ベビーシッター
5. 子どもショートステイ (出産や病気などの理由で児童養護施設で一時的に子どもを預かる事業)
6. 夜間養護等事業：トワイライストステイ (児童養護施設などで休日・夜間、子どもを保護する事業) ※現在、東久留米市では実施しておりません。
7. その他 (具体的に：)

問 25 この1年間に、保護者の用事 (冠婚葬祭、保護者・家族の病気など) により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありませんか (預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法としてアからカの当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの泊数も数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	泊数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	泊 _____
	イ. 短期入所生活援助事業 (ショートステイ) を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	泊 _____
	ウ. イ以外の保育事業 (認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した	泊 _____
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	泊 _____
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊 _____
	カ. その他 ()	泊 _____
2. なかった		

⇒ 問26へ

問 25 で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

宛名のお子さんか来年から小学校に入学する方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

※2012 年 (平成 24 年) 4 月 2 日 ~ 2013 年 (平成 25 年) 4 月 1 日生まれのお子さんについてうかがいます。

⇒ その他の方は、問 30 へ

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年 (1 ~ 3 年生) のうちは、放課後 (平日 (月 ~ 金) の小学校終了後) の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

また、「5. 学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間はず (例) 18 時 のように 24 時間制でご記入ください。

1. 自宅	週 _____ 日 _____ 日 _____ 日 _____
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 _____ 日 _____ 日 _____ 日 _____
3. 習い事	週 _____ 日 _____ 日 _____ 日 _____
4. 児童館 ※⑫	週 _____ 日 _____ 日 _____ 日 _____
5. 学童保育 ※⑪	週 _____ 日 _____ 日 _____ 日 _____ → 下校時から _____ 時まで
6. ファミリー・サポート・センター ※⑬	週 _____ 日 _____ 日 _____ 日 _____
7. 放課後子供教室 (地域の力などの協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。)	週 _____ 日 _____ 日 _____ 日 _____
8. その他 (公園、学校の校庭など)	週 _____ 日 _____ 日 _____ 日 _____

※のあとに丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年 (4 ~ 6 年生) になったら、放課後 (平日 (月 ~ 金) の小学校終了後) の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。

また、「5. 学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間はず (例) 18 時 のように 24 時間制でご記入ください。

※だいが先のことにないますが、現在お持ちのイメージで答えください。

1. 自宅	週 _____ 日 _____ 日 _____ 日 _____
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 _____ 日 _____ 日 _____ 日 _____
3. 習い事	週 _____ 日 _____ 日 _____ 日 _____
4. 児童館 ※⑬	週 _____ 日 _____ 日 _____ 日 _____
5. 学童保育 ※⑫	週 _____ 日 _____ 日 _____ 日 _____ → 下校時から _____ 時まで
6. ファミリー・サポート・センター ※⑭	週 _____ 日 _____ 日 _____ 日 _____
7. 放課後子供教室	週 _____ 日 _____ 日 _____ 日 _____
8. その他 (公園、学校の校庭など)	週 _____ 日 _____ 日 _____ 日 _____

※のあとに丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問 26 または問 27 で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいます。

問 28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。(1)(2) それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇔	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		時から.....時まで
3. 利用する必要はない		

(2) 日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇔	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		時から.....時まで
3. 利用する必要はない		

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇔	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		時から.....時まで
3. 利用する必要はない		

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など
職場の両立支援制度についてうかがいます。

「母親」、「父親」、「父親」について両方ともご記入ください。

母子家庭、父子家庭の場合は、それぞれ当てはまらない箇所の記入は不要です。

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、「3. 取得していない」を選んだ方はその理由を選択肢から選び、あてはまるものすべてをご記入ください。

(1) 育児休業を取得したか（いずれか 1 つに○）

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
1. 取得した（取得中である） ⇒ 問 30-1へ	1. 取得した（取得中である） ⇒ 問 30-1へ
2. 取得していない	2. 取得していない

問 30 で「2. 取得していない」と○をつけた方にうかがいます。

(2) 取得していない理由（あてはまるものすべてに○）

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3.（産休後に）仕事に早く復帰したかった	3.（産休後に）仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所（園）などに預けることができた	7. 保育所（園）などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえ るなど、制度を利用する必要がなかった	9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえ るなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した	10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった（自営業等 により）就業規則に定めがなかった	11. 職場に育児休業の制度がなかった（自営業等 により）就業規則に定めがなかった
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさ なかった	12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさ なかった
13. 育児休業を取得できなかった	13. 育児休業を取得できなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を 取得できなかったを知らず、退職した	14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を 取得できなかったを知らず、退職した
15. 認可保育園への入所が難しくなるため	15. 認可保育園への入所が難しくなるため
16. 子どもが生まれた時、働いていなかった	16. 子どもが生まれた時、働いていなかった
17. その他（ ）	17. その他（ ）

※有期雇用とは、パートタイム・アルバイトなどのことをいいます。

問30-1 すべての方にかかっています。子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になりますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問30で「1. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にかかっています。

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
⇒ 該当しない方は、問31へ

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問30-9へ	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問30-9へ
3. 育児休業中に離職した ⇒ 問31へ	3. 育児休業中に離職した ⇒ 問31へ

問30-2～問30-5は問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかかっています。

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」に当てはまります。また、年度初めの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りかつたですか。下線部に数字をご記入ください。1ヵ月未満の場合は日数をご記入ください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
実際の取得期間 歳 月 (1ヵ月未満の場合) 日	実際の取得期間 歳 月 (1ヵ月未満の場合) 日
希 望 歳 月 (1ヵ月未満の場合) 日	希 望 歳 月 (1ヵ月未満の場合) 日

問30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りかつたですか。数字をご記入ください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
歳 月 (1ヵ月未満の場合) 日	歳 月 (1ヵ月未満の場合) 日

問30-4で実際の復帰と希望が異なる方にかかっています。

問30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他	1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
1. 希望する保育所に入らなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が悪くなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他 ()	1. 希望する保育所に入らなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が悪くなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他 ()

問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかかっています。

問30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）	1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

※すでに就学前児童保護者用ニーズ調査票がお手元にある場合も、お手数ですが集計の都合上、すべての質問にお答えください。

東久留米市子ども・子育て支援ニーズ調査票 (就学児童保護者用)

「東久留米市
子ども・子育て支援ニーズ調査」
ご協力をお願い

日頃より市政に対しご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
突然のご案内で大変恐れ入りますが、東久留米市の子ども・子育て支援に関するアンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

平成27年度より、「子ども・子育て支援法」に基づく新たな子ども・子育て支援新制度がスタートし、東久留米市の幼児教育(幼稚園等)・保育や、子ども・子育て支援の充実を図るために、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施してきました。
2020年度から2024年度までの学童保育事業などの就学児童に対する施策の参考とするために、現在小学2年生の児童の保護者の方に、子ども・子育て支援サービスの利用希望に関する調査をお願いいたします。

調査結果は、今後の東久留米市における子ども・子育て支援施策を検討する上で、重要な資料となります。お忙しいところ、まことに恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成30年10月

東久留米市長 並木 克巳

※この調査は、東久留米市立小学校2年生の保護者の皆様にご協力をお願いするものです。この調査票についてご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

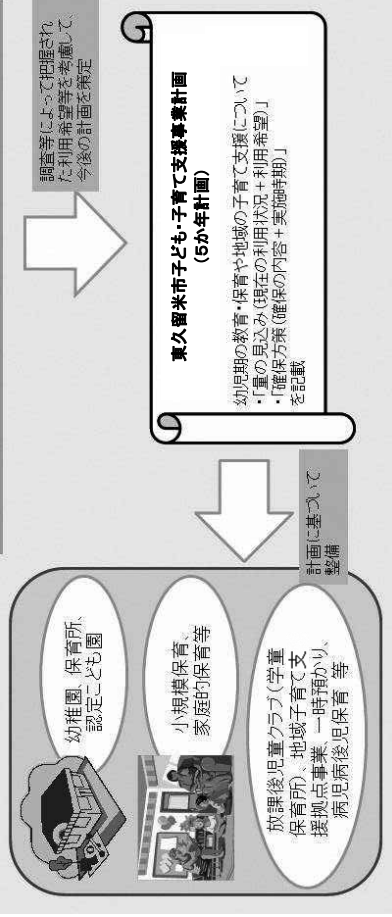
【担当】 東久留米市子ども家庭部 子育て支援課 子ども政策担当
【住所】 〒203-8555 東久留米市本町3-3-1
【電話】 042(470)7777 内線2440
(受付時間：平日9:00～12:00及び13:00～17:00)

【ご記入に当たってのお願い】

- 1 調査票には、封筒のあて名のお子さんの保護者の方がご回答ください。(保護者ご本人の記入が難しい場合は、ご家族の方などが代わってご記入ください。)
- 2 ボールペンまたは、濃い鉛筆ではっきりとご記入ください。
- 3 回答方法は、選択肢の中から当てはまる番号に○印をつけていただく場合、数字を記載していただく場合、ご自由に記述していただく場合とがあります。
- 4 選択肢の中からお選びいただく場合には、選択していただく数が設問により異なりますので、ご注意ください。
- 5 設問によって回答していただく方が限られる場合があります。説明文や矢印にしたがってご回答ください。

ご記入いただきました調査票は、11月5日(月)までに担任の先生にお渡しください。ご住所、お名前は記載なさらないで結構です。また、開封は市の子育て支援課で行いますので封筒には調査票以外のものを入れないようお願いいたします。

いただいた回答は東久留米市の子育て支援の充実に生かされます



東久留米市子ども・子育て支援事業計画 (5か年計画)

幼児期の教育・保育や地域の子ども子育て支援について
・「量の見込み(現在の利用状況+利用希望)」
・「確保方策(確保の内容+実施時期)」
を記載

お住まいの地域についてうかがいます。

問 1 お子さんが通っている学校はどこですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください

1. 第一小学校	5. 第六小学校	9. 小山小学校	13. 下里小学校
2. 第二小学校	6. 第七小学校	10. 神宝小学校	
3. 第三小学校	7. 第九小学校	11. 南町小学校	
4. 第五小学校	8. 第十小学校	12. 本村小学校	

小学2年生のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問 2 小学2年生のお子さんは何人きょうだいですか。小学2年生のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください（「ひとりっ子」は「1」）。

お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月月をご記入ください。

1. きょうだい数	人	(本人を含む)
2. 末子の生年月	西暦	年 月 生まれ (歳)

問 3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。小学2年生のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問 4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる	2. 配偶者がいない
-----------	------------

問 5 小学2年生のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他 ()
----------	---------	---------	----------	------------

小学2年生のお子さんの保護者の働き方についてうかがいます。

※ここであいう「フルタイム(育児時間の時短勤務の方を含みます)」とは、「1週5日程度、1日8時間程度の就労」をいい、「パート・アルバイト等」は「フルタイム以外の就労」をいいます。

「母親」、「父親」について面方ともご記入ください。

母子家庭、父子家庭の場合は、それぞれ当てはまらない箇所の記入は不要です。保護者が「母親」、「父親」以外の場合のみ「その他」にご記入ください。

問 6 小学2年生のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
(1) 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
1. フルタイムで就労している 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休暇中である 3. パート・アルバイト等で就労している 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない ⇒ 問8へ	1. フルタイムで就労している 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休暇中である 3. パート・アルバイト等で就労している 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない ⇒ 問8へ	1. フルタイムで就労している 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休暇中である 3. パート・アルバイト等で就労している 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない ⇒ 問8へ

(1) で「1. フルタイムで就労している」～「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

(2) 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
a. 1週当たり 日	a. 1週当たり 日	a. 1週当たり 日
b. 1日当たり 時間	b. 1日当たり 時間	b. 1日当たり 時間

(1) で「1. フルタイムで就労している」～「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

(3) 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず「18時」のように24時間制でお答えください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
a. 家を出る時刻 時 ころ	a. 家を出る時刻 時 ころ	a. 家を出る時刻 時 ころ
b. 帰宅時刻 時 ころ	b. 帰宅時刻 時 ころ	b. 帰宅時刻 時 ころ

問6の(1)で「3. パート・アルバイト等で就労している」または「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

該当しない方は、問9-1へお進みください。

問7 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
1. フルタイムへの転換希望があり、 実現できる見込みがある	1. フルタイムへの転換希望があり、 実現できる見込みがある	1. フルタイムへの転換希望があり、 実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない	2. フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない	2. フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を 続けることを希望	3. パート・アルバイト等の就労を 続けることを希望	3. パート・アルバイト等の就労を 続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい

問6の(1)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

該当しない方は、問9-1へお進みください。

問8 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する下線部に数字をご記入ください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に 就労したい	3. すぐにも、もしくは1年以内に 就労したい	3. すぐにも、もしくは1年以内に 就労したい
希望する就労形態 ① フルタイム ② パートタイム、 アルバイト等 a. 1週当たり____日 b. 1日当たり____時間	希望する就労形態 ① フルタイム ② パートタイム、 アルバイト等 a. 1週当たり____日 b. 1日当たり____時間	希望する就労形態 ①②どちらかに○ ②に○をつけた方のみ a. 1週当たり____日 b. 1日当たり____時間

小学2年生のお子さんの病気の療養の対応についてうかがいます。

問9-1 この1年間に、小学2年生のお子さんが病気やけがで学校を休んだ時の対応方法として、当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

1年間の対応方法	日数
ア 父親が仕事を休んだ	日
イ 母親が仕事を休んだ	日
ウ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	日
エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	日
オ 病児・病後児の保育(めぐのへや)を利用した	日
カ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
キ その他()	日
ク 病高等で学校を休んだことはなかった	

問9-1で「ア. 父親が仕事を休んだ」または「イ. 母親が仕事を休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問9-2 父親または母親が仕事を休んで子どもを看護したとき、「できれば病児・病後児のための施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児施設等を利用したい ⇒ _____日 ⇒ 問10へ

2. 利用したいとは思わない

問9-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方に伺います。

問9-3 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間)がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応するのに必要ない
7. その他()

問9-1で「ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」～「キ. その他のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問9-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「キ」の日数のうち仕事を休んで見た日数についても数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看護したい ⇒ (休んで見た日数) _____日 ⇒ 問10へ

2. 休んで看護することは非常に難しい

問9-4で「2. 休んで看護することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問9-5 「休んで看護することは非常に難しい」理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他()

小学2年生のお子さんの一時預かり等（宿泊）
伴う場合を含む）の利用についてうかがいます。

問 10 小学2年生のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

利用している事業	1年間の利用日数
1. ファミリー・サポート・センター （ファミリー・サポート・センターに登録した地域住民が子どもを預かる事業）	_____日
2. 子どもショートステイ （出産や病気などの理由で児童養護施設で一時的に子どもを預かる事業）	_____日
3. その他（ _____ ）	_____日
4. 利用していない	

問 11 小学2年生のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください。）。

1. 利用したい	合計日数 _____日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的	_____日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の通院 等	_____日
ウ. 不定期の就労	_____日
エ. その他（ _____ ）	_____日
2. 利用する必要はない ⇒ 問12へ	

問 11 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 11-1 問 11 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. ファミリー・サポート・センター （ファミリー・サポート・センターに登録した地域住民が子どもを預かる事業）
2. 子どもショートステイ （出産や病気などの理由で児童養護施設で一時的に子どもを預かる事業）
3. 夜間養護等事業：トワイライストステイ （児童養護施設などで休日・夜間、子どもを保護する事業） ※現在、東久留米市では実施しておりません。
4. その他（ _____ ）

問 12 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、小学2年生のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありませんか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの泊数も数字でご記入ください。

	この1年間の対処方法	泊数
	ア. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	_____泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	_____泊
1. あった	ウ. 仕方なく子どもを同行させた	_____泊
	エ. 仕方なく子どもだけで留守番させた	_____泊
	オ. その他（ _____ ）	_____泊
2. なかった		

⇒ 問13へ

問 12 で「1. あった ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と○をつけた方にうかがいます。

問 12-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかというと困難	3. 特に困難ではない
----------	---------------	-------------

小学2年生のお子さんの放課後の過ごし方について
うかがいます。

問 13 小学2年生のお子さんについて、小学校低学年（3年生まで）のうちは、放課後（平日（月～金）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

また、「5. 学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は必ず「18時」のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週 _____日くらい
2. 祖父母や友人・知人家	週 _____日くらい
3. 習い事	週 _____日くらい
4. 児童館 ※⑫	週 _____日くらい
5. 学童保育 ※⑪	週 _____日くらい → 下校時から _____時まで
6. ファミリー・サポート・センター ※⑬	週 _____日くらい
7. 放課後子供教室 （地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。）	週 _____日くらい
8. その他（公園、学校の校庭など）	週 _____日くらい

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問14 小学2年生のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日（月～金）の学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たりの日数を数字でご記入ください。

また、「5. 学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間にも下線部に数字でご記入ください。時間は、必ず(例) 18時 のように24時間制でご記入ください。

※先のことになりませんが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 _____ 日 くらいい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 _____ 日 くらいい
3. 習い事	週 _____ 日 くらいい
4. 児童館 ※⑫	週 _____ 日 くらいい
5. 学童保育 ※⑪	週 _____ 日 くらいい → 下校時から _____ 時まで
6. ファミリー・サポーター・センター ※⑬	週 _____ 日 くらいい
7. 放課後子供教室 (地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学 習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。)	週 _____ 日 くらいい
8. その他(公園、学校の校庭など)	週 _____ 日 くらいい

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問13または問14で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいます。

問15 小学2年生のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。(1)(2) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 低学年（3年生まで）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい

→

利用したい時間帯
.....時から
.....時まで

3. 利用する必要はない

(2) 日曜・祝日

利用したい時間帯

↑

利用したい期間帯

.....時から.....時まで

1. 低学年（3年生まで）の間は利用したい

2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい

3. 利用する必要はない

問16 小学2年生のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休学期間中の学習意欲の活用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

利用したい時間帯
.....時から.....時まで

↑

1. 低学年（３年生まで）の間は利用したい
2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

調査にご協力いただきました。ありがとうございます。

問17 東久留米市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

図 10-1-1 5段階の尺度

問 18 最後に、真久留米市の教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。※真久留米市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価結果
(<http://www.city.higashikurume.lg.jp/shisei/sesaku/keikaku/1008588.html>) についてもご意見等ございましたら、ご記入ください。

[illegible]

ご協力いただきましてありがとうございました。
調査票を封筒に入れ、担任の先生にお渡しください。

東久留米市子ども・子育て支援ニーズ調査
報 告 書

発行年月 平成31年3月
発行 東久留米市子ども家庭部子育て支援課
〒203-8555 東久留米市本町3-3-1
電 話 042-470-7740
FAX 042-470-7807

